

取扱説明書 | JA

Beckhoff Device Manager



目次

1 取扱説明書に関する注記.....	5
2 セキュリティ	6
3 概要.....	10
4 システム要件	11
4.1 ハードウェア要件およびソフトウェア要件	11
4.2 BIOSバージョン	12
4.3 オペレーティングシステム	12
5 ウェブインターフェース.....	13
6 情報モデル.....	15
6.1 領域.....	17
6.1.1 0x1000-0x1FFF – 一般領域	17
6.1.2 0x8000-0x8FFF – 設定領域	18
6.1.3 0xB000-0xBFFF – サービス転送領域.....	67
6.1.4 0xF000-0xFFFF – デバイス領域.....	68
7 API / 代表例	70
7.1 PLC	70
7.2 OPC UA.....	71
7.3 C#	74
7.3.1 CPUデータの問合せ.....	78
7.4 C++	79
7.5 ADS	83
8 付録.....	84
8.1 問題が発生した場合の応急処置	84
8.2 データタイプの概要.....	85
8.3 エラーコードの概要.....	85
8.4 ADSリターンコード	88
8.5 Win32エラーコード	93
8.6 FreeBSD エラーコード	153
8.7 FreeRTOSのエラーコード	156
8.8 サポートとサービス.....	158

1 取扱説明書に関する注記

この説明書は対応する国内規格を熟知した、トレーニングを受けた制御、オートメーションエンジニアリングの有資格者のみの使用を対象としています。

本製品の設置およびコミッショニングの際は、必ず以下の注意事項と説明に従ってください。

有資格者は、常に最新版のドキュメントを参照してください。

本製品を使用する上での責任者は、本製品の用途および使用方法が、関連するすべての法律、法規、ガイドラインおよび規格を含む、安全に関するすべての要件を満たしていることを確認してください。

免責事項

この取扱説明書の記載内容は、一般的な製品説明および性能を記載したものであり、場合により記載通りに動作しないことがあります。製品の情報・仕様は予告なく変更されます。

この説明書に記載されているデータ、図および説明に基づいて、既に納品されている製品の変更を要求することはできません。

掲載されている写真やイラストと、実際の製品は異なる場合があります。この説明書は最新でない可能性があります。必ず最新バージョンの説明書を参照してください。

商標

Beckhoff®, TwinCAT®, TwinCAT/BSD®, TC/BSD®, EtherCAT®, EtherCAT G®, EtherCAT G10®, EtherCAT P®, Safety over EtherCAT®, TwinSAFE®, XFC®, XTS®, XPlanar® は、Beckhoff Automation GmbH の登録商標です。

この取扱説明書で使用されているその他の名称は商標である可能性があり、第三者が独自の目的のために使用すると所有者の権利を侵害する可能性があります。



EtherCAT®は、Beckhoff Automation GmbHの登録商標および特許技術です。

著作権

© Beckhoff Automation GmbH & Co.KG, Germany.

明示的な許可なく、本書の複製、配布、使用、および他への内容の転載は禁止されています。

これに違反した者は損害賠償の責任を負います。ベッコフは、特許、実用新案、意匠の付与に関するすべての権利を留保しています。

第三者商標

本書では、他社の商標が使用される場合があります。商標に関する詳細は以下を参照してください。

<https://www.beckhoff.com/trademarks>

2 セキュリティ

「セキュリティ」の章では、不正アクセスの危険を低減する方法について説明します。

下図のような情報パネルは、文書全体を通しての追加情報を強調して示しています：

● ヒントまたはアドバイス

i この記号が示す情報により、さらに理解が深まります。

使用目的

ベッコフデバイスマネージャ（Beckhoff Device Manager）は、ベッコフIPCの診断に使用します。システム値のモニタリングが可能になり、機器のダウンタイムを回避できます。ベッコフデバイスマネージャを使用するにはBIOSをカスタマイズする必要があるため、ベッコフ産業用PCおよびエンベデッドPCでのみ使用できます。

デバイスマネージャの直感的なウェブデザインは、システム設定を簡素化します。ウェブサイトはパスワードで保護され、アクセスは暗号化されています（https）。納品時はベッコフ指定の標準管理者パスワードが適用されます。システムへの不正リモートアクセスを防ぐため、このパスワードは変更する必要があります。安全なパスワード設定に関する情報は、以下に記載されています。

安全に関する注意事項

原則として、権限のない者がシステムにアクセスできないようにすることが重要です。そのために様々なセキュリティ対策が用意されています。

- 証明書（sshやOPC UAなど）によるシステムへの安全なアクセス。これは、該当種別のアクセスからのみ保護することに注意。ウェブサイトへの不正アクセス防止のためには、システムのファイアウォールでTCPポート443（https）を閉じてください。ご使用のオペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。
- 制御盤を施錠し、管理者および技術者のみがアクセスできるようシステムを物理的に保護してください。これにより、データキャリアを介したシステムへの攻撃を低減します。
- パスワードとデータキャリアの一般的な取り扱い方法について従業員を教育してください。

詳細は、IPCセキュリティマニュアルを参照してください。

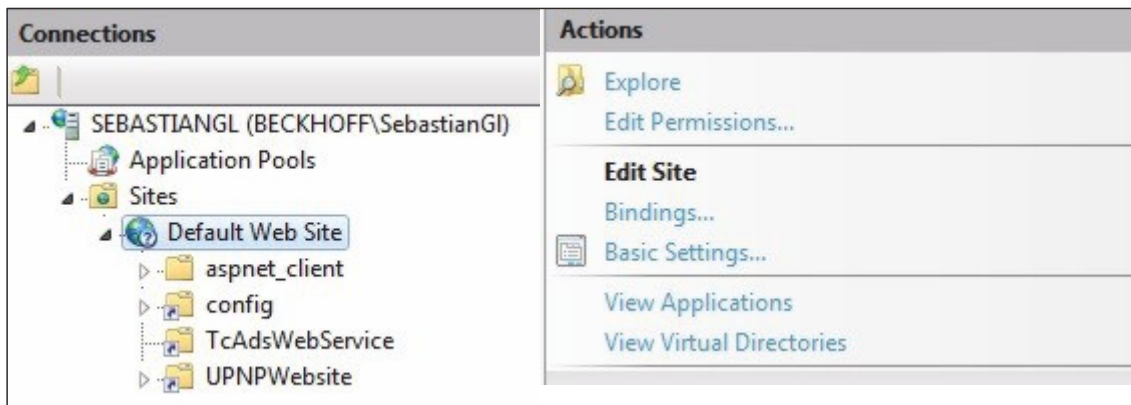
サーバ証明書のバインド

使用したいサーバ証明書がすでにある場合は、以下の手順に従って証明書をバインドしてください：

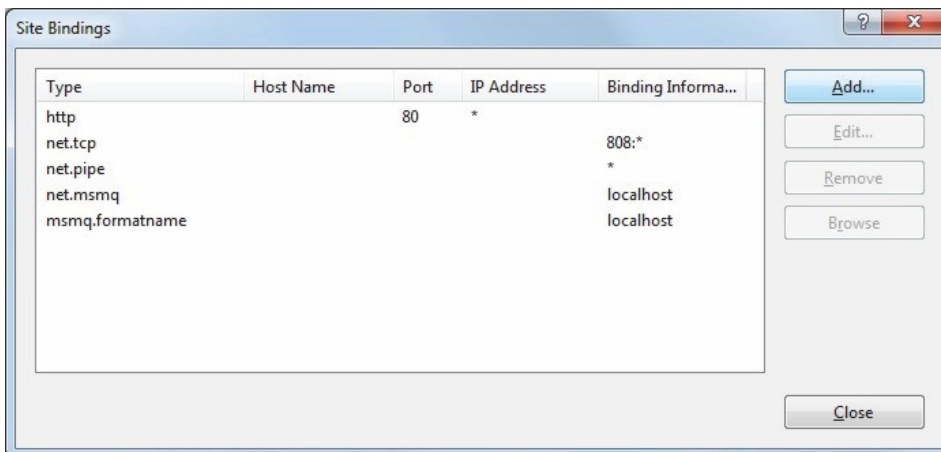
1. WindowsのスタートメニューにあるComputerボタンを右クリックし、**Manage**を押して、Computer Managementウィンドウを開きます。



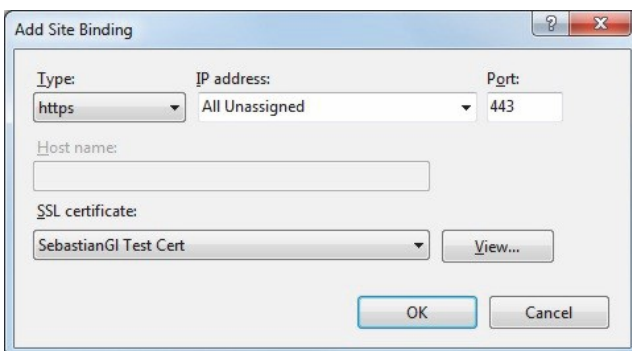
2. Internet Information Services Managerのナビゲーションで、TcAdsWebService の仮想ディレクトリを含むウェブサイトノードを選択し、適切なActionsの**Bindings**メニューをクリックします。



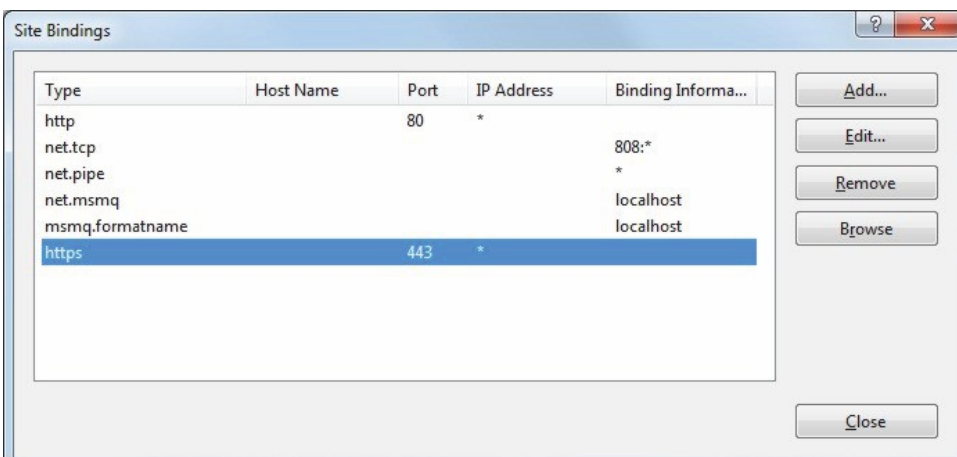
3. **Add**を押して、Add Site Bindingダイアログを開きます。



4. Add Site Bindingダイアログで、以下の値を選択し（下図参照）、httpsプロトコルのバインディングを作成します。



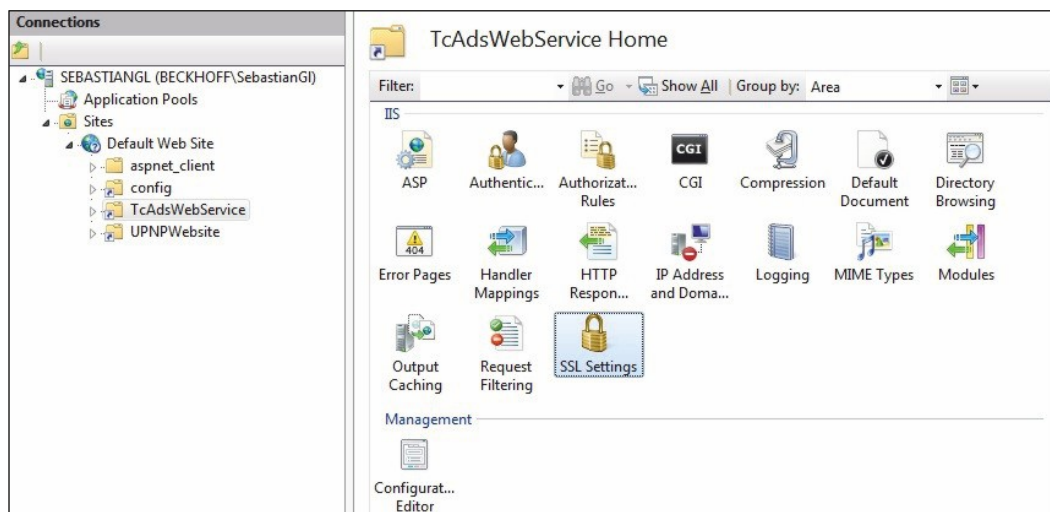
⇒ Site Bindingsダイアログでhttpsプロトコルのバインディングが利用できるようになりました。



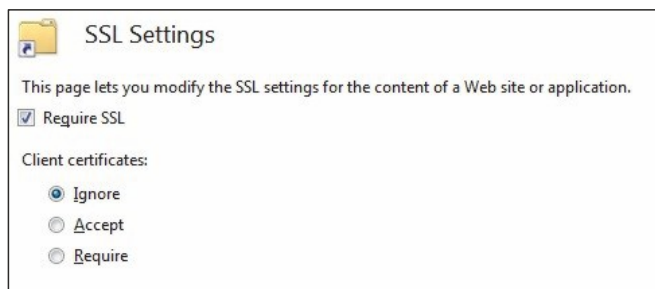
httpとhttpsのプロトコルでウェブサイトの全ての仮想ディレクトリに接続できるようになりました。

httpsプロトコルの接続のみを許可する場合は、次の手順に従ってください：

1. **TcAdsWebService**のディレクトリに移動し、SSL/TLS Settingsウィンドウを開きます。



2. SSL Settingsダイアログで、**Require SSL**チェックボックスにチェックをします。



⇒ Internet Information Services は、httpsプロトコルでの接続のみを許可するようになりました。

安全なパスワード

システムのセキュリティ確保のため、強力なパスワードを設定することは重要です。

新しいパスワードを割り当てる際は、以下の点に注意してください：

- ユーザおよびサービスごとに異なるパスワードを設定してください。
- パスワードが不正に流出した恐れがある場合、パスワードの変更を実施してください。
- パスワードの管理方法について、デバイスのユーザを教育してください。

安全なパスワードには、以下の特徴があります。

- パスワードの複雑さ：パスワードには大文字と小文字、数字、句読点、および特殊文字を含めることを推奨します。
- パスワードの長さ：パスワードは10文字以上にすることを推奨します。

パスワードは様々な方法で作成できます。以下の表に例を示します：

表 1: パスワードの作成

手順	例
1つまたは2つの文を用意します。	Complex passwords are more secure
スペースを削除します。	Complexpasswordsaremoresecure
単語を略したり、スペルミスを追加したりします。	Complxpasswordsarmoresecure
数字や特殊文字を挿入して、パスワードを長くします。	KomlxPasswörterinsicerer#529954#

以下のパスワードは安全ではありません：

- 辞書に載っている単語
- スペルを逆にした単語、一般的なスペルミスや略語
- 123456789やabcdefghなどの反復文字列
- 誕生日、ID番号、電話番号などの個人情報

3 概要

ベッコフデバイスマネージャは、デバイスの診断に使用します。様々なシステム価値を提供します。Windows OSの標準機能とベッコフBIOSの特殊機能を使用して、これらの値にアクセスすることができます。個々のIPCが使用可能な機能は、ハードウェア、BIOS、OS、およびデバイスマネージャのバージョンによって異なります。そのため、それぞれのベッコフIPCによって機能が異なる場合があります。

制御PCは機械制御システムの中心的要素であるため、故障が発生した場合、ダウンタイムによる大きな損失が発生する恐れがあります。そのため、デバイスのチェックが必要不可欠です。トラブルを未然に防ぎ、ダウンタイムを最小限に抑えるためには、障害につながる状況を早期に検出することが重要です。これには、ファンの故障や不十分な受動冷却による熱暴走の防止などが含まれます。最新のベッコフIPC(産業用PC)は、既存のハードウェアおよびソフトウェアコンポーネントに安全に統合された高度なシステム診断機能を提供し、装置稼働中のシステムデータの取得、分析および評価を可能にします。

ベッコフデバイスマネージャは、BIOSをカスタマイズする必要があるため、ベッコフ産業用PCおよび組み込み型PCでのみ使用できます。デバイスマネージャの最新バージョンは、ベッコフサポートから入手できます。Windows Embedded OSが搭載されたベッコフIPCには、デバイスマネージャが標準でプリインストールされています(標準Windows OS版もご希望により提供可能です)。

通信およびプログラミングインターフェース

ベッコフデバイスマネージャは、ローカルシステムアクセス(デバイス上の制御プログラム)と別のIPC(またはPLC)からのリモートアクセスをサポートしています。

デバイスマネージャの機能は、TwinCATなどのユーザアプリケーションの各種通信およびプログラミングインターフェースを経由して統合することができます。

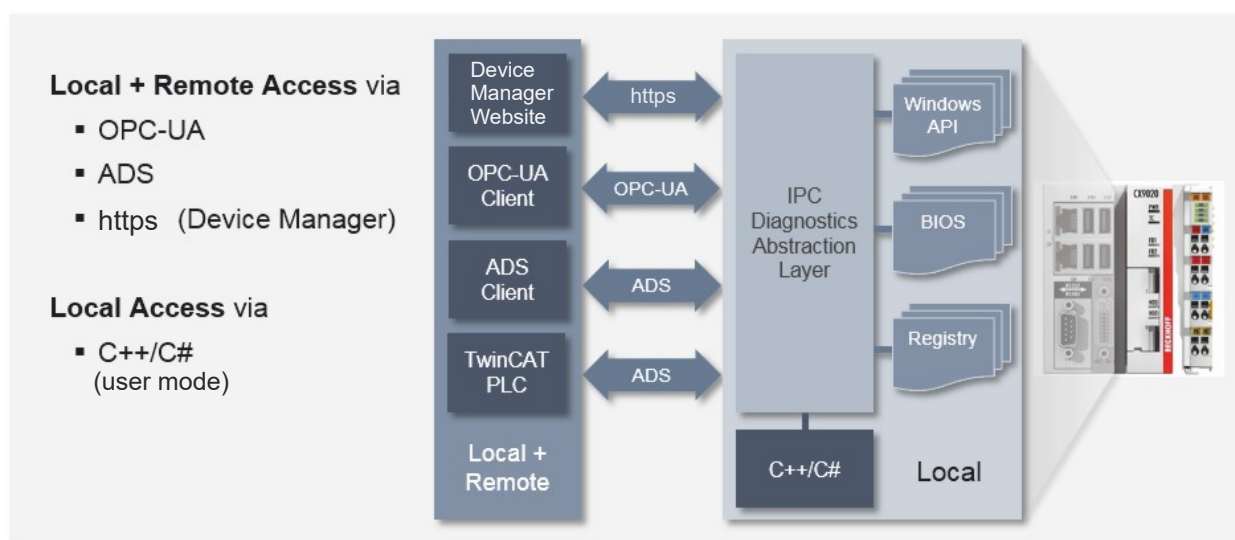


図 1: 通信およびプログラミングインターフェース

4 システム要件

ベッコフデバイスマネージャは常にアップデートされ、継続的に開発が行われています。お客様のアプリケーションでは、常に最新のコンポーネントをご使用ください。

- BIOS
- ベッコフIPC用のイメージ
- Beckhoff Automation Device Driver
- TwinCAT PLCプログラム用 Tc3_IPCDiag

4.1 ハードウェア要件およびソフトウェア要件

ハードウェア要件

- ベッコフデバイスマネージャは、ベッコフの産業用PCまたは組込み型PCでのみで動作します。他社のIPC/PCでは動作しません。
- ベッコフのOSイメージを使用することが前提条件です。ベッコフイメージにはベッコフデバイスマネージャを使用するための特殊な設定が含まれるためです。
- ベッコフデバイスマネージャは、現行のすべてのWindows Embedded OS (StandardおよびCompact)の標準イメージに含まれています。

ソフトウェア要件

- デバイスマネージャの最新バージョンには、旧バージョンと比較して最適化と改良が加えられています。デバイスマネージャの最新バージョンは、ベッコフサービスから入手できます。
- デバイスマネージャは、Windowsデスクトップバージョン(Windows 7 Professionalなど)のベッコフイメージには通常プリインストールされていません。この場合、セットアッププログラムからベッコフデバイスマネージャをインストールしてください。このセットアッププログラムは、Windows Embedded OS以外でのみ使用できます。Windows CEやWindows Embedded Compactでは使用できませんのでご注意ください。Windows CEシステムではアップデートはできません。常に最新のイメージを使用してください。
- ベッコフイメージ以外はサポートしていません。

4.2 BIOSバージョン

デバイスマネージャのバージョンおよびBIOSバージョンについては、使用したい機能や、どのIPCまたは組み込み型PCを使用するかによって、さらに要件があります。

CPUやメインボードの温度の読み取りなどの特殊機能がデバイスマネージャで使えるかどうかは、使用するデバイスのBIOSバージョンによって異なります。これは専用のインターフェース(BIOS API)を経由して計測した値を使用できるようにする必要があります。

以下の表に、デバイスマネージャの値をBIOS API経由で読み出すことが**できない**システムを示します。

IPCメインボード	サーバ	組み込み型PC
• CBxx50 • CBxx51 • CB3x10	• C6670	• CX10x0 • CX80x0 • CX90xx

製品型番が同じベッコフIPCシリーズでも、性能クラスによって異なるメインボードが搭載されている場合があります。そのため、デバイスマネージャで使用可能な機能は、IPCの製品型番ではなく、搭載されたメインボードに依存します。例外は組み込み型PCのCXシリーズです。CXシリーズは製品型番が同じであれば、必ず同じメインボードが搭載されています。

各機能が使用できるかどうかについては、お客様がお使いのデバイスの製品説明に記載されているかどうかご確認ください。

PLCライブラリのデバイスマネージャを使用する場合は、PLCライブラリの[システム要件](#)にご注意ください。

4.3 オペレーティングシステム

各メーカーがブラウザを急速かつ継続的に開発しているため、予期せぬ非互換性が発生する可能性があります。これに関しては、弊社では制御できません。

Edge、Chrome™、Firefoxの各ブラウザを使用し、Windows CE、BSD、Windows 10/11のオペレーティングシステムから、HTTPSポート経由でベッコフデバイスマネージャに簡単にアクセスできます。古いシステムでは、旧式の暗号アルゴリズムが原因で問題が発生する場合があります。各ブラウザごとに回避方法を確認してください。RTOSオペレーティングシステムでは、HTTPSポート経由でベッコフデバイスマネージャにアクセスすることはできません。

Edge、Chrome™、Firefoxブラウザを使用すれば、RTOSオペレーティングシステムからHTTPポート経由でベッコフデバイスマネージャに簡単にアクセスできます。Windows CE、BSDおよびWindows 10/11オペレーティングシステムの場合、HTTPポートはファイアウォールで無効化されています。ベッコフデバイスマネージャにアクセスするには、まずポートを有効にする必要があります。

HTTPポートを有効にする方法の詳細については、対象OSのドキュメントを参照してください：[Windows CE](#)、[BSD](#)、[Windows 10/11](#)

5 ウェブインターフェース

ベッコフIPCがサポートする機能の概要については、デバイスマネージャのウェブページを参照してください。このページは、メインボードデータの取得など、特殊なBIOSを必要とする機能に特に有用です。

ベッコフIPCの全ての診断パラメータは、標準的なウェブブラウザを使用して読み出すことができます。このウェブインターフェースは、URL(<http://<Device IP>/config>)からダウンロードできます。

注記:

- デバイスのウェブページへは、ネットワーク接続を使用しないローカルアクセスも可能です。ローカルアクセスでは、URL(<http://localhost/config>)を使用してください。
- IPCのウェブインターフェースを使用する場合は、ネットワークファイアウォールにてポート443(http)経由のアクセスを許可する必要があります。
- 原則ではIPアドレスの代わりに、IPCのデバイス名を使用することができます。ただし、ネットワークの構造や構成によって、システムがデバイス名を認識できない場合があります（プロキシサーバなどの場合）。よって、IPアドレスの使用を推奨します。

● https接続用の自己署名証明書

i デバイスは、https接続に自己署名証明書を使用しているため、現在のブラウザでは身元が確認できないという警告メッセージが表示されます。この場合、デバイス（サーバ）の自己署名証明書をクライアントのWindowsコンピュータにインポートします。

自己署名証明書をクライアントのWindowsコンピュータにインポートする前に、証明書を産業用PCからクライアントのWindowsコンピュータにコピーする必要があります。証明書は以下のディレクトリにあります。C:¥Program Files (x86)¥Beckhoff¥IPC-Diagnostics¥Certs（64ビットシステム）、C:¥Program Files¥Beckhoff¥IPC-Diagnostics¥Certs（32ビットシステム）

次に、以下の手順で自己署名証明書をクライアントのWindowsコンピュータにインポートします：

1. Windowsコンピュータでcertmgr.mscを起動する。
2. コンピュータアカウントに証明書スナップインを追加し、ローカルコンピュータの証明書を管理します。
3. 自己署名証明書をTrusted Root Certification Authorities > Certificatesにインポートします。

● 証明書の更新

i デバイスに新しいイメージをインストールする場合は、クライアントのWindowsコンピュータの証明書も更新する必要があります。

デフォルトでは、あらかじめアクセスデータが設定された状態で納品されます：

- ユーザ名：Administrator
- パスワード：1

デバイスマネージャのセキュリティウィザードは、初回起動後にこれらのアクセスデータを変更するよう促します。不正アクセスを防ぐため、この指示に従ってください。強力なパスワードの詳細は、第2章セキュリティ [▶ 6]を参照してください。

アクセスデータを変更が完了すると、ベッコフデバイスマネージャの最新ウェブインターフェースのホーム画面が表示されます：

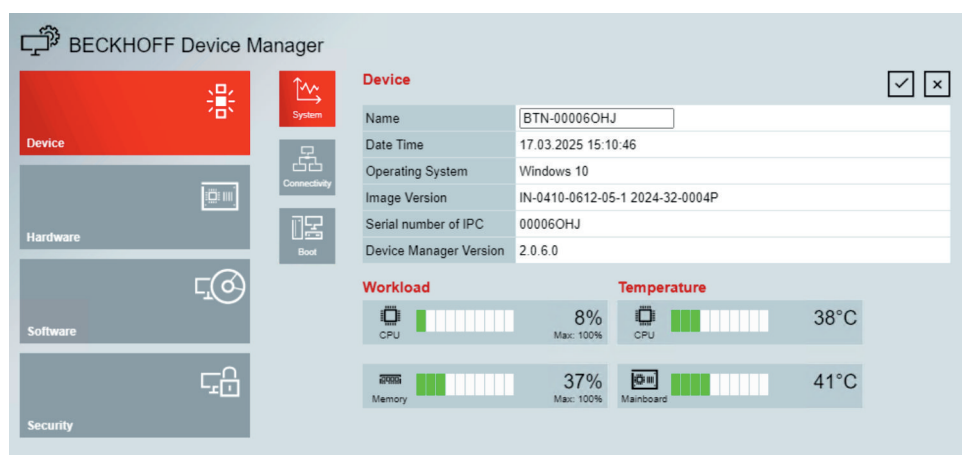


図 2: ベックホフデバイスマネージャのホーム画面

ホーム画面には、デバイスの概要が表示されます。ここからハードウェア、ソフトウェア、セキュリティの各セクションに直接アクセスできます。これにより、ハードウェアとソフトウェアに関する必要な情報を確認できます。

ホーム画面から、メニューに従って産業用PC、または組込み型PCの設定をします。変更内容は、変更が確定された場合にのみ有効になることに注意してください。必要に応じて、PCを再起動してください。

ウェブインターフェースの旧バージョン

上記のベックホフデバイスマネージャのウェブインターフェースは2015年末に導入されたため、最新イメージには最初からこのインターフェースが搭載されています。2015年末以前のイメージは、全て旧インターフェースを搭載しています。次のイメージは、旧ウェブインターフェースのホーム画面とソフトウェアメニュー項目を示したものです。MDPバージョン（最新であることを示す指標）を参考に掲載しています。

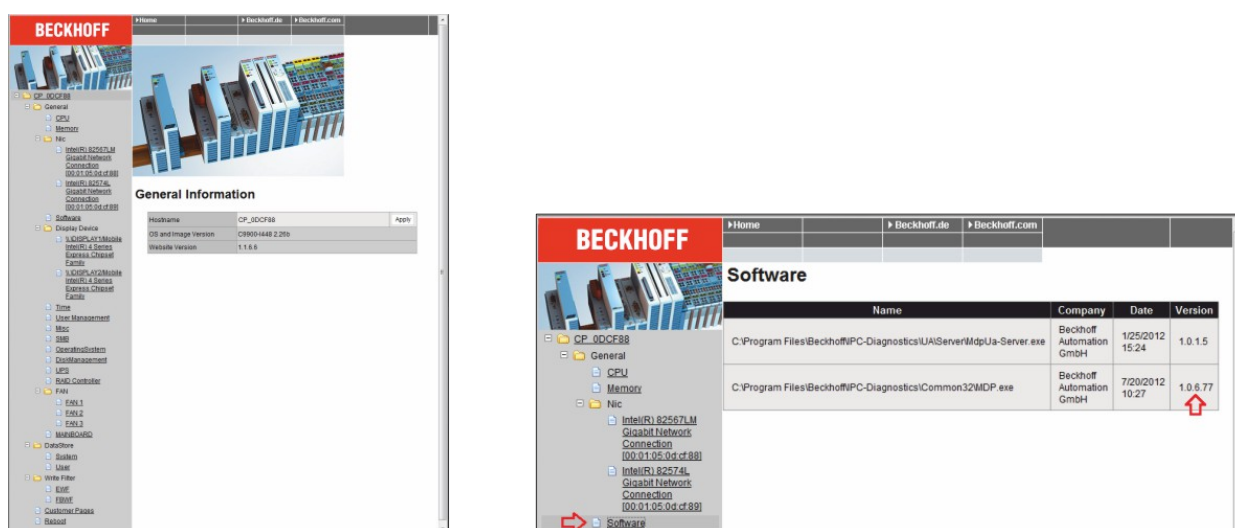


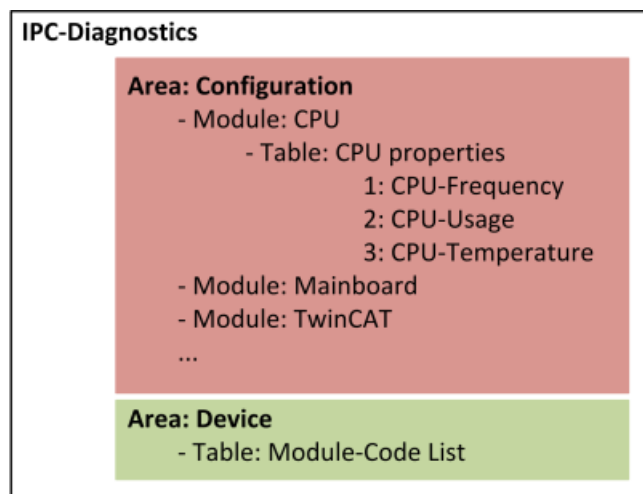
図 3: IPC診断の旧ウェブインターフェース

6 情報モデル

モジュール – ハードウェア情報およびソフトウェア情報の分類

ベッコフデバイスマネージャは、様々なハードウェアおよびソフトウェアのデータを、情報モデル内でモジュールとして分類します。

- モジュールは、さまざまなハードウェア情報およびソフトウェア情報を、CPU、メインボード、TwinCATなどの論理グループに分けて分類します。
- デバイスマネージャは、実際のハードウェアおよびソフトウェアに基づいてシステム起動時に自動的にモジュールを生成します。そのため、モジュールには動的アドレスはありますが静的アドレスはありません。動的アドレスは、デバイスマネージャの起動時に認識されたハードウェアおよびソフトウェアに基づいて割り当てられます。
- モジュールには各モジュールのハードウェア情報およびソフトウェア情報を論理サブグループに細分化するための複数のテーブルが含まれています。各モジュールには、モジュールの一般的な情報に関するヘッダーテーブルと、データテーブルが含まれます。ヘッダーテーブルとデータテーブルは各モジュールにそれぞれ少なくとも1つずつ含まれます。
- テーブル内の特定のエントリは、該当のサブインデックスによってアドレス指定されます。



デバイスマネージャ経由で特定のデータを読み出すために下記の情報が必要です。

- 必要な情報を含むテーブルの(動的)アドレス。テーブルは一意のアドレスによってアドレス指定できます。
- 目的の情報(例：CPU温度など)を表示するテーブル内のサブインデックス。

PLCプログラミングには、便利なファンクションブロックが使用できます。これにより簡単に必要なデータにアクセス可能です。(PLCプログラミングの例 [▶ 70]を参考にしてください)。PLCプログラミングの場合は、以下のアドレス指定に関する情報は不要です。

テーブルのアドレスを検索する

デバイスマネージャによって特定のハードウェア情報およびソフトウェア情報を読み出すには、関連テーブルのインデックスおよびサブインデックスに基づいて、情報モデル内の正確な位置を決定する必要があります。

インデックス：

テーブルのインデックスは16ビットで構成され、以下のように設定されています。

0x	a	nn	x
16進数表記	領域コード (4ビット)	モジュールID(8ビット)	テーブルID(4ビット)

領域コード (4ビット)：このアドレスが指定する領域 [▶ 17]を示しています。

モジュールID(8ビット):各モジュールの動的アドレスを認識し、システム起動時にデバイスマネージャによって自動的に生成されます。モジュールIDは、テーブル 0xF020 (デバイス領域)を照会することによって決定されます。

テーブルID (4ビット) :モジュール内のテーブルを示しています。

デバイス領域などのモジュールが何も含まれていない領域など、使用する領域によってはモジュールIDとテーブルIDが統合される場合があります。



サブインデックス :

必要な情報のサブインデックスは、使用可能なモジュールのリストで検索することができます (設定領域)。

目的の情報のサブインデックスを検索する

設定領域: 必要な情報のサブインデックスは、使用可能なモジュールのリストで検索することができます。

例

この例では、ネットワークカード(NIC)のIPアドレスを読み取るためにNICモジュールがアドレス指定されます。注意:デバイスマネージャモジュールは、実際に使用可能なハードウェアおよびソフトウェアに基づいて自動的に生成されます。デバイス領域のテーブル0xF020 [▶ 68]では、自動的に生成されたすべてのモジュールのリストを照会できます。このテーブルの各行は1つのモジュールを示し、個々のモジュールタイプが上位ワードに、動的に作成されたモジュールIDが下位ワードに示されています。テーブル 0xF020の内容は、下記の例のように示されます。

サブインデックス	値 上位/下位ワードプレフィックス	説明
0	5	この表でのエントリー数
1	0x 000C 0000	モジュール "メモリ"
2	0x 000B 0001	モジュール "CPU" (コア1)
3	0x 000B 0002	モジュール "CPU" (コア2)
4	0x 0002 0003	モジュール "NIC"

サブインデックス4に返される値は、上位ワードに示される検索されたモジュールタイプ "NIC" (0x0002)と下位ワードに示される動的モジュールID (0x0003) で構成されます。このリストは動的モジュールIDに基づいてソートされるため、動的モジュールIDは常にサブインデックスから1を引いた値に相当します。

インデックス全体は、上述のスキームに基づいて以下のように構成されます。

0x	a	nn	x
0x	8	03	1
	領域コード(この場合: 設定領域)	モジュールID(テーブル 0xF020の結果)	テーブル ID (1 = NICプロパティ)

結果としてネットワークカードのプロパティは、アドレス0x8031に保存されます。NICモジュールの仕様 [▶ 20]に従って、ネットワークカードのIPアドレスは、サブインデックス2のアドレス0x8031で読み取ることができます。戻り値は、定義されたデータタイプ [▶ 85]の1つに対応します。

6.1 領域

テーブルのアドレス指定では、ベッコフデバイスマネージャが異なる領域に分割されているため、どの領域にアドレスを指定するかが重要になります。

領域コード	名前	意味
0x1	一般領域	一般領域には、IPCの各種の一般的なデータが含まれています。
0x8	設定領域	この領域は、個々のモジュールと関連する情報が作成される場所です。
0xB	サービス転送領域	サービス転送領域はアクセス機能を提供します。
0xF	デバイス領域	この領域は、例えば、ハードウェアおよびソフトウェアにより、どのモジュールが起動時に自動的に検出されたかを示すために、IPC Diagnosticsが情報を入力する場所です。設定領域とは異なり、デバイス領域は下位モジュールで構成されず、個々のテーブルのみで構成されています。

テーブルのアドレス指定では、最初の4ビットは領域を表します(情報モデルの説明 [▶ 15]も参照してください)。

6.1.1 0x1000-0x1FFF – 一般領域

一般領域には、IPCの各種の一般的なデータが含まれています。

0x1000

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Device Typ (MDP ProfileID(0x1389) & SubProfileID(0x2710))	DWORD32	read-only

0x1008

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Device Name	VISIBLE STRING	read-write

デバイス名が無効である場合は、書き込みコマンドは、値 0xECA60106 (無効なデータ [▶ 85])で終了します。

有効なファイル名は、以下の要件を満たす必要があります。

- RFC952/1123規格に準拠
- 以下のプレフィックスはベッコフによって使用済みであるため、使用しないでください。
 - CX- または CX_
 - CP- または CP_
 - EK-
 - AX-

0x1009

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Hardware Version	VISIBLE STRING	constant

0x100A

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	OS and Image Version	VISIBLE STRING	constant

0x1018 - アイデンティティオブジェクト

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Vendor	UNSIGNED32	constant
02	VAR	Product Code(未サポート)	UNSIGNED32	constant
03	VAR	Revision Number(未サポート)	UNSIGNED32	constant
04	VAR	Serial Number (旧式) ¹	UNSIGNED32	constant

¹このパラメータは廃止。このパラメータは、新しいベッコフIPCデバイスではサポートされなくなりました。MDPデバイス領域 [▶ 68] のシリアル番号 (0xF9F0) のパラメータを使用します。

6.1.2 0x8000-0x8FFF – 設定領域

設定領域は、既存のMDPモジュールの設定データの読み取りおよび書き込みアクセスを有効にします。

以下のモジュールリストは、使用可能なモジュールを示しています。また、各モジュールがどのオペレーティングシステムで利用できないかも示しています。対応するデータは、テーブルの要素として示されています。各テーブルには固有のMDPインデックスがあります(情報モデル [▶ 15] を参照してください)。

注意: EtherCATポートやハードディスクなどのコンポーネントがシステム上に複数存在する場合、それぞれに個別のモジュールインスタンスが作成されます。

モジュールタイプの概要（タイプ番号別）

モジュール	タイプ番号	オペレーティングシステム（モジュールは使用できません）
NIC [▶ 20]	0x0002	
時間 [▶ 21]	0x0003	
ユーザ管理 [▶ 24]	0x0004	
RAS [▶ 26]	0x0005	TwinCAT/BSD
FTP	0x0006	TwinCAT/BSD
SMB [▶ 27]	0x0007	
TwinCAT [▶ 30]	0x0008	
ソフトウェア [▶ 32]	0x000A	
CPU [▶ 33]	0x000B	
メモリ [▶ 34]	0x000C	
ファイアウォール (WinCE) [▶ 34]	0x000E	
ファイルシステムオブジェクト [▶ 38]	0x0010	
表示デバイス [▶ 41]	0x0013	
EFW [▶ 42]	0x0014	TwinCAT/BSD
FBWF [▶ 44]	0x0015	TwinCAT/BSD
OS [▶ 47]	0x0018	
RAID [▶ 47]	0x0019	
ファン [▶ 50]	0x001B	
メインボード [▶ 51]	0x001C	
ディスク管理 [▶ 53]	0x001D	
UPS [▶ 54]	0x001E	
物理ドライブ(S.M.A.R.T.) [▶ 57]	0x001F	Windows CE/Windows Embedded Compact TwinCAT/BSD
マスのストレージモニタリング [▶ 59]	0x0020	Windows CE/Windows Embedded Compact
Unified Write Filter (UWF) [▶ 63]	0x0021	Windows CE/Windows Embedded Compact TwinCAT/BSD
IO [▶ 65]	0x0022	
Misc [▶ 66]	0x0100	

個々のモジュールは、以下のセクションで説明されています。各モジュールには、異なるMDP領域のアクセスオプションが含まれている場合があります。

6.1.2.1 0x0002 - NIC

0x8nn0 - モジュールヘッダ

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x0002 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	タイプ	NIC	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	Name	Adapter Name	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev type	0x0002 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1 - NICプロパティ



このコンポーネントがシステム上に複数存在する場合、それぞれに個別のモジュールインスタンスが作成されます。



これらの設定を変更するには、選択したイーサネット/EtherCATアダプタのネットワーク接続が有効である必要があります。アクティブなネットワーク接続がなければ、パラメータを（事前に）設定することはできません。

サブインデックス	タイプ	名前	要件	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	MAC Address		VISIBLE STRING	constant
02	VAR	IPv4 Address ¹		VISIBLE STRING	read-write
03	VAR	IPv4 Subnet Mask ¹		VISIBLE STRING	read-write
04	VAR	DHCP		BOOLEAN	read-write
05	VAR	IPv4 Default Gateway ^{1, 2}		VISIBLE STRING	read-write
06	VAR	IPv4 DNSサーバ	WinCEでは不可	VISIBLE STRING	read-write
07	VAR	Virtual Device Name	Windowsのみ	VISIBLE STRING	read-write
08	VAR	IPv4 DNS Servers Active	TC/BSDおよびTC/RTOSのみ	VISIBLE STRING	read

¹これはアクティブな現在値です。

WinCEでは、正しい値を得るために再起動が必要な場合があります。再起動を実行しないと、WinCEは以前の値をそのまま提供する場合があります。

² WinCE: DHCPステータスにより、「Read」操作には戻り値「DefaultGateway」または「DhcpDefaultGateway」が返されます。

0xBnn0 - IPリリース/更新アドレス(サービス転送オブジェクト)

入力データ	
タイプ	名前
UNSIGNED8	DummyByte

0xBnn1 - IP、サブネット、デフォルトゲートウェイの設定

入力データ	
タイプ	名前
UNSIGNED32	cbInputData ¹
UNSIGNED32	IpLen
UNSIGNED32	SubnetLen
UNSIGNED32	GatewayLen
char[IpLen]	szIP
char[SubnetLen]	szSubnet
char[GatewayLen]	szGateway

¹cbInputDataを含む全入力データのバイト数（InputDataテーブルの全値のサイズ）

6.1.2.2 0x0003 - 時間**0x8nn0 - モジュールヘッダ**

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x0003 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	タイプ	時間	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	名前	時間	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev type	0x0003 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1

サブインデックス	タイプ	名前	要件	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	SNTP Server ¹ : - タイムサーバの名前またはIPアドレス "NoSync" = 同期なし "NT5DS" = ドメインの階層設定を使用(Win32のみ-WinCEは不可) - 以下フラグを含むことも可: "NtpServer" msdnを参照 (Win32のみ-WinCEは不可)		VISIBLE STRING	read-write
02	VAR	SNTPリフレッシュ ¹ (秒単位) Windows CEの許容最小値は5秒です。		UNSIGNED32	read-write
03	VAR	1970年1月1日午前0時から の秒(現地時間)		UNSIGNED32	read-write
04	VAR	テキスト形式の日時表現(現地時間) (ISO 8601) YYYY-MM-DDThh:mm:ss.sTZD		VISIBLE STRING	read-write
05	VAR	Timezone-オブジェクト 0x8nn2に記載されている 現在アクティブなタイム ゾーンの0から始まるイン デックスです。オブジェクト 0x8nn2のサブインデック スは1から始まります。タ イムゾーンの情報を読み出 すには、"this value"+1の サブインデックスを照会す る必要があります。	TC/RTOSでは不可	UNSIGNED16	read-write
06	VAR	Time Offset-協定世界時 (UTC) に対する現在の現 地時間のオフセット (秒単 位) (15分 = 900秒単位のみサ ポート)	TC/RTOSのみ	SIGNED32	read-write

¹SNTPサーバおよびSNTPリフレッシュ: 変更を反映するには、システムを再起動する必要があります。

0x8nn2 - タイムゾーン

サブインデックス	タイプ	名前	要件	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Timezone (1 .. Len)	TC/RTOSでは不可	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn3 - タイムゾーン2

サブインデックス	タイプ	名前	要件	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Timezone (1 .. Len)	TC/RTOSでは不可	VISIBLE STRING	read-only

6.1.2.3 0x0004 - ユーザ管理

0x8nn0 - モジュールヘッダ

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x0004 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	タイプ	ユーザ管理	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	名前	ユーザ管理	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev type	0x0004 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1 - ユーザ名

ローカルユーザのリスト(ドメインユーザを除く)

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	name1 Len	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn2 - ドメイン

テーブル 0x8nn1 のユーザに対するドメイン名のリスト

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	name1 Len	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn3 - グループメンバーシップ *

リスト 0x8nn1 のユーザが所属するグループのコンマ区切りリスト。

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	GroupList 1 .. Len	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn4 - ローカルグループ *

すべてのローカルグループのリスト

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	GroupList 1 .. Len	VISIBLE STRING	read-only

サービス転送オブジェクト

0xBnn0 - ユーザ追加 (サービス転送オブジェクト)

入力データ	
タイプ	名前
UNSIGNED32	cbInputData
UNSIGNED32	NameLen
UNSIGNED32	Domain Len
UNSIGNED32	Password Len
char[Name Len]	szName
char[DomainLen]	szDomain
char[Password Len]	szPassword

出力データなし

0xBnn1 – ユーザ削除 (サービス転送オブジェクト)

入力データ	
タイプ	名前
UNSIGNED32	cbInputData
UNSIGNED32	NameLen
UNSIGNED32	Domain Len
char[Name Len]	szName
char[DomainLen]	szDomain

出力データなし

0xBnn3 – グループメンバシップ設定 (サービス転送オブジェクト) *

入力データ	
タイプ	名前
UNSIGNED32	cbInputData
UNSIGNED32	UserNameLen
UNSIGNED32	GroupNameLen
UNSIGNED32	DomainNameLen
BOOLEAN	IsMemberOfGroup
char[Name Len]	szUserName
char[Group Len]	szGroupName
char[DomainLen]	szDomainName

出力データなし

0xBnn4 – グループ作成 (サービス転送オブジェクト) *

入力データ	
タイプ	名前
UNSIGNED32	cbInputData
UNSIGNED32	GroupNameLen
UNSIGNED32	DomainNameLen
char[Name Len]	szGroupName
char[DomainLen]	szDomainName

出力データなし

0xBnn5 – グループ削除 (サービス転送オブジェクト) *

入力データ	
タイプ	名前
UNSIGNED32	cbInputData
UNSIGNED32	GroupNameLen
UNSIGNED32	DomainNameLen
char[Name Len]	szGroupName
char[DomainLen]	szDomainName

出力データなし

* MDP 1.0.5.xで使用可能

0xBnn6 – セキュアなパスワード設定 (サービス転送オブジェクト)

入力データ	
タイプ	名前
DWORD	cb
DWORD	cchName
DWORD	cchDomain
DWORD	cchPassword
DWORD]	cchPasswordNew
char[cchName]	szName
char[cchDomain]	szDomain
char[cchPassword]	szPassword
char[cchPasswordNew]	szPasswordNew

出力データなし

6.1.2.4 0x0005 - RAS (WinCE)



このモジュールはWindows CEで使用できます。



TwinCAT/BSD

この機能はTwinCAT/BSDでは使用できません。

0x8nn0 – モジュールヘッダ

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x0005 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	タイプ	RAS	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	名前	RAS	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev Type	0x0005 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1 - その他

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Enable	BOOLEAN	read-write
02	VAR	Slow Connection	BOOLEAN	read-write
03	VAR	Use DHCP	BOOLEAN	read-write
04	VAR	Use Auto Addresses	BOOLEAN	read-write
05	VAR	Static Ip Count	UNSIGNED32	read-write
06	VAR	Static Ip Start	VISIBLE STRING	read-write

0x8nn2 - ライン名

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Line 1 .. Len	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn3 - ライン有効化

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Enabled 1 Len	BOOLEAN	read-write

0x8nn4 - ユーザリスト

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Username 1 .. Len	VISIBLE STRING	read-only

サービス転送オブジェクト**0xBnn0 - ユーザ追加**

入力データ	
タイプ	名前
UNSIGNED32	cbUserName
VISIBLE STRING	UserName

0xBnn1 - ユーザ削除

入力データ	
タイプ	名前
UNSIGNED32	cbUserName
VISIBLE STRING	UserName

6.1.2.5 0x0007 - SMBサーバ**0x8nn0 - モジュールヘッダ**

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x0007 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	タイプ	SMB Server	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	名前	SMB Server	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev type	0x0007 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1 - SMB 共有名

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	name 1 Len	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn2- SMB パス名

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Path 1 .. Len	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn3- ユーザリスト

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Username 1 .. Len	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn4 - アクセス権

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Access right 1 .. Len	ARRAY [] OF UNSIGNED32	read-only

アクセス権

USER_DELETE 0 // deletes the specified user from the ACL

SHARE_READ 10 // grant read Access

SHARE_CHANGE 20 // grant change Access

SHARE_FULL -1 // grant full Access

WinCEでは、USER_DELETEおよびSHARE_FULLアクセスのみが設定できます。

サービス転送オブジェクト**0xBnn0 – 共有追加 (サービス転送オブジェクト)**

入力データ	
タイプ	名前
UNSIGNED32	cbInputData
UNSIGNED32	NameLen
UNSIGNED32	PathLen
char[NameLen]	szName
char[PathLen]	szPath

0xBnn1 – 共有削除 (サービス転送オブジェクト)

入力データ	
タイプ	名前
UNSIGNED32	NameLen
Char[NameLen]	ShareName

0xBnn2 – ユーザアクセス権設定 (サービス転送オブジェクト)

入力データ	
タイプ	名前
UNSIGNED32	ShareNameLen
UNSIGNED32	UserNameLen
UNSIGNED32	AccessRights
Char[NameLen]	ShareName
Char[NameLen]	UserName

6.1.2.6 0x0008 - TwinCAT

0x8nn0 – モジュールヘッダ

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x0008 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	タイプ	TwinCAT	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	名前	TwinCAT	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev type	0x0008 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1 – Tc その他

サブインデックス	タイプ	名前	要件	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Major Version		UNSIGNED16	read-only
02	VAR	Minor Version		UNSIGNED16	read-only
03	VAR	Build		UNSIGNED16	read-only
04	VAR	Ams Net ID ¹		VISIBLE STRING	read-write
05	VAR	Reg Level ²	TwinCAT 2のみ	UNSIGNED32	read-only
06	VAR	TwinCAT Status		UNSIGNED16	read-only
07	VAR	RunAsDevice	WindowsCEでのみ使用可能	UNSIGNED16	read-write
08	VAR	ShowTargetVisu	WindowsCEでのみ使用可能	UNSIGNED16	read-write
09	VAR	Log File size	WindowsCEでのみ使用可能	UNSIGNED32	read-write
10	VAR	Log File Path	WindowsCEでのみ使用可能	VISIBLE STRING	read-write
11	VAR	TwinCAT System ID	MDPバージョン 1.6 以上	VISIBLE STRING	read-only
12	VAR	TwinCAT Revision		UNSIGNED16	read-only
13	VAR	Seconds since last TwinCAT status change		UNSIGNED64	read-only

¹Ams Net IDを変更するには、コンピュータの再起動が必要です。

Ams Net IDを変更するには、TwinCATバージョン3.1.4020.0以降、IPC Diagnosticsバージョン1.0.9.25が必要です。

²Reg Level 0 =CP
 Reg Level 1 =I/O
 Reg Level 2 =PLC
 Reg Level 3 =NC-PTP
 Reg Level 4 =NCI

0x8nn2 - TwinCAT ルート名

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	name1 Len	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn3 - TwinCAT ルートアドレス

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Address1 .. Len	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn4 - TwinCAT ルートAMSアドレス

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	AMS1 .. Len	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn5 - TwinCAT ルートフラグ

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Flags1 .. Len	UNSIGNED32	read-only

0x8nn6 - TwinCAT ルートタイムアウト

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Timeout1 .. Len	UNSIGNED32	read-only

0x8nn7 - TwinCAT ルート転送

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Transport1 .. Len ¹	UNSIGNED16	read-only

¹タイプE_RouteTransportTypeの詳細については、ベッコフ インフォメーションシステムを参照してください。

0x8nn8 - TwinCAT ログファイル

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Logfile	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn9 - TwinCATルータ情報¹

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Router Memory Maximum	UNSIGNED64	read-only
02	VAR	Router Memory Available	UNSIGNED64	read-only
03	VAR	Registered Ports	UNSIGNED32	read-only
04	VAR	Registered Drivers	UNSIGNED32	read-only
05	VAR	Registered Transports	UNSIGNED32	read-only
06	VAR	Debug Window - Ads Loggerがアクティブの場合にTrue	BOOLEAN	read-only
07	VAR	Mailbox Size	UNSIGNED32	read-only
08	VAR	Mailbox Used Entries	UNSIGNED32	read-only

¹MDP1.0.10.3で使用可能

0x8nnA - TwinCATおよびOS拡張情報 TcOs¹

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01	VAR	TwinCAT Heap Memory Maximum - TcOsインスタンスで使用可能な最大メモリ	UNSIGNED64	read-only
02	VAR	TwinCAT Heap Memory Available - TcOsインスタンスの空きメモリ ²	UNSIGNED64	read-only

¹TC/RTOSのみサポート

²断片化されており、単一ブロックとして割り当てられない可能性が高い。

サービス転送オブジェクト

0xBnn0 – TwinCATルート追加 (サービス転送オブジェクト)

入力データ	
タイプ	名前
UNSIGNED32	cbInputData
UNSIGNED32	Flags
UNSIGNED32	Timeout
UNSIGNED16	Transport ¹
BYTE[6]	NetId
UNSIGNED32	Name Len
UNSIGNED32	Address Len
char[Name Len]	szName
char[Adresse Len]	szAddress

¹タイプE_RouteTransportTypeの詳細については、ベッコフ インフォメーションシステムを参照してください。

0xBnn1 – TwinCAT ルート削除 (サービス転送オブジェクト)

入力データ	
タイプ	名前
UNSIGNED32	NameLen
char[NameLen]	szName

6.1.2.7 0x000A - ソフトウェアバージョン

0x8nn0 – モジュールヘッダ

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x000A 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	タイプ	ソフトウェア	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	名前	ソフトウェア	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev type	0x000A 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1 - 名前

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Name 1 .. Len	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn2 - 会社

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Company 1 .. Len	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn3 - 日付

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Date 1 .. Len	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn4 - バージョン

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Version 1 .. Len	VISIBLE STRING	read-only

6.1.2.8 0x000B - CPU

このモジュールはCPU情報を提供します。



現在のバージョンはマルチコアシステムをサポートしていません。現在のCPU使用率（%）が平均値で表示されます。

0x8nn0 - モジュールヘッダ

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x000B 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	タイプ	CPU	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	名前	CPU0	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev type	0x000B 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1 - CPUプロパティ

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01	VAR	CPU 周波数	UNSIGNED32	constant
02	VAR	現在のCPU使用率 (%)	UNSIGNED16	read-only
03	VAR	現在のCPU温度 (°C) ¹	SIGNED16	read-only

¹ BIOS APIが必要です。システム要件 [▶ 11]を参照してください。

6.1.2.9 0x000C - メモリ

0x8nn0 – モジュールヘッダ

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x000C 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	Type	Memory	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	Name	Memory	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev type	0x000C 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1

サブインデックス	タイプ	名前	要件	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	割り当てられたプログラムメモリ ¹		UNSIGNED32	read-only
02	VAR	使用可能なプログラムメモリ ²		UNSIGNED32	read-only
03	VAR	割り当てられたストレージメモリ	WindowsCEでのみ使用可能	UNSIGNED32	read-only
04	VAR	使用可能なストレージメモリ	WindowsCEでのみ使用可能	UNSIGNED32	read-only
05	VAR	メモリ分割	WindowsCEでのみ使用可能	UNSIGNED32	read-write
06	VAR	割り当てられたプログラムメモリ ¹	MDPバージョン 1.7 以上	UNSIGNED64	read-only
07	VAR	使用可能なプログラムメモリ ²	MDPバージョン 1.7 以上	UNSIGNED64	read-only

¹4 GB以上のRAMを搭載したコンピュータでは、サブインデックス01 "Program Memory Allocated"は、Not Supportedを返します。代わりにサブインデックス06を使用してください。

²4 GB以上のRAMを搭載したコンピュータでは、サブインデックス02 "Program Memory Available" は、Not Supportedを返します。代わりにサブインデックス07を使用してください。

6.1.2.10 0x000E - ファイアウォール(WinCE)



このモジュールはOS固有の機能に基づいているため、すべてのデバイスで自動的にサポートされるとは限りません。このモジュールは、Windows CEとWindows Embedded Compactにのみ使用できます。

Windows CEファイアウォールの設定用モジュール。

テーブル0x8nn1には、一般的なファイアウォールの設定が含まれています。0x8nn2以降のテーブルには、ファイアウォールの規則が記述されています。

0x8nn0 – モジュールヘッダ

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x000E 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	Type	Firewall CE	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	Name	Firewall CE	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev type	0x000E 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1 – ファイアウォール設定

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Activate IPv4	BOOLEAN	read-write
02	VAR	Activate IPv6	BOOLEAN	read-write
03	VAR	Persist	BOOLEAN	read-write

0x8nn2 – フラグ

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Flags1 .. Len	UNSIGNED32	read-only

```
FWF_BLOCK = 01
FWF_ALLOW = 02
FWF_LOG = 04
FWF_INBOUND = 08
FWF_OUTBOUND = 16
FWF_DISABLED = 20
```

0x8nn3 – マスク

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Mask1 .. Len	ENUM	read-only

```
FWM_PRIVATE_HOST = 0x0001
FWM_PUBLIC_HOST = 0x0002
FWM_PORT = 0x0004
FWM_TYPE = 0x0008
FWM_CODE = 0x0010
FWM_PROTOCOL = 0x0020
FWM_ACTION = 0x0040
FWM_TIME_OF_DAY = 0x0080 (not supported)
FWM_DAY_OF_WEEK = 0x0100 (not supported)
FWM_DAY = 0x0200 (not supported)
FWM_MONTH = 0x0400 (not supported)
FWM_PUBLIC_HOST_MASK = 0x0800
FWM_PUBLIC_HOST_PREFIX = 0x1000
```

0x8nn4 – プライベートホスト

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	IP String 1 .. Len	VISIBLE STRING	read-only

フラグ(0x8nn2)にFWM_PRIVATE_HOSTが含まれている場合にのみ有効です。

0x8nn5 – パブリックホスト

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	IP String 1 .. Len	VISIBLE STRING	read-only

フラグ(0x8nn2)にFWM_PUBLIC_HOSTが含まれている場合にのみ有効です。内容はテキスト形式のIPv4またはIPv6アドレスです(0x8nn6に指定されているプロトコルタイプによる)。

0x8nn6 – パブリックホストマスク

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Mask1 .. Len	VISIBLE STRING	read-only

フラグ(0x8nn2)にFWM_PUBLIC_HOST_MASKが含まれている場合にのみ有効です。IPv4規則の場合、これはサブネットマスクを示します。IPv6規則の場合、これはプレフィックスの長さを示します。

0x8nn7 – プロトコル

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Protocol 1 Len	UNSIGNED32	read-only

フラグ(0x8nn2)にFWM_PROTOCOLが含まれている場合にのみ有効です。

0x8nn8 – アクション

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Action 1 .. Len	ENUM	read-only

BLOCK = 0x01 ALLOW = 0x02 ALLOW_RESPONSE = 0x03

0x8nn9 – ポート領域

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Protocol 1 Len	UNSIGNED32	read-only

フラグ(0x8nn2)にFWM_PORTが含まれている場合にのみ有効です。上位ワードがMax Port(最大ポート)を示し、下位ワードがMin Port(最小ポート)を示します。最大ポートは最小ポート以上である必要があります。

0x8nnA – タイプ & コード

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Protocol 1 .. Len	UNSIGNED16	read-only

上位バイトがコードで、下位バイトがタイプです。有効性は、フラグFWM_TYPE and FWM_CODE (0x8nn2)によって異なります。

0x8nnB – 説明

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Description 1 .. Len	VISIBLE STRING	read-only

0x8nnC – UID

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	UID 1 .. Len	UNSIGNED32	read-only

サービス転送オブジェクト**0xBnn0 – ルール追加 (サービス転送オブジェクト)**

入力データ	
タイプ	名前
UNSIGNED32	cbData
UNSIGNED32	Flags
UNSIGNED32	Mask
union { char szPrivateHost[8*5]; WORD family; };	FWF_PRIVATE_HOSTが設定されている場合、これはプライベートホストのIPアドレスを示します。それ以外の場合は、ルールが適用されるアドレスファミリー(AF_INETまたはAF_INET6)を示します。
Char[8*5]	Public Host IP
union { BYTE b[4]; UINT publicHostPrefixLength; };	FWM_PUBLIC_HOST_MASKが設定されている場合、これはIPv4アドレスのパブリックホストマスクを示します。FWM_PUBLIC_HOST_PREFIXが設定されている場合、これはIPv6アドレスのパブリックホストプレフィックスの長さを示します。
UNSIGNED32	Protocol
UNSIGNED32	Actions
UNSIGNED32	PortRange (HIWORD = max LOWORD = min)
UNSIGNED16	type & Code (HBYTE = code LOBYTE = type)
UNSIGNED32	DescriptionLen
char[DescriptionLen]	szDescription

0xBnn1 – ルール削除 (サービス転送オブジェクト)

入力データ	
タイプ	名前
UNSIGNED32	UID (変換テーブル8x8nnCから)

6.1.2.11 0x0010 - ファイルシステムオブジェクト

このモジュールは、サービス転送オブジェクトによってローカルファイルシステムへのアクセスを提供し、これによりディレクトリの参照とファイルへのアクセスが可能になります。

0x8nn0 - モジュールヘッダ

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x0010 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	Type	FSO	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	Name	FSO	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev type	0x0010 2710	UNSIGNED32	read-only

0xBnn0 - Dir サービス転送

このオブジェクトは、受け取ったディレクトリパスのすべてのファイルとサブディレクトを返します(ディレクトリの参照時など)。

パス指定には、「*」や「?」などのプレースホルダを含めることができます。文字列がプレースホルダやピリオド「.」、またはディレクトリ名で終わっている場合は、ユーザはそのパスのメインディレクトリとすべてのサブディレクトリへのアクセス権を持つ必要があります。

入力データ	
タイプ	名前
UNSIGNED32	cbsRootDir
VISIBLE STRING	sRootDir

出力データ	
タイプ	名前
UNSIGNED32	Version = 0
UNSIGNED32	cbData
UNSIGNED32	cDirs
UNSIGNED32	cFiles
UNSIGNED32	nOffsFirstDir //最初のDirectoryInfo構造体のオフセット
UNSIGNED32	nOffsFirstFile //最初のFileInfo構造体のオフセット

ディレクトリ情報	
タイプ	名前
UNSIGNED32	nOffsetNextDir
UNSIGNED32	cchName
Char[cchName]	szName

ファイル情報	
タイプ	名前
UNSIGNED32	nOffsetNextFile
SIGNED64	FileSize
UNSIGNED32	FileAttributes
UNSIGNED32	cchFilename
Char[cchFilename]	szName

0xBnn1 – GetFile サービス転送

ファイルからの読み取りまたはファイルへの書き込み用のサービス転送オブジェクト



この機能は出力データを提供します。出力データの上書きにつながるため、他のクライアントから並列してアクセスすることは避けてください。

複数の呼び出しによって、大きなファイルから読み取りや書き込みが可能になります。ファイル名を指定することによって最初にファイルが開き、次に継続ハンドルを指定するとtFileResponseが返されます。データセグメントの最大サイズは、パラメータcbMaxReadによって定義されます。

必ずファイル名または継続ハンドルのいずれか1つを指定する必要があります。この両方を同時に指定するか、または何も指定しないと、値E_INVALIDDATAが返されます。

入力データ		
タイプ	名前	意味
UNSIGNED32	cbFilename	ファイル名の文字の長さ
UNSIGNED32	Continuation handle	GetFile出力データによって返される継続ハンドルは、その後に続く読み取りアクセスで指定する必要があります。
UNSIGNED32	cbMaxRead	戻り値の最大サイズ。これは、読み取られるバイト数にOutputData構造体のサイズを加えた値です。この値は常にOutputData構造体のサイズより大きい必要があります。
Char[cbFilename]	Filename	読み取りのために開くパスおよびファイル名

出力データ		
タイプ	名前	意味
UNSIGNED32	cbData	読み取られたバイト数
UNSIGNED32	Continuation handle	読み取るデータがまだ残っている場合、この継続ハンドルがその後に続く読み取りアクセスで使用されます。
UNSIGNED32	bFinished	ファイルからさらにデータを読み出すことができるかどうかを示します。"True" = データの読み出しが完了し、それ以上データを読み出すことができません。 0 = false; それ以外 = true
BYTE[cbData]	data	読み取られるデータ用のメモリ領域

0xBnn2 - WriteFile サービス転送



この機能は出力データを提供します。出力データの上書きにつながるため、他のクライアントから並列してアクセスすることは避けてください。

入力データ		
タイプ	名前	意味
UNSIGNED32	cbFilename	ファイル名の文字の長さ
UNSIGNED32	Continuation handle	WriteFile出力データによって返される継続ハンドルは、その後に続く書き込みアクセスで指定する必要があります。
UNSIGNED32	cbData	書き込まれるバイト数
UNSIGNED32	bWriteCompleted	ファイルアクセスの完了を示します。If !=0、最後のアクセス後にファイルが閉じます。
Char[cbFilename]	Filename	ファイル名
BYTE[cbData]	data	書き込まれるデータ

出力データ		
タイプ	名前	意味
UNSIGNED32	Continuation handle	さらにデータをファイルに書き込むための継続ハンドル

0xBnn3 - CopyFile サービス転送

ソースファイルをターゲットにコピーまたは移動

入力データ		
タイプ	名前	意味
UNSIGNED32	cbSrc	ソースファイル名の長さ
UNSIGNED32	cbDst	ターゲットファイル名の長さ
UNSIGNED32	Flags	以下のフラグの1つまたは複数： 0x00000001 = ファイルをコピー （フラグが設定されていない場合、ファイルは移動される） 0x00000002 = 既存ファイルを上書き
Char[cbSource]	Source Filename	ソースファイルの完全パス
Char[cbDst]	宛先ファイル名	保存先ファイルの完全パス

0xBnn4 - DeleteFile サービス転送

ファイルまたはディレクトリを削除します。

入力データ		
タイプ	名前	意味
UNSIGNED32	cbFilename	ファイル名の長さ
UNSIGNED32	bRecurse	サブディレクトリを含むディレクトリ全体の削除（再帰的） 0 = false; それ以外 = true
Char[cbFilename]	Filename	ファイルまたはディレクトリへのパス

0xBnn5 - mkdir サービス転送

新しいディレクトリを作成

入力データ		
タイプ	名前	意味
UNSIGNED32	cbFilename	ディレクトリ名の長さ
UNSIGNED32	bRecurse	ディレクトリを再帰的に作成 0 = false; それ以外 = true
char[cbFilename]	Filename	新しいディレクトリ名

6.1.2.12 0x0013 - 表示デバイス

ディスプレイアダプタのプロパティ。複数のアダプタがインストールされている場合、各アダプタに対して1つのインスタンスがあります。

テーブル0x8nn2は、使用可能なすべての表示モードのリストであり、現在の表示モードはテーブル0x8nn1に示されます。

0x8nn0 – モジュールヘッダ

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x0013 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	タイプ	Display Device	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	名前	Device Name	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev type	0x0013 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1 – デバイス設定

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01	VAR	アクティブな表示モードのID	UNSIGNED8	read-write

0x8nn2 – 表示モード

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Mode	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn3 – 調光機能 ¹

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01	VAR	IsPrimaryDisplay	BOOLEAN	read-only
02	VAR	Com Port ²	VISIBLE STRING	read-write
03	VAR	バージョン	UNSIGNED32	read-only
04	VAR	Brightness ³	UNSIGNED32	read-write
05	VAR	Light ⁴	BOOLEAN	read-write

¹ 調光機能情報

調光機能はすべてのデバイスでサポートされていません。

Windows CEでは、調光機能はプライマリモニタでのみ使用可能です。構成された仮想COMポート (「COM4」など)に「Com Port」を設定する必要があります

システム要件:

Windows Embedded Standard (WES): MDPバージョン1.7以上

² COMポート情報

Windows Embedded Standard (WES): 「Com4」など

Windows CE: Windows CEでは、Comポートの最後にコロンを付ける必要があります(例「COM4:」)。

³ 輝度情報

有効値: 20~100 (20が最小輝度で100が最大輝度)

⁴ ライト情報

有効値: TRUE = バックライトON、FALSE = バックライトOFF

0xBnn0 – COMポート識別(サービス転送オブジェクト)⁵**入力データ**

タイプ	名前
UNSIGNED8	DummyByte

⁵ COMポート識別情報

COMポートの識別は、任意の値を設定することによって開始されます。呼び出しに成功すると、フィールド0xBnn3のサブインデックス2が設定されます。呼び出しに失敗すると、エラーコードが発行されます。

システム要件:

Windows Embedded Standard (WES): MDPバージョン1.7以上

Windows CE: 非サポート

0xBnn1 - 永続的な輝度の保存**入力データ**

タイプ	名前
UNSIGNED8	DummyByte

6.1.2.13 0x0014 - Enhanced Write Filter (EWF)**● システム要件**

このモジュールはOS固有の機能に基づいているため、すべてのデバイスで自動的にサポートされるとは限りません。

このモジュールには、OSとしてWindows Embedded Standard/バージョン(Windows XP Embeddedを含む)が必要です。

● TwinCAT/BSD

この機能はTwinCAT/BSDでは使用できません。

Windows Embedded Standardの "Enhanced Write Filters" (拡張書き込みフィルタ)の設定。

0x8nn0 – モジュールヘッダ

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x0014 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	タイプ	EFW	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	名前	EFW	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev Type	0x0014 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1 – ボリューム名

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01..Len	VAR	Volume Name	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn2 – ボリュームID

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01..Len	VAR	Volume ID	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn3 – 状態

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01..Len	VAR	State	UNSIGNED32	read-only

値:

0 = EWF_ENABLED
1 = EWF_DISABLED

0x8nn4 – タイプ

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01..Len	VAR	type	UNSIGNED32	read-only

値:

0 = EWF_DISK
1 = EWF_RAM
2 = EWF_RAM_REG

0x8nn5 – ブートコマンド

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01..Len	VAR	Boot command	UNSIGNED32	read-write

OUT Values

0 = No Command
1 = Enable
2 = Disable
3 = SetLevel
4 = Commit

IN Values

```

0 = ClearCommand
1 = EwfMgrEnable
2 = EwfMgrDisable without Commit
3 = EwfMgrDisable with Commit
4 = EwfMgrCommit

```

The values IN and OUT do not correspond!

サービス転送オブジェクト

0xBnn0 - EWF Commit と Disable Live*

入力データ	
タイプ	名前
CHAR	Volume Name

6.1.2.14 0x0015 - File Based Write Filter (FBWF)



システム要件

このモジュールはOS固有の機能に基づいているため、すべてのデバイスで自動的にサポートされるとは限りません。

このモジュールには、OSとしてWindows Embedded Standardバージョン(Windows XP Embeddedを含む)が必要です。



TwinCAT/BSD

この機能はTwinCAT/BSDでは使用できません。

Windows Embedded Standardの「ファイル ベース 書き込み フィルタ」の設定。

0x8nn0 - モジュールヘッダ

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x0015 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	タイプ	FBWF	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	名前	FBWF	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev type	0x0015 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1 - 現在の状態

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01	VAR	State	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	Compression	UNSIGNED32	read-only
03	VAR	PreAllocation	UNSIGNED32	read-only

0x8nn2 - 次の状態

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01	VAR	State	UNSIGNED32	read-write
02	VAR	Compression	UNSIGNED32	read-write
03	VAR	PreAllocation	UNSIGNED32	read-write

0x8nn3 - ボリューム

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01..Len	VAR	Volume	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn4 - 除外

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01..Len	VAR	一度に1つのボリュームでの除外(対応するボリュームについては0x8nn3を参照)。戻り値はマルチ文字列です。個々の各文字列はシングルヌルで終端し、マルチ文字列全体はダブルヌルで終端します。	VISIBLE STRING	read-only

サービス転送オブジェクト**0xBnn0 - FBWF Add Volume コマンドオブジェクト**

入力データ	
タイプ	名前
DWORD	cbData
DWORD	cbVolume
CHAR[cbVolume]	cVolume

0xBnn1 - FBWF Remove Volume コマンドオブジェクト

入力データ	
タイプ	名前
DWORD	cbData
DWORD	cbVolume
BOOL	bClearExclusion
CHAR[cbVolume]	cVolume

bClearExclusion: "TRUE" の場合、このボリュームの除外リストは削除されます。

0xBnn2 - FBWF Add Exclusion コマンドオブジェクト

入カデータ	
タイプ	名前
DWORD	cbData
DWORD	cbVolume
DWORD	cbFilePath
CHAR[cbVolume]	cVolume
CHAR[cbFilePath]	cFilePath

0xBnn3- FBWF Enum Exclusions コマンドオブジェクト

入カデータ	
タイプ	名前
DWORD	cbData
DWORD	cbVolume
DWORD	Index
CHAR[cbVolume]	cVolume
出カデータ	
タイプ	名前
DWORD	cbFilePath
CHAR[cbFilePath]	cFilePath

0xBnn4 - FBWF Remove Exclusion コマンドオブジェクト

入カデータ	
タイプ	名前
DWORD	cbData
DWORD	cbVolume
DWORD	cbFilePath
CHAR[cbVolume]	cVolume
CHAR[cbFilePath]	cFilePath

0xBnn5 - FBWF Commit File コマンドオブジェクト

入カデータ	
タイプ	名前
DWORD	cbData
DWORD	cbVolume
DWORD	cbFilePath
CHAR[cbVolume]	cVolume
CHAR[cbFilePath]	cFilePath

0xBnn6 - FBWF Commit All コマンドオブジェクト

入カデータ	
タイプ	名前
DWORD	cbData
DWORD	cbVolume
CHAR[cbVolume]	cVolume

* セキュリティ上の理由からサポートされていません

0xBnn7 - FBWF RestoreFile コマンドオブジェクト

入力データ	
タイプ	名前
DWORD	cbData
DWORD	cbVolume
DWORD	cbFilePath
CHAR[cbVolume]	cVolume
CHAR[cbFilePath]	cFilePath

システム要件

ドライバ	インストールされたFBWFドライバ
オペレーティングシステム	Windows Embedded (XPE, WES, WES7)

6.1.2.15 0x0018 - オペレーティングシステム(OS)

0x8nn0 - モジュールヘッダ

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x0018 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	タイプ	OS	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	名前	<OS Name>	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev type	0x0018 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01	VAR	OS Major Version	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	OS Minor Version	UNSIGNED32	read-only
03	VAR	OS Build	UNSIGNED32	read-only
04	VAR	CSD Version	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn2

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
01	VAR	Uptime (秒)	UNSIGNED64	read-only

システム要件

MDP	バージョン1.3.42以上
-----	---------------

6.1.2.16 0x0019 - RAID

このモジュールは、RAIDハードディスクアレイの物理コンポーネントの管理とチェックに使用します。

0x8nn0 – モジュールヘッダ

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x0019 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	Type	RAID Controller	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	Name	SCSI Number	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev type	0x0019 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1 – コントローラ情報

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01	VAR	State	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	オフラインの理由	UNSIGNED32	read-only
状態情報				
1 = GOOD => 正常動作。 2 = FAILED => コントローラがエラーを通知。この状態ではコントローラへの読み取りまたは書き込みアクセスを回避してください。 3 = OFFLINE => コントローラは遷移モードで、現在アクセスできません。 この状態ではコントローラへの読み取りまたは書き込みアクセスを回避してください。 4 = POWEROFF => コントローラは現在オフになっています。(この状態の前にエラーが発生している可能性があります)。				
オフラインの理由に関する情報				
0 = NO_REASON => 理由は不明です。 1 = INITIALIZING => ドライバはコントローラによって初期化中です。 2 = BUS_DEGRADED => SASまたはSATAドメインへの物理インターフェースが正しく動作していません(散発的なエラーです)。 3 = BUS_FAILURE => SASまたはSATAドメインへの物理インターフェースが動作していません。				

0x8nn2 - RAID セット : タイプ

テーブル0x8nn2、0x8nn3および0x8nn4は相互接続されています。各テーブルには、既存のRAIDセットに関する情報が含まれています。同じインデックスは、同じRAIDセットを参照します。

例: 3つのすべてのテーブルのインデックス1には、同じRAIDセットに関する詳細情報が含まれています。

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01..Len	VAR	Type	UNSIGNED8	read-only
タイプ情報				
0 = RAIDなし 1 = RAID タイプ 0 2 = Raid タイプ 1 3 = RAID タイプ 10 4 = Raid タイプ 5 5 = Raid タイプ 15 255 = 標準タイプ以外のRAIDタイプ				

0x8nn3 - RAID セット : 状態と情報

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01..Len	VAR	状態と情報	UNSIGNED16	read-only
状態 = 下位バイト				
0 = OK => インジケータ : RAIDセットは動作可能な状態です。 1 = DEGRADED => インジケータ : RAIDセットが耐欠陥モードで動作しなくなりました。 2 = REBUILDING => インジケータ : RAIDセットは復元中です。これは動作が劣化した後に起こります。リビルドが正常に完了すると、ステータスはOKに設定されます。リビルドに失敗するとステータスは次のように更新されます。 3 = FAILED => インジケータ : RAIDセットに障害が発生しています。RAIDセットの機能は保証されません。データの損失が差し迫っているか、既に損失しています。				
情報 = 上位バイト				
state == OK: Infoは0です。 state == DEGRADED: Infoには故障したハードディスクのインデックスが含まれます。 ¹ state == REBUILDING: Infoには復元のパーセンテージ値が含まれます。値は0~100 (0x0~0x64) の範囲内です。 state == FAILED : 情報は0またはベンダー固有の値です。メーカー固有のコードには、ハードディスクまたはコントローラのエラーメッセージが含まれる場合があります。				

¹未サポート**0x8nn4 - RAID セット : ハードディスク**

これは、現在のシステム構成のすべてのRAIDセットのリストです。各行には、特定数のハードディスクが含まれています。この値の1バイトは、0x8nn9 / 0x8nnA リストのインデックスを表します。詳細情報については、0x8nn9 および 0x8nnA テーブルを参照してください。最大値は255です。

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01..Len	VAR	ハードディスク	ARRAY [] OF UNSIGNED8	read-only

0x8nn5 - 0x8nn8 : 予約済み**0x8nn9 - ハードディスク : シリアル番号**

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01..Len	VAR	Serial Number	VISIBLE STRING	read-only
Serial Number				
最大40バイト				

0x8nnA - ハードディスク : 状態

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01..Len	VAR	State	UNSIGNED8	read-only
State				
0 = OK => インジケータ : 物理ハードディスクは動作中です。				
1 = REBUILDING => インジケータ : 物理ハードディスクはRAIDセット構成の一部です。				
ビルドが正常に完了するとすぐに、状態はOKに変わります。				
(再)構成が失敗すると、状態はそれに応じて更新されます。 ¹				
2 = FAILED => インジケータ : 物理ハードディスクがコントローラに回復不可能なエラーを報告したか、コントローラがメーカー固有のアクションを開始し、物理ハードディスクをRAIDセットから削除しました。				
ハードディスクの動作が保証できない、データ損失が迫っているか、すでに損失している可能性があります。				
3 = DEGRADED => インジケータ : 物理ハードディスクがコントローラにSMARTメッセージを送信しました。				

¹ 未サポート

システム要件

OS	XPE, WES, WES 7 XP, Windows 7, Windows 10
RAIDドライバ	IMSM 7.0 PV以上

6.1.2.17 0x001B - ファン

情報を入手可能な各ファンは、専用のMDPモジュールによって表示されます(これは全てのデバイスでサポートされていません)。

0x8nn0 - モジュールヘッダ

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x001b 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	Type	Fan	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	Name	Adapter Name	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev type	0x001b 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1 - ファンのプロパティ

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Fan speed(rpm)	SIGNED16	read-only

6.1.2.18 0x001C - メインボード



システム要件

このモジュールは、専用のBIOSを必要とするため、すべてのデバイスではサポートされていません。

ご使用のデバイスがこのモジュールをサポートしていない場合、プログラムはエラーコードの概要 [▶ 86] 0xECA60105 ("No data available")を発行します。

以下も参照してください。システム要件 [▶ 11]

このモジュールはメインボードの情報を提供します。

0x8nn0 - モジュールヘッダ

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x001C 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	タイプ	メインボード	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	Name	Mainboard	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev type	0x001C 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1 - メインボード情報

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Mainboard Type	VISIBLE STRING	read-only
02	VAR	Serial Number	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	Production Date	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Boot Count	UNSIGNED32	read-only
05	VAR	Operating Time(分単位)	UNSIGNED32	read-only
06	VAR	Min Board Temperature(°C) ¹	SIGNED32	read-only
07	VAR	Max Board Temperature(°C) ¹	SIGNED32	read-only
08	VAR	Min Input Voltage (mV) ¹	SIGNED32	read-only
09	VAR	Max Input Voltage (mV) ¹	SIGNED32	read-only
10	VAR	Mainboard Temperature (°C) ¹	SIGNED16	read-only

¹ BIOS APIが必要です。システム要件 [▶ 11]を参照してください。

製造日の情報	
YYYY-MM-DD-ww (年-月-日-カレンダー週番号)	使用しない場合は、いずれの値も0にできます。
最小ボード温度の情報	最低測定温度
最大ボード温度の情報	最高測定温度
最小入力電圧の情報	最低測定電圧
最大入力電圧の情報	最高測定電圧

0x8nn2 - バージョン情報

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Mainboard revision	UNSIGNED8	read-only
02	VAR	Bios Major Version	UNSIGNED8	read-only
03	VAR	Bios Minor Version	UNSIGNED8	read-only
04	VAR	Bios Version	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn3 - 電圧情報

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01..Len	VAR	Name	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn4 - 電圧情報

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01..Len	VAR	Location	SIGNED16	read-only
Location Info				
00 = LOCATION_UNKNOWN 01 = LOCATION_OTHER 02 = LOCATION_PROCESSOR 03 = LOCATION_DISK 04 = LOCATION_SYSTEM_MANAGEMENT_MODULE 05 = LOCATION_MOTHERBOARD 06 = LOCATION_MEMORY_MODULE 07 = LOCATION_POWER_SUPPLY 08 = LOCATION_ADDIN_CARD 09 = LOCATION_FRONT_PANEL_BOARD 10 = LOCATION_BACK_PANEL_BOARD 11 = LOCATION_PERIPHERY 12 = LOCATION_CHASSIS 13 = LOCATION_BATTERY ¹⁾ 14 = LOCATION_UPS 15 = LOCATION_GRAPHIC_BOARD 16 = LOCATION_SUPERIO 17 = LOCATION_CHIPSET 18 = LOCATION_PWRCTRL				

¹⁾スーパーIOチップが必要 産業用PCマニュアルまたは組込み型PCマニュアルを参照して、マザーボードまたはデバイスにスーパーIOチップが搭載されているか確認してください。

スーパーIOチップ搭載の組込み型PC:

CX20x0 (CX2020/CX2030/CX2040)

CX20x2 (CX2042/CX2062/CX2072)

CX50x0 (CX5010/CX5020)

CX52x0 (CX5230/CX5240)

0x8nn5 - 電圧情報

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01..Len	VAR	Voltage(mV)	SIGNED16	read-only

0x8nn6 - 電圧情報

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01..Len	VAR	Nominal Voltage (mV)	SIGNED16	read-only

6.1.2.19 0x001D - ディスク管理

マウントされている論理ボリュームのリスト



このコンポーネントがシステム上に複数存在する場合、それぞれに個別のモジュールインスタンスが作成されます。

0x8nn0 - モジュールヘッダ

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x001d 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	Type	DiskManagement	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	Name	DiskManagement	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev type	0x001d 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1 - ドライブレター

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Drive letter (1 .. Len)	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn2 - ボリュームラベル

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Volume Label (1 .. Len)	VISIBLE STRING	read/ write*

* WinCEでは書き込みはサポートされていません。

0x8nn3 - ファイルシステム

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Filesystem name (1 .. Len)	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn4 – ドライブタイプ

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Drive type (1 .. Len)	UNSIGNED32	read-only

```
DRV_UNKNOWN = 0,
```

```
DRV_FIXED = 1,
```

```
DRV_REMOVABLE= 2,
```

```
DRV_CDROM = 4
```

0x8nn5 - 合計サイズ(バイト)

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Volume size (1 .. Len)	UNSIGNED64	read-only

0x8nn6 - 空きスペース(バイト)

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Free space (1 .. Len)	UNSIGNED64	read-only

6.1.2.20 0x001E - UPS

このモジュールはすべてのデバイスでサポートされていません。

UPS（無停電電源装置）

このモジュールはUPS情報を提供します。

0x8nn0 - モジュールヘッダ

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x001E 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	Type	UPS	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	Name	UPS	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev type	0x001E 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1 - UPS情報

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01	VAR	UPS Model	VISIBLE STRING	read-only
02	VAR	Vendor Name	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	Version	UNSIGNED8	read-only
04	VAR	Revision	UNSIGNED8	read-only
05	VAR	Build	UNSIGNED16	read-only
06	VAR	Serial Number	VISIBLE STRING	read-only
07	VAR	Power-Status	UNSIGNED8	read-only
08	VAR	Communication Status	UNSIGNED8	read-only
09	VAR	Battery Status	UNSIGNED8	read-only
10	VAR	Battery Capacity (%)	UNSIGNED8	read-only
11	VAR	Battery Runtime (秒)	UNSIGNED32	read-only
12	VAR	Persistent Power Fail Count	BOOLEAN	read-only
13	VAR	Power Fail Counter	UNSIGNED32	read-only
14	VAR	Fan Error	BOOLEAN	read-only
15	VAR	No Battery	BOOLEAN	read-only
16	VAR	Test Capacity	BOOLEAN	write-only
17	VAR	Battery Replace Date	VISIBLE STRING	read-only
18	VAR	Interval Service Status	BOOLEAN	read-only
互換性リスト		S-UPS		24V Beckhoff UPS/ 230V Beckhoff UPS
UPS Model		x		x
Vendor Name		x		x
バージョン		x		x
Revision		x		x
Build		x		x
Serial Number				x
Power-Status		x		x
Communication Status				x
Battery Status				x
Battery Capacity (%)		x		x
Battery Runtime (秒)		x		x
Persistent Power Fail Counter		x		x
Power Fail Counter		x		x
Fan Error				x
No Battery				x
Test Capacity		x		
Battery Replace Date				x
Interval Service Status				x
UPSモデル情報				
1 = SUPS				
2 = 24V Beckhoff UPSおよびAPC 230V UPS				

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
電源ステータス情報				
0 = UNKNOWN 1 = ONLINE 2 = ONBATTERIES				
通信ステータス情報				
0 = UNKNOWN 1 = OK 2 = ERROR				
バッテリステータス情報				
0 = UNKNOWN 1 = OK 2 = CHANGE BATTERY				

リセットされない停電カウンタの情報				
TRUE = 停電カウンタがリセットされずに保存される FALSE = 停電カウンタが再起動のたびにリセットされる				
テスト容量の情報				
「TestCapacity」は「Battery Runtime (in seconds)」を更新します。値を書き込みテストを開始します。コンピュータを主電源から切断し、コンピュータの電源がオフになるまで待ちます。コンピュータを起動し、「Battery Runtime (in seconds)」を読み取ります。				
バッテリー交換日の情報				
前回のバッテリー交換日。				
サービス間隔ステータス情報				
サービス間隔ステータスは、設定されたサービス間隔が経過しているかどうかを示します。				

0x8nn2 - UPS GPIOのピン情報

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	UNSIGNED16	read-only
02	VAR	Offset	UNSIGNED8	read-only
03	VAR	Params	UNSIGNED8	read-only
Compatibility List		S-UPS	24V Beckhoff UPS/ 230V Beckhoff UPS	
Address		x		
Offset		x		
Params		x		

システム要件

MDP	バージョン1.6以上
-----	------------

6.1.2.21 0x001F - 物理ドライブ(S.M.A.R.T.)



このモジュールは、大容量ストレージのモニタリングモジュールとともにオーバーホールされました。ベッコフでは、大容量ストレージのモニタリングモジュール [▶ 59]の使用を推奨しています。



Windows CE / Windows Embedded Compact

この機能は、Windows CE / Windows Embedded Compactでは使用できません。



このコンポーネントがシステム上に複数存在する場合、それぞれに個別のモジュールインスタンスが作成されます。



TwinCAT/BSD

この機能はTwinCAT/BSDでは使用できません。

Self-Monitoring, Analysis and Reporting Technology (SMARTまたは**S.M.A.R.T.**)は、コンピュータのハードディスクに組み込まれている業界標準です。重要なパラメータの恒久的なモニタリングを可能にし、それによって差し迫った不具合を早期に特定することが可能になります。ベッコフIPCの診断機能は、これらのパラメータへのアクセスを可能にします。

0x8nn0 - モジュールヘッダ

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x001f 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	Type	PhysicalDrive	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	Name	Serial number of drive	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev type	0x001f 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1 - ドライブのプロパティ

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Index	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	Caption	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	Logical Partitions (カンマ区切りリスト)	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Partition Count	UNSIGNED32	read-only
05	VAR	Total Cylinders	UNSIGNED64	read-only
06	VAR	Total Heads	UNSIGNED32	read-only
07	VAR	Total Sectors	UNSIGNED64	read-only
08	VAR	Total Tracks	UNSIGNED64	read-only

0x8nn2 - S.M.A.R.T. 属性ID

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	属性ID	UNSIGNED8	read-only

0x8nn3 - S.M.A.R.T. ステータスフラグ

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Status Flag	UNSIGNED16	read-only

0x8nn4 - S.M.A.R.T. 現在値

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Current Value	UNSIGNED8	read-only

0x8nn5 - S.M.A.R.T. 最悪値

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Worst Value	UNSIGNED8	read-only

0x8nn6 - S.M.A.R.T. ローデータ

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Raw Data	ARRAY[0..5] OF UNSIGNED8	read-only

0x8nn7 - S.M.A.R.T. しきい値

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Threshold	UNSIGNED8	read-only

6.1.2.22 0x0020 - マスストレージモニタリング**● Windows CE / Windows Embedded Compact**

i この機能は、Windows CE / Windows Embedded Compactでは使用できません。

ドライブに関する情報は、テーブル0x8nn1~0x8nnFの各行に一行ずつマッピングされています。例えば、シリアル番号は同じドライブに属するテーブル0x8nn1の2行目に、ドライブ名はテーブル0x8nn4の2行目にマッピングされています。

● 位置オフセット

i テーブル内でのドライブの位置は、動作中にコンピュータに接続または切断された場合にはシフトできます。したがって、行 (n) のドライブを識別するために、テーブル0x8nn1のシリアル番号に基づいて常にチェックする必要があります。

- ドライブ (n) がサポートされていないデータストレージデバイスである場合は、テーブル0x8nn4~0x8nnFにはエラーメッセージ0xECA61000 "Not Supported"が含まれています。
- テーブル0x8nn6~0x8nnBには、フラッシュドライブメディアに関する情報だけが含まれています。ドライブ(n)がハードディスク(DriveType=1)である場合には、これらのテーブルの行(n)にはエラーメッセージ0xECAF0701 "Flashdrive data not available"が含まれています。
- テーブル0x8nnC~0x8nnFには、ハードディスク(回転型データストレージメディア)に関する情報だけが含まれています。ドライブ(n)がハードディスク((DriveType > 1)である場合には、これらのテーブルの行(n)にはエラーメッセージ0xECAF0702 "Hard disk data not available"が含まれています。

0x8nn0 - モジュールヘッダ

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x0020 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	Type	MassStorageMonitoring	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	Name	MassStorageMonitoring	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev type	0x0020 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1 - シリアル番号

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Serial number of drive (1.. Len)	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn2 - SATAポート

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	SATA Port of drive (1.. Len)	UNSIGNED8	read-only

0x8nn3 - パーティションレター

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Partition-letter(s) of drive (1.. Len)	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn4 - ドライブ名

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	DriveName of drive (1.. Len)	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn5 - ドライブタイプ

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	DriveType of drive (1.. Len)	UNSIGNED8	read-only

(0=不明、1=ハードディスク、2=2.5インチSSD、3=CFast、4=CF、5=M.2 SATA SSD、6=M.2 NVMe SSD)

Flashdrive SMARTの情報**0x8nn6 - 平均カウントの消去**

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	EraseCountAverage of drive (1.. Len)	UNSIGNED64	read-only

0x8nn7 - 指定カウントの消去

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	EraseCountSpecified of drive (1.. Len)	UNSIGNED64	read-only

0x8nn8 - 残り周期パーセントの消去

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	EraseCyclesLeftPercent of drive (1.. Len)	SIGNED16	read-only

0x8nn9 - 残りの予備ブロック

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	SpareBlocksRemaining of drive (1.. Len)	UNSIGNED64	read-only

0x8nnA - 予備ブロックの初期化

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	SpareBlocksInitial of drive (1.. Len)	UNSIGNED64	read-only

0x8nnB - 予備ブロック残りパーセント

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	SpareBlocksLeftPercent of drive (1.. Len)	SIGNED16	read-only

ハードディスクSMARTの情報**0x8nnC - 再割り当てされたセクタ**

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	ReallocatedSectors of drive (1.. Len)	UNSIGNED64	read-only

0x8nnD - スピンリトライ

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	SpinRetries of drive (1.. Len)	UNSIGNED64	read-only

0x8nnE - 保留中セクタ

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	PendingSectors of drive (1..n Len)	UNSIGNED64	read-only

0x8nnF - UltraDmaCrcエラー

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	UltraDmaCrcErrors of drive (1.. Len)	UNSIGNED64	read-only

6.1.2.23 0x0021 - Unified Write Filter (UWF)



Windows CE / Windows Embedded Compact

この機能は、Windows CE / Windows Embedded Compactでは使用できません。



このコンポーネントはMDPバージョン1.0.9.25から利用可能です。
使用にはイメージ内のBkWritefilterDII.dIIが必要です。



TwinCAT/BSD

この機能はTwinCAT/BSDでは使用できません。

0x8nn0 - モジュールヘッダ

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x0021 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	Type	UWF	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	Name	UWF	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev type	0x0021 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1 - 現在の状態

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01	VAR	State	BOOLEAN	read-only
02	VAR	Overlay Mode	UNSIGNED32	read-only
03	VAR	Overlay Size [MB]	UNSIGNED32	read-only

Overlay Mode（オーバーレイモード）：0 = RAM、1 = ディスク

0x8nn2 - 次の状態

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01	VAR	State	BOOLEAN	read-write
02	VAR	Overlay Mode	UNSIGNED32	read-write
03	VAR	Overlay Size [MB]	UNSIGNED32	read-write

Overlay Mode（オーバーレイモード）：0 = RAM、1 = ディスク

0x8nn3 - ボリューム

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01..Len	VAR	Volume	VISIBLE STRING	read-only

0x8nn4 - ボリューム保護の現在の状態

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01..Len	VAR	Volume protection state	BOOLEAN	read-only

0x8nn5 - ボリューム保護の次の状態

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01..Len	VAR	Volume protection state	BOOLEAN	read-only

0x8nn6 - 除外

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01..Len	VAR	一度に1つのボリュームでの除外(対応するボリュームについては0x8nn3を参照)。戻り値はマルチ文字列です。個々の各文字列はシングルヌルで終端し、マルチ文字列全体はダブルヌルで終端します。	VISIBLE STRING	read-only

サービス転送オブジェクト**0xBnn0 - UWFボリューム保護**

入力データ	
タイプ	名前
DWORD	cbData
DWORD	cbVolume
CHAR[cbVolume]	cVolume

0xBnn1 - UWF ボリューム保護解除

入力データ	
タイプ	名前
DWORD	cbData
DWORD	cbVolume
CHAR[cbVolume]	cVolume

0xBnn2 - UWF 除外の追加

入力データ	
タイプ	名前
DWORD	cbData
DWORD	cbVolume
DWORD	cbFilePath
CHAR[cbVolume]	cVolume
CHAR[cbFilePath]	cFilePath

0xBnn3- UWF Enum Exclusions コマンドオブジェクト*

入カデータ	
タイプ	名前
DWORD	cbData
DWORD	cbVolume
DWORD	Index
CHAR[cbVolume]	cVolume
出カデータ	
タイプ	名前
DWORD	cbFilePath
CHAR[cbFilePath]	cFilePath

0xBnn4 - UWF 除外の削除

入カデータ	
タイプ	名前
DWORD	cbData
DWORD	cbVolume
DWORD	cbFilePath
CHAR[cbVolume]	cVolume
CHAR[cbFilePath]	cFilePath

0xBnn5 - UWF Commit File コマンドオブジェクト*

入カデータ	
タイプ	名前
DWORD	cbData
DWORD	cbVolume
DWORD	cbFilePath
CHAR[cbVolume]	cVolume
CHAR[cbFilePath]	cFilePath

0xBnn6 - UWF Commit File 削除コマンドオブジェクト

入カデータ	
タイプ	名前
DWORD	cbData
DWORD	cbVolume
DWORD	cbFilePath
CHAR[cbVolume]	cVolume
CHAR[cbFilePath]	cFilePath

6.1.2.24 0x0022 - IO**0x8nn1 - オンボード EtherCAT P**

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read
01	VAR	Us state	BOOL	read-write
02	VAR	Us default	BOOL	read-write
03	VAR	Up state	BOOL	read-write
04	VAR	Up default	BOOL	read-write

6.1.2.25 0x0100 - Miscellaneous

このモジュールは、残りの情報をプールします。

0x8nn0 – モジュールヘッダ

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len		UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Address	0x0100 00nn	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	Type	Misc	VISIBLE STRING	read-only
03	VAR	Name	Misc	VISIBLE STRING	read-only
04	VAR	Dev type	0x0100 2710	UNSIGNED32	read-only

0x8nn1

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01	VAR	起動Numlock状態。 システム起動時の Numlockキーの状態	BOOLEAN	read-write
02	VAR	CEリモート表示状態 は、クライアントが CERHost経由で接続 されているかどうか を示します。MDP 1.6.x以降 (WinCEのみ)	BOOLEAN	read only
03	VAR	CE Remote Display Enabled (WinCEのみ)	BOOLEAN	read-write
04	VAR	SecurityWizardEna bled	BOOLEAN	read-write
05	VAR	AutoLogonUser	VISIBLE STRING	read-only
06	VAR	AutoGenerateCerti ficates	BOOLEAN	read-write

サービス転送オブジェクト

0xBnn0 - 出荷時設定に復旧(サービス転送オブジェクト)(Windows CEのみで使用可能)

入力データ	
タイプ	名前
UNSIGNED8	DummyByte

0xBnn1 – Reboot (サービス転送オブジェクト)

入力データ	
タイプ	名前
UNSIGNED8	DummyByte

0xBnn2 - SetAutoLogon (サービス転送オブジェクト) (BigWindows のみ)

入力データ	
タイプ	名前
DWORD	cb
DWORD	cchUsername
DWORD	cchDomain
DWORD	cchPassword
BOOLEAN	bAutoLogon
char[cchUsername]	szUsername
char[cchDomain]	szDomain
char[cchPassword]	szPassword

6.1.3 0xB000-0xBFFF – サービス転送領域

サービス転送領域はアクセス機能を提供します。そのためこの操作は、設定領域のデータとは異なります。操作は非同期的に開始されて処理されます。

モジュールの説明にはサービス転送領域に関するテーブルが含まれています。操作には、InputDataテーブルに示される入力パラメータとOutputDataテーブルに示される出力パラメータが含まれる場合があります。

以下のことは、サービス転送領域のすべてのインデックスに適用されます。

サブインデックス	名前	アクセス
00	Len (常に4)	read-only
01	トリガ/書き込みデータ	書き込み専用
02	動作ステータス	read-only
03	動作ステータスと読み取りデータ	read-only

サブインデックス01

入力データの書き込みによってアクションを開始します。このトリガには、サブインデックス01が使用されます。すべての変数が1つのデータブロックで送信されます。

サブインデックス02

いったん操作が開始すると、ステータスがサブインデックス02で照会できるようになります。

ステータス値 [BYTE]	説明
0	エラーなし; データは使用不可
1	エラーなし; データは使用可能
2	エラー; データは使用不可
3	エラー; データは使用可能(4バイト MDPエラーコード [▶ 85])
100 ... 200	ビジー; 0% ~ 100%
255	ビジー; パーセンテージなし

サブインデックス 03

アクションが完了すると、返りデータが使用可能になり、照会できるようになります。この目的には、サブインデックス03が使用されます。OutputDataテーブルの構造に従って、すべての情報がデータブロックに受信されます。

読み出されたデータに加え、上図に示すように操作のステータスも出力されます。

レイアウト:

BYTE status
 BYTE padding
 VOID Nutzdaten (Optional)

6.1.4 0xF000-0xFFFF – デバイス領域

インデックス0xF000

サブインデックス	タイプ	名前	値	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	4	UNSIGNED16	read-only
01	VAR	Object interval	16	UNSIGNED32	read-only
02	VAR	Max Modules	0xFF	UNSIGNED32	read-only
03	VAR		0	UNSIGNED32	read-only
04	VAR		0xF	UNSIGNED32	read-only

Index 0xF010 – モジュールタイプリスト

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	MDPSubProfile Id とモジュールタイプ	UNSIGNED32	read-only

インスタンス化されたモジュールのモジュールタイプのフラットリストです。モジュールタイプは下位ワードに保存されます。上位ワードには、「MDPSubProfile Id」が含まれています。

このサブインデックスは、モジュールの動的に作成される「Module ID」を決定するために使用することができます。

例:

SubIndex: 0x04 MDPSubProfile Id
 and Module type: 0x2710 0002

モジュールタイプ0x02は、サブインデックス0x04に保存されます。これはNICモジュール [▶ 20] のインスタンスです。動的に作成されるモジュールIDは0x03 (サブインデックス - 1) です。

そのため、設定データはアドレス0x8030に見つけることができます。

Index 0xF020 – モジュールIDリスト

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	モジュールのタイプ およびID	UNSIGNED32	read-only

モジュールタイプは上位ワードに保存されます。下位ワードには動的に割り当てられたモジュールIDが含まれています。

このモジュールタイプは、上位ワードのモジュールタイプによって決定されます。「Module ID」は、各オブジェクトに割り当てられる連番です。この値は、インデックスの変数 'nn' に対応しています。

例:

Module type and ID: 0x0002 0003

モジュールタイプは、0x02: NICモジュール [▶ 20] です。モジュールIDは3で、オブジェクトはインデックス0x8030に記述されています。

Index 0xF060 – モジュール名リスト

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Len	UNSIGNED16	read-only
01 .. Len	VAR	Module name	VIS STRING	read-only

インスタンス化されたすべてのモジュール名のリストです。モジュール名は重複しません。これにより、インデックスが動的に変更されても、モジュールを一義的に識別することができます。

Index 0xF9F0 – ベッコフIPCのシリアル番号

サブインデックス	タイプ	名前	タイプ	アクセス
00	VAR	Serial number	VIS STRING	read-only

ベッコフIPCのシリアル番号です(IPCの銘板に記載されています)。

注意: マザーボードのシリアル番号と混同しないでください。(この番号は、MDPモジュール「Mainboard」によって読み出されます)

コメント:

- ベッコフDINレールIPC (CXnnnnシリーズ)では、デバイスのシリアル番号はメインボードのシリアル番号と一致しています(この場合、個々のIPCには1つのメインボードタイプしかないためです)。
- 他のすべてのベッコフIPCにはメインボードのシリアル番号とデバイスの別個のシリアル番号があります(電源レベルによって、異なるメインボードが使用されています)。
- 旧BIOSバージョン(2013年第4四半期以前)では、シリアル番号はIPC BIOSには保存されませんでした。この場合、戻り値はメインボードのシリアル番号になります。
- 以前のベッコフオートメーションのデバイスドライババージョン(詳細は注記を参照)では、戻り値はIPCメインボードのシリアル番号です。
- IPCメインボードのシリアル番号は、[メインボードモジュール \[▶ 51\]](#)によって読み出されます。

● インデックス 0xF9F0 の前提条件

I

MDPバージョン 1.0.7.6 以上

● IPCシリアル番号の返し

I

IPCシリアル番号(メインボードのシリアル番号ではありません)を返すための追加の前提条件: ベッコフオートメーションのデバイスドライバ v1.22.1.0以上が必要です。この機能をサポートするBIOS (2013年第4四半期以降に製造されたベッコフIPC)

7 API / 代表例

このセクションでは、デバイスマネージャのデータへのアクセスの仕組みを示す、プログラミング例を提示します。これらの例は、他のデータ値を照会するために簡単に変更できるように構成されています。

その基礎となるデータ構造は、[情報モデル \[▶ 15\]](#)のセクションで説明されています。

7.1 PLC

TwinCAT 3:

TwinCAT PLCプログラムでベッコフデバイスマネージャを使用するためには、**TwinCAT3 PLCライブラリのTc3_IPCDiag**をTwinCATプロジェクトに統合する必要があります。

デバイスマネージャは、幅広い読み取り可能なパラメータと、一部書き込み可能なパラメータを提供しています。使用可能なデバイスマネージャのパラメータは、設定領域のモジュールに配置されています。モジュールには、例えばCPUやファンなど、特定のトピックに関する全てのデータが含まれています。

モジュールとその内容は、IPCで利用可能なコンポーネントにより異なるため、現在のIPCにどのコンポーネントが含まれるか、どの情報タイプをサポートするかによって、リストは動的に生成されます。そのため、固定アドレスを使用してモジュールまたはパラメータにアクセスすることはできません。最初にモジュールがどこに配置されているかを正確に決定する必要があります。これは、Tc3_IPCDiag ライブラリで、ファンクションブロックFB_IPCDiag_Registerを使用して行われます。利用可能な全ての情報を登録することにより、以後、簡単にアクセスできるようにします。通常、ファンクションブロックは最初に一度、実行するだけです。

ファンクションブロックFB_IPCDiag_ReadParameterは、豊富なパラメータを提供します。これらのパラメータは、E_IPCDiag_ParameterKeyの列挙により、MDP領域とモジュールに従ってグループ化されています。

以下は、150以上のパラメータを含む列挙の抜粋です：

列挙値	コメント
E_IPCDiag_ParameterKey.IPCDeviceName	IPCデバイス名, STRING, read/write (MDP一般領域)
E_IPCDiag_ParameterKey.CPU_Usage	CPU使用率(%), UINT, read-only
E_IPCDiag_ParameterKey.CPU_Temp	CPU温度 (°C) , INT, read-only
E_IPCDiag_ParameterKey.Fan_Speed	ファンの速度 (rpm) , INT, read-only
E_IPCDiag_ParameterKey.NIC_IPv4Address	IPv4アドレス, STRING, read/write
E_IPCDiag_ParameterKey.TC_VersionBuild	TwinCATビルドバージョン, UINT, read-only

Tc3_IPCDiagライブラリの詳細な説明と、パラメータおよびデバイスマネージャモジュールへの簡単なアクセス方法は、[TwinCAT 3 PLCライブラリTc3_IPCDiagのドキュメント](#) に記載されています。ドキュメントには、PLCライブラリの簡単な紹介とプログラミング例を掲載したサンプルの章もあります。

● システム起動時のアクセス制限

i MDPはハードウェアとのインターフェースを形成します。これはTwinCATから独立しています。MDPには、PLCライブラリを使用してTwinCATからアクセスできます。これはADS通信によって内部でアクセスします。ハードウェア構成が様々であるため、MDPサービスの初期化フェーズは当然、構成により異なります。MDPの初期化が完了していない段階で、最初のPLCサイクルが実行される可能性があります。

起こり得るエラー出力とライブラリのファンクションブロックのタイムアウトに対して新しいクエリをトリガするか、システムスタート後にクエリを意図的に遅らせて実行します。

PLCプログラムでは、システムスタート直後にMDPから値をクエリするのではなく、少しの待ち時間を考慮に入れることをお勧めします。この遅延時間の長さは、さまざまな要因(制御用のコンピュータの性能など)に依存するため、一概に決めることはできません。通常は、10～60秒の範囲内です。

TwinCAT 3 : 旧ライブラリ :

● 更新: Tc3_IPCDiag ライブラリ

i

TwinCAT 3 PLCライブラリのTc2_MDPは、Tc3_IPCDiagの旧ライブラリにあたります。新しいTc3_IPCDiagライブラリでは、読み取り可能なパラメータの数が増え、ユーザインターフェースが最適化されました。Tc3_IPCDiagライブラリの使用を推奨しています。

Tc2_MDPライブラリは、今後の拡張されません。Tc2_MDPライブラリを新規プロジェクトに使用することは推奨しません。Tc2_MDPライブラリの全ての機能は、新しいTc3_IPCDiagライブラリにも統合されています。

Tc2_MDPライブラリと使用可能なすべてのファンクションブロックの詳細については、以下のドキュメントを参照してください。TwinCAT 3は、これらのライブラリとファンクションブロックによって、デバイスマネージャのモジュールにアクセスします。

- [IPC DiagnosticsのためのTwinCAT 3 PLCライブラリ「Tc2_MDP」のファンクションブロック](#)
- [IPC DiagnosticsのためのTwinCAT 3 PLCライブラリ「Tc2_MDP」のエラーコード](#)
- Tc2_MDPライブラリのサンプルは、以下のユースケースをカバーしています：
 - CPUデータのクエリ(汎用)
 - ファン状態のクエリ(汎用)
 - CPUデータのクエリ(固有)
 - IPCシリアル番号の読み取り
 - IPアドレスの設定

TwinCAT 2:

TwinCAT 2 PLC TcMDPライブラリの説明は、以下のドキュメントを参照してください。

- [IPC DiagnosticsのためのTwinCAT 2 PLCライブラリ「TcMDP」のファンクションブロック](#)
- [IPC DiagnosticsのためのTwinCAT 2 PLCライブラリ「TcMDP」のエラーコード](#)
- [TwinCAT 2の例](#)

要件

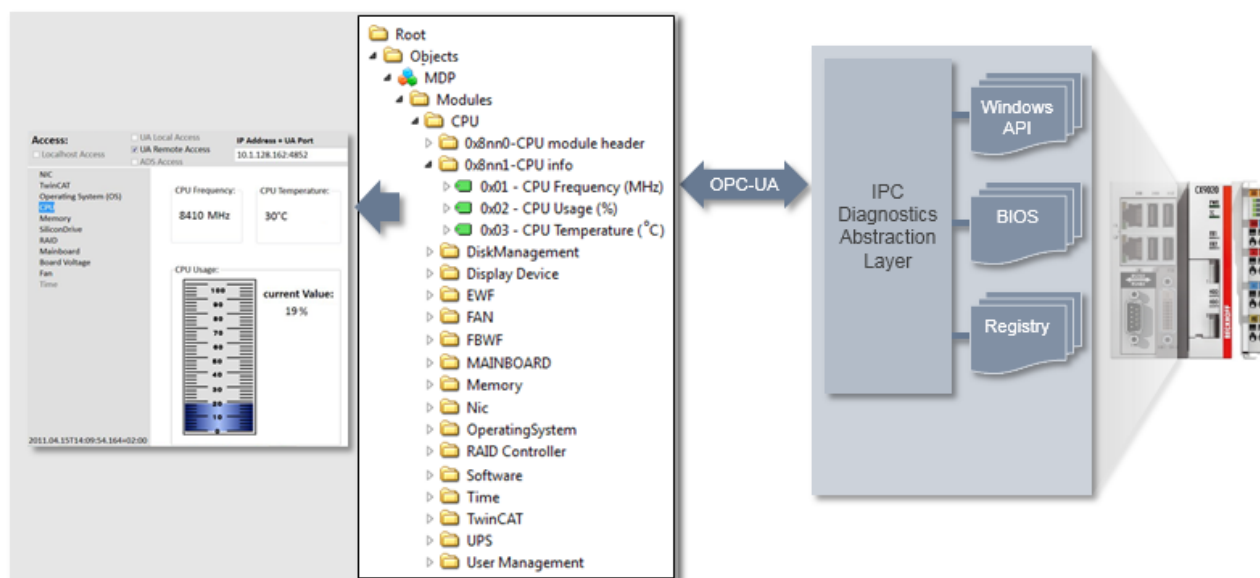
MDPバージョン	ベッコフオートメーション デバイスドライバ	ベッコフBIOS
バージョン1.0.7.6以降	v1.22.1.0以降	2013年第4四半期以降

MDP (Modular Device Profile)は、TwinCATがデバイスマネージャのデータにアクセスするために使用する情報モデルです。

7.2 OPC UA

OPC UAは、通信およびアクセスセキュリティが組み込まれた標準的な通信インターフェイスで、ビジュアルゼーションソフトウェアなどのさまざまなソフトウェアメーカーがサポートしています。

デバイスマネージャの値は、OPC UA経由でもアクセスできます。デバイスマネージャには、データアクセス用のOPC UAサーバが付属しています。



IPCのOPC UAサーバにアクセスするためのアドレス:

opc.tcp://<Device IP>:4852

例:

opc.tcp://CP-004711:4852

opc.tcp://172.17.36.11:4852

OPC UAサーバは、Windows CE (Windows Embedded Compact) を搭載したIPCでは出荷時に無効になっているため、必要に応じて手動で（またはAutostartを設定して）有効にする必要があります: ¥Hard Disk¥BkIpcDiag¥UA¥_DevMgrSvr-UA-CE

● OPC UAポートはファイアウォールによりブロックされています

1 全ての最新イメージで、OPC UAポートは、デフォルトでファイアウォールによりブロックされています。このため、必要に応じてファイアウォールのポートを開く必要があります。

OPC UA .NETサンプル

例えば、次の.NETアプリケーションはOPC UAを介し、CPU周波数、CPU負荷、CFカードのメモリ容量、TwinCATバージョン、TwinCATビルド、およびCPU温度の現在値を読み出します。

ダウンロード: [mdpoverua.zip \(Resources/zip/263048715.zip\)](#)

以下の手順を実行します。

1. zipファイルを展開します。
2. MDPOverUA¥MDPOverUAフォルダのsettings.xmlファイルを開きます。
3. このファイル内で、<Session Url="opc.tcp://<DeviceName>:4852" Security="None" RefreshInterval="1000" KeepAlive="10000" />の行を探します。
4. 使用するデバイスに従って、<DeviceName>の値を変更します。
5. プロジェクトをコンパイルして実行します。

OPC UAエンドポイント

OPC UAサーバは、デフォルトでは、通信のための安全なエンドポイントのみを提供します。暗号化されていないエンドポイント(俗に「None/Noneエンドポイント」と呼ばれる)は無効化されていますが、必要に応じてサーバ設定ファイル(DevMgrSvr-UA.xml)で、該当する<SecuritySetting>エントリを作成することで有効にできます。しかし、納品時に含まれるエンドポイントの使用を推奨します。

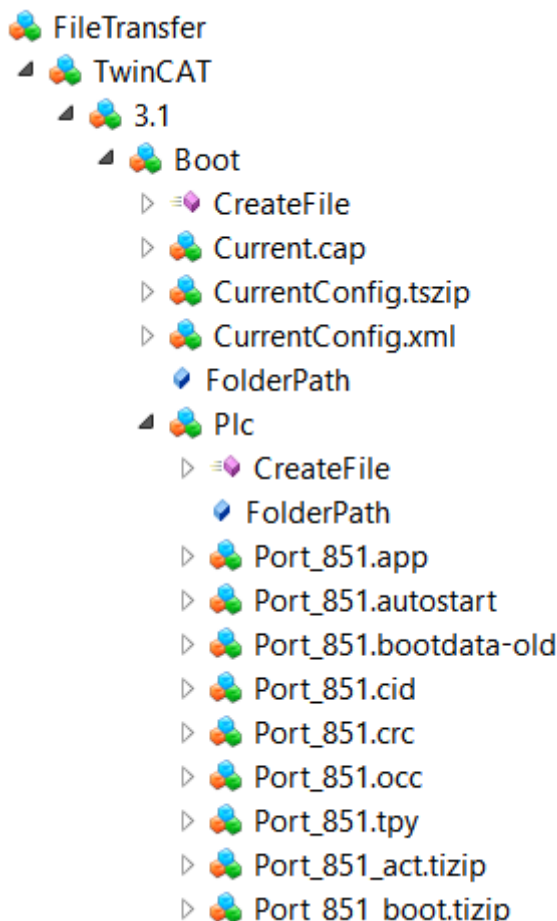
OPC UA認証

デフォルトでは、オペレーティングシステムのローカル管理者ユーザのみがOPC UAクライアントのサーバにログオンできるように設定されています。このユーザは、OPC UAサーバへのフルアクセスが可能です。必要に応じて、セキュリティ設定ファイル(DevMgrSvr-Secu.xml)でユーザ権限を変更できます。

OPC UA経由でファイルおよびフォルダにアクセス

OPC UA仕様のバージョン1.02から、ファイル転送専用のオブジェクトタイプが含まれます。このオブジェクトタイプの詳細については、OPC UA仕様のAppendix Cを参照してください。このオブジェクトタイプはFileTypeと呼ばれ、データ転送用の情報モデルを記述しています。ファイルは、バイト文字列を使用してOPC UAの単純変数としてモデル化することができます。FileTypeは、ファイルへのアクセス方法を提供するファイルです。OPC UA仕様は、FileType、およびOPC UA名前空間内のファイルにアクセスするための基本的なメソッドとプロパティの取り扱いに関する情報を提供します。

ベッコフは、ローカルハードディスクからOPC UA名前空間にファイルおよびフォルダを読み込むための標準的な方法を実装しました。各ファイルはFileTypeによって表示され、対象ファイルの読み取り/書き込み操作を可能にします。さらに各フォルダには、ハードディスク上にファイルを新規作成するためのCreateFile()メソッドと、OPC UAサーバ上の実際のフォルダパスを指定するためのFolderPathメソッドが含まれます。



● OPC UAサーバ デバイスマネージャのFileTransfer機能

i ベッコフデバイスマネージャのOPC UAサーバのみがこの機能を保持しています。TwinCAT OPC UAサーバも、このファイル転送機能の一部を提供します。ただし、すべてのファイルおよびフォルダの開示を可能にする一般的な機能は、OPC UAサーバでのみ使用可能です。この機能は、すべてのベッコフIPCまたは組込み型PCで使用するデバイスマネージャの機能の一部です。詳細については、[デバイスマネージャのドキュメント](#)を参照してください。

設定

FileTypeオブジェクトは、FileTransferと呼ばれる個別の名前空間で作成されます。XMLファイル (*files.xml*)は、この名前空間を設定し、OPC UA経由でファイルやフォルダを選択するために使用されます。このファイルは、OPC UAサーバの実行ファイル(EXEファイル)と同じディレクトリに置く必要があります。設定を有効にするには、システムを再起動する必要があります。XMLファイルには、フォルダパスとOPC UA名前空間でどのファイルが公開されるかを定義する検索マスクに関する情報が含まれています。

```
<Files>
  <FolderObject DisplayName="TwinCAT">
    <FolderObject DisplayName="3.1">
      <FolderObject DisplayName="Boot" Path="c:/TwinCAT/3.1/Boot" Search="*.*" >
        <FolderObject DisplayName="Plc" Path="c:/TwinCAT/3.1/Boot/Plc" Search="*.*" ></FolderObject>
        <FolderObject DisplayName="Tmi" Path="c:/TwinCAT/3.1/Boot/Tmi" Search="*.*" ></FolderObject>
      </FolderObject>
    </FolderObject>
  </FolderObject>
</Files>
```

例: UA Expertでのファイルの読み取り

一般的なファイルの取り扱いについては、OPC UA仕様のAppendix Cに説明されています。UA経由でのファイルの読み取りは、以下のステップに分けられます。

1. ファイルのOpenメソッドを呼び出します。このメソッドは、後でアクセスするために保存する必要があるファイルハンドルを返します。このモードは、ファイルが読み取りまたは書き込みされるかを定義します(ファイルモードを参照してください)。
2. Sizeと呼ばれるプロパティを使用してファイルサイズを決定します。この方法で、Readメソッドが呼び出されたときにファイル全体を読み出すことができます。
3. Readメソッドを呼び出します。ファイルハンドルとファイルサイズを入力として挿入します。メソッド呼び出し後にファイルの内容が保存される保存先フォルダを選択します。
4. Closeメソッドを呼び出し、ファイルハンドルを有効にします。

ファイルモード

次の表に使用可能なすべてのファイルモードを示します。

フィールド	ビット	説明
Read	1	ファイルを読み取るために開きます。このビットが設定されていない場合は、読み取りは実行できません。
Write	4	ファイルを書き込むために開きます。このビットが設定されていない場合は、書き込みは実行できません。
EraseExisting	6	既存のファイル内容が削除され、空のファイルが使用できるようになります。
Append	10	ファイルを開き、末尾に配置されます。それ以外の場合は、先頭に移動されます。この位置は、SetPositionで変更できます。

7.3 C#

VisualStudio.NET C# (Visual Studio 2010/2012/2013)

サンプルプログラムのプログラミングは、Visual Studio 2012に基づいて説明しています。Visual Studio 2010/2013の手順もこれに類似しています。

このプログラムは、ライブラリMdpNetApi.dllが必要です。このライブラリは、IPC Diagnosticsの個々のインストールディレクトリにあります。

64ビットWindows

i ライブラリMdpNetApi.dllを使用して64ビットアプリケーションプログラムを作成するための前提条件

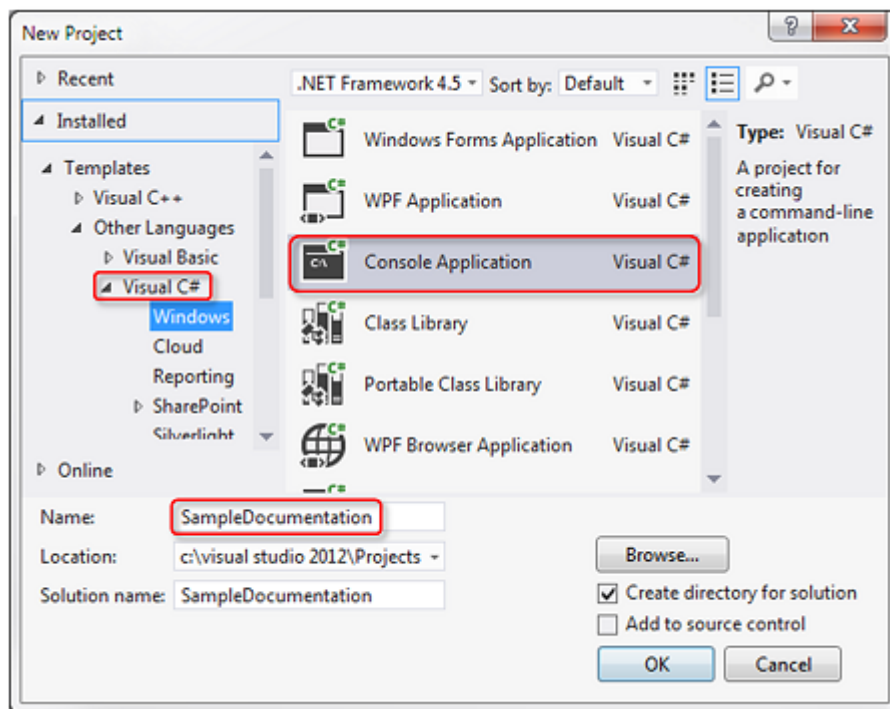
v1.0.7.06以降のMDPおよびv1.22.1.0以降のベッコフオートメーション デバイスドライバ

これ以前のMDPまたはベッコフオートメーション デバイスドライバを使用する場合、これらのライブラリおよびドライバのバージョンは32ビットプログラムのみに対応するように設定されているため、アプリケーションプログラムを32ビット用にコンパイルする必要があります。(32ビット用にコンパイルされたアプリケーションプログラムは、64ビットシステム上でも使用することができます。)

ユーザプログラムでのサンプルコードの実装方法について、次に説明します。この説明は、Visual Studioの最も単純なオプション、すなわちコンソールアプリケーションの構成に基づいています。

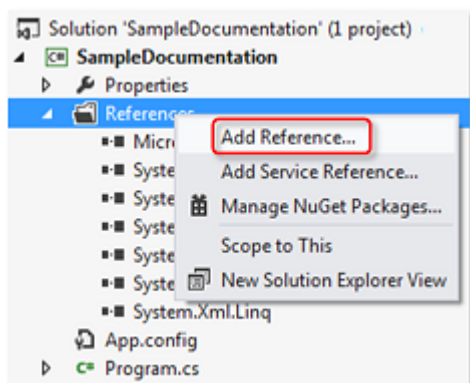
Visual Studioでの新しいコンソールアプリケーションの作成

1. メニュー**File > New**で、コマンド**Project** を選択して新しいコンソールアプリケーションを作成します。
⇒ **New Project**ダイアログが開きます。
2. 左側のオーバービュー画面で、**Templates > Other Languages > Visual C#**を選択し、次に右側のオーバービュー画面で**Console Application**を選択します。プロジェクトの名前を入力します。



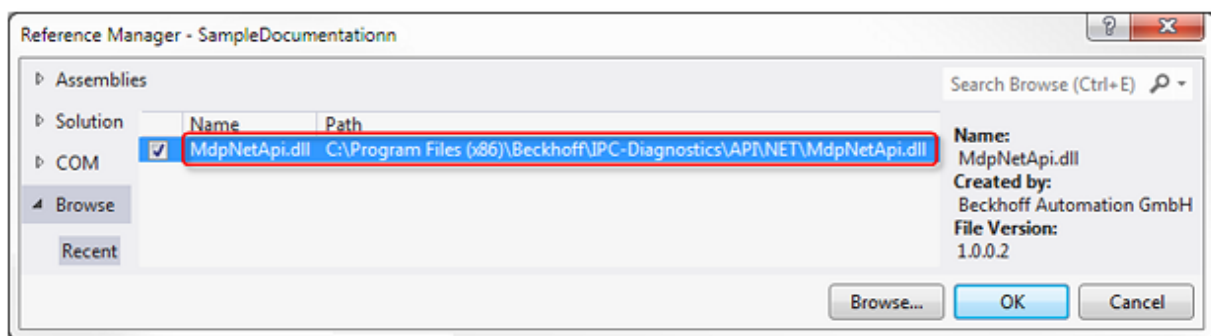
⇒ 新しいコンソールアプリケーションが作成されます。

3. **References**を右クリックし、開いたコンテキストメニューからコマンド**Add References**を選択します。



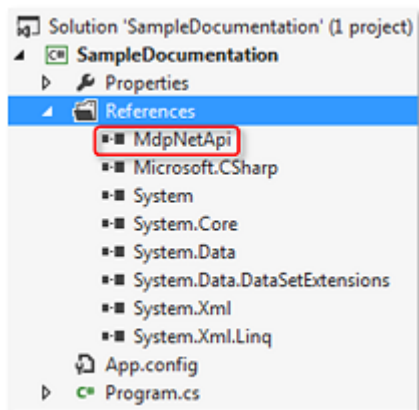
⇒ **Reference Manager**ダイアログが開きます。

4. ファイル名**MdpNetApi.dll**を入力し、**OK**を押して確認します。

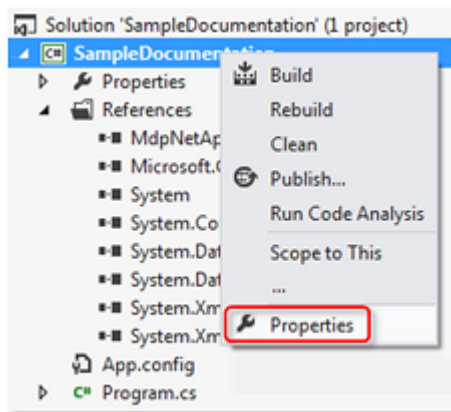


ライブラリ**MdpNetApi.dll**は、IPC Diagnosticsのインストールディレクトリ(デフォルト: C:\Program Files (x86)\Beckhoff\IPC-Diagnostics)にあります。

⇒ ファイルは新しい参照として入力されます。

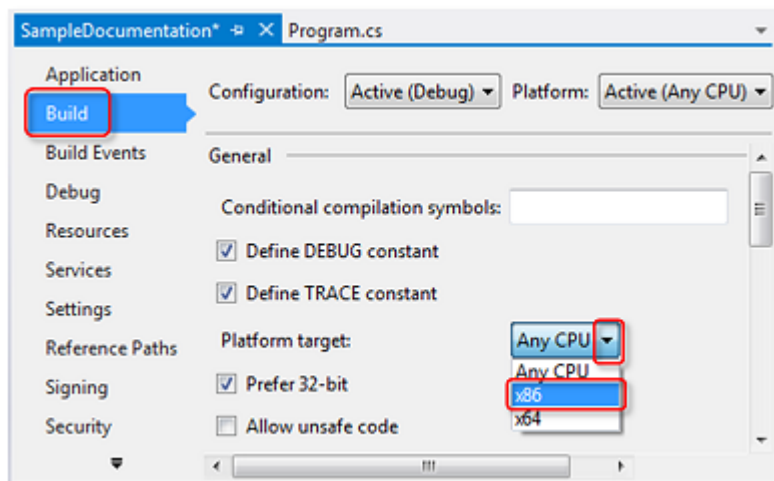


5. プロジェクト(ここでは: SampleDocumentation)を右クリックし、開いたコンテキストメニューから **Properties** を選択してターゲットプラットフォームを選択します。

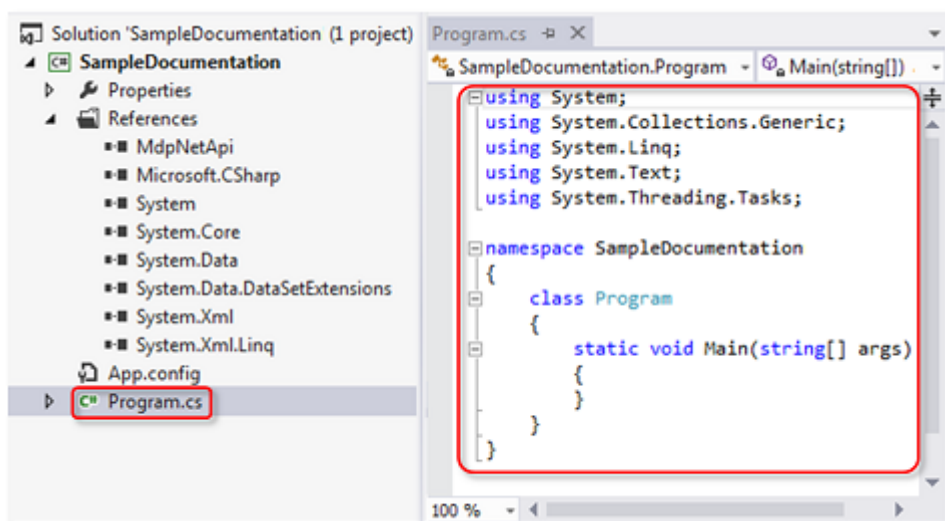


⇒ 設定ウィンドウが開きます。

6. **Build** カテゴリを選択し、**Platform target** ドロップダウンリストからターゲットプラットフォームにより「x86」または「x64」を選択します。64ビットの要件(上記参照)に適合しない場合は、「x86」(= 32-bit)を選択します。



7. サンプルのプログラムコードを組み込みます。これを行うために、コードをサンプルプログラムからデフォルトファイル *Program.cs* にコピーします。以下にハイライト表示されたデフォルトプログラムコード全体をサンプルコードに置き換えます。



⇒ プログラムをコンパイルしてテストできるようになります。

7.3.1 CPUデータの問合せ

この例は、C#プログラムによってIPC Diagnosticsデータにアクセスする方法を示しています。CPUデータ(クロック周波数および負荷)が例として読み出されます。

この目的に必要なライブラリ*MdpNetApi.dll*は、IPC Diagnosticsのインストールディレクトリ(デフォルトディレクトリ: *C:\Program Files (x86)\Beckhoff\IPC-Diagnostics*)にあります。

プログラムコード:

```
using System.Text;
using System.IO; // namespace for the Memory Stream, Stream- und Binary-Reader
using MdpNetApi; // namespace of the MDP .Net API

namespace MdpCsharpHwRead
{
    class Program
    {
        static void Main(string[] args)
        {
            ///////////////////////////////////////////////////////////////////
            /
            // initialization

            // opens a connection to the MDP
            MdpNetMethods.MDPOpen();

            // create Memory Stream, Stream- and Binary-Reader for handling data
            MemoryStream memoryStream = new MemoryStream();
            memoryStream.SetLength(1);
            BinaryReader binReader = new BinaryReader(memoryStream);
            StreamReader strReader = new StreamReader(memoryStream);

            // title/header of console output
            Console.WriteLine("Hardware Information (via MDP Csharp Sample)");
            Console.WriteLine("=====");
            Console.WriteLine("");

            ///////////////////////////////////////////////////////////////////
            /
            // Read module information
            // Get CPU information (CPU frequency & load)

            memoryStream.Position = 0;

            // create a variable containing the base address of a specific module type
            ushort nBaseAddress = GetAddressOfModuleType(MdpModuleType.CPU)[0];

            MdpStatusCode statusCode = MdpNetMethods.MDPSyncRead((ushort)
(nBaseAddress + 1), 1, 0, ref memoryStream);
            Console.WriteLine("CPU Frequency: " + binReader.ReadUInt32());

            // actual CPU Usage in Percent
            memoryStream.Position = 0;
            statusCode = MdpNetMethods.MDPSyncRead((ushort)(nBaseAddress + 1), 2, 0, ref memoryStream);
            Console.WriteLine("CPU Usage: " + binReader.ReadUInt16() + "%");
            Console.WriteLine("");

            ///////////////////////////////////////////////////////////////////
            /
            // closing

            // close Memory Stream, Stream- and Binary-Reader
            strReader.Close();
            binReader.Close();
            memoryStream.Close();

            // close the connection to the MDP
            MdpNetMethods.MDPClose();

            // prevent console of closing
            Console.ReadLine();
        }

        // returns all addresses of the given module type
        static ushort[] GetAddressOfModuleType(MdpModuleType type)
        {

```

```
// create Memory Stream, Stream- and Binary-Reader for handling data
MemoryStream memoryStream = new MemoryStream();
memoryStream.SetLength(1);
BinaryReader binReader = new BinaryReader(memoryStream);
StreamReader strReader = new StreamReader(memoryStream);

// read operation on "Device Type List" to get maximum count of modules and all module types
MdpStatusCode statusCode = MdpNetMethods.MDPSyncRead(0xF010, 0, 1 /
*flag to read the whole table*/, ref memoryStream);

// get count of modules
byte nCount = binReader.ReadByte();
memoryStream.Position++;

// create temporary list
List<ushort> addresses = new List<ushort>();

// check every module on its type
for (int i = 0; i < nCount; i++)
{
    // move MemoryStream to correct position
    memoryStream.Position += 2;
    ushort deviceType = binReader.ReadUInt16();

    // check if actual device type is desired
    if (deviceType == (ushort)type)
    // add it to the list
    addresses.Add((ushort)((0x8000) + (0x0010 * i)));
}

return addresses.ToArray();
}
}
```

7.4 C++

● User Mode (ユーザモード) のみで使用可能



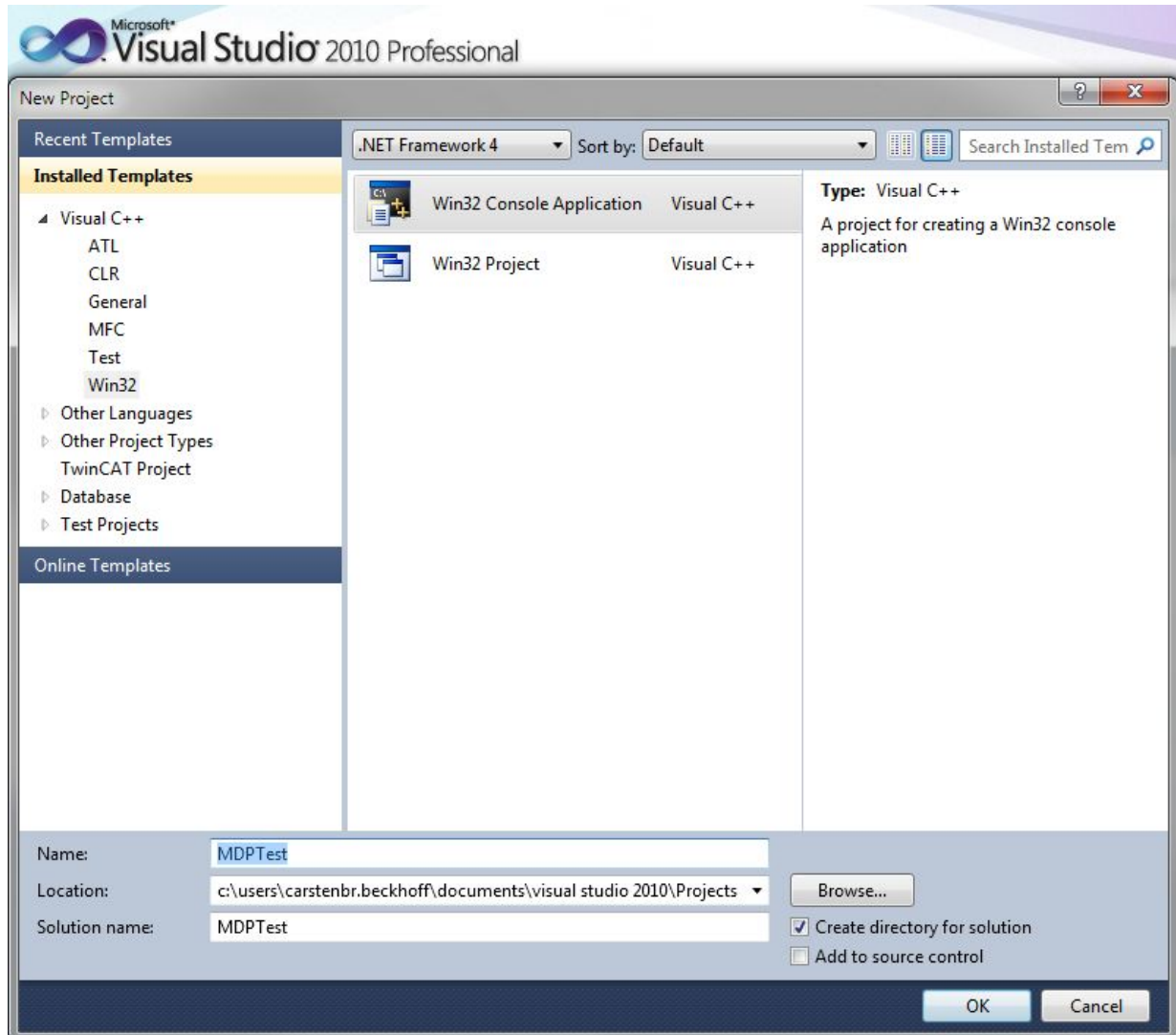
User Mode (ユーザモード) のみで使用可能で、リアルタイムでは使用できません。

Visual Studioの準備

このセクションでは、Visual Studio 2010でC++でプログラムする場合に、IPC Diagnosticsに必要なファイルを設定する方法を説明します。

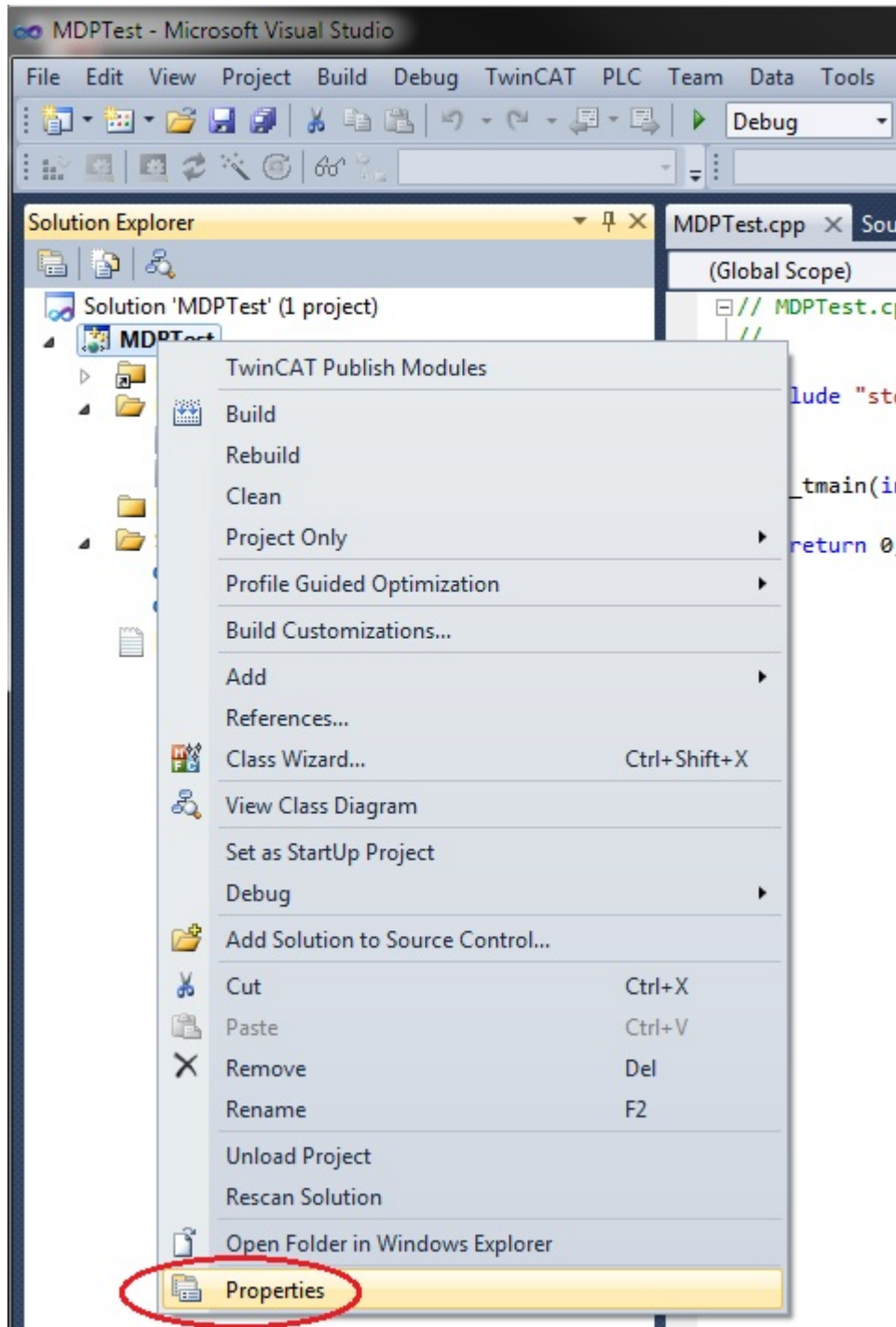
これらのファイルは、IPC Diagnosticsのインストールディレクトリ(Windows:C:¥Program Files (x86)¥Beckhoff¥IPC-Diagnostics¥API¥C)にあります。

1. Visual Studioを起動し、Visual C++ Win32コンソールアプリケーションを新規作成します。

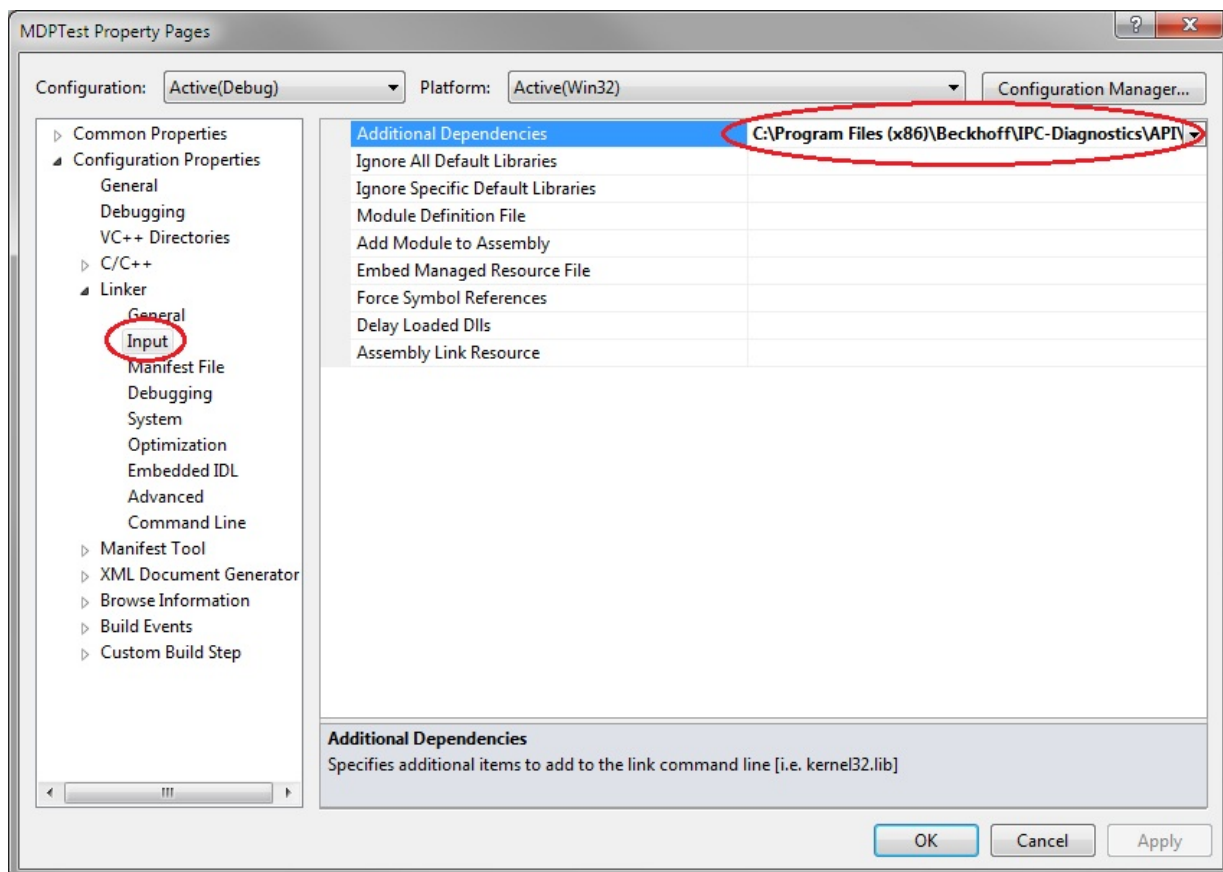


2. プロジェクトウィザードのデフォルト設定を確認します。

3. プロジェクトプロパティを開きます。



4. (C:\Program Files (x86)\Beckhoff\IPC-Diagnostics\API\C\Lib\Win32より)MDPApi.libを追加の依存関係として入力します。



5. MDPApiヘッダを追加します。

```
#include "C:\Program Files
(x86)\Beckhoff\IPC-Diagnostics\API\C\Include\MdpApi.h"
```

6. プログラムは次のような構造になります。

```
// MDPTest.cpp : Defines the entry point for the console application.
//

#include "stdafx.h"
#include "C:\Program Files (x86)\Beckhoff\IPC-Diagnostics\API\C\Include\MdpApi.h"

int _tmain(int argc, _TCHAR* argv[])
{
    return 0;
}
```

要件

必要な TwinCATライブラリ	MDPバージョン	Beckhoff Automation Device Driver	Beckhoff BIOS
MDPApi.lib MdpApi.h	現行のMDPバージョン	現行のBA Device Driver	現行のBeckhoff BIOS

7.5 ADS

ADS経由のIPC Diagnostics - C#での例

MDP API経由のModular Device Profile for IPCとの通信に加えて、ADS経由でMDPと通信することも可能です。

以下の例では、サポートされている場合に、CPU周波数、CPU負荷、空きスペース、CFカードドライブの使用率、TwinCATバージョンとビルド、およびCPU温度を読み出します。

ダウンロード：[mdpoverads.zip \(Resources/zip/263045771.zip\)](#)

以下の手順を実行します。

1. 例を抽出します。
2. ソリューションを開きます。
3. *Window1.xaml.cs*内で、`private AmsNetId netId = AmsNetId.Local`の行を探します。
4. この場合、デフォルトのNetIdはローカルです。リモートデバイスを接続するには、NetIdを新しいAmsNetId ("172.16.5.2.1.1")などに変更してください。
5. ソリューションをコンパイルして実行します。

8 付録

8.1 問題が発生した場合の応急処置

● 最新のコンポーネント

1 ベックホフデバイスマネージャは常にアップデートされ、継続的に開発が行われています。お客様のアプリケーションでは、常に最新のコンポーネントをご使用ください。

- BIOS
- ベックホフIPC用のイメージ
- Beckhoff Automation Device Driver
- IPC Diagnosticsプログラムバージョン
(ベックホフサポートからWindows x86/64用アップデートが入手できます)
- TwinCAT PLCプログラム用のPLCライブラリ

以下の質問とヒントは、何らかの問題が発生した場合の応急処置を提供することを目的としています。

- デバイスマネージャが動作しない、またはエラーメッセージが表示されるのはなぜですか？
- 特定の値にアクセスできないのはなぜですか？
- MDP.exeファイルを使用してデバイスマネージャのバージョンを確認してください(Windows CEの場合はMDP.dll)。
- x86/x64 Windows用のデバイスマネージャの最新バージョンは、ベックホフサポートから入手できます。
- Windows CE (Windows Embedded Compact) : お使いのデバイスに最新イメージを使用していますか？

Windows CE用のデバイスマネージャは、個別にダウンロードできません。

- お客様のIPCはどのサービスをサポートしていますか？
- デバイスWebページは機能していますか？
デバイスWebページで目的の値が表示されるかどうかを確認してください。
- OPC UA経由のアクセスは機能していますか？
OPC UAクライアント(UA Expertなど)を使用して、目的の値にアクセスできるかどうかを確認してください。

8.2 データタイプの概要

MDP情報はモジュールに分割され、各モジュールには異なるエレメントが含まれています。これらのエレメントは、データタイプが異なっている場合があります。

データタイプ	説明
BOOLEAN	8ビットのBoolean値。1=true, 0= false
SIGNED8	8ビットの符号付き整数
SIGNED16	16ビットの符号付き整数
SIGNED32	32ビットの符号付き整数
UNSIGNED8	8ビットの符号なし整数
UNSIGNED16	16ビットの符号なし整数
UNSIGNED32	32ビットの符号なし整数
UNSIGNED64	64ビットの符号なし整数
REAL32	32ビットの浮動小数点数値
VISIBLE STRING	ASCII文字列、可変長、ヌル終端なし

8.3 エラーコードの概要

エラーコードは2つの部分で構成されます。上位2バイトで表されるエラーコードグループは、エラーの種類を示しています。

エラーコードグループ	エラーの種類
0x EC81 xxxx	Tc3_IPCDiag PLCライブラリのエラーコード
0x ECA6 xxxx	一般的なIPC診断エラーコード
0x ECA7 xxxx	APIエラーコード (Win32、TwinCAT/BSD、TC/RTOSエラーコード)
0x ECA8 xxxx	ADSエラーコード (TwinCAT ADSエラーコード)
0x ECAF xxxx	モジュール依存のエラー番号

Tc3_IPCDiag PLCライブラリのエラーコード

コード	意味
0xEC810001	モジュールリストが無効(IPCDiagの初期化が必要) FB_IPCDiag_Registerのインスタンスが正常に呼び出されなかったか、保留中の可能性があります。
0xEC810002	パラメータのモジュールが利用できません (存在しません)。
0xEC810003	パラメータが利用できません (存在しません)。
0xEC810004	有効な値がありません (読み取りが保留中の可能性があります)。
0xEC810005	割り当てられたバッファが無効です (ポインタが0か、バッファサイズが小さすぎます)。
0xEC810006	割り当てられたインデックスが無効です。

一般的なIPC診断エラーコード

コード	意味
0x00000000	Success - エラーなし
0xECA60001	Fail - 詳細不明のエラー
0xECA60100	無効なインデックス
0xECA60101	無効なアクセス
0xECA60102	バッファが小さすぎる
0xECA60103	タイプがサポートされていない
0xECA60104	メモリ不足
0xECA60105	データが使用不可
0xECA60106	無効なデータ
0xECA60107	無効な引数
0xECA60108	値が範囲外
0xECA60200	サーバがビジー状態
0xECA60201	MDP APIが初期化されていない
0xECA60F00	実装されていない
0xECA61000	サポートしていない
0xECA60FFF	予期しないエラー

APIエラーコード

コード	意味
0xECA7xxxx	下位ワードにはシステム呼び出しからのエラーコードが含まれています。

以下も参照してください。 [Win32エラーコード](#) [▶ 93]

ADSエラーコード

コード	意味
0xECA8xxxx	下位ワードにはADSリザルトコードが含まれています。

以下も参照してください。 [ADSリターンコード](#) [▶ 88]

モジュール固有のエラーコード

コード	モジュール	意味
0xECAF0401	User Mgmt	ユーザが既に存在します
0xECAF0402	User Mgmt	ユーザが存在しません
0xECAF0403	User Mgmt	グループが既に存在します
0xECAF0404	User Mgmt	グループが存在しません
0xECAF0410	SMB	サーバがインストールされていません
0xECAF0411	SMB	共有が既に存在します
0xECAF0412	SMB	共有が存在しません
0xECAF0420	TwinCAT	Ads routeが既に存在します
0xECAF0421	TwinCAT	Ads portを開くことができませんでした
0xECAF0430	データ保存	この名前の変数は既に存在します
0xECAF0431	データ保存	要求された名前の変数は存在しません
0xECAF0432	データ保存	指定された名前のセクションは存在しません
0xECAF0433	データ保存	変数の名前が無効です
0xECAF0440	レジストリ	キーの名前(「HKLM」など)が無効です
0xECAF0601	ディスプレイ	RESTART/ グラフィックモードを有効にするにはコンピュータを再起動する必要があります
0xECAF0602	ディスプレイ	FAILED/ ディスプレイドライバが指定されたグラフィックモードに失敗しました
0xECAF0603	ディスプレイ	BADMODE/ グラフィックモードがサポートされていません
0xECAF0604	ディスプレイ	NOTUPDATED/ 設定をレジストリに書き込むことができません
0xECAF0605	ディスプレイ	BADFLAGS/ 無効なフラグのセット
0xECAF0606	ディスプレイ	BADPARAM/ 無効なパラメータまたは無効なフラグの組み合わせ
0xECAF0607	ディスプレイ	BADDUALVIEW/ システムはデュアルビューに対応しています
0xECAF0608	ディスプレイ	COMポートが未設定
0xECAF0609	ディスプレイ	無効な値
0xECAF0610	ディスプレイ	無効なコマンド

8.4 ADSリターンコード

エラーコードのグループ化:

グローバルエラーコード: --- FEHLENDER LINK ---... (0x9811_0000 ...)

ルータのエラーコード: --- FEHLENDER LINK ---... (0x9811_0500 ...)

ADS全般のエラー: --- FEHLENDER LINK ---... (0x9811_0700 ...)

RTimeエラーコード: --- FEHLENDER LINK ---... (0x9811_1000 ...)

グローバルエラーコード

16進数	10進数	HRESULT	名前	説明
0x0	0	0x98110000	ERR_NOERROR	エラーはありません。
0x1	1	0x98110001	ERR_INTERNAL	内部エラーです。
0x2	2	0x98110002	ERR_NORTIME	リアルタイムではありません。
0x3	3	0x98110003	ERR_ALLOCLOCKEDMEM	割り当てがロックされました - メモリエラーです。
0x4	4	0x98110004	ERR_INSERTMAILBOX	メールボックスがいっぱいです - ADSメッセージを送信できませんでした。サイクル当たりのADSメッセージ数を減らすと改善されます。
0x5	5	0x98110005	ERR_WRONGRECEIVEHMSG	HMSGに誤りがあります。
0x6	6	0x98110006	ERR_TARGETPORTNOTFOUND	ターゲットポートが見つかりません - ADSサーバが開始されていないか、ADSサーバに到達できない、あるいはADSサーバがインストールされていません。
0x7	7	0x98110007	ERR_TARGETMACHINENOTFOUND	ターゲットコンピュータが見つかりません - AMSルートが見つかりませんでした。
0x8	8	0x98110008	ERR_UNKNOWNCMDID	不明なコマンドIDです。
0x9	9	0x98110009	ERR_BADTASKID	タスクIDが無効です。
0xA	10	0x9811000A	ERR_NOIO	IOがありません。
0xB	11	0x9811000B	ERR_UNKNOWNAMSCMD	不明なAMSコマンドです。
0xC	12	0x9811000C	ERR_WIN32ERROR	Win32エラーです。
0xD	13	0x9811000D	ERR_PORTNOTCONNECTED	ポートが接続されていません。
0xE	14	0x9811000E	ERR_INVALIDAMSLENGTH	AMS長が無効です。
0xF	15	0x9811000F	ERR_INVALIDAMSNETID	AMS Net IDが無効です。
0x10	16	0x98110010	ERR_LOWINSTLEVEL	インストールレベルが低すぎます - TwinCAT 2ライセンスエラーです。
0x11	17	0x98110011	ERR_NODEBUGINTAVAILABLE	デバッグが利用できません。
0x12	18	0x98110012	ERR_PORTDISABLED	ポートが無効です - TwinCATシステムサービスが開始されていません。
0x13	19	0x98110013	ERR_PORTALREADYCONNECTED	ポートが接続済みです。
0x14	20	0x98110014	ERR_AMSSYNC_W32ERROR	AMS Sync Win32エラーです。
0x15	21	0x98110015	ERR_AMSSYNC_TIMEOUT	AMS Syncタイムアウトです。
0x16	22	0x98110016	ERR_AMSSYNC_AMSERROR	AMS同期エラーです。
0x17	23	0x98110017	ERR_AMSSYNC_NOINDEXINMAP	使用可能なAMS Sync用のインデックスマップがありません。
0x18	24	0x98110018	ERR_INVALIDAMSPORT	AMSポートが無効です。
0x19	25	0x98110019	ERR_NOMEMORY	メモリがありません。
0x1A	26	0x9811001A	ERR_TCPSEND	TCP送信エラーです。
0x1B	27	0x9811001B	ERR_HOSTUNREACHABLE	ホストに到達できません。
0x1C	28	0x9811001C	ERR_INVALIDAMSFRAGMENT	AMSフラグメントが無効です。
0x1D	29	0x9811001D	ERR_TLSEND	TLS送信エラー - セキュアなADS接続に失敗しました。
0x1E	30	0x9811001E	ERR_ACCESSDENIED	アクセス拒否 - セキュアなADSアクセスが拒否されました。

ルータのエラーコード

16進数	10進数	HRESULT	名前	説明
0x500	1280	0x98110500	ROUTERERR_NOLOCKEDMEMORY	ロックされたメモリは割り当てることができません。
0x501	1281	0x98110501	ROUTERERR_RESIZEMEMORY	ルータメモリのサイズを変更できませんでした。
0x502	1282	0x98110502	ROUTERERR_MAILBOXFULL	メールボックスが可能なメッセージの最大数に達しています。
0x503	1283	0x98110503	ROUTERERR_DEBUGBOXFULL	デバッグメールボックスが可能なメッセージの最大数に達しています。
0x504	1284	0x98110504	ROUTERERR_UNKNOWNPORTTYPE	ポートタイプが不明です。
0x505	1285	0x98110505	ROUTERERR_NOTINITIALIZED	ルータが初期化されていません。
0x506	1286	0x98110506	ROUTERERR_PORTALREADYINUSE	ポート番号が既に割り当てられています。
0x507	1287	0x98110507	ROUTERERR_NOTREGISTERED	ポートが登録されていません。
0x508	1288	0x98110508	ROUTERERR_NOMOREQUEUES	ポートの最大数に達しています。
0x509	1289	0x98110509	ROUTERERR_INVALIDPORT	ポートが無効です。
0x50A	1290	0x9811050A	ROUTERERR_NOTACTIVATED	ルータが有効ではありません。
0x50B	1291	0x9811050B	ROUTERERR_FRAGMENTBOXFULL	メールボックスが分割されたメッセージの最大数に達しています。
0x50C	1292	0x9811050C	ROUTERERR_FRAGMENTTIMEOUT	フラグメントタイムアウトが発生しました。
0x50D	1293	0x9811050D	ROUTERERR_TOBEREMOVED	ポートが削除されました。

一般的なADSエラーコード

16進数	10進数	HRESULT	名前	説明
0x700	1792	0x98110700	ADSERR_DEVICE_ERROR	一般的なデバイスエラーです。
0x701	1793	0x98110701	ADSERR_DEVICE_SRVNOTSUPP	サービスがサーバでサポートされていません。
0x702	1794	0x98110702	ADSERR_DEVICE_INVALIDGRP	インデックスグループが無効です。
0x703	1795	0x98110703	ADSERR_DEVICE_INVALIDOFFSET	インデックスオフセットが無効です。
0x704	1796	0x98110704	ADSERR_DEVICE_INVALIDACCESS	読み込み/書き込みが許可されていません。 複数の原因が考えられます。例えば、ルートを作成する際に間違ったパスワードが入力された場合などです。
0x705	1797	0x98110705	ADSERR_DEVICE_INVALIDSIZE	パラメータのサイズが正しくありません。
0x706	1798	0x98110706	ADSERR_DEVICE_INVALIDDATA	データ値が無効です。
0x707	1799	0x98110707	ADSERR_DEVICE_NOTREADY	デバイスの操作準備が完了していません。
0x708	1800	0x98110708	ADSERR_DEVICE_BUSY	デバイスがビジー状態です。
0x709	1801	0x98110709	ADSERR_DEVICE_INVALIDCONTEXT	オペレーティングシステムコンテキストが無効です。このエラーは、異なるタスクでADSブロックを使用すると発生することがあります。PLCでのマルチタスク同期によってこのエラーを解決できる場合があります。
0x70A	1802	0x9811070A	ADSERR_DEVICE_NOMEMORY	メモリが不足しています。
0x70B	1803	0x9811070B	ADSERR_DEVICE_INVALIDPARM	パラメータ値が無効です。
0x70C	1804	0x9811070C	ADSERR_DEVICE_NOTFOUND	見つかりません(ファイル...)
0x70D	1805	0x9811070D	ADSERR_DEVICE_SYNTAX	ファイルまたはコマンドの構文エラーです。
0x70E	1806	0x9811070E	ADSERR_DEVICE_INCOMPATIBLE	オブジェクトが一致しません。
0x70F	1807	0x9811070F	ADSERR_DEVICE_EXISTS	オブジェクトは既に存在しています。
0x710	1808	0x98110710	ADSERR_DEVICE_SYMBOLNOTFOUND	シンボルが見つかりません。
0x711	1809	0x98110711	ADSERR_DEVICE_SYMBOLVERSIONINVALID	シンボルのバージョンが無効です。これは、オンラインでの変更により発生する可能性があります。PLCでのハンドルを新規作成してください。
0x712	1810	0x98110712	ADSERR_DEVICE_INVALIDSTATE	デバイス(サーバ)が無効な状態です。
0x713	1811	0x98110713	ADSERR_DEVICE_TRANSMODENOTSUPP	AdsTransModeはサポートされていません。
0x714	1812	0x98110714	ADSERR_DEVICE_NOTIFYHNDINVALID	通知ハンドルが無効です。
0x715	1813	0x98110715	ADSERR_DEVICE_CLIENTUNKNOWN	通知クライアントが登録されていません。
0x716	1814	0x98110716	ADSERR_DEVICE_NOMOREHDL	使用可能なハンドルがこれ以上ありません。
0x717	1815	0x98110717	ADSERR_DEVICE_INVALIDWATCHSIZE	通知サイズが大きすぎます。
0x718	1816	0x98110718	ADSERR_DEVICE_NOTINIT	デバイスが初期化されていません。
0x719	1817	0x98110719	ADSERR_DEVICE_TIMEOUT	デバイスのタイムアウトです。
0x71A	1818	0x9811071A	ADSERR_DEVICE_NOINTERFACE	インターフェースの確認に失敗しました。
0x71B	1819	0x9811071B	ADSERR_DEVICE_INVALIDINTERFACE	間違ったインターフェースがリクエストされました。
0x71C	1820	0x9811071C	ADSERR_DEVICE_INVALIDCLSID	クラスIDが無効です。
0x71D	1821	0x9811071D	ADSERR_DEVICE_INVALIDOBJID	オブジェクトIDが無効です。
0x71E	1822	0x9811071E	ADSERR_DEVICE_PENDING	リクエストが保留中です。
0x71F	1823	0x9811071F	ADSERR_DEVICE_ABORTED	リクエストが中止されました。
0x720	1824	0x98110720	ADSERR_DEVICE_WARNING	信号警告です。
0x721	1825	0x98110721	ADSERR_DEVICE_INVALIDARRAYIDX	配列インデックスが無効です。
0x722	1826	0x98110722	ADSERR_DEVICE_SYMBOLNOTACTIVE	シンボルが有効ではありません。
0x723	1827	0x98110723	ADSERR_DEVICE_ACCESSDENIED	アクセスが拒否されました。 複数の原因が考えられます。例えば、単方向ADSルートが逆方向に使用される場合があります。
0x724	1828	0x98110724	ADSERR_DEVICE_LICENSENOTFOUND	ライセンスが見つかりません。
0x725	1829	0x98110725	ADSERR_DEVICE_LICENSEEXPIRED	ライセンスの期限が切れています。
0x726	1830	0x98110726	ADSERR_DEVICE_LICENSEEXCEEDED	ライセンスを超えています。
0x727	1831	0x98110727	ADSERR_DEVICE_LICENSEINVALID	ライセンスが無効です。
0x728	1832	0x98110728	ADSERR_DEVICE_LICENSESYSTEMID	ライセンスの問題: システムIDが無効です。
0x729	1833	0x98110729	ADSERR_DEVICE_LICENSENOTIMELIMIT	ライセンスの期限がありません。
0x72A	1834	0x9811072A	ADSERR_DEVICE_LICENSEFUTUREISSUE	ライセンスの問題: 未来の時間です。
0x72B	1835	0x9811072B	ADSERR_DEVICE_LICENSETIMETOLONG	ライセンス期間が長すぎます。
0x72C	1836	0x9811072C	ADSERR_DEVICE_EXCEPTION	システム起動時の例外処理です。
0x72D	1837	0x9811072D	ADSERR_DEVICE_LICENSEDUPLICATED	ライセンスファイルを2回読み込みました。
0x72E	1838	0x9811072E	ADSERR_DEVICE_SIGNATUREINVALID	署名が無効です。

16進数	10進数	HRESULT	名前	説明
0x72F	1839	0x9811072F	ADSERR_DEVICE_CERTIFICATEINVALID	証明書が無効です。
0x730	1840	0x98110730	ADSERR_DEVICE_LICENSEOEMNOTFOUN D	OEMからの不明な公開キーです。
0x731	1841	0x98110731	ADSERR_DEVICE_LICENSERESTRICTED	このシステムIDに対するライセンスが無効です。
0x732	1842	0x98110732	ADSERR_DEVICE_LICENSEDEMOMDENIED	デモライセンスは禁止されています。
0x733	1843	0x98110733	ADSERR_DEVICE_INVALIDFNCID	ファンクションIDが無効です。
0x734	1844	0x98110734	ADSERR_DEVICE_OUTOFRANGE	有効範囲外です。
0x735	1845	0x98110735	ADSERR_DEVICE_INVALIDALIGNMENT	アライメントが無効です。
0x736	1846	0x98110736	ADSERR_DEVICE_LICENSEPLATFORM	プラットフォームレベルが無効です。
0x737	1847	0x98110737	ADSERR_DEVICE_FORWARD_PL	コンテキスト - パッシブレベルに送信。
0x738	1848	0x98110738	ADSERR_DEVICE_FORWARD_DL	コンテキスト - ディスパッチレベルに送信。
0x739	1849	0x98110739	ADSERR_DEVICE_FORWARD_RT	コンテキスト - リアルタイムに送信。
0x740	1856	0x98110740	ADSERR_CLIENT_ERROR	クライアントエラーです。
0x741	1857	0x98110741	ADSERR_CLIENT_INVALIDPARM	サービスに無効なパラメータが含まれています。
0x742	1858	0x98110742	ADSERR_CLIENT_LISTEMPTY	ポーリングリストが空です。
0x743	1859	0x98110743	ADSERR_CLIENT_VARUSED	var接続が既に使用されています。
0x744	1860	0x98110744	ADSERR_CLIENT_DUPLINVOKEID	呼び出されたIDは既に使用されています。
0x745	1861	0x98110745	ADSERR_CLIENT_SYNCTIMEOUT	タイムアウトが発生しました - 指定されたADSタイムアウトでリモートターミナルが応答しません。リモートターミナルのルート設定が間違っている可能性があります。
0x746	1862	0x98110746	ADSERR_CLIENT_W32ERROR	Win32サブシステムのエラーです。
0x747	1863	0x98110747	ADSERR_CLIENT_TIMEOUTINVALID	クライアントタイムアウト値が無効です。
0x748	1864	0x98110748	ADSERR_CLIENT_PORTNOTOPEN	ポートが開いていません。
0x749	1865	0x98110749	ADSERR_CLIENT_NOAMSADDR	AMSアドレスがありません。
0x750	1872	0x98110750	ADSERR_CLIENT_SYNCINTERNAL	Ads syncの内部エラーです。
0x751	1873	0x98110751	ADSERR_CLIENT_ADDHASH	ハッシュテーブルがオーバーフローしました。
0x752	1874	0x98110752	ADSERR_CLIENT_REMOVEHASH	テーブルにキーが見つかりません。
0x753	1875	0x98110753	ADSERR_CLIENT_NOMORESVM	キャッシュにシンボルがありません。
0x754	1876	0x98110754	ADSERR_CLIENT_SYNCRESINVALID	無効な応答を受信しました。
0x755	1877	0x98110755	ADSERR_CLIENT_SYNCPORTLOCKED	Syncポートがロックされています。
0x756	1878	0x98110756	adserr_client_requestcancelled	リクエストはキャンセルされました。

RTimeエラーコード

16進数	10進数	HRESULT	名前	説明
0x1000	4096	0x98111000	RTERR_INTERNAL	リアルタイムシステムの内部エラーです。
0x1001	4097	0x98111001	RTERR_BADTIMERPERIODS	タイマー値が無効です。
0x1002	4098	0x98111002	RTERR_INVALIDTASKPTR	タスクポインタに無効な値0 (ゼロ)が設定されています。
0x1003	4099	0x98111003	RTERR_INVALIDSTACKPTR	スタックポインタに無効な値0 (ゼロ)が設定されています。
0x1004	4100	0x98111004	RTERR_PRIOEXISTS	リクエストタスクの優先順位は既に割り当て済みです。
0x1005	4101	0x98111005	RTERR_NOMORETCB	使用可能なTCB(タスク制御ブロック)はこれ以上ありません。TCBの最大数は64です。
0x1006	4102	0x98111006	RTERR_NOMORESEMAS	使用可能な排他処理はこれ以上ありません。排他処理の最大数は64です。
0x1007	4103	0x98111007	RTERR_NOMOREQUEUES	キューに使用可能な空きスペースがありません。キューの位置の最大数は64です。
0x100D	4109	0x9811100D	RTERR_EXTIRQALREADYDEF	外部同期割り込みが既に適用されています。
0x100E	4110	0x9811100E	RTERR_EXTIRQNOTDEF	外部同期割り込みは適用されていません。
0x100F	4111	0x9811100F	RTERR_EXTIRQINSTALLFAILED	外部同期割り込みの適用に失敗しました。
0x1010	4112	0x98111010	RTERR_IRQINOTLESSOREQUAL	間違ったコンテキストでサービス機能が呼び出されました。
0x1017	4119	0x98111017	RTERR_VMXNOTSUPPORTED	Intel VT-x拡張はサポートされていません。
0x1018	4120	0x98111018	RTERR_VMXDISABLED	Intel VT-x拡張はBIOSでは有効ではありません。
0x1019	4121	0x98111019	RTERR_VMXCONTROLSMISSING	Intel VT-x拡張でファンクションが見つかりません。
0x101A	4122	0x9811101A	RTERR_VMXENABLEFAILS	Intel VT-xの有効化に失敗しました。

特定の正のHRESULTリターンコード：

HRESULT	名前	説明
0x0000_0000	S_OK	エラーはありません。
0x0000_0001	S_FALSE	エラーはありません。 例：処理は成功しましたが、結果が負または不完全です。
0x0000_0203	S_PENDING	エラーはありません。 例：処理は成功しましたが、まだ結果が出ていません。
0x0000_0256	S_WATCHDOG_TIMEOUT	例：処理は成功しましたが、タイムアウトが発生しました。

TCP Winsockのエラーコード

16進数	10進数	名前	説明
0x274C	10060	WSAETIMEDOUT	接続タイムアウトが発生しました - 接続確立中のエラーです。一定時間が経過してもリモートターミナルが応答しなかった、または接続されたホストが応答しなかったために確立された接続を維持できなかったことが原因です。
0x274D	10061	WSAECONNREFUSED	接続が拒否されました - ターゲットコンピュータが接続を拒否したため、接続を確立できませんでした。通常、このエラーは外部ホスト上で無効なサービス(サーバアプリケーションが実行されていないサービス)への接続を試行すると発生します。
0x2751	10065	WSAEHOSTUNREACH	ホストへの経路がありません - ソケット操作が使用できないホストを参照しています。
その他のWinsockエラーコード: Win32エラーコード [▶ 93]			

これについて参照する

- ADSリターンコード [▶ 88]
- ADSリターンコード [▶ 88]
- ADSリターンコード [▶ 89]
- ADSリターンコード [▶ 91]

8.5 Win32エラーコード

次の表にWin32エラーコードのリストを示します。

0 [▶ 94], 100 [▶ 96], 200 [▶ 99], 1001 [▶ 101], 1100 [▶ 103], 1200 [▶ 106], 1400 [▶ 112],
1600 [▶ 114], 1800 [▶ 119], 2000 [▶ 121], 3000 [▶ 122], 5000 [▶ 125], 6000 [▶ 128], 8000
[▶ 130], 8500 [▶ 139], 9001 [▶ 143], 10004 [▶ 145], 12000 [▶ 148],

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
0	0x00000000	ERROR_SUCCESS	操作が正常に完了しました。
1	0x00000001	ERROR_INVALID_FUNCTION	ファンクションが正しくありません。
2	0x00000002	ERROR_FILE_NOT_FOUND	システムは指定されたファイルを見つけることができません。
3	0x00000003	ERROR_PATH_NOT_FOUND	システムは指定されたパスを見つけることができません。
4	0x00000004	ERROR_TOO_MANY_OPEN_FILES	システムはファイルを開くことができません。
5	0x00000005	ERROR_ACCESS_DENIED	アクセスが拒否されました。
6	0x00000006	ERROR_INVALID_HANDLE	ハンドルが無効です。
7	0x00000007	ERROR_ARENA_TRASHED	ストレージ制御ブロックが壊れています。
8	0x00000008	ERROR_NOT_ENOUGH_MEMORY	このコマンドを処理するために十分なストレージを使用できません。
9	0x00000009	ERROR_INVALID_BLOCK	ストレージ制御ブロックのアドレスが無効です。
10	0x0000000A	ERROR_BAD_ENVIRONMENT	環境が正しくありません。
11	0x0000000B	ERROR_BAD_FORMAT	正しくない形式でプログラムをロードしようとしました。
12	0x0000000C	ERROR_INVALID_ACCESS	アクセスコードが無効です。
13	0x0000000D	ERROR_INVALID_DATA	データが無効です。
14	0x0000000E	ERROR_OUTOFMEMORY	この操作を完了するために十分なストレージを使用できません。
15	0x0000000F	ERROR_INVALID_DRIVE	システムは指定されたドライブを見つけることができません。
16	0x00000010	ERROR_CURRENT_DIRECTORY	ディレクトリを削除できません。
17	0x00000011	ERROR_NOT_SAME_DEVICE	システムはファイルを別のディスクドライブに移動できません。
18	0x00000012	ERROR_NO_MORE_FILES	ファイルはこれ以上ありません。
19	0x00000013	ERROR_WRITE_PROTECT	メディアが書き込み保護されています。
20	0x00000014	ERROR_BAD_UNIT	システムは指定されたデバイスを見つけることができません。
21	0x00000015	ERROR_NOT_READY	デバイスがレディ状態ではありません。
22	0x00000016	ERROR_BAD_COMMAND	デバイスがコマンドを認識できません。
23	0x00000017	ERROR_CRC	データエラー(巡回冗長検査)。
24	0x00000018	ERROR_BAD_LENGTH	プログラムがコマンドを発行しましたが、コマンドの長さが正しくありません。
25	0x00000019	ERROR_SEEK	ドライブがディスク上の特定の領域またはトラックを見つけることができません。
26	0x0000001A	ERROR_NOT_DOS_DISK	指定されたディスクにアクセスできません。
27	0x0000001B	ERROR_SECTOR_NOT_FOUND	ドライブは要求されたセクタを見つけることができません。
28	0x0000001C	ERROR_OUT_OF_PAPER	プリンタに用紙がありません。
29	0x0000001D	ERROR_WRITE_FAULT	システムは指定されたデバイスに書き込むことができません。
30	0x0000001E	ERROR_READ_FAULT	システムは指定されたデバイスから読み取ることができません。
31	0x0000001F	ERROR_GEN_FAILURE	システムに接続されたデバイスは機能していません。
32	0x00000020	ERROR_SHARING_VIOLATION	他のプロセスによってファイルが使用されているため、プロセスはファイルにアクセスできません。
33	0x00000021	ERROR_LOCK_VIOLATION	他のプロセスがファイルの一部をロックしているため、プロセスはファイルにアクセスできません。
34	0x00000022	ERROR_WRONG_DISK	間違ったディスクがドライブに入っています。 %2 (ボリュームシリアル番号: %3) をドライブ %1 に挿入してください。
36	0x00000024	ERROR_SHARING_BUFFER_EXCEEDED	共有のために開いているファイルが多すぎます。
38	0x00000026	ERROR_HANDLE_EOF	ファイルの末尾に達しています。
39	0x00000027	ERROR_HANDLE_DISK_FULL	ディスクの空き領域がありません。
50	0x00000032	ERROR_NOT_SUPPORTED	リクエストがサポートされていません。
51	0x00000033	ERROR_REM_NOT_LIST	リモートコンピュータが使用できません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
52	0x00000034	ERROR_DUP_NAME	ネットワーク上に重複する名前が存在します。
53	0x00000035	ERROR_BAD_NETPATH	ネットワークパスが見つかりませんでした。
54	0x00000036	ERROR_NETWORK_BUSY	ネットワークがビジーです。
55	0x00000037	ERROR_DEV_NOT_EXIST	指定されたネットワークリソースまたはデバイスは使用できません。
56	0x00000038	ERROR_TOO_MANY_CMDS	ネットワークBIOSコマンドが制限値に達しています。
57	0x00000039	ERROR_ADAP_HDW_ERR	ネットワークアダプタのハードウェアエラーが発生しました。
58	0x0000003A	ERROR_BAD_NET_RESP	指定されたサーバは要求された動作を実行できません。
59	0x0000003B	ERROR_UNEXP_NET_ERR	予期せぬネットワークエラーが発生しました。
60	0x0000003C	ERROR_BAD_REM_ADAP	リモートアダプタが互換性がありません。
61	0x0000003D	ERROR_PRINTQ_FULL	プリンタキューの空き領域がありません。
62	0x0000003E	ERROR_NO_SPOOL_SPACE	印刷待ちのファイルを保存するスペースがサーバで使用できません。
63	0x0000003F	ERROR_PRINT_CANCELLED	印刷を待機中のファイルが削除されています。
64	0x00000040	ERROR_NETNAME_DELETED	指定されたネットワーク名が使用できません。
65	0x00000041	ERROR_NETWORK_ACCESS_DENIED	ネットワークアクセスが拒否されました。
66	0x00000042	ERROR_BAD_DEV_TYPE	ネットワークのリソースタイプが正しくありません。
67	0x00000043	ERROR_BAD_NET_NAME	ネットワーク名が見つかりません。
68	0x00000044	ERROR_TOO_MANY_NAMES	ローカルコンピュータのネットワークアダプタカードの名前の制限を超えました。
69	0x00000045	ERROR_TOO_MANY_SESS	ネットワークBIOSセッションの制限を超えました。
70	0x00000046	ERROR_SHARING_PAUSED	リモートサーバが停止しているか、または起動プロセス中です。
71	0x00000047	ERROR_REQ_NOT_ACCEP	コンピュータが許容可能な接続数に既に達しているため、現時点でこれ以上多くの接続をこのリモートコンピュータに対して行うことはできません。
72	0x00000048	ERROR_REDIRECT_PAUSED	指定されたプリンタまたはディスクデバイスが一時停止しています。
80	0x00000050	ERROR_FILE_EXISTS	ファイルは存在しています。
82	0x00000052	ERROR_CANNOT_MAKE	ディレクトリまたはファイルを作成できません。
83	0x00000053	ERROR_FAIL_I24	INT 24での障害。
84	0x00000054	ERROR_OUT_OF_STRUCTURES	このリクエストを処理するためのストレージを使用できません。
85	0x00000055	ERROR_ALREADY_ASSIGNED	ローカルデバイス名は既に使用されています。
86	0x00000056	ERROR_INVALID_PASSWORD	指定されたネットワークのパスワードが正しくありません。
87	0x00000057	ERROR_INVALID_PARAMETER	パラメータが正しくありません。
88	0x00000058	ERROR_NET_WRITE_FAULT	ネットワークで書き込みエラーが発生しました。
89	0x00000059	ERROR_NO_PROC_SLOTS	システムはこの時点で別のプロセスを起動できません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
100	0x00000064	ERROR_TOO_MANY_SEMAPHORES	別のシステムセマフォを作成できません。
101	0x00000065	ERROR_EXCL_SEM_ALREADY_OWNED	排他的セマフォが他のプロセスによって所有されています。
102	0x00000066	ERROR_SEM_IS_SET	セマフォが設定されていて終了できません。
103	0x00000067	ERROR_TOO_MANY_SEM_REQUESTS	セマフォを再設定できません。
104	0x00000068	ERROR_INVALID_AT_INTERRUPT_TIME	割り込み時に排他的セマフォを要求できません。
105	0x00000069	ERROR_SEM_OWNER_DIED	このセマフォの以前の所有権が終了しています。
106	0x0000006A	ERROR_SEM_USER_LIMIT	ドライブ %1 にディスクを挿入してください。
107	0x0000006B	ERROR_DISK_CHANGE	代わりのディスクが挿入されていないため、プログラムが停止しました。
108	0x0000006C	ERROR_DRIVE_LOCKED	ディスクは他のプロセスによって使用中かロックされています。
109	0x0000006D	ERROR_BROKEN_PIPE	パイプが終了しています。
110	0x0000006E	ERROR_OPEN_FAILED	システムは指定されたデバイスまたはファイルを開くことができません。
111	0x0000006F	ERROR_BUFFER_OVERFLOW	ファイル名が長すぎます。
112	0x00000070	ERROR_DISK_FULL	ディスクに十分なスペースがありません。
113	0x00000071	ERROR_NO_MORE_SEARCH_HANDLES	内部ファイルIDはこれ以上使用できません。
114	0x00000072	ERROR_INVALID_TARGET_HANDLE	ターゲット内部ファイルIDが正しくありません。
117	0x00000075	ERROR_INVALID_CATEGORY	アプリケーションプログラムによって行なわれた IOCTL 呼び出しが正しくありません。
118	0x00000076	ERROR_INVALID_VERIFY_SWITCH	verify-on-write スイッチのパラメータ値が正しくありません。
119	0x00000077	ERROR_BAD_DRIVER_LEVEL	システムは要求されたコマンドをサポートしていません。
120	0x00000078	ERROR_CALL_NOT_IMPLEMENTED	この関数はこのシステムではサポートされていません。
121	0x00000079	ERROR_SEM_TIMEOUT	セマフォタイムアウト期間を過ぎてきます。
122	0x0000007A	ERROR_INSUFFICIENT_BUFFER	システムコールに渡されたデータ領域が小さすぎます。
123	0x0000007B	ERROR_INVALID_NAME	ファイル名、ディレクトリ名、またはボリュームラベルの構文が正しくありません。
124	0x0000007C	ERROR_INVALID_LEVEL	システムコールのレベルが正しくありません。
125	0x0000007D	ERROR_NO_VOLUME_LABEL	ディスクにボリュームラベルがありません。
126	0x0000007E	ERROR_MOD_NOT_FOUND	指定されたモジュールが見つかりませんでした。
127	0x0000007F	ERROR_PROC_NOT_FOUND	指定されたプロシージャが見つかりませんでした。
128	0x00000080	ERROR_WAIT_NO_CHILDREN	待機する子プロセスはありません。
129	0x00000081	ERROR_CHILD_NOT_COMPLETE	%1 アプリケーションは Win32 モードでは実行できません。
130	0x00000082	ERROR_DIRECT_ACCESS_HANDLE	ローディスク I/O 以外の操作のためにディスクパーティションを開くファイルハンドルを使用しようとしています。
131	0x00000083	ERROR_NEGATIVE_SEEK	フィルの開始前にファイルポインタを移動しようとしてしました。
132	0x00000084	ERROR_SEEK_ON_DEVICE	ファイルポインタは指定されたデバイスまたはファイルに設定できません。
133	0x00000085	ERROR_IS_JOIN_TARGET	JOIN または SUBST コマンドは、以前に結合されたドライブを含むドライブには使用できません。
134	0x00000086	ERROR_IS_JOINED	既に結合されたドライブで JOIN または SUBST コマンドを使用しようとしてしました。
135	0x00000087	ERROR_IS_SUBSTED	既に置換されたドライブで JOIN または SUBST コマンドを使用しようとしてしました。
136	0x00000088	ERROR_NOT_JOINED	システムは結合されていないドライブの JOIN を削除しようとしてしました。
137	0x00000089	ERROR_NOT_SUBSTED	システムは置換されていないドライブの置換を削除しようとしてしました。
138	0x0000008A	ERROR_JOIN_TO_JOIN	システムは結合されたドライブ上のディレクトリにドライブを結合しようとしてしました。
139	0x0000008B	ERROR_SUBST_TO_SUBST	システムは置換されたドライブ上のディレクトリにドライブを置換しようとしてしました。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
140	0x0000008C	ERROR_JOIN_TO_SUBST	システムは置換されたドライブ上のディレクトリにドライブを結合しようとしてしました。
141	0x0000008D	ERROR_SUBST_TO_JOIN	システムは結合されたドライブ上のディレクトリにドライブをSUBST(置換)しようとしてしました。
142	0x0000008E	ERROR_BUSY_DRIVE	システムはこの時点ではJOINまたはSUBSTを実行できません。
143	0x0000008F	ERROR_SAME_DRIVE	システムは、同じドライブ上のディレクトリにドライブを結合または置換できません。
144	0x00000090	ERROR_DIR_NOT_ROOT	ディレクトリはルートディレクトリのサブディレクトリではありません。
145	0x00000091	ERROR_DIR_NOT_EMPTY	ディレクトリが空ではありません。
146	0x00000092	ERROR_IS_SUBST_PATH	指定されたパスは、置換で使用されています。
147	0x00000093	ERROR_IS_JOIN_PATH	このコマンドを処理するために十分なリソースを使用できません。
148	0x00000094	ERROR_PATH_BUSY	指定されたパスはこの時点では使用できません。
149	0x00000095	ERROR_IS_SUBST_TARGET	ドライブ上のディレクトリが以前の置換のターゲットであったドライブを結合または置換しようとしてしました。
150	0x00000096	ERROR_SYSTEM_TRACE	システムトレース情報がCONFIG.SYSファイルに指定されていないか、またはトレースが認められていません。
151	0x00000097	ERROR_INVALID_EVENT_COUNT	DosMuxSemWaitに指定されたセマフォイベントの数が正しくありません。
152	0x00000098	ERROR_TOO_MANY_MUXWAITERS	DosMuxSemWaitが実行されませんでした。既に設定されているセマフォが多すぎます。
153	0x00000099	ERROR_INVALID_LIST_FORMAT	DosMuxSemWaitリストが正しくありません。
154	0x0000009A	ERROR_LABEL_TOO_LONG	入力したボリュームラベルが、ターゲットファイルシステムのラベル文字の制限を超えています。
155	0x0000009B	ERROR_TOO_MANY_TCBS	別のスレッドを作成できません。
156	0x0000009C	ERROR_SIGNAL_REFUSED	受信プロセスが信号の受信を拒否しました。
157	0x0000009D	ERROR_DISCARDED	セグメントは既に破棄されていてロックできません。
158	0x0000009E	ERROR_NOT_LOCKED	セグメントは既にロック解除されています。
159	0x0000009F	ERROR_BAD_THREADID_ADDR	スレッドIDのアドレスが正しくありません。
160	0x000000A0	ERROR_BAD_ARGUMENTS	DosExecPgmに渡された引数文字列が正しくありません。
161	0x000000A1	ERROR_BAD_PATHNAME	指定されたパスが無効です。
162	0x000000A2	ERROR_SIGNAL_PENDING	信号は既に保留中です。
164	0x000000A4	ERROR_MAX_THRDS_REACHED	システムにスレッドをこれ以上作成できません。
167	0x000000A7	ERROR_LOCK_FAILED	ファイルの一部の領域をロックできません。
170	0x000000AA	ERROR_BUSY	要求されたリソースは使用中です。
173	0x000000AD	ERROR_CANCEL_VIOLATION	提供されたキャンセル範囲に対するロックリクエストが未処理の状態ではありませんでした。
174	0x000000AE	ERROR_ATOMIC_LOCKS_NOT_SUPPORTED	ファイルシステムはロックタイプへのアトミックチェンジをサポートしていません。
180	0x000000B4	ERROR_INVALID_SEGMENT_NUMBER	システムが正しくないセグメント番号を検出しました。
182	0x000000B6	ERROR_INVALID_ORDINAL	このオペレーティング システムでは %1 は実行されません。
183	0x000000B7	ERROR_ALREADY_EXISTS	そのファイルが既に存在している場合は、ファイルを作成できません。
186	0x000000BA	ERROR_INVALID_FLAG_NUMBER	渡されたフラグが正しくありません。
187	0x000000BB	ERROR_SEM_NOT_FOUND	指定されたシステムセマフォ名が見つかりませんでした。
188	0x000000BC	ERROR_INVALID_STARTING_CODESEG	このオペレーティング システムでは %1 は実行されません。
189	0x000000BD	ERROR_INVALID_STACKSEG	このオペレーティング システムでは %1 は実行されません。
190	0x000000BE	ERROR_INVALID_MODULETYPE	このオペレーティング システムでは %1 は実行されません。
191	0x000000BF	ERROR_INVALID_EXE_SIGNATURE	Win32モードでは %1 を実行できません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
192	0x000000C0	ERROR_EXE_MARKED_INVALID	このオペレーティング システムでは %1 は実行されません。
193	0x000000C1	ERROR_BAD_EXE_FORMAT	%1 は有効なWin32アプリケーションではありません。
194	0x000000C2	ERROR_ITERATED_DATA_EXCEEDS_64k	このオペレーティング システムでは %1 は実行されません。
195	0x000000C3	ERROR_INVALID_MINALLOCSIZE	このオペレーティング システムでは %1 は実行されません。
196	0x000000C4	ERROR_DYNLINK_FROM_INVALID_RING	このオペレーティング システムではこのアプリケーション プログラムは実行されません。
197	0x000000C5	ERROR_IOPL_NOT_ENABLED	OSは現在、このアプリケーションを実行するように構成されていません。
198	0x000000C6	ERROR_INVALID_SEGDPL	このオペレーティング システムでは %1 は実行されません。
199	0x000000C7	ERROR_AUTODATASEG_EXCEEDS_64k	OSはこのアプリケーションプログラムを実行できません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
200	0x000000C8	ERROR_RING2SEG_MUST_BE_MOVABLE	コードセグメントは64K以上にすることはできません。
201	0x000000C9	ERROR_RELOC_CHAIN_XEEDS_SEGLIM	このオペレーティング システムでは %1 は実行されません。
202	0x000000CA	ERROR_INFLOOP_IN_RELOC_CHAIN	このオペレーティング システムでは %1 は実行されません。
203	0x000000CB	ERROR_ENVVAR_NOT_FOUND	システムは入力された環境オプションを見つけることができませんでした。
205	0x000000CD	ERROR_NO_SIGNAL_SENT	コマンドサブツリーには信号ハンドラを持つプロセスがありません。
206	0x000000CE	ERROR_FILENAME_EXCED_RANGE	ファイル名または拡張子が長すぎます。
207	0x000000CF	ERROR_RING2_STACK_IN_USE	リング2スタックは使用中です。
208	0x000000D0	ERROR_META_EXPANSION_TOO_LONG	グローバルファイル名の文字「*」または「?」が誤って入力されたか、または指定されているグローバルファイル名の文字が多すぎます。
209	0x000000D1	ERROR_INVALID_SIGNAL_NUMBER	ポストされている信号が正しくありません。
210	0x000000D2	ERROR_THREAD_1_INACTIVE	信号ハンドラを設定できません。
212	0x000000D4	ERROR_LOCKED	セグメントはロックされていて再割り当てできません。
214	0x000000D6	ERROR_TOO_MANY_MODULES	このプログラムまたはダイナミックリンクモジュールに付加されているダイナミックリンクモジュールが多すぎます。
215	0x000000D7	ERROR_NESTING_NOT_ALLOWED	LoadModuleへの呼び出しをネストできません。
216	0x000000D8	ERROR_EXE_MACHINE_TYPE_MISMATCH	イメージファイル %1 は、現在のマシン以外のマシンタイプに対して有効です。
230	0x000000E6	ERROR_BAD_PIPE	パイプの状態が無効です。
231	0x000000E7	ERROR_PIPE_BUSY	すべてのパイプインスタンスがビジーです。
232	0x000000E8	ERROR_NO_DATA	パイプが閉じられています。
233	0x000000E9	ERROR_PIPE_NOT_CONNECTED	パイプの反対側にプロセスがありません。
234	0x000000EA	ERROR_MORE_DATA	より多くのデータを使用可能です。
240	0x000000F0	ERROR_VC_DISCONNECTED	セッションはキャンセルされました。
254	0x000000FE	ERROR_INVALID_EA_NAME	指定された拡張属性名が無効です。
255	0x000000FF	ERROR_EA_LIST_INCONSISTENT	拡張属性の整合性がありません。
258	0x00000102	WAIT_TIMEOUT	待機動作がタイムアウトしました。
259	0x00000103	ERROR_NO_MORE_ITEMS	データはこれ以上使用できません。
266	0x0000010A	ERROR_CANNOT_COPY	コピー機能は使用できません。
267	0x0000010B	ERROR_DIRECTORY	ディレクトリ名が無効です。
275	0x00000113	ERROR_EAS_DIDNT_FIT	拡張属性がバッファに適合しませんでした。
276	0x00000114	ERROR_EA_FILE_CORRUPT	マウントされたファイルシステムの拡張属性ファイルが破損しています。
277	0x00000115	ERROR_EA_TABLE_FULL	拡張属性テーブルファイルの空き領域がありません。
278	0x00000116	ERROR_INVALID_EA_HANDLE	指定された拡張属性ハンドルが無効です。
282	0x0000011A	ERROR_EAS_NOT_SUPPORTED	マウントされたファイルシステムは拡張属性をサポートしていません。
288	0x00000120	ERROR_NOT_OWNER	呼び出し側によって所有されていないミューテックスを解放しようとした。
298	0x0000012A	ERROR_TOO_MANY_POSTS	セマフォに対して行われたポストが多すぎます。
299	0x0000012B	ERROR_PARTIAL_COPY	ReadProcessMemoryまたはWriteProcessMemoryリクエストの一部のみが完了しました。
300	0x0000012C	ERROR_OPLOCK_NOT_GRANTED	oplock要求が拒否されました。
301	0x0000012D	ERROR_INVALID_OPLOCK_PROTOCOL	無効なoplock肯定応答がシステムによって受信されました。
302	0x0000012E	ERROR_DISK_TOO_FRAGMENTED	この操作を実行するにはボリュームが断片化されすぎています。
303	0x0000012F	ERROR_DELETE_PENDING	ファイルのプロセスが削除されたため、ファイルを開くことができません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
317	0x0000013D	ERROR_MR_MID_NOT_FOUND	システムは、%2 のメッセージファイル内のメッセージ番号 0x%1 に対応するメッセージテキストを見つけることができません。
487	0x000001E7	ERROR_INVALID_ADDRESS	無効なアドレスにアクセスしようとしてしました。
534	0x00000216	ERROR_ARITHMETIC_OVERFLOW	計算結果が32ビットを超えました。
535	0x00000217	ERROR_PIPE_CONNECTED	パイプの反対側にプロセスがあります。
536	0x00000218	ERROR_PIPE_LISTENING	パイプの反対側を開くプロセスを待機中です。
994	0x000003E2	ERROR_EA_ACCESS_DENIED	拡張属性へのアクセスが拒否されました。
995	0x000003E3	ERROR_OPERATION_ABORTED	スレッドの終了またはアプリケーションの要求のため、I/O操作が中止されました。
996	0x000003E4	ERROR_IO_INCOMPLETE	重複するI/Oイベントが信号状態ではありません。
997	0x000003E5	ERROR_IO_PENDING	重複するI/O操作が進行中です。
998	0x000003E6	ERROR_NOACCESS	メモリロケーションへの無効なアクセス。
999	0x000003E7	ERROR_SWAPERROR	inpage操作の実行時エラー

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
1001	0x000003E9	ERROR_STACK_OVERFLOW	再帰が深すぎます。スタックがオーバーフローしました。
1002	0x000003EA	ERROR_INVALID_MESSAGE	ウィンドウが送信されたメッセージに応答できません。
1003	0x000003EB	ERROR_CAN_NOT_COMPLETE	この機能を完了できません。
1004	0x000003EC	ERROR_INVALID_FLAGS	無効なフラグ
1005	0x000003ED	ERROR_UNRECOGNIZED_VOLUME	ボリュームには認識されるファイルシステムが含まれていません。必要なすべてのファイルシステムドライバがロードされていることと、ボリュームが破損していないことを確認してください。
1006	0x000003EE	ERROR_FILE_INVALID	ファイルのボリュームが外部から変更されたため、開いているファイルが有効でなくなりました。
1007	0x000003EF	ERROR_FULLSCREEN_MODE	要求された操作は、フルスクリーンモードでは実行できません。
1008	0x000003F0	ERROR_NO_TOKEN	存在しないトークンを参照しようとしてしました。
1009	0x000003F1	ERROR_BADDB	設定レジストリデータベースが破損しています。
1010	0x000003F2	ERROR_BADKEY	設定レジストリキーが無効です。
1011	0x000003F3	ERROR_CANTOPEN	設定レジストリキーを開くことができませんでした。
1012	0x000003F4	ERROR_CANTREAD	設定レジストリキーを読み取ることができませんでした。
1013	0x000003F5	ERROR_CANTWRITE	設定レジストリキーに書き込むことができませんでした。
1014	0x000003F6	ERROR_REGISTRY_RECOVERED	ログまたは代替コピーを使用して、レジストリデータベース内のファイルの1つを復元する必要がありました。復元に成功しました。
1015	0x000003F7	ERROR_REGISTRY_CORRUPT	レジストリが破損しています。レジストリデータを含んでいるファイルの1つの構造体が破損しているか、あるいは代替コピーまたはログが存在していないかまたは破損しているため、ファイルに関するシステムのメモリイメージが復元できません。
1016	0x000003F8	ERROR_REGISTRY_IO_FAILED	レジストリによって開始されたI/O操作が失敗し、回復不能です。レジストリは、レジストリに関するシステムのイメージを含むファイルの1つをリードイン、リードアウト、またはフラッシュすることができませんでした。
1017	0x000003F9	ERROR_NOT_REGISTRY_FILE	システムはファイルをレジストリにロードまたは復元しようとしてしましたが、指定されたファイルがレジストリファイル形式になっていません。
1018	0x000003FA	ERROR_KEY_DELETED	削除のマークが付いたレジストリキーに対して、無効な操作を実行しようとしてしました。
1019	0x000003FB	ERROR_NO_LOG_SPACE	システムはレジストリログに必要なスペースを割り当てることができませんでした。
1020	0x000003FC	ERROR_KEY_HAS_CHILDREN	既にサブキーまたは値を持つレジストリキーにはシンボリックリンクを作成できません。
1021	0x000003FD	ERROR_CHILD_MUST_BE_VOLATILE	揮発性親キーの下に安定したサブキーを作成することはできません。
1022	0x000003FE	ERROR_NOTIFY_ENUM_DIR	変更通知リクエストが完了し、その情報が呼び出し側のバッファに返されていません。呼び出し側は、現在、変更を探すファイルを列挙する必要があります。
1051	0x0000041B	ERROR_DEPENDENT_SERVICES_RUNNING	他の実行中のサービスに依存するサービスに対して停止制御が送信されました。
1052	0x0000041C	ERROR_INVALID_SERVICE_CONTROL	要求された操作はこのサービスでは有効ではありません。
1053	0x0000041D	ERROR_SERVICE_REQUEST_TIMEOUT	サービスが所定の時間内に開始または制御リクエストに対して応答しませんでした。
1054	0x0000041E	ERROR_SERVICE_NO_THREAD	このサービスにはスレッドを作成できませんでした。
1055	0x0000041F	ERROR_SERVICE_DATABASE_LOCKED	サービスデータベースがロックされています。
1056	0x00000420	ERROR_SERVICE_ALREADY_RUNNING	サービスのインスタンスが既に実行中です。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
1057	0x00000421	ERROR_INVALID_SERVICE_ACCOUNT	アカウント名が無効または存在しないか、または指定されたアカウント名に対してパスワードが無効です。
1058	0x00000422	ERROR_SERVICE_DISABLED	サービスが無効になっているか、または関連付けられているデバイスが有効になっていないため、サービスを開始できません。
1059	0x00000423	ERROR_CIRCULAR_DEPENDENCY	循環するサービス依存関係が指定されました。
1060	0x00000424	ERROR_SERVICE_DOES_NOT_EXIST	指定されたサービスは、インストールされたサービスとして存在していません。
1061	0x00000425	ERROR_SERVICE_CANNOT_ACCEPT_CTRL	サービスはこの時点で制御メッセージを受理できません。
1062	0x00000426	ERROR_SERVICE_NOT_ACTIVE	サービスが開始していません。
1063	0x00000427	ERROR_FAILED_SERVICE_CONTROLLER_CONNECT	サービスプロセスがサービスコントローラに接続できませんでした。
1064	0x00000428	ERROR_EXCEPTION_IN_SERVICE	制御リクエストの処理中にサービスで例外が発生しました。
1065	0x00000429	ERROR_DATABASE_DOES_NOT_EXIST	指定されたデータベースは存在しません。
1066	0x0000042A	ERROR_SERVICE_SPECIFIC_ERROR	サービスがサービス固有のエラーコードを返しました。
1067	0x0000042B	ERROR_PROCESS_ABORTED	プロセスが予期せず終了しました。
1068	0x0000042C	ERROR_SERVICE_DEPENDENCY_FAIL	依存関係サービスまたはグループが開始できませんでした。
1069	0x0000042D	ERROR_SERVICE_LOGON_FAILED	ログオンに失敗したため、サービスが開始できませんでした。
1070	0x0000042E	ERROR_SERVICE_START_HANG	開始後、サービスが開始保留状態でハングしました。
1071	0x0000042F	ERROR_INVALID_SERVICE_LOCK	指定されたサービスデータベースロックは無効です。
1072	0x00000430	ERROR_SERVICE_MARKED_FOR_DELETE	指定されたサービスは、削除のマークが付けられています。
1073	0x00000431	ERROR_SERVICE_EXISTS	指定されたサービスは既に存在しています。
1074	0x00000432	ERROR_ALREADY_RUNNING_LKG	システムは、現在、Last Known Good Configuration (前回正常起動時の構成)で実行中です。
1075	0x00000433	ERROR_SERVICE_DEPENDENCY_DELETED	依存するサービスが存在しないか、または削除のマークが付けられています。
1076	0x00000434	ERROR_BOOT_ALREADY_ACCEPTED	現在のブートが、前回正常起動時の制御セットとして既に使用を承認されています。
1077	0x00000435	ERROR_SERVICE_NEVER_STARTED	前回のブート以後、サービスを開始する試行が行われていません。
1078	0x00000436	ERROR_DUPLICATE_SERVICE_NAME	その名前は既にサービス名またはサービス表示名として使用されています。
1079	0x00000437	ERROR_DIFFERENT_SERVICE_ACCOUNT	このサービスに対して指定されたアカウントが、同じプロセスで実行中の他のサービスに対して指定されたアカウントと異なります。
1080	0x00000438	ERROR_CANNOT_DETECT_DRIVER_FAILURE	障害アクションは、ドライバに対してではなく、Win32サービスに対してのみ設定できます。
1081	0x00000439	ERROR_CANNOT_DETECT_PROCESS_ABORT	このサービスは、サービス制御マネージャと同じプロセスで実行されています。そのため、サービス制御マネージャは、このサービスのプロセスが予期せず終了した場合にアクションを取ることができません。
1082	0x0000043A	ERROR_NO_RECOVERY_PROGRAM	このサービスには復元プログラムが設定されていません。
1083	0x0000043B	ERROR_SERVICE_NOT_IN_EXE	このサービスを実行するように設定されている実行可能なプログラムにサービスが実装されていません。
1084	0x0000043C	ERROR_NOT_SAFEBOOT_SERVICE	このサービスはセーフモードでは開始できません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
1100	0x0000044C	ERROR_END_OF_MEDIA	テープの物理的な末端に達しました。
1101	0x0000044D	ERROR_FILEMARK_DETECTED	テープアクセスがファイルマークに達しました。
1102	0x0000044E	ERROR_BEGINNING_OF_MEDIA	テープまたはパーティションの開始位置に達しました。
1103	0x0000044F	ERROR_SETMARK_DETECTED	テープアクセスが一連のファイルの末尾に達しました。
1104	0x00000450	ERROR_NO_DATA_DETECTED	テープにはデータがこれ以上ありません。
1105	0x00000451	ERROR_PARTITION_FAILURE	テープにパーティションを設定できませんでした。
1106	0x00000452	ERROR_INVALID_BLOCK_LENGTH	マルチボリュームパーティションの新しいテープにアクセスする場合、現在のブロックサイズが正しくありません。
1107	0x00000453	ERROR_DEVICE_NOT_PARTITIONED	テープのロード時にテープパーティション情報を見つけることができませんでした。
1108	0x00000454	ERROR_UNABLE_TO_LOCK_MEDIA	メディアイジェクト機構をロックできません。
1109	0x00000455	ERROR_UNABLE_TO_UNLOAD_MEDIA	メディアをアンロードできません。
1110	0x00000456	ERROR_MEDIA_CHANGED	ドライブのメディアが変更された可能性があります。
1111	0x00000457	ERROR_BUS_RESET	I/Oバスがリセットされました。
1112	0x00000458	ERROR_NO_MEDIA_IN_DRIVE	ドライブにメディアがありません。
1113	0x00000459	ERROR_NO_UNICODE_TRANSLATION	Unicode文字のマッピングが、ターゲットのマルチバイトコードページに存在していません。
1114	0x0000045A	ERROR_DLL_INIT_FAILED	ダイナミックリンクライブラリ(DLL)の初期化ルーチンが失敗しました。
1115	0x0000045B	ERROR_SHUTDOWN_IN_PROGRESS	システムをシャットダウン中です。
1116	0x0000045C	ERROR_NO_SHUTDOWN_IN_PROGRESS	進行中のシャットダウンがないため、システムシャットダウンを中止することができません。
1117	0x0000045D	ERROR_IO_DEVICE	I/Oデバイスエラーのため、リクエストを実行できませんでした。
1118	0x0000045E	ERROR_SERIAL_NO_DEVICE	正常に初期化されたシリアルデバイスがありません。シリアルドライバがアンロードされます。
1119	0x0000045F	ERROR_IRQ_BUSY	他のデバイスと割り込みリクエスト(IRQ)を共有するデバイスを開くことができません。IRQを使用する少なくとも1つの他のデバイスが既に開かれています。
1120	0x00000460	ERROR_MORE_WRITES	シリアルI/O操作がこのシリアルポートへの別の書き込みによって完了しています。(IOCTL_SERIAL_XOFF_COUNTERがゼロに達しました。)
1121	0x00000461	ERROR_COUNTER_TIMEOUT	タイムアウト期限が過ぎているため、シリアルI/O操作が完了しています。(IOCTL_SERIAL_XOFF_COUNTERがゼロに達していません。)
1122	0x00000462	ERROR_FLOPPY_ID_MARK_NOT_FOUND	フロッピーディスク上にIDアドレスマークが見つかりませんでした。
1123	0x00000463	ERROR_FLOPPY_WRONG_CYLINDER	フロッピーディスクのセクタIDフィールドとフロッピーディスクのコントローラトラックアドレスが一致しません。
1124	0x00000464	ERROR_FLOPPY_UNKNOWN_ERROR	フロッピーディスクのコントローラがフロッピーディスクのドライバによって認識されないエラーを報告しました。
1125	0x00000465	ERROR_FLOPPY_BAD_REGISTERS	フロッピーディスクのコントローラがレジスタに整合性のない結果を返しました。
1126	0x00000466	ERROR_DISK_RECALIBRATE_FAILED	ハードディスクへのアクセス時に再校正操作に失敗し、再試行を繰り返しましたが成功しませんでした。
1127	0x00000467	ERROR_DISK_OPERATION_FAILED	ハードディスクへのアクセス時にディスク操作に失敗し、再試行を繰り返しましたが成功しませんでした。
1128	0x00000468	ERROR_DISK_RESET_FAILED	ハードディスクにアクセスする間に、ディスクコントローラのリセットが必要ですが、それにも失敗しました。
1129	0x00000469	ERROR_EOM_OVERFLOW	テープの物理的な終端に達しました。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
1130	0x0000046A	ERROR_NOT_ENOUGH_SERVER_MEMORY	このコマンドを処理するために十分なサーバストレージを使用できません。
1131	0x0000046B	ERROR_POSSIBLE_DEADLOCK	潜在的なデッドロック状態が検出されました。
1132	0x0000046C	ERROR_MAPPED_ALIGNMENT	指定されたベースアドレスまたはファイルオフセットのアライメントが適切ではありません。
1140	0x00000474	ERROR_SET_POWER_STATE_VETOED	システムの電源状態を変更しようとしたが、別のアプリケーションまたはドライブによって拒否されました。
1141	0x00000475	ERROR_SET_POWER_STATE_FAILED	システムBIOSがシステム電源状態の変更に失敗しました。
1142	0x00000476	ERROR_TOO_MANY_LINKS	ファイルシステムがサポートするリンク数より多いリンクをファイルに作成しようとした。
1150	0x0000047E	ERROR_OLD_WIN_VERSION	指定されたプログラムには新しいWindowsバージョンが必要です。
1151	0x0000047F	ERROR_APP_WRONG_OS	指定されたプログラムは、WindowsまたはMS-DOSプログラムではありません。
1152	0x00000480	ERROR_SINGLE_INSTANCE_APP	指定されたプログラムの1よりも多いインスタンスを開始することができません。
1153	0x00000481	ERROR_RMODE_APP	指定されたプログラムは、以前のWindowsバージョン用に書かれています。
1154	0x00000482	ERROR_INVALID_DLL	このアプリケーションを実行するために必要なライブラリファイルの1つが破損しています。
1155	0x00000483	ERROR_NO_ASSOCIATION	この操作に指定されたファイルにはアプリケーションが関連付けられていません。
1156	0x00000484	ERROR_DDE_FAIL	アプリケーションへのコマンド送信時にエラーが発生しました。
1157	0x00000485	ERROR_DLL_NOT_FOUND	このアプリケーションを実行するために必要なライブラリファイルの1つが見つかりません。
1158	0x00000486	ERROR_NO_MORE_USER_HANDLES	現在のプロセスは、ハンドルのすべてのシステム割当量をWindow Managerオブジェクトに使用しています。
1159	0x00000487	ERROR_MESSAGE_SYNC_ONLY	このメッセージは同期動作でのみ使用することができます。
1160	0x00000488	ERROR_SOURCE_ELEMENT_EMPTY	指示されたソースエレメントにはメディアがありません。
1161	0x00000489	ERROR_DESTINATION_ELEMENT_FULL	指示された保存先エレメントには既にメディアが含まれています。
1162	0x0000048A	ERROR_ILLEGAL_ELEMENT_ADDRESS	指示されたエレメントは存在しません。
1163	0x0000048B	ERROR_MAGAZINE_NOT_PRESENT	指示されたエレメントは、存在しないマガジンの一部です。
1164	0x0000048C	ERROR_DEVICE_REINITIALIZATION_NEEDED	指示されたデバイスは、ハードウェアエラーのため再初期化が必要です。
1165	0x0000048D	ERROR_DEVICE_REQUIRES_CLEANING	デバイスは、操作が試行される前にクリーニングが必要であることを示しています。
1166	0x0000048E	ERROR_DEVICE_DOOR_OPEN	デバイスはドアが開いていることを示しています。
1167	0x0000048F	ERROR_DEVICE_NOT_CONNECTED	デバイスは接続されていません。
1168	0x00000490	ERROR_NOT_FOUND	エレメントが見つかりませんでした。
1169	0x00000491	ERROR_NO_MATCH	インデックスには指定されたキーに一致するものがありません。
1170	0x00000492	ERROR_SET_NOT_FOUND	指定されたプロパティセットはオブジェクトには存在しません。
1171	0x00000493	ERROR_POINT_NOT_FOUND	GetMouseMovePointsExに渡すポイントがバッファ内にありません。
1172	0x00000494	ERROR_NO_TRACKING_SERVICE	トラッキング(ワークステーション)サービスは実行されていません。
1173	0x00000495	ERROR_NO_VOLUME_ID	ボリュームIDが見つかりませんでした。
1175	0x00000497	ERROR_UNABLE_TO_REMOVE_REPLACED	置き換えられるファイルを削除できません。
1176	0x00000498	ERROR_UNABLE_TO_MOVE_REPLACEMENT	置き換えるファイルを置き換えられるファイルに移動できません。置き換えられるファイルは元の名前を保持しています。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
1177	0x00000499	ERROR_UNABLE_TO_MOVE_REPLACEMENT_2	置き換えるファイルを置き換えられるファイルに移動できません。置き換えられるファイルは、バックアップ名を使用して名前が変更されています。
1178	0x0000049A	ERROR_JOURNAL_DELETE_IN_PROGRESS	ボリューム変更ジャーナルを削除中です。
1179	0x0000049B	ERROR_JOURNAL_NOT_ACTIVE	ボリューム変更ジャーナルがアクティブではありません。
1180	0x0000049C	ERROR_POTENTIAL_FILE_FOUND	ファイルが見つかりましたが、正しいファイルではない可能性があります。
1181	0x0000049D	ERROR_JOURNAL_ENTRY_DELETED	ジャーナルエントリがジャーナルから削除されています。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
1200	0x000004B0	ERROR_BAD_DEVICE	指定されたデバイス名が無効です。
1201	0x000004B1	ERROR_CONNECTION_UNAVAIL	デバイスは現在接続されていませんが、接続が記憶されています。
1202	0x000004B2	ERROR_DEVICE_ALREADY_REMEMBERED	ローカルデバイスに別のネットワークリソースへの接続が記憶されています。
1203	0x000004B3	ERROR_NO_NET_OR_BAD_PATH	受け取ったネットワークパスを承認したネットワークプロバイダはありません。
1204	0x000004B4	ERROR_BAD_PROVIDER	指定されたネットワークプロバイダ名が無効です。
1205	0x000004B5	ERROR_CANNOT_OPEN_PROFILE	ネットワーク接続プロファイルを開くことができません。
1206	0x000004B6	ERROR_BAD_PROFILE	ネットワーク接続プロファイルが破損しています。
1207	0x000004B7	ERROR_NOT_CONTAINER	非コンテナを列挙できません。
1208	0x000004B8	ERROR_EXTENDED_ERROR	拡張エラーが発生しました。
1209	0x000004B9	ERROR_INVALID_GROUPNAME	指定されたグループ名の形式が無効です。
1210	0x000004BA	ERROR_INVALID_COMPUTERNAME	指定されたコンピュータ名の形式が無効です。
1211	0x000004BB	ERROR_INVALID_EVENTNAME	指定されたイベント名の形式が無効です。
1212	0x000004BC	ERROR_INVALID_DOMAINNAME	指定されたドメイン名の形式が無効です。
1213	0x000004BD	ERROR_INVALID_SERVICENAME	指定されたサービス名の形式が無効です。
1214	0x000004BE	ERROR_INVALID_NETNAME	指定されたネットワーク名の形式が無効です。
1215	0x000004BF	ERROR_INVALID_SHARENAME	指定された共有名の形式が無効です。
1216	0x000004C0	ERROR_INVALID_PASSWORDNAME	指定されたパスワードの形式が無効です。
1217	0x000004C1	ERROR_INVALID_MESSAGE_NAME	指定されたメッセージ名の形式が無効です。
1218	0x000004C2	ERROR_INVALID_MESSAGEDEST	指定されたメッセージ宛先の形式が無効です。
1219	0x000004C3	ERROR_SESSION_CREDENTIAL_CONFLICT	提供された資格情報が、既存の資格情報のセットと競合しています。
1220	0x000004C4	ERROR_REMOTE_SESSION_LIMIT_EXCEEDED	ネットワークサーバにセッションを確立しようとしたが、サーバに既に確立されているセッションが多すぎます。
1221	0x000004C5	ERROR_DUP_DOMAINNAME	ワークグループまたはドメイン名はネットワーク上の他のコンピュータによって既に使用されています。
1222	0x000004C6	ERROR_NO_NETWORK	ネットワークは存在しないか、または開始されていません。
1223	0x000004C7	ERROR_CANCELLED	操作はユーザによってキャンセルされました。
1224	0x000004C8	ERROR_USER_MAPPED_FILE	要求された操作は、ユーザマッピングされたセクションが開いたファイルで実行できません。
1225	0x000004C9	ERROR_CONNECTION_REFUSED	リモートシステムがネットワーク接続を拒否しました。
1226	0x000004CA	ERROR_GRACEFUL_DISCONNECT	ネットワーク接続は正常に終了しました。
1227	0x000004CB	ERROR_ADDRESS_ALREADY_ASSOCIATED	ネットワーク転送エンドポイントは既にアドレスが関連付けられています。
1228	0x000004CC	ERROR_ADDRESS_NOT_ASSOCIATED	ネットワークエンドポイントにはまだアドレスが関連付けられていません。
1229	0x000004CD	ERROR_CONNECTION_INVALID	存在しないネットワーク接続に操作を実行しようとした。
1230	0x000004CE	ERROR_CONNECTION_ACTIVE	アクティブなネットワーク接続で無効な操作を実行しようとした。
1231	0x000004CF	ERROR_NETWORK_UNREACHABLE	ネットワークロケーションに到達できません。ネットワークのトラブルシューティングについては、Windows Helpを参照してください。
1232	0x000004D0	ERROR_HOST_UNREACHABLE	ネットワークロケーションに到達できません。ネットワークのトラブルシューティングについては、Windows Helpを参照してください。
1233	0x000004D1	ERROR_PROTOCOL_UNREACHABLE	ネットワークロケーションに到達できません。ネットワークのトラブルシューティングについては、Windows Helpを参照してください。
1234	0x000004D2	ERROR_PORT_UNREACHABLE	リモートシステム上の宛先ネットワークエンドポイントでサービスが動作していません。
1235	0x000004D3	ERROR_REQUEST_ABORTED	リクエストは中止されました。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
1236	0x000004D4	ERROR_CONNECTION_ABORTED	ネットワーク接続はローカルシステムによって中止されました。
1237	0x000004D5	ERROR_RETRY	操作を完了できませんでした。再試行してください。
1238	0x000004D6	ERROR_CONNECTION_COUNT_LIMIT	このアカウントに対する現在の接続数の制限に達しているため、サーバへの接続ができませんでした。
1239	0x000004D7	ERROR_LOGIN_TIME_RESTRICTION	このアカウントに対して承認されている時間以外にログインしようとした。
1240	0x000004D8	ERROR_LOGIN_WKSTA_RESTRICTION	アカウントはこのステーションからのログインを承認されていません。
1241	0x000004D9	ERROR_INCORRECT_ADDRESS	要求された操作にネットワークアドレスを使用できませんでした。
1242	0x000004DA	ERROR_ALREADY_REGISTERED	サービスは既に登録されています。
1243	0x000004DB	ERROR_SERVICE_NOT_FOUND	指定されたサービスは存在しません。
1244	0x000004DC	ERROR_NOT_AUTHENTICATED	ユーザが認証されていないため、要求された操作は実行されませんでした。
1245	0x000004DD	ERROR_NOT_LOGGED_ON	ユーザがネットワークにログオンしていないため、要求された操作は実行されませんでした。指定されたサービスは存在しません。
1246	0x000004DE	ERROR_CONTINUE	進行中の作業を継続します。
1247	0x000004DF	ERROR_ALREADY_INITIALIZED	初期化が既に完了しているのに初期化を実行しようとした。
1248	0x000004E0	ERROR_NO_MORE_DEVICES	ローカルデバイスはこれ以上ありません。
1249	0x000004E1	ERROR_NO_SUCH_SITE	指定されたサイトは存在しません。
1250	0x000004E2	ERROR_DOMAIN_CONTROLLER_EXISTS	指定された名前のドメインコントローラは既に存在しています。
1251	0x000004E3	ERROR_ONLY_IF_CONNECTED	この操作は、サーバに接続している場合のみサポートされます。
1252	0x000004E4	ERROR_OVERRIDE_NOCHANGES	グループポリシーフレームワークは、変更がない場合でも拡張を呼び出す必要があります。
1253	0x000004E5	ERROR_BAD_USER_PROFILE	指定されたユーザには有効なプロファイルがありません。
1254	0x000004E6	ERROR_NOT_SUPPORTED_ON_SBS	この操作は、Microsoft Small Business Server ではサポートされていません。
1255	0x000004E7	ERROR_SERVER_SHUTDOWN_IN_PROGRESS	サーバマシンはシャットダウン中です。
1256	0x000004E8	ERROR_HOST_DOWN	リモートシステムが使用できません。ネットワークのトラブルシューティングについては、Windows Helpを参照してください。
1257	0x000004E9	ERROR_NON_ACCOUNT_SID	提供されたセキュリティIDは、アカウントドメインのものではありません。
1258	0x000004EA	ERROR_NON_DOMAIN_SID	提供されたセキュリティIDにはドメインコンポーネントがありません。
1259	0x000004EB	ERROR_APPHELP_BLOCK	AppHelpダイアログがキャンセルされたため、アプリケーションが開始できません。
1260	0x000004EC	ERROR_ACCESS_DISABLED_BY_POLICY	要求されたリソースへのアクセスは、管理者によって無効になっています。
1261	0x000004ED	ERROR_REG_NAT_CONSUMPTION	プログラムが無効なレジスタ値を使用しようとした。通常、このエラーは初期化されていないレジスタによって発生します。このエラーはItanium固有のエラーです。
1262	0x000004EE	ERROR_CSCSHARE_OFFLINE	共有は現在オフラインか、または存在しません。
1300	0x00000514	ERROR_NOT_ALL_ASSIGNED	参照されたすべての権限が呼び出し側に割り当てられていません。
1301	0x00000515	ERROR_SOME_NOT_MAPPED	アカウント名とセキュリティIDのマッピングの一部が完了していません。
1302	0x00000516	ERROR_NO_QUOTAS_FOR_ACCOUNT	システムの割り当て制限が、このアカウントに対して明確に設定されていません。
1303	0x00000517	ERROR_LOCAL_USER_SESSION_KEY	暗号化鍵が使用できません。周知の暗号化鍵は返されました。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
1304	0x00000518	ERROR_NULL_LM_PASSWORD	パスワードが複雑すぎてLAN Managerパスワードに変換できません。LAN ManagerパスワードがNULL文字列を返しました。
1305	0x00000519	ERROR_UNKNOWN_REVISION	リビジョンレベルが不明です。
1306	0x0000051A	ERROR_REVISION_MISMATCH	2つのリビジョンレベルが互換性がないことを示しています。
1307	0x0000051B	ERROR_INVALID_OWNER	このセキュリティIDは、このオブジェクトの所有者として割り当てられていない可能性があります。
1308	0x0000051C	ERROR_INVALID_PRIMARY_GROUP	このセキュリティIDは、オブジェクトのプライマリグループとして割り当てられていない可能性があります。
1309	0x0000051D	ERROR_NO_IMPERSONATION_TOKEN	現在クライアントに偽装していないスレッドによって、偽装トークンを実行しようとしていました。
1310	0x0000051E	ERROR_CANT_DISABLE_MANDATORY	グループが無効になっていない可能性があります。
1311	0x0000051F	ERROR_NO_LOGON_SERVERS	ログオンリクエストに対応する現在使用できるログオンサーバがありません。
1312	0x00000520	ERROR_NO_SUCH_LOGON_SESSION	指定されたログオンセッションは存在しません。既に終了している可能性があります。
1313	0x00000521	ERROR_NO_SUCH_PRIVILEGE	指定された権限は存在しません。
1314	0x00000522	ERROR_PRIVILEGE_NOT_HELD	クライアントは要求された権限を持っていません。
1315	0x00000523	ERROR_INVALID_ACCOUNT_NAME	提供された名前は適切に構成されたアカウント名ではありません。
1316	0x00000524	ERROR_USER_EXISTS	指定されたユーザは既に存在しています。
1317	0x00000525	ERROR_NO_SUCH_USER	指定されたユーザは存在しません。
1318	0x00000526	ERROR_GROUP_EXISTS	指定されたグループは既に存在しています。
1319	0x00000527	ERROR_NO_SUCH_GROUP	指定されたグループは存在しません。
1320	0x00000528	ERROR_MEMBER_IN_GROUP	指定されたユーザアカウントが既に指定されたグループのメンバであるか、または指定されたグループがメンバを含んでいるため削除できません。
1321	0x00000529	ERROR_MEMBER_NOT_IN_GROUP	指定されたユーザアカウントは、指定されたグループアカウントのメンバではありません。
1322	0x0000052A	ERROR_LAST_ADMIN	最後に残った管理アカウントは無効化または削除できません。
1323	0x0000052B	ERROR_WRONG_PASSWORD	パスワードを更新できません。現在のパスワードとして提供された値が正しくありません。
1324	0x0000052C	ERROR_ILL_FORMED_PASSWORD	パスワードを更新できません。新しいパスワードとして提供された値にパスワードに使用できない値が含まれています。
1325	0x0000052D	ERROR_PASSWORD_RESTRICTION	パスワードを更新できません。新しいパスワードとして提供された値が、ドメインの長さ、複雑さ、または履歴要件を満たしていません。
1326	0x0000052E	ERROR_LOGON_FAILURE	ログオンエラー: ユーザ名を認識できないか、またはパスワードが間違っています。
1327	0x0000052F	ERROR_ACCOUNT_RESTRICTION	ログオンエラー: ユーザアカウントの制限。
1328	0x00000530	ERROR_INVALID_LOGON_HOURS	ログオンエラー: アカウントログオン時間制限の違反。
1329	0x00000531	ERROR_INVALID_WORKSTATION	ログオンエラー: ユーザはこのコンピュータへのログオンが許可されていません。
1330	0x00000532	ERROR_PASSWORD_EXPIRED	ログオンエラー: 指定されたアカウントパスワードの期限が過ぎています。
1331	0x00000533	ERROR_ACCOUNT_DISABLED	ログオンエラー: アカウントは現在無効になっています。
1332	0x00000534	ERROR_NONE_MAPPED	アカウント名とセキュリティIDのマッピングが完了していません。
1333	0x00000535	ERROR_TOO_MANY_LUIDS_REQUESTED	一度に要求したローカルユーザID (LUID)が多すぎます。
1334	0x00000536	ERROR_LUIDS_EXHAUSTED	ローカルユーザID (LUID) はこれ以上使用できません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
1335	0x00000537	ERROR_INVALID_SUB_AUTHORITY	セキュリティIDのサブオーソリティ部分が、この特定の使用に対して無効です。
1336	0x00000538	ERROR_INVALID_ACL	アクセス制御リスト(ACL)構造体が無効です。
1337	0x00000539	ERROR_INVALID_SID	セキュリティID構造体が無効です。
1338	0x0000053A	ERROR_INVALID_SECURITY_DESCR	セキュリティ記述子構造体が無効です。
1340	0x0000053C	ERROR_BAD_INHERITANCE_ACL	継承したアクセス制御リスト(ACL)またはアクセス制御エントリ(ACE)を構築できませんでした。
1341	0x0000053D	ERROR_SERVER_DISABLED	サーバは現在無効になっています。
1342	0x0000053E	ERROR_SERVER_NOT_DISABLED	サーバは現在有効になっています。
1343	0x0000053F	ERROR_INVALID_ID_AUTHORITY	提供された値は、ID発行機関に対して無効な値です。
1344	0x00000540	ERROR_ALLOTTED_SPACE_EXCEEDED	セキュリティ情報の更新にメモリはこれ以上使用できません。
1345	0x00000541	ERROR_INVALID_GROUP_ATTRIBUTES	指定された属性は無効であるか、全体としてグループの属性との互換性がありません。
1346	0x00000542	ERROR_BAD_IMPERSONATION_LEVEL	必要な偽装レベルが提供されていないか、または提供された偽装レベルが無効です。
1347	0x00000543	ERROR_CANT_OPEN_ANONYMOUS	匿名レベルのセキュリティトークンを開くことができません。
1348	0x00000544	ERROR_BAD_VALIDATION_CLASS	要求された検証情報クラスが無効です。
1349	0x00000545	ERROR_BAD_TOKEN_TYPE	トークンのタイプが用途に適していません。
1350	0x00000546	ERROR_NO_SECURITY_ON_OBJECT	セキュリティが関連付けられていないオブジェクトでのセキュリティ操作を実行できません。
1351	0x00000547	ERROR_CANT_ACCESS_DOMAIN_INFO	マシンが使用不能であるか、またはアクセスが拒否されたため、構成情報をドメインコントローラから読み出すことができませんでした。
1352	0x00000548	ERROR_INVALID_SERVER_STATE	セキュリティアカウントマネージャ(SAM)またはローカルセキュリティオーソリティ(LSA)サーバが、セキュリティ操作を実行する適切な状態ではありませんでした。
1353	0x00000549	ERROR_INVALID_DOMAIN_STATE	ドメインがセキュリティ操作を実行する適切な状態ではありませんでした。
1354	0x0000054A	ERROR_INVALID_DOMAIN_ROLE	この操作は、ドメインのプライマリドメインコントローラの対してのみ許可されています。
1355	0x0000054B	ERROR_NO_SUCH_DOMAIN	指定されたドメインは存在しないか、または接続できません。
1356	0x0000054C	ERROR_DOMAIN_EXISTS	指定されたドメインは既に存在しています。
1357	0x0000054D	ERROR_DOMAIN_LIMIT_EXCEEDED	サーバ1つあたりのドメイン数の制限を超えようとしてしました。
1358	0x0000054E	ERROR_INTERNAL_DB_CORRUPTION	致命的なメディア障害またはディスク上のデータ構造体の破損のため、要求された操作を完了できません。
1359	0x0000054F	ERROR_INTERNAL_ERROR	内部エラーが発生しました。
1360	0x00000550	ERROR_GENERIC_NOT_MAPPED	非汎用タイプが既にマッピングされているアクセスマスクに汎用アクセスタイプが含まれていました。
1361	0x00000551	ERROR_BAD_DESCRIPTOR_FORMAT	セキュリティ記述子が、正しい形式(絶対または自己相対形式)ではありません。
1362	0x00000552	ERROR_NOT_LOGON_PROCESS	要求されたアクションは、ログオンプロセスによる使用のみに制限されています。この呼び出しプロセスは、ログオンプロセスとして登録されていません。
1363	0x00000553	ERROR_LOGON_SESSION_EXISTS	新しいログオンセッションは既に使用中のIDでは開始できません。
1364	0x00000554	ERROR_NO_SUCH_PACKAGE	指定された認証パッケージが不明です。
1365	0x00000555	ERROR_BAD_LOGON_SESSION_STATE	ログオンセッションが要求された操作に適した状態ではありません。
1366	0x00000556	ERROR_LOGON_SESSION_COLLISION	ログオンセッションIDは既に使用されています。
1367	0x00000557	ERROR_INVALID_LOGON_TYPE	ログオンリクエストに無効なログオンタイプの値が含まれています。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
1368	0x00000558	ERROR_CANNOT_IMPERSONATE	そのパイプからデータが読み出されるまでは名前付きパイプを使用してなりません。
1369	0x00000559	ERROR_RXACT_INVALID_STATE	レジストリサブツリーのトランザクション状態が、要求された操作と一致しません。
1370	0x0000055A	ERROR_RXACT_COMMIT_FAILURE	内部セキュリティデータベースの破損が発生しました。
1371	0x0000055B	ERROR_SPECIAL_ACCOUNT	ビルトインアカウントでこの操作を実行することはできません。
1372	0x0000055C	ERROR_SPECIAL_GROUP	このビルトイン特別グループでこの操作を実行することはできません。
1373	0x0000055D	ERROR_SPECIAL_USER	このビルトイン特別ユーザでこの操作を実行することはできません。
1374	0x0000055E	ERROR_MEMBERS_PRIMARY_GROUP	グループは現在ユーザのプライマリグループであるため、ユーザはグループから削除できません。
1375	0x0000055F	ERROR_TOKEN_ALREADY_IN_USE	このトークンはプライマリトークンとして既に使用されています。
1376	0x00000560	ERROR_NO_SUCH_ALIAS	指定されたローカルグループは存在しません。
1377	0x00000561	ERROR_MEMBER_NOT_IN_ALIAS	指定されたアカウント名は、ローカルグループのメンバではありません。
1378	0x00000562	ERROR_MEMBER_IN_ALIAS	指定されたアカウント名は、既にローカルグループのメンバです。
1379	0x00000563	ERROR_ALIAS_EXISTS	指定されたローカルグループは既に存在しています。
1380	0x00000564	ERROR_LOGON_NOT_GRANTED	ログオンエラー：ユーザはこのコンピュータでは要求されるログオンタイプを付与されていません。
1381	0x00000565	ERROR_TOO_MANY_SECRETS	1つのシステム内に保存できる秘密の最大数を超過しました。
1382	0x00000566	ERROR_SECRET_TOO_LONG	秘密の長さが許容される最大長を超えています。
1383	0x00000567	ERROR_INTERNAL_DB_ERROR	ローカルセキュリティオーソリティデータベースに内部的な不整合が含まれています。
1384	0x00000568	ERROR_TOO_MANY_CONTEXT_IDS	ログオンの試行中、ユーザのセキュリティコンテキストに蓄積されたセキュリティIDが多すぎます。
1385	0x00000569	ERROR_LOGON_TYPE_NOT_GRANTED	ログオンエラー：ユーザはこのコンピュータでは要求されるログオンタイプを付与されていません。
1386	0x0000056A	ERROR_NT_CROSS_ENCRYPTION_REQUIRED	ユーザパスワードを変更するには、クロス暗号化パスワードが必要です。
1387	0x0000056B	ERROR_NO_SUCH_MEMBER	メンバが存在しないため、新しいメンバをローカルグループに追加または削除することができませんでした。
1388	0x0000056C	ERROR_INVALID_MEMBER	メンバが間違ったアカウントタイプを持っているため、新しいメンバをローカルグループに追加することができませんでした。
1389	0x0000056D	ERROR_TOO_MANY_SIDS	指定されているセキュリティIDが多すぎます。
1390	0x0000056E	ERROR_LM_CROSS_ENCRYPTION_REQUIRED	このユーザパスワードを変更するには、クロス暗号化パスワードが必要です。
1391	0x0000056F	ERROR_NO_INHERITANCE	ACLが継承可能なコンポーネントを含んでいないことを示します。
1392	0x00000570	ERROR_FILE_CORRUPT	ファイルまたはディレクトリが破損し、読み取ることができません。
1393	0x00000571	ERROR_DISK_CORRUPT	ディスク構造が破損し、読み取ることができません。
1394	0x00000572	ERROR_NO_USER_SESSION_KEY	指定されたログオンセッションに対するユーザセッションキーがありません。
1395	0x00000573	ERROR_LICENSE_QUOTA_EXCEEDED	アクセス中のサービスは、特定の接続数に対してライセンスされています。サービスが許容可能な接続数に既に達しているため、現時点でこれ以上多くの接続をこのサービスに対して行うことはできません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
1396	0x00000574	ERROR_WRONG_TARGET_NAME	ログインエラー: ターゲットアカウント名が正しくありません。
1397	0x00000575	ERROR_MUTUAL_AUTH_FAILED	相互認証に失敗しました。サーバのパスワードがドメインコントローラで期限が過ぎています。
1398	0x00000576	ERROR_TIME_SKEW	クライアントとサーバ間で時間差があります。
1399	0x00000577	ERROR_CURRENT_DOMAIN_NOT_ALLOWED	この操作は現在のドメインでは実行できません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
1400	0x00000578	ERROR_INVALID_WINDOW_HANDLE	無効なウィンドウハンドル
1401	0x00000579	ERROR_INVALID_MENU_HANDLE	無効なメニューハンドル
1402	0x0000057A	ERROR_INVALID_CURSOR_HANDLE	無効なカーソルハンドル
1403	0x0000057B	ERROR_INVALID_ACCEL_HANDLE	無効なアクセラレータテーブルハンドル
1404	0x0000057C	ERROR_INVALID_HOOK_HANDLE	無効なフックハンドル
1405	0x0000057D	ERROR_INVALID_DWP_HANDLE	複数のウィンドウ位置構造に対する無効なハンドル。
1406	0x0000057E	ERROR_TLW_WITH_WSCHILD	トップレベルの子ウィンドウを作成できません。
1407	0x0000057F	ERROR_CANNOT_FIND_WND_CLASS	ウィンドウクラスを見つけることができません。
1408	0x00000580	ERROR_WINDOW_OF_OTHER_THREAD	無効なウィンドウです。他のスレッドに属しています。
1409	0x00000581	ERROR_HOTKEY_ALREADY_REGISTERED	ホットキーは既に登録されています。
1410	0x00000582	ERROR_CLASS_ALREADY_EXISTS	クラスは既に存在しています。
1411	0x00000583	ERROR_CLASS_DOES_NOT_EXIST	クラスが存在しません。
1412	0x00000584	ERROR_CLASS_HAS_WINDOWS	クラスはまだウィンドウで開かれています。
1413	0x00000585	ERROR_INVALID_INDEX	無効なインデックス
1414	0x00000586	ERROR_INVALID_ICON_HANDLE	無効なアイコンハンドル
1415	0x00000587	ERROR_PRIVATE_DIALOG_INDEX	プライベートのDIALOGウィンドウワードを使用。
1416	0x00000588	ERROR_LISTBOX_ID_NOT_FOUND	リストボックスIDが見つかりませんでした。
1417	0x00000589	ERROR_NO_WILDCARD_CHARACTERS	ワイルドカードが見つかりませんでした。
1418	0x0000058A	ERROR_CLIPBOARD_NOT_OPEN	スレッドはクリップボードを開いていません。
1419	0x0000058B	ERROR_HOTKEY_NOT_REGISTERED	ホットキーは登録されていません。
1420	0x0000058C	ERROR_WINDOW_NOT_DIALOG	ウィンドウは有効なダイアログウィンドウではありません。
1421	0x0000058D	ERROR_CONTROL_ID_NOT_FOUND	制御IDが見つかりませんでした。
1422	0x0000058E	ERROR_INVALID_COMBOBOX_MESSAGE	コンボボックスは編集制御を持っていないため無効なメッセージです。
1423	0x0000058F	ERROR_WINDOW_NOT_COMBOBOX	このウィンドウはコンボボックスではありません。
1424	0x00000590	ERROR_INVALID_EDIT_HEIGHT	高さは256未満であることが必要です。
1425	0x00000591	ERROR_DC_NOT_FOUND	無効なデバイスコンテキスト(DC)ハンドル。
1426	0x00000592	ERROR_INVALID_HOOK_FILTER	無効なフックプロシージャタイプ。
1427	0x00000593	ERROR_INVALID_FILTER_PROC	無効なフックプロシージャ。
1428	0x00000594	ERROR_HOOK_NEEDS_HMOD	モジュールハンドルのない非ローカルフックを設定できません。
1429	0x00000595	ERROR_GLOBAL_ONLY_HOOK	このフックプロシージャグローバルでのみ設定できます。
1430	0x00000596	ERROR_JOURNAL_HOOK_SET	ジャーナルフックプロシージャは既にインストールされています。
1431	0x00000597	ERROR_HOOK_NOT_INSTALLED	フックプロシージャはインストールされていません。
1432	0x00000598	ERROR_INVALID_LB_MESSAGE	単一選択のリストボックスに対する無効なメッセージ。
1433	0x00000599	ERROR_SETCOUNT_ON_BAD_LB	LB_SETCOUNTが非レイジー型リストボックスに送信されました。
1434	0x0000059A	ERROR_LB_WITHOUT_TABSTOPS	このリストボックスはタブストップをサポートしていません。
1435	0x0000059B	ERROR_DESTROY_OBJECT_OF_OTHER_THREAD	他のスレッドによって作成されたオブジェクトを削除できません。
1436	0x0000059C	ERROR_CHILD_WINDOW_MENU	子ウィンドウはメニューを持つことができません。
1437	0x0000059D	ERROR_NO_SYSTEM_MENU	このウィンドウにはシステムメニューがありません。
1438	0x0000059E	ERROR_INVALID_MSGBOX_STYLE	無効なメッセージボックスのスタイル。
1439	0x0000059F	ERROR_INVALID_SPI_VALUE	無効なシステム幅(SPI_*)パラメータ。
1440	0x000005A0	ERROR_SCREEN_ALREADY_LOCKED	スクリーンは既にロックされています。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
1441	0x000005A1	ERROR_HWNDS_HAVE_DIFF_PARENT	複数のウィンドウ位置構造ではウィンドウに対するすべてのハンドルが同じ親を持つ必要があります。
1442	0x000005A2	ERROR_NOT_CHILD_WINDOW	このウィンドウは子ウィンドウではありません。
1443	0x000005A3	ERROR_INVALID_GW_COMMAND	無効なGW_* コマンド
1444	0x000005A4	ERROR_INVALID_THREAD_ID	無効なスレッドID
1445	0x000005A5	ERROR_NON_MDICHILD_WINDOW	マルチドキュメントインターフェイス(MDI)ウィンドウではないウィンドウからのメッセージは処理できません。
1446	0x000005A6	ERROR_POPUP_ALREADY_ACTIVE	ポップアップメニューは既にアクティブです。
1447	0x000005A7	ERROR_NO_SCROLLBARS	このウィンドウにはスクロールバーがありません。
1448	0x000005A8	ERROR_INVALID_SCROLLBAR_RANGE	スクロールバーの範囲は、MAXLONGより大きくできません。
1449	0x000005A9	ERROR_INVALID_SHOWWIN_COMMAND	指定された方法ではウィンドウを表示または削除できません。
1450	0x000005AA	ERROR_NO_SYSTEM_RESOURCES	要求されたサービスを完了するには存在するシステムリソースが不十分です。
1451	0x000005AB	ERROR_NONPAGED_SYSTEM_RESOURCES	要求されたサービスを完了するには存在するシステムリソースが不十分です。
1452	0x000005AC	ERROR_PAGED_SYSTEM_RESOURCES	要求されたサービスを完了するには存在するシステムリソースが不十分です。
1453	0x000005AD	ERROR_WORKING_SET_QUOTA	要求されたサービスを完了するには割り当てが不十分です。
1454	0x000005AE	ERROR_PAGEFILE_QUOTA	要求されたサービスを完了するには割り当てが不十分です。
1455	0x000005AF	ERROR_COMMITMENT_LIMIT	この操作を完了するにはページファイルが小さすぎます。
1456	0x000005B0	ERROR_MENU_ITEM_NOT_FOUND	メニューアイテムが見つかりませんでした。
1457	0x000005B1	ERROR_INVALID_KEYBOARD_HANDLE	無効なキーボードレイアウトハンドル。
1458	0x000005B2	ERROR_HOOK_TYPE_NOT_ALLOWED	フックタイプが許可されていません。
1459	0x000005B3	ERROR_REQUIRES_INTERACTIVE_WINDOWSTATION	この操作には対話的なウィンドウステーションが必要です。
1460	0x000005B4	ERROR_TIMEOUT	タイムアウト期限が過ぎたため、この操作は返されました。
1461	0x000005B5	ERROR_INVALID_MONITOR_HANDLE	無効なモニタハンドル
1500	0x000005DC	ERROR_EVENTLOG_FILE_CORRUPT	イベントログファイルが破損しています。
1501	0x000005DD	ERROR_EVENTLOG_CANT_START	イベントログファイルを開くことができないため、イベントログサービスが開始されませんでした。
1502	0x000005DE	ERROR_LOG_FILE_FULL	イベントログファイルの空き領域がありません。
1503	0x000005DF	ERROR_EVENTLOG_FILE_CHANGED	イベントログファイルが読み取り操作の間に変更されています。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
1601	0x00000641	ERROR_INSTALL_SERVICE_FAILURE	Windows Installerサービスにアクセスできませんでした。サポート担当者に連絡し、Windows Installerサービスが適切に登録されていることを確認してください。
1602	0x00000642	ERROR_INSTALL_USEREXIT	ユーザがインストールをキャンセルしました。
1603	0x00000643	ERROR_INSTALL_FAILURE	インストール中の致命的なエラー。
1604	0x00000644	ERROR_INSTALL_SUSPEND	インストールが中止され、完了していません。
1605	0x00000645	ERROR_UNKNOWN_PRODUCT	この操作は、現在インストールされている製品に対してのみ有効です。
1606	0x00000646	ERROR_UNKNOWN_FEATURE	機能IDが登録されていません。
1607	0x00000647	ERROR_UNKNOWN_COMPONENT	コンポーネントIDが登録されていません。
1608	0x00000648	ERROR_UNKNOWN_PROPERTY	不明なプロパティ。
1609	0x00000649	ERROR_INVALID_HANDLE_STATE	ハンドルが無効な状態です
1610	0x0000064A	ERROR_BAD_CONFIGURATION	この製品の設定データが破損しています。サポート担当者にお問い合わせください。
1611	0x0000064B	ERROR_INDEX_ABSENT	コンポーネント修飾子がありません。
1612	0x0000064C	ERROR_INSTALL_SOURCE_ABSENT	この製品のインストールソースが使用できません。ソースが存在し、それにアクセスできることを確認してください。
1613	0x0000064D	ERROR_INSTALL_PACKAGE_VERSION	このインストールパッケージは、Windows Installerサービスではインストールすることができません。新しいバージョンのWindows Installerサービスを含むWindowsサービスパックをインストールする必要があります。
1614	0x0000064E	ERROR_PRODUCT_UNINSTALLED	製品がアンインストールされています。
1615	0x0000064F	ERROR_BAD_QUERY_SYNTAX	SQLクエリー構文が無効またはサポートされていません。
1616	0x00000650	ERROR_INVALID_FIELD	レコードフィールドが存在しません。
1617	0x00000651	ERROR_DEVICE_REMOVED	デバイスが削除されています。
1618	0x00000652	ERROR_INSTALL_ALREADY_RUNNING	別のインストールが既に進行中です。このインストールを開始する前に別のインストールを完了してください。
1619	0x00000653	ERROR_INSTALL_PACKAGE_OPEN_FAILED	このインストールパッケージを開くことができませんでした。パッケージが存在し、それにアクセスできることを確認するか、またはアプリケーションベンダに連絡し、これが有効なWindows Installerパッケージであることを確認してください。
1620	0x00000654	ERROR_INSTALL_PACKAGE_INVALID	このインストールパッケージを開くことができませんでした。アプリケーションベンダに連絡し、これが有効なWindows Installerパッケージであることを確認してください。
1621	0x00000655	ERROR_INSTALL_UI_FAILURE	Windows Installerサービスのユーザインターフェイス開始時にエラーが発生しました。サポート担当者にお問い合わせください。
1622	0x00000656	ERROR_INSTALL_LOG_FAILURE	インストールログファイルを開くときにエラーが発生しました。指定されたログファイルの場所が存在し、それに書き込むことができることを確認してください。
1623	0x00000657	ERROR_INSTALL_LANGUAGE_UNSUPPORTED	このインストールパッケージの言語がシステムでサポートされていません。
1624	0x00000658	ERROR_INSTALL_TRANSFORM_FAILURE	変換を適用するときにエラーが発生しました。指定された変換パスが有効であることを確認してください。
1625	0x00000659	ERROR_INSTALL_PACKAGE_REJECTED	このインストールは、システムポリシーによって禁止されています。システム管理者にお問い合わせください。
1626	0x0000065A	ERROR_FUNCTION_NOT_CALLED	ファンクションが実行できませんでした。
1627	0x0000065B	ERROR_FUNCTION_FAILED	ファンクションが実行中に失敗しました。
1628	0x0000065C	ERROR_INVALID_TABLE	無効または不明なテーブルが指定されています。
1629	0x0000065D	ERROR_DATATYPE_MISMATCH	提供されたデータのタイプが間違っています。
1630	0x0000065E	ERROR_UNSUPPORTED_TYPE	このタイプのデータはサポートされていません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
1631	0x0000065F	ERROR_CREATE_FAILED	Windows Installerサービスが開始できませんでした。サポート担当者にお問い合わせください。
1632	0x00000660	ERROR_INSTALL_TEMP_UNWRITABLE	tempフォルダの空き領域がないか、またはアクセスできません。tempフォルダが存在し、それに書き込むことができることを確認してください。
1633	0x00000661	ERROR_INSTALL_PLATFORM_UNSUPPORTED	このインストールパッケージは、このプロセッサタイプではサポートされていません。製品ベンダにお問い合わせください。
1634	0x00000662	ERROR_INSTALL_NOTUSED	コンポーネントはこのコンピュータで使用されていません。
1635	0x00000663	ERROR_PATCH_PACKAGE_OPEN_FAILED	このパッチパッケージを開くことができませんでした。パッチパッケージが存在し、それにアクセスできることを確認するか、またはアプリケーションベンダに連絡し、これが有効なWindows Installerパッチパッケージであることを確認してください。
1636	0x00000664	ERROR_PATCH_PACKAGE_INVALID	このパッチパッケージを開くことができませんでした。アプリケーションベンダに連絡し、これが有効なWindows Installerパッチパッケージであることを確認してください。
1637	0x00000665	ERROR_PATCH_PACKAGE_UNSUPPORTED.	このパッチパッケージは、Windows Installerサービスでは処理することができません。新しいバージョンのWindows Installerサービスを含むWindowsサービスパックをインストールする必要があります。
1638	0x00000666	ERROR_PRODUCT_VERSION	この製品の別のバージョンが既にインストールされています。このバージョンのインストールは継続できません。この製品の既存のバージョンを設定または削除するには、コントロールパネルで「プログラムの追加/削除」を使用してください。
1639	0x00000667	ERROR_INVALID_COMMAND_LINE	無効なコマンドライン引数。コマンドラインヘルプの詳細については、Windows Installer SDKを参照してください。
1640	0x00000668	ERROR_INSTALL_REMOTE_DISALLOWED	ターミナルサービスのリモートセッションでは、管理者のみがサーバソフトウェアの追加、削除または設定を行う権限があります。サーバにソフトウェアをインストールまたは設定したい場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
1641	0x00000669	ERROR_SUCCESS_REBOOT_INITIATED	要求された操作が正常に完了しました。システムが再起動され、変更が反映されます。
1642	0x0000066A	ERROR_PATCH_TARGET_NOT_FOUND	アップグレードするプログラムが見つからない、またはアップグレードパッチがプログラムの違うバージョンをアップグレードするためのものであるため、アップグレードパッチはWindows Installerサービスではインストールできません。アップグレードするプログラムがコンピュータに存在し、正しいアップグレードパッチを使用していることを確認してください。
1643	0x0000066B	ERROR_PATCH_PACKAGE_REJECTED	このパッチパッケージはシステムポリシーでは許可されていません。パッケージが適切な証明書によって署名されていません。
1644	0x0000066C	ERROR_INSTALL_TRANSFORM_REJECTED	1つ以上のカスタマイズはシステムポリシーでは許可されていません。カスタマイズが適切な証明書によって署名されていません。
1700	0x000006A4	RPC_S_INVALID_STRING_BINDING	文字列のバインドが無効です。
1701	0x000006A5	RPC_S_WRONG_KIND_OF_BINDING	バインディングハンドルが正しいタイプではありません。
1702	0x000006A6	RPC_S_INVALID_BINDING	バインディングハンドルが無効です。
1703	0x000006A7	RPC_S_PROTSEQ_NOT_SUPPORTED	RPCプロトコルシーケンスがサポートされていません。
1704	0x000006A8	RPC_S_INVALID_RPC_PROTSEQ	RPCプロトコルシーケンスが無効です。
1705	0x000006A9	RPC_S_INVALID_STRING_UUID	文字列のUniversal Unique Identifier (UUID) が無効です。
1706	0x000006AA	RPC_S_INVALID_ENDPOINT_FORMAT	エンドポイント形式が無効です。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
1707	0x000006AB	RPC_S_INVALID_NET_ADDR	ネットワークアドレスが無効です。
1708	0x000006AC	RPC_S_NO_ENDPOINT_FOUND	エンドポイントが見つかりませんでした。
1709	0x000006AD	RPC_S_INVALID_TIMEOUT	タイムアウト値が無効です。
1710	0x000006AE	RPC_S_OBJECT_NOT_FOUND	オブジェクトのUniversal Unique Identifier (UUID) が見つかりませんでした。
1711	0x000006AF	RPC_S_ALREADY_REGISTERED	オブジェクトのUniversal Unique Identifier (UUID) が既に登録されています。
1712	0x000006B0	RPC_S_TYPE_ALREADY_REGISTERED	タイプのUniversal Unique Identifier (UUID) が既に登録されています。
1713	0x000006B1	RPC_S_ALREADY_LISTENING	RPCサーバは既に稼動しています。
1714	0x000006B2	RPC_S_NO_PROTSEQS_REGISTERED	プロトコルシーケンスが登録されていません。
1715	0x000006B3	RPC_S_NOT_LISTENING	RPCサーバが稼動していません。
1716	0x000006B4	RPC_S_UNKNOWN_MGR_TYPE	マネージャのタイプが不明です。
1717	0x000006B5	RPC_S_UNKNOWN_IF	インターフェイスが不明です。
1718	0x000006B6	RPC_S_NO_BINDINGS	バインディングがありません。
1719	0x000006B7	RPC_S_NO_PROTSEQS	プロトコルシーケンスがありません。
1720	0x000006B8	RPC_S_CANT_CREATE_ENDPOINT	エンドポイントを作成できません。
1721	0x000006B9	RPC_S_OUT_OF_RESOURCES	この操作を完了するために十分なリソースを使用できません。
1722	0x000006BA	RPC_S_SERVER_UNAVAILABLE	RPCサーバが使用できません。
1723	0x000006BB	RPC_S_SERVER_TOO_BUSY	この操作を完了するにはRPCサーバが過度にビジーです。
1724	0x000006BC	RPC_S_INVALID_NETWORK_OPTIONS	ネットワークオプションが無効です。
1725	0x000006BD	RPC_S_NO_CALL_ACTIVE	このスレッドでアクティブなリモートプロシージャの呼び出しがありません。
1726	0x000006BE	RPC_S_CALL_FAILED	リモートプロシージャの呼び出しに失敗しました。
1727	0x000006BF	RPC_S_CALL_FAILED_DNE	リモートプロシージャの呼び出しに失敗し、実行できませんでした。
1728	0x000006C0	RPC_S_PROTOCOL_ERROR	リモートプロシージャの呼び出し(RPC)プロトコルにエラーが発生しました。
1730	0x000006C2	RPC_S_UNSUPPORTED_TRANS_SYN	この転送構文は、RPCサーバではサポートされていません。
1732	0x000006C4	RPC_S_UNSUPPORTED_TYPE	Universal Unique Identifier (UUID) のタイプがサポートされていません。
1733	0x000006C5	RPC_S_INVALID_TAG	タグが無効です。
1734	0x000006C6	RPC_S_INVALID_BOUND	配列の境界が無効です。
1735	0x000006C7	RPC_S_NO_ENTRY_NAME	バインディングにエントリ名が含まれていません。
1736	0x000006C8	RPC_S_INVALID_NAME_SYNTAX	名前の構文が無効です。
1737	0x000006C9	RPC_S_UNSUPPORTED_NAME_SYNTAX	名前の構文がサポートされていません。
1739	0x000006CB	RPC_S_UUID_NO_ADDRESS	Universal Unique Identifier (UUID) を構築するためにネットワークアドレスが使用できません。
1740	0x000006CC	RPC_S_DUPLICATE_ENDPOINT	エンドポイントが重複しています。
1741	0x000006CD	RPC_S_UNKNOWN_AUTHN_TYPE	認証タイプが不明です。
1742	0x000006CE	RPC_S_MAX_CALLS_TOO_SMALL	呼び出しの最大数が小さすぎます。
1743	0x000006CF	RPC_S_STRING_TOO_LONG	文字列が長すぎます。
1744	0x000006D0	RPC_S_PROTSEQ_NOT_FOUND	RPCプロトコルシーケンスが見つかりませんでした。
1745	0x000006D1	RPC_S_PROCNUM_OUT_OF_RANGE	プロシージャ番号が範囲外です。
1746	0x000006D2	RPC_S_BINDING_HAS_NO_AUTH	バインディングに認証情報が含まれていません。
1747	0x000006D3	RPC_S_UNKNOWN_AUTHN_SERVICE	認証サービスが不明です。
1748	0x000006D4	RPC_S_UNKNOWN_AUTHN_LEVEL	認証レベルが不明です。
1749	0x000006D5	RPC_S_INVALID_AUTH_IDENTITY	セキュリティコンテキストが無効です。
1750	0x000006D6	RPC_S_UNKNOWN_AUTHZ_SERVICE	認証サービスが不明です。
1751	0x000006D7	EPT_S_INVALID_ENTRY	エントリが無効です。
1752	0x000006D8	EPT_S_CANT_PERFORM_OP	サーバエンドポイントが操作を実行できません。
1753	0x000006D9	EPT_S_NOT_REGISTERED	エンドポイントマッパーからエンドポイントはこれ以上使用できません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
1754	0x000006DA	RPC_S_NO_THING_TO_EXPORT	インターフェイスがエクスポートされていません。
1755	0x000006DB	RPC_S_INCOMPLETE_NAME	エントリ名が不完全です。
1756	0x000006DC	RPC_S_INVALID_VERS_OPTION	バージョンオプションが無効です。
1757	0x000006DD	RPC_S_NO_MORE_MEMBERS	メンバーはこれ以上ありません。
1758	0x000006DE	RPC_S_NOT_ALL_OBJS_UNEXPORTED	アンエクスポートするものは何もありません。
1759	0x000006DF	RPC_S_INTERFACE_NOT_FOUND	インターフェイスが見つかりませんでした。
1760	0x000006E0	RPC_S_ENTRY_ALREADY_EXISTS	エントリは既に存在しています。
1761	0x000006E1	RPC_S_ENTRY_NOT_FOUND	エントリが見つかりませんでした。
1762	0x000006E2	RPC_S_NAME_SERVICE_UNAVAILABLE	名前サービスが使用できません。
1763	0x000006E3	RPC_S_INVALID_NAF_ID	ネットワークアドレスファミリが無効です。
1764	0x000006E4	RPC_S_CANNOT_SUPPORT	要求された操作がサポートされていません。
1765	0x000006E5	RPC_S_NO_CONTEXT_AVAILABLE	偽装を許可するためにセキュリティコンテキストが使用できません。
1766	0x000006E6	RPC_S_INTERNAL_ERROR	リモートプロシージャの呼び出し(RPC)で内部エラーが発生しました。
1767	0x000006E7	RPC_S_ZERO_DIVIDE	RPCサーバが整数のゼロ除算を実行しようとした。
1768	0x000006E8	RPC_S_ADDRESS_ERROR	RPCサーバでアドレスエラーが発生しました。
1769	0x000006E9	RPC_S_FP_DIV_ZERO	RPCサーバでの浮動小数点数操作がゼロ除算を発生させました。
1770	0x000006EA	RPC_S_FP_UNDERFLOW	RPCサーバで浮動小数点数のアンダーフローが発生しました。
1771	0x000006EB	RPC_S_FP_OVERFLOW	RPCサーバで浮動小数点数のオーバーフローが発生しました。
1772	0x000006EC	RPC_X_NO_MORE_ENTRIES	自動ハンドルのバインディングに使用可能なRPCサーバのリストがすべて使われています。
1773	0x000006ED	RPC_X_SS_CHAR_TRANS_OPEN_FAIL	文字変換テーブルファイルを開くことができません。
1774	0x000006EE	RPC_X_SS_CHAR_TRANS_SHORT_FILE	文字変換テーブルを含むファイルが512バイト未満です。
1775	0x000006EF	RPC_X_SS_IN_NULL_CONTEXT	リモートプロシージャ呼び出し中にヌルコンテキストハンドルがクライアントからホストに渡されました。
1777	0x000006F1	RPC_X_SS_CONTEXT_DAMAGED	リモートプロシージャ呼び出し中にコンテキストハンドルが変更されました。
1778	0x000006F2	RPC_X_SS_HANDLES_MISMATCH	リモートプロシージャ呼び出しに渡されたバインディングハンドルが一致しません。
1779	0x000006F3	RPC_X_SS_CANNOT_GET_CALL_HANDLE	スタブがリモートプロシージャ呼び出しハンドルを取得できません。
1780	0x000006F4	RPC_X_NULL_REF_POINTER	ヌル参照ポインタがスタブに渡されました。
1781	0x000006F5	RPC_X_ENUM_VALUE_OUT_OF_RANGE	列挙値が範囲外です。
1782	0x000006F6	RPC_X_BYTE_COUNT_TOO_SMALL	バイトカウントが小さすぎます。
1783	0x000006F7	RPC_X_BAD_STUB_DATA	スタブが無効なデータを受信しました。
1784	0x000006F8	ERROR_INVALID_USER_BUFFER	提供されたユーザバッファが要求された操作に対して有効ではありません。
1785	0x000006F9	ERROR_UNRECOGNIZED_MEDIA	ディスクメディアが認識されません。初期化されていない可能性があります。
1786	0x000006FA	ERROR_NO_TRUST_LSA_SECRET	ワークステーションに信頼できる秘密がありません。
1787	0x000006FB	ERROR_NO_TRUST_SAM_ACCOUNT	サーバ上のセキュリティデータベースにこのワークステーションの信頼できる関係を示すコンピュータアカウントがありません。
1788	0x000006FC	ERROR_TRUSTED_DOMAIN_FAILURE	プライマリドメインと信頼できるドメインの信頼関係に失敗しました。
1789	0x000006FD	ERROR_TRUSTED_RELATIONSHIP_FAILURE	ワークステーションとプライマリドメインの信頼関係に失敗しました。
1790	0x000006FE	ERROR_TRUST_FAILURE	ネットワークのログオンに失敗しました。
1791	0x000006FF	RPC_S_CALL_IN_PROGRESS	リモートプロシージャ呼び出しはこのスレッドで既に進行中です。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
1792	0x00000700	ERROR_NETLOGON_NOT_STARTED	ログオンしようとしたが、ネットワークログオンサービスが開始していませんでした。
1793	0x00000701	ERROR_ACCOUNT_EXPIRED	ユーザのアカウントの期限が過ぎています。
1794	0x00000702	ERROR_REDIRECTOR_HAS_OPEN_HANDLES	リダイレクタが使用中でアンロードできません。
1795	0x00000703	ERROR_PRINTER_DRIVER_ALREADY_INSTALLED	指定されたプリンタドライバは既にインストールされています。
1796	0x00000704	ERROR_UNKNOWN_PORT	指定されたポートが不明です。
1797	0x00000705	ERROR_UNKNOWN_PRINTER_DRIVER	プリンタドライバが不明です。
1798	0x00000706	ERROR_UNKNOWN_PRINTPROCESSOR	印刷プロセッサが不明です。
1799	0x00000707	ERROR_INVALID_SEPARATOR_FILE	指定されたセパレータファイルが無効です。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
1800	0x00000708	ERROR_INVALID_PRIORITY	指定されたプライオリティが無効です。
1801	0x00000709	ERROR_INVALID_PRINTER_NAME	プリンタ名が無効です。
1802	0x0000070A	ERROR_PRINTER_ALREADY_EXISTS	プリンタは既に存在しています。
1803	0x0000070B	ERROR_INVALID_PRINTER_COMMAND	プリンタコマンドが無効です。
1804	0x0000070C	ERROR_INVALID_DATATYPE	指定されたデータタイプが無効です。
1805	0x0000070D	ERROR_INVALID_ENVIRONMENT	指定された環境が無効です。
1806	0x0000070E	RPC_S_NO_MORE_BINDINGS	バインディングはこれ以上ありません。
1807	0x0000070F	ERROR_NOLOGON_INTERDOMAIN_TRUST_ACCOUNT	使用されたアカウントがドメイン間のトラストアカウントです。グローバルユーザアカウントまたはローカルユーザアカウントを使用してこのサーバにアクセスしてください。
1808	0x00000710	ERROR_NOLOGON_WORKSTATION_TRUST_ACCOUNT	使用されたアカウントはコンピュータアカウントです。グローバルユーザアカウントまたはローカルユーザアカウントを使用してこのサーバにアクセスしてください。
1809	0x00000711	ERROR_NOLOGON_SERVER_TRUST_ACCOUNT	使用されたアカウントはサーバトラストアカウントです。グローバルユーザアカウントまたはローカルユーザアカウントを使用してこのサーバにアクセスしてください。
1810	0x00000712	ERROR_DOMAIN_TRUST_INCONSISTENT	指定されたドメインの名前またはセキュリティID (SID)が、ドメインの信頼情報と一致しません。
1811	0x00000713	ERROR_SERVER_HAS_OPEN_HANDLES	サーバが使用中でアンロードできません。
1812	0x00000714	ERROR_RESOURCE_DATA_NOT_FOUND	指定されたイメージファイルにリソースセクションが含まれていませんでした。
1813	0x00000715	ERROR_RESOURCE_TYPE_NOT_FOUND	指定されたリソースタイプがイメージファイルで見つかりませんでした。
1814	0x00000716	ERROR_RESOURCE_NAME_NOT_FOUND	指定されたリソース名がイメージファイルで見つかりませんでした。
1815	0x00000717	ERROR_RESOURCE_LANG_NOT_FOUND	指定されたリソース言語IDがイメージファイルで見つかりませんでした。
1816	0x00000718	ERROR_NOT_ENOUGH_QUOTA	このコマンドを処理するために十分な割り当てを使用できません。
1817	0x00000719	RPC_S_NO_INTERFACES	インターフェイスが登録されていません。
1818	0x0000071A	RPC_S_CALL_CANCELLED	リモートプロシージャ呼び出しがキャンセルされました。
1819	0x0000071B	RPC_S_BINDING_INCOMPLETE	バインディングハンドルに必要なすべての情報が含まれていません。
1820	0x0000071C	RPC_S_COMM_FAILURE	リモートプロシージャ呼び出し中に通信エラーが発生しました。
1821	0x0000071D	RPC_S_UNSUPPORTED_AUTHN_LEVEL	要求された認証レベルはサポートされていません。
1822	0x0000071E	RPC_S_NO_PRINC_NAME	プリンシパル名が登録されていません。
1823	0x0000071F	RPC_S_NOT_RPC_ERROR	指定されたエラーは、有効なWindows RPCエラーコードではありません。
1824	0x00000720	RPC_S_UUID_LOCAL_ONLY	このコンピュータのみで有効なUUIDが割り当てられています。
1825	0x00000721	RPC_S_SEC_PKG_ERROR	セキュリティパッケージ固有のエラーが発生しました。
1826	0x00000722	RPC_S_NOT_CANCELLED	スレッドがキャンセルされていません。
1827	0x00000723	RPC_X_INVALID_ES_ACTION	エンコード/デコードハンドルの無効な操作。
1828	0x00000724	RPC_X_WRONG_ES_VERSION	互換性のないシリアライズパッケージのバージョン。
1829	0x00000725	RPC_X_WRONG_STUB_VERSION	互換性のないRPCスタブのバージョン。
1830	0x00000726	RPC_X_INVALID_PIPE_OBJECT	RPCパイプオブジェクトが無効または破損しています。
1831	0x00000727	RPC_X_WRONG_PIPE_ORDER	RPCパイプオブジェクトに無効な操作を実行しようとしました。
1832	0x00000728	RPC_X_WRONG_PIPE_VERSION	サポートされていないRPCパイプバージョン。
1898	0x0000076A	RPC_S_GROUP_MEMBER_NOT_FOUND	グループメンバが見つかりませんでした。
1899	0x0000076B	EPT_S_CANT_CREATE	エンドポイントマッパーのデータベースエントリが作成できませんでした。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
1900	0x0000076C	RPC_S_INVALID_OBJECT	オブジェクトのUniversal Unique Identifier (UUID) が空のUUIDです。
1901	0x0000076D	ERROR_INVALID_TIME	指定された時間が無効です。
1902	0x0000076E	ERROR_INVALID_FORM_NAME	指定されたフォーム名が無効です。
1903	0x0000076F	ERROR_INVALID_FORM_SIZE	指定されたフォームサイズが無効です。
1904	0x00000770	ERROR_ALREADY_WAITING	指定されたプリンタハンドルが既に待機中です。
1905	0x00000771	ERROR_PRINTER_DELETED	指定されたプリンタが削除されています。
1906	0x00000772	ERROR_INVALID_PRINTER_STATE	プリンタの状態が無効です。
1907	0x00000773	ERROR_PASSWORD_MUST_CHANGE	ユーザのパスワードは最初にログオンする前に変更する必要があります。
1908	0x00000774	ERROR_DOMAIN_CONTROLLER_NOT_FOUND	このドメインのドメインコントローラが見つかりませんでした。
1909	0x00000775	ERROR_ACCOUNT_LOCKED_OUT	参照されたアカウントは現在ロックされ、ログオンできません。
1910	0x00000776	OR_INVALID_OXID	指定されたオブジェクトエクスポートが見つかりませんでした。
1911	0x00000777	OR_INVALID_OID	指定されたオブジェクトが見つかりませんでした。
1912	0x00000778	OR_INVALID_SET	指定されたオブジェクトレゾルバセットが見つかりませんでした。
1913	0x00000779	RPC_S_SEND_INCOMPLETE	送信するデータの一部がリクエストバッファに残されています。
1914	0x0000077A	RPC_S_INVALID_ASYNC_HANDLE	無効な非同期リモートプロシージャ呼び出しハンドル。
1915	0x0000077B	RPC_S_INVALID_ASYNC_CALL	この操作に対する無効な非同期RPC呼び出しハンドル。
1916	0x0000077C	RPC_X_PIPE_CLOSED	RPCパイプオブジェクトは既に閉じています。
1917	0x0000077D	RPC_X_PIPE_DISCIPLINE_ERROR	RPC呼び出しがすべてのパイプが処理される前に完了しました。
1918	0x0000077E	RPC_X_PIPE_EMPTY	RPCパイプからデータはこれ以上使用できません。
1919	0x0000077F	ERROR_NO_SITENAME	このマシンで使用できるサイト名がありません。
1920	0x00000780	ERROR_CANT_ACCESS_FILE	ファイルがシステムによってアクセスできません。
1921	0x00000781	ERROR_CANT_RESOLVE_FILENAME	ファイルの名前がシステムによって解決できません。
1922	0x00000782	RPC_S_ENTRY_TYPE_MISMATCH	エントリが所期のタイプではありません。
1923	0x00000783	RPC_S_NOT_ALL_OBJS_EXPORTED	すべてのオブジェクトUUIDが指定されたエントリにエクスポートできませんでした。
1924	0x00000784	RPC_S_INTERFACE_NOT_EXPORTED	インターフェイスが指定されたエントリにエクスポートできませんでした。
1925	0x00000785	RPC_S_PROFILE_NOT_ADDED	指定されたプロファイルエントリが追加できませんでした。
1926	0x00000786	RPC_S_PRF_ELT_NOT_ADDED	指定されたプロファイルエレメントが追加できませんでした。
1927	0x00000787	RPC_S_PRF_ELT_NOT_REMOVED	指定されたプロファイルエレメントが削除できませんでした。
1928	0x00000788	RPC_S_GRP_ELT_NOT_ADDED	グループエレメントが追加できませんでした。
1929	0x00000789	RPC_S_GRP_ELT_NOT_REMOVED	グループエレメントが削除できませんでした。
1930	0x0000078A	ERROR_KM_DRIVER_BLOCKED	プリンタドライバがコンピュータで有効なポリシーと互換性がなく、NT 4.0ドライバをブロックしています。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
2000	0x000007D0	ERROR_INVALID_PIXEL_FORMAT	ピクセル形式が無効です。
2001	0x000007D1	ERROR_BAD_DRIVER	指定されたドライバが無効です。
2002	0x000007D2	ERROR_INVALID_WINDOW_STYLE	ウィンドウスタイルまたはクラス属性がこの操作に対して無効です。
2003	0x000007D3	ERROR_METAFILE_NOT_SUPPORTED	要求されたメタファイル操作がサポートされていません。
2004	0x000007D4	ERROR_TRANSFORM_NOT_SUPPORTED	要求された変換操作がサポートされていません。
2005	0x000007D5	ERROR_CLIPPING_NOT_SUPPORTED	要求されたクリッピング操作がサポートされていません。
2010	0x000007DA	ERROR_INVALID_CMM	指定された色管理モジュールが無効です。
2011	0x000007DB	ERROR_INVALID_PROFILE	指定されたカラープロファイルが無効です。
2012	0x000007DC	ERROR_TAG_NOT_FOUND	指定されたタグが見つかりませんでした。
2013	0x000007DD	ERROR_TAG_NOT_PRESENT	必要なタグがありません。
2014	0x000007DE	ERROR_DUPLICATE_TAG	指定されたタグは既に存在しています。
2015	0x000007DF	ERROR_PROFILE_NOT_ASSOCIATED_WITH_DEVICE	指定された色プロファイルがどのデバイスにも関連付けられていません。
2016	0x000007E0	ERROR_PROFILE_NOT_FOUND	指定されたカラープロファイルが見つかりませんでした。
2017	0x000007E1	ERROR_INVALID_COLORSPACE	指定された色空間が無効です。
2018	0x000007E2	ERROR_ICM_NOT_ENABLED	画像色管理が有効になっていません。
2019	0x000007E3	ERROR_DELETING_ICM_XFORM	色変換の削除中にエラーが発生しました。
2020	0x000007E4	ERROR_INVALID_TRANSFORM	指定された色変換が無効です。
2021	0x000007E5	ERROR_COLORSPACE_MISMATCH	指定された変換がビットマップの色空間と一致しません。
2022	0x000007E6	ERROR_INVALID_COLORINDEX	指定された名前付き色インデックスがプロファイルに存在しません。
2108	0x0000083C	ERROR_CONNECTED_OTHER_PASSWORD	ネットワーク接続は正常に確立されましたが、ユーザは始めに指定されたパスワード以外のパスワードを入力する必要があります。
2202	0x0000089A	ERROR_BAD_USERNAME	指定されたユーザ名が無効です。
2250	0x000008CA	ERROR_NOT_CONNECTED	このネットワーク接続は存在しません。
2401	0x00000961	ERROR_OPEN_FILES	このネットワーク接続でファイルが開いているか、またはリクエストが保留されています。
2402	0x00000962	ERROR_ACTIVE_CONNECTIONS	アクティブな接続がまだ存続しています。
2404	0x00000964	ERROR_DEVICE_IN_USE	デバイスがアクティブなプロセスによって使用中のため、切断できません。
2500	0x000009C4	ERROR_PKINIT_FAILURE	スマートカードログオン中にKDC証明書の検証時にkerberosプロトコルにエラーが発生しました。
2501	0x000009C5	ERROR_SMARTCARD_SUBSYSTEM_FAILURE	スマートカードサブシステムの使用をしようとしたときに、Kerberosプロトコルにエラーが発生しました。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
3000	0x00000BB8	ERROR_UNKNOWN_PRINT_MONITOR	指定された印刷モニタが不明です。
3001	0x00000BB9	ERROR_PRINTER_DRIVER_IN_USE	指定されたプリンタドライバが不明です。
3002	0x00000BBA	ERROR_SPOOL_FILE_NOT_FOUND	スプールファイルが見つかりませんでした。
3003	0x00000BBB	ERROR_SPL_NO_STARTDOC	StartDocPrinter呼び出しが発行されませんでした。
3004	0x00000BBC	ERROR_SPL_NO_ADDJOB	AddJob呼び出しが発行されませんでした。
3005	0x00000BBD	ERROR_PRINT_PROCESSOR_ALREADY_INSTALLED	指定された印刷プロセッサは既にインストールされています。
3006	0x00000BBE	ERROR_PRINT_MONITOR_ALREADY_INSTALLED	指定された印刷モニタは既にインストールされています。
3007	0x00000BBF	ERROR_INVALID_PRINT_MONITOR	指定された印刷モニタに必要な機能がありません。
3008	0x00000BC0	ERROR_PRINT_MONITOR_IN_USE	指定された印刷モニタが不明です。
3009	0x00000BC1	ERROR_PRINTER_HAS_JOBS_QUEUED	プリンタへのキューにジョブがある場合は、要求された操作は許可されません。
3010	0x00000BC2	ERROR_SUCCESS_REBOOT_REQUIRED	要求された操作に成功しました。システムを再起動するまで変更は反映されません。
3011	0x00000BC3	ERROR_SUCCESS_RESTART_REQUIRED	要求された操作に成功しました。サービスを再起動するまで変更は反映されません。
3012	0x00000BC4	ERROR_PRINTER_NOT_FOUND	プリンタが見つかりませんでした。
4000	0x00000FA0	ERROR_WINS_INTERNAL	コマンド処理中にWINSにエラーが発生しました。
4001	0x00000FA1	ERROR_CAN_NOT_DEL_LOCAL_WINS	ローカルWINSが削除できません。
4002	0x00000FA2	ERROR_STATIC_INIT	ファイルからのインポートが失敗しました。
4003	0x00000FA3	ERROR_INC_BACKUP	バックアップに失敗しました。以前にフルバックアップを実行しましたか？
4004	0x00000FA4	ERROR_FULL_BACKUP	バックアップに失敗しました。データベースのバックアップを実行するディレクトリを教えてください。
4005	0x00000FA5	ERROR_REC_NON_EXISTENT	名前がWINSデータベースに存在しません。
4006	0x00000FA6	ERROR_RPL_NOT_ALLOWED	設定されていないパートナーとの複製は許可されていません。
4100	0x00001004	ERROR_DHCP_ADDRESS_CONFLICT	DHCPクライアントがネットワークで既に使用中のIPアドレスを取得しました。DHCPクライアントが新しいアドレスを取得するまで、ローカルインターフェイスは無効になります。
4200	0x00001068	ERROR_WMI_GUID_NOT_FOUND	渡されたGUIDがWMIデータプロバイダによって有効と認識されませんでした。
4201	0x00001069	ERROR_WMI_INSTANCE_NOT_FOUND	渡されたインスタンス名がWMIデータプロバイダによって有効と認識されませんでした。
4202	0x0000106A	ERROR_WMI_ITEMID_NOT_FOUND	渡されたデータアイテムIDがWMIデータプロバイダによって有効と認識されませんでした。
4203	0x0000106B	ERROR_WMI_TRY_AGAIN	WMIリクエストを完了できなかったため、再試行してください。
4204	0x0000106C	ERROR_WMI_DP_NOT_FOUND	WMIデータプロバイダが特定できませんでした。
4205	0x0000106D	ERROR_WMI_UNRESOLVED_INSTANCE_REF	WMIデータプロバイダが登録されていないインスタンスセットを参照しています。
4206	0x0000106E	ERROR_WMI_ALREADY_ENABLED	WMIデータブロックまたはイベント通知は既に有効になっています。
4207	0x0000106F	ERROR_WMI_GUID_DISCONNECTED	WMIデータブロックは使用できなくなりました。
4208	0x00001070	ERROR_WMI_SERVER_UNAVAILABLE	WMIデータサービスは使用できません。
4209	0x00001071	ERROR_WMI_DP_FAILED	WMIデータプロバイダがリクエストの実行に失敗しました。
4210	0x00001072	ERROR_WMI_INVALID_MOF	WMI MOF情報が有効ではありません。
4211	0x00001073	ERROR_WMI_INVALID_REGINFO	WMI登録情報が有効ではありません。
4212	0x00001074	ERROR_WMI_ALREADY_DISABLED	WMIデータブロックまたはイベント通知は既に無効になっています。
4213	0x00001075	ERROR_WMI_READ_ONLY	WMIデータアイテムまたはデータブロックは読み取り専用です。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
4214	0x00001076	ERROR_WMI_SET_FAILURE	WMIデータアイテムまたはデータブロックが変更できませんでした。
4300	0x000010CC	ERROR_INVALID_MEDIA	メディアIDが有効なメディアを表示していません。
4301	0x000010CD	ERROR_INVALID_LIBRARY	ライブラリIDが有効なライブラリを表示していません。
4302	0x000010CE	ERROR_INVALID_MEDIA_POOL	メディアプールIDが有効なメディアプールを表示していません。
4303	0x000010CF	ERROR_DRIVE_MEDIA_MISMATCH	ドライブとメディアの互換性がないか、または異なるライブラリに存在しています。
4304	0x000010D0	ERROR_MEDIA_OFFLINE	メディアは現在オフラインライブラリに存在しており、この操作を実行するにはオンラインにする必要があります。
4305	0x000010D1	ERROR_LIBRARY_OFFLINE	この操作はオフラインライブラリでは実行できません。
4306	0x000010D2	ERROR_EMPTY	ライブラリ、ドライブ、またはメディアプールが空です。
4307	0x000010D3	ERROR_NOT_EMPTY	この操作を実行するには、ライブラリ、ドライブ、またはメディアプールが空である必要があります。
4308	0x000010D4	ERROR_MEDIA_UNAVAILABLE	このメディアプールまたはライブラリではメディアは現在使用できません。
4309	0x000010D5	ERROR_RESOURCE_DISABLED	この操作に必要なリソースが無効になっています。
4310	0x000010D6	ERROR_INVALID_CLEANER	メディアIDが有効なクリーナを表示していません。
4311	0x000010D7	ERROR_UNABLE_TO_CLEAN	ドライブがクリーニングできない、またはクリーニングをサポートしていません。
4312	0x000010D8	ERROR_OBJECT_NOT_FOUND	オブジェクトIDが有効なオブジェクトを表示していません。
4313	0x000010D9	ERROR_DATABASE_FAILURE	データベースからの読み取りまたはデータベースへの書き込みができません。
4314	0x000010DA	ERROR_DATABASE_FULL	データベースの空き領域がありません。
4315	0x000010DB	ERROR_MEDIA_INCOMPATIBLE	メディアに、デバイスまたはメディアプールとの互換性がありません。
4316	0x000010DC	ERROR_RESOURCE_NOT_PRESENT	この操作に必要なリソースが存在しません。
4317	0x000010DD	ERROR_INVALID_OPERATION	操作IDが有効ではありません。
4318	0x000010DE	ERROR_MEDIA_NOT_AVAILABLE	メディアがマウントされていないか、または準備ができていません。
4319	0x000010DF	ERROR_DEVICE_NOT_AVAILABLE	デバイスの準備ができていません。
4320	0x000010E0	ERROR_REQUEST_REFUSED	オペレータまたは管理者がリクエストを拒否しました。
4321	0x000010E1	ERROR_INVALID_DRIVE_OBJECT	ドライブIDが有効なドライブを表示していません。
4322	0x000010E2	ERROR_LIBRARY_FULL	ライブラリの空き領域がありません。使用できるスロットがありません。
4323	0x000010E3	ERROR_MEDIUM_NOT_ACCESSIBLE	転送がメディアにアクセスできません。
4324	0x000010E4	ERROR_UNABLE_TO_LOAD_MEDIUM	メディアをドライブにロードできません。
4325	0x000010E5	ERROR_UNABLE_TO_INVENTORY_DRIVE	ドライブに関するステータスを読み出すことができません。
4326	0x000010E6	ERROR_UNABLE_TO_INVENTORY_SLOT	スロットに関するステータスを読み出すことができません。
4327	0x000010E7	ERROR_UNABLE_TO_INVENTORY_TRANSPORT	転送に関するステータスを読み出すことができません。
4328	0x000010E8	ERROR_TRANSPORT_FULL	既に使用されているため、転送を使用できません。
4329	0x000010E9	ERROR_CONTROLLING_IEPORT	挿入/排出ポートを開くまたは閉じることができません。
4330	0x000010EA	ERROR_UNABLE_TO_EJECT_MOUNTED_MEDIA	メディアがドライブの中にあるため、メディアを排出できません。
4331	0x000010EB	ERROR_CLEANER_SLOT_SET	クリーナスロットは既に予約されています。
4332	0x000010EC	ERROR_CLEANER_SLOT_NOT_SET	クリーナスロットは予約されていません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
4333	0x000010ED	ERROR_CLEANER_CARTRIDGE_SPENT	クリーナカートリッジがドライブクリーニングの最大数を実行しました。
4334	0x000010EE	ERROR_UNEXPECTED_OMID	不明なメディア上の識別子
4335	0x000010EF	ERROR_CANT_DELETE_LAST_ITEM	このグループまたはリソースで最後に残ったアイテムは削除できません。
4336	0x000010F0	ERROR_MESSAGE_EXCEEDS_MAX_SIZE	提供されたメッセージがこのパラメータに許される最大サイズを超えています。
4337	0x000010F1	ERROR_VOLUME_CONTAINS_SYS_FILES	ボリュームにシステムまたはページファイルが含まれています。
4338	0x000010F2	ERROR_INDIGENOUS_TYPE	ライブラリの少なくとも1つのドライブがこのメディアタイプをしていることを報告するまでは、メディアタイプをこのライブラリから削除することはできません。
4339	0x000010F3	ERROR_NO_SUPPORTING_DRIVES	使用可能な有効なドライブが存在しないため、このオフラインメディアはこのシステムにマウントできません。
4340	0x000010F4	ERROR_CLEANER_CARTRIDGE_INSTALLED	クリーナカートリッジがテープライブラリに存在します。
4350	0x000010FE	ERROR_FILE_OFFLINE	リモートストレージサービスがファイルを回収することができませんでした。
4351	0x000010FF	ERROR_REMOTE_STORAGE_NOT_ACTIVE	リモートストレージサービスはこの時点で使用できません。
4352	0x00001100	ERROR_REMOTE_STORAGE_MEDIA_ERROR	リモートストレージサービスでメディアエラーが発生しました。
4390	0x00001126	ERROR_NOT_A_REPARSE_POINT	このファイルまたはディレクトリはリパースポイントではありません。
4391	0x00001127	ERROR_REPARSE_ATTRIBUTE_CONFLICT	既存の属性と競合するため、リパースポイント属性が設定できません。
4392	0x00001128	ERROR_INVALID_REPARSE_DATA	リパースポイントバッファに存在するデータが無効です。
4393	0x00001129	ERROR_REPARSE_TAG_INVALID	リパースポイントバッファに存在するタグが無効です。
4394	0x0000112A	ERROR_REPARSE_TAG_MISMATCH	リクエストで指定されたタグとリパースポイントに存在するタグには不一致があります。
4500	0x00001194	ERROR_VOLUME_NOT_SIS_ENABLED	シングルインスタンスストレージはこのボリュームでは使用できません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
5001	0x00001389	ERROR_DEPENDENT_RESOURCE_EXISTS	他のリソースが依存しているため、クラスタリソースを他のグループに移動できません。
5002	0x0000138A	ERROR_DEPENDENCY_NOT_FOUND	クラスタリソースの依存性が見つかりませんでした。
5003	0x0000138B	ERROR_DEPENDENCY_ALREADY_EXISTS	既に依存関係が存在するため、指定されたリソースに対してクラスタリソースの依存関係を作成することはできません。
5004	0x0000138C	ERROR_RESOURCE_NOT_ONLINE	クラスタリソースがオンラインではありません。
5005	0x0000138D	ERROR_HOST_NODE_NOT_AVAILABLE	クラスタノードはこの操作に使用できません。
5006	0x0000138E	ERROR_RESOURCE_NOT_AVAILABLE	クラスタリソースが使用できません。
5007	0x0000138F	ERROR_RESOURCE_NOT_FOUND	クラスタリソースが見つかりませんでした。
5008	0x00001390	ERROR_SHUTDOWN_CLUSTER	クラスタがシャットダウン中です。
5009	0x00001391	ERROR_CANT_EVICT_ACTIVE_NODE	ノードを停止しなければ、クラスタノードはクラスタから削除できません。
5010	0x00001392	ERROR_OBJECT_ALREADY_EXISTS	オブジェクトは既に存在しています。
5011	0x00001393	ERROR_OBJECT_IN_LIST	オブジェクトはリストに既に含まれています。
5012	0x00001394	ERROR_GROUP_NOT_AVAILABLE	このクラスタグループは、新しいリクエストには使用できません。
5013	0x00001395	ERROR_GROUP_NOT_FOUND	クラスタグループが見つかりませんでした。
5014	0x00001396	ERROR_GROUP_NOT_ONLINE	クラスタグループがオンラインでないため、この操作を完了できませんでした。
5015	0x00001397	ERROR_HOST_NODE_NOT_RESOURCE_OWNER	クラスタノードはリソースの所有者ではありません。
5016	0x00001398	ERROR_HOST_NODE_NOT_GROUP_OWNER	クラスタノードはグループの所有者ではありません。
5017	0x00001399	ERROR_RESMON_CREATE_FAILED	クラスタリソースが指定されたリソースモニタに作成できませんでした。
5018	0x0000139A	ERROR_RESMON_ONLINE_FAILED	クラスタリソースがリソースモニタによってオンラインにできませんでした。
5019	0x0000139B	ERROR_RESOURCE_ONLINE	クラスタリソースがオンラインでないため、この操作を完了できませんでした。
5020	0x0000139C	ERROR_QUORUM_RESOURCE	クォーラムリソースであるため、クラスタリソースが削除またはオンラインにできませんでした。
5021	0x0000139D	ERROR_NOT_QUORUM_CAPABLE	指定されたリソースがクォーラムリソースにならないため、クラスタがそのリソースをクォーラムリソースにすることができませんでした。
5022	0x0000139E	ERROR_CLUSTER_SHUTTING_DOWN	クラスタソフトウェアがシャットダウン中です。
5023	0x0000139F	ERROR_INVALID_STATE	グループまたはリソースが要求された操作を実行するために正しい状態ではありません。
5024	0x000013A0	ERROR_RESOURCE_PROPERTIES_STORED	プロパティは保存されますが、次にリソースがオンラインになるまではすべての変更が反映されません。
5025	0x000013A1	ERROR_NOT_QUORUM_CLASS	指定されたリソースが共有ストレージクラスに属していないため、クラスタがそのリソースをクォーラムリソースにすることができませんでした。
5026	0x000013A2	ERROR_CORE_RESOURCE	クラスリソースがコアリソースであるため削除できませんでした。
5027	0x000013A3	ERROR_QUORUM_RESOURCE_ONLINE_FAILED	クォーラムリソースがオンラインになるのに失敗しました。
5028	0x000013A4	ERROR_QUORUMLOG_OPEN_FAILED	クォーラムログが正常に作成またはマウントできませんでした。
5029	0x000013A5	ERROR_CLUSTERLOG_CORRUPT	クラスタログが破損しています。
5030	0x000013A6	ERROR_CLUSTERLOG_RECORD_EXCEEDS_MAXSIZE	最大サイズを超えているため、レコードがクラスタログに書き込むことができませんでした。
5031	0x000013A7	ERROR_CLUSTERLOG_EXCEEDS_MAXSIZE	クラスタログが際材サイズを超えています。
5032	0x000013A8	ERROR_CLUSTERLOG_CHKPOINT_NOT_FOUND	チェックポイントレコードがクラスタログに見つかりませんでした。
5033	0x000013A9	ERROR_CLUSTERLOG_NOT_ENOUGH_SPACE	ロギングに必要な最小ディスクスペースが使用できません。
5034	0x000013AA	ERROR_QUORUM_OWNER_ALIVE	リソースが他のアクティブノードによって所有されているため、クラスタノードがクォーラムリソースを制御することに失敗しました。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
5035	0x000013AB	ERROR_NETWORK_NOT_AVAILABLE	クラスタネットワークはこの操作に使用できません。
5036	0x000013AC	ERROR_NODE_NOT_AVAILABLE	クラスタノードはこの操作に使用できません。
5037	0x000013AD	ERROR_ALL_NODES_NOT_AVAILABLE	すべてのクラスタノードがこの操作を実行するために実行中である必要があります。
5038	0x000013AE	ERROR_RESOURCE_FAILED	クラスタリソースが失敗しました。
5039	0x000013AF	ERROR_CLUSTER_INVALID_NODE	クラスタノードが有効ではありません。
5040	0x000013B0	ERROR_CLUSTER_NODE_EXISTS	クラスタノードは既に存在しています。
5041	0x000013B1	ERROR_CLUSTER_JOIN_IN_PROGRESS	ノードはクラスタに結合中です。
5042	0x000013B2	ERROR_CLUSTER_NODE_NOT_FOUND	クラスタノードが見つかりませんでした。
5043	0x000013B3	ERROR_CLUSTER_LOCAL_NODE_NOT_FOUND	クラスタローカルノード情報が見つかりませんでした。
5044	0x000013B4	ERROR_CLUSTER_NETWORK_EXISTS	クラスタネットワークは既に存在しています。
5045	0x000013B5	ERROR_CLUSTER_NETWORK_NOT_FOUND	クラスタネットワークが見つかりませんでした。
5046	0x000013B6	ERROR_CLUSTER_NETINTERFACE_EXISTS	クラスタネットワークインターフェイスは既に存在しています。
5047	0x000013B7	ERROR_CLUSTER_NETINTERFACE_NOT_FOUND	クラスタネットワークインターフェイスが見つかりませんでした。
5048	0x000013B8	ERROR_CLUSTER_INVALID_REQUEST	クラスタリクエストはこのオブジェクトでは有効ではありません。
5049	0x000013B9	ERROR_CLUSTER_INVALID_NETWORK_PROVIDER	クラスタネットワークプロバイダが有効ではありません。
5050	0x000013BA	ERROR_CLUSTER_NODE_DOWN	クラスタノードが停止しています。
5051	0x000013BB	ERROR_CLUSTER_NODE_UNREACHABLE	クラスタノードに到達できません。
5052	0x000013BC	ERROR_CLUSTER_NODE_NOT_MEMBER	クラスタノードはクラスタのメンバではありません。
5053	0x000013BD	ERROR_CLUSTER_JOIN_NOT_IN_PROGRESS	クラスタ結合操作は進行中ではありません。
5054	0x000013BE	ERROR_CLUSTER_INVALID_NETWORK	クラスタネットワークが有効ではありません。
5056	0x000013C0	ERROR_CLUSTER_NODE_UP	クラスタノードが起動しています。
5057	0x000013C1	ERROR_CLUSTER_IPADDR_IN_USE	クラスタのIPアドレスが既に使用されています。
5058	0x000013C2	ERROR_CLUSTER_NODE_NOT_PAUSED	クラスタノードが一時停止していません。
5059	0x000013C3	ERROR_CLUSTER_NO_SECURITY_CONTEXT	クラスタセキュリティコンテキストが使用できません。
5060	0x000013C4	ERROR_CLUSTER_NETWORK_NOT_INTERNAL	クラスタネットワークが内部クラスタ通信用に構成されていません。
5061	0x000013C5	ERROR_CLUSTER_NODE_ALREADY_UP	クラスタノードが既に起動しています。
5062	0x000013C6	ERROR_CLUSTER_NODE_ALREADY_DOWN	クラスタノードが既に停止しています。
5063	0x000013C7	ERROR_CLUSTER_NETWORK_ALREADY_ONLINE	クラスタネットワークが既にオンラインになっています。
5064	0x000013C8	ERROR_CLUSTER_NETWORK_ALREADY_OFFLINE	クラスタネットワークが既にオフラインになっています。
5065	0x000013C9	ERROR_CLUSTER_NODE_ALREADY_MEMBER	クラスタノードは既にクラスタのメンバです。
5066	0x000013CA	ERROR_CLUSTER_LAST_INTERNAL_NETWORK	クラスタネットワークは、2つ以上のクラスタノード間の内部クラスタ通信用のみ構成されています。内部通信機能は、ネットワークから削除できません。
5067	0x000013CB	ERROR_CLUSTER_NETWORK_HAS_DEPENDENTS	1つ以上のクラスタリソースが、クライアントにサービスを提供するためにネットワークに依存しています。クライアントアクセス機能は、ネットワークから削除できません。
5068	0x000013CC	ERROR_INVALID_OPERATION_ON_QUORUM	この操作は、クォーラムリソースとしてクラスタリソース上で実行できません。クォーラムリソースをオフラインにしたり、またはその所有者リストを変更したりすることはできません。
5069	0x000013CD	ERROR_DEPENDENCY_NOT_ALLOWED	クラスタのクォーラムリソースには、依存関係を持たせることはできません。
5070	0x000013CE	ERROR_CLUSTER_NODE_PAUSED	クラスタノードが一時停止しています。
5071	0x000013CF	ERROR_NODE_CANT_HOST_RESOURCE	クラスタリソースはオンラインにできません。所有者ノードはこのリソースを実行できません。
5072	0x000013D0	ERROR_CLUSTER_NODE_NOT_READY	クラスタノードが要求された操作を実行するための準備ができていません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
5073	0x000013D1	ERROR_CLUSTER_NODE_SHUTTING_DOWN	クラスタノードがシャットダウン中です。
5074	0x000013D2	ERROR_CLUSTER_JOIN_ABORTED	クラスタの結合操作が中止されました。
5075	0x000013D3	ERROR_CLUSTER_INCOMPATIBLE_VERSIONS	結合するノードとそのスポンサの間でソフトウェアバージョンの互換性がないために、クラスタ結合操作が失敗しました。
5076	0x000013D4	ERROR_CLUSTER_MAXNUM_OF_RESOURCES_EXCEEDED	クラスタがモニタできるリソースの限界値に達しているため、このリソースは作成できません。
5077	0x000013D5	ERROR_CLUSTER_SYSTEM_CONFIG_CHANGED	システム設定がクラスタの結合または構築操作に変更されました。結合または構築操作が中止されました。
5078	0x000013D6	ERROR_CLUSTER_RESOURCE_TYPE_NOT_FOUND	指定されたリソースタイプが見つかりませんでした。
5079	0x000013D7	ERROR_CLUSTER_RESTYPE_NOT_SUPPORTED	指定されたノードはこのタイプのリソースをサポートしていません。これは、バージョンの不整合やこのノードにリソースDLLが存在していないためです。
5080	0x000013D8	ERROR_CLUSTER_RESNAME_NOT_FOUND	指定されたリソース名は、このリソースDLLでサポートされています。これは、リソースDLLに無効な名前(または変更された名前)が提供されたことが原因の可能性があります。
5081	0x000013D9	ERROR_CLUSTER_NO_RPC_PACKAGES_REGISTERED	認証パッケージがRPCサーバに登録できませんでした。
5082	0x000013DA	ERROR_CLUSTER_OWNER_NOT_IN_PREFLIST	グループの所有者がグループの推奨リストに含まれていないため、グループをオンラインにすることができません。グループの所有者ノードを変更するには、グループを移動します。
5083	0x000013DB	ERROR_CLUSTER_DATABASE_SEQMISMATCH	クラスタデータベースのシーケンス番号が変更されたか、またはロッカーノードと互換性がないため、結合操作が失敗しました。このエラーは、クラスタデータベースが結合中に変更される場合、結合操作中に発生する場合があります。
5084	0x000013DC	ERROR_RESMON_INVALID_STATE	リソースモニタは、リソースが現在の状態である間は、フェイルオペレーションの実行を許可しません。このエラーは、リソースが保留状態であるときに発生する場合があります。
5085	0x000013DD	ERROR_CLUSTER_GUM_NOT_LOCKER	非ロッカーノードが、グローバルアップデートを実行するロックを予約するリクエスト取得しました。
5086	0x000013DE	ERROR_QUORUM_DISK_NOT_FOUND	クォーラムディスクがクラスタサービスによって特定できませんでした。
5087	0x000013DF	ERROR_DATABASE_BACKUP_CORRUPT	バックアップクラスタデータベースがおそらく破損しています。
5088	0x000013E0	ERROR_CLUSTER_NODE_ALREADY_HAS_DFS_ROOT	DFSルートは既にクラスタノードに存在しています。
5089	0x000013E1	ERROR_RESOURCE_PROPERTY_UNCHANGEABLE	他の既存のプロパティと競合するため、リソースプロパティの変更に失敗しました。
5890	0x00001702	ERROR_CLUSTER_MEMBERSHIP_INVALID_STATE	ノードの現在のメンバーシップ状態と互換性のない操作を実行しようとしてしました。
5891	0x00001703	ERROR_CLUSTER_QUORUMLOG_NOT_FOUND	クォーラムリソースにクォーラムログが含まれていません。
5892	0x00001704	ERROR_CLUSTER_MEMBERSHIP_HALT	メンバーシップエンジンがこのノードでクラスタサービスのシャットダウンを要求しました。
5893	0x00001705	ERROR_CLUSTER_INSTANCE_ID_MISMATCH	結合するノードのクラスタインスタンスIDがスポンサノードのクラスタインスタンスIDと一致しないため、結合操作が失敗しました。
5894	0x00001706	ERROR_CLUSTER_NETWORK_NOT_FOUND_FOR_IP	指定されたIPアドレスに一致するネットワークが見つかりませんでした。サブネットマスクとクラスタネットワークも指定してください。
5895	0x00001707	ERROR_CLUSTER_PROPERTY_DATA_TYPE_MISMATCH	プロパティの実際のデータタイプがプロパティの所期のデータタイプと一致しませんでした。
5896	0x00001708	ERROR_CLUSTER_EVICT_WITHOUT_CLEANUP	クラスタノードが正常にクラスタから削除されました。このノードは、削除クリーンアップ機能をサポートしていないため、クリーンアップされませんでした。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
6000	0x00001770	ERROR_ENCRYPTION_FAILED	指定されたファイルが暗号化できませんでした。
6001	0x00001771	ERROR_DECRYPTION_FAILED	指定されたファイルが復号できませんでした。
6002	0x00001772	ERROR_FILE_ENCRYPTED	指定されたファイルが暗号化され、ユーザが復号することはできません。
6003	0x00001773	ERROR_NO_RECOVERY_POLICY	このシステムには有効な暗号化復元ポリシーは設定されていません。
6004	0x00001774	ERROR_NO_EFS	必要な暗号化ドライバがこのシステムにロードされていません。
6005	0x00001775	ERROR_WRONG_EFS	ファイルが現在ロードされている暗号化ドライバとは異なるドライバを使用して暗号化されました。
6006	0x00001776	ERROR_NO_USER_KEYS	このユーザにはEFSキーが定義されていません。
6007	0x00001777	ERROR_FILE_NOT_ENCRYPTED	指定されたファイルが暗号化されていません。
6008	0x00001778	ERROR_NOT_EXPORT_FORMAT	指定されたファイルが定義されたEFSエクスポート形式ではありません。
6009	0x00001779	ERROR_FILE_READ_ONLY	指定されたファイルは読み取り専用です。
6010	0x0000177A	ERROR_DIR_EFS_DISALLOWED	ディレクトリが暗号化のために無効になっています。
6011	0x0000177B	ERROR_EFS_SERVER_NOT_TRUSTED	サーバがリモート暗号化操作に必要な信頼性を備えていません。
6012	0x0000177C	ERROR_BAD_RECOVERY_POLICY	このシステムに設定されている復元ポリシーに無効な復元証明書が含まれています。
6013	0x0000177D	ERROR_EFS_ALG_BLOB_TOO_BIG	ソースファイルに使用されている暗号化アルゴリズムには、宛先ファイルのものより大きな鍵バッファが必要です。
6014	0x0000177E	ERROR_VOLUME_NOT_SUPPORT_EFS	ディスクパーティションがファイルの暗号化をサポートしていません。
6118	0x000017E6	ERROR_NO_BROWSER_SERVERS_FOUND	このワークグループのサーバリストは現在使用できません。
6200	0x00001838	SCHED_E_SERVICE_NOT_LOCALSYSTEM	Task Schedulerサービスは、システムアカウントで実行し適切に機能するように設定する必要があります。個々のタスクは、別のアカウントで実行するように設定できます。
7001	0x00001B59	ERROR_CTX_WINSTATION_NAME_INVALID	指定されたセッション名が無効です。
7002	0x00001B5A	ERROR_CTX_INVALID_PD	指定されたプロトコルドライバが無効です。
7003	0x00001B5B	ERROR_CTX_PD_NOT_FOUND	指定されたプロトコルドライバがシステムパスで見つかりませんでした。
7004	0x00001B5C	ERROR_CTX_WD_NOT_FOUND	指定されたターミナル接続ドライバがシステムパスで見つかりませんでした。
7005	0x00001B5D	ERROR_CTX_CANNOT_MAKE_EVENTLOG_ENTRY	イベントロギング用のレジストリキーがこのセッションで作成できませんでした。
7006	0x00001B5E	ERROR_CTX_SERVICE_NAME_COLLISION	同じ名前のサービスがシステム上に既に存在しています。
7007	0x00001B5F	ERROR_CTX_CLOSE_PENDING	セッションの終了操作は保留されています。
7008	0x00001B60	ERROR_CTX_NO_OUTBUF	使用可能な出力バッファがありません。
7009	0x00001B61	ERROR_CTX_MODEM_INF_NOT_FOUND	MODEM.INFファイルが見つかりませんでした。
7010	0x00001B62	ERROR_CTX_INVALID_MODEMNAME	MODEM.INFにモデム名が見つかりませんでした。
7011	0x00001B63	ERROR_CTX_MODEM_RESPONSE_ERROR	モデムが送信されたコマンドを受理しませんでした。設定されているモデム名と接続されているモデムが一致することを確認してください。
7012	0x00001B64	ERROR_CTX_MODEM_RESPONSE_TIMEOUT	モデムが送信されたコマンドに回答しませんでした。モデムのケーブルが正しく接続され、電源がオンになっていることを確認してください。
7013	0x00001B65	ERROR_CTX_MODEM_RESPONSE_NO_CARRIER	キャリア検出が失敗したか、またはキャリアが切断によって停止しています。
7014	0x00001B66	ERROR_CTX_MODEM_RESPONSE_NO_DIALTONE	所定の時間内にダイヤルトーンが検出されませんでした。電話ケーブルが正しく接続され作動していることを確認してください。
7015	0x00001B67	ERROR_CTX_MODEM_RESPONSE_BUSY	コールバック時にリモートサイトでビジー信号が検出されました。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
7016	0x00001B68	ERROR_CTX_MODEM_RESPONSE_VOICE	コールバック時にリモートサイトで音声を検出されました。
7017	0x00001B69	ERROR_CTX_TD_ERROR	転送ドライバエラー
7022	0x00001B6E	ERROR_CTX_WINSTATION_NOT_FOUND	指定されたセッションが見つかりません。
7023	0x00001B6F	ERROR_CTX_WINSTATION_ALREADY_EXISTS	指定されたセッション名は既に使用されています。
7024	0x00001B70	ERROR_CTX_WINSTATION_BUSY	接続、切断、リセット、または削除操作を処理するためにターミナル接続が現在ビジーであるため、要求された操作を完了できませんでした。
7025	0x00001B71	ERROR_CTX_BAD_VIDEO_MODE	現在のクライアントではサポートされていないビデオモードのセッションを接続しようとした。
7035	0x00001B7B	ERROR_CTX_GRAPHICS_INVALID	アプリケーションがDOSグラフィックモードを有効にしようとした。DOSグラフィックモードはサポートされていません
7037	0x00001B7D	ERROR_CTX_LOGON_DISABLED	対話的なログオン権限が無効になっています。システム管理者にお問い合わせください。
7038	0x00001B7E	ERROR_CTX_NOT_CONSOLE	要求された操作は、システムコンソールでのみ実行できます。これは、コンソールへの直接アクセスが必要なドライバまたはシステムDLLによくある結果です。
7040	0x00001B80	ERROR_CTX_CLIENT_QUERY_TIMEOUT	クライアントがサーバ接続メッセージへの応答に失敗しました。
7041	0x00001B81	ERROR_CTX_CONSOLE_DISCONNECT	コンソールセッションの切断はサポートされていません。
7042	0x00001B82	ERROR_CTX_CONSOLE_CONNECT	切断されたセッションのコンソールへの再接続はサポートされていません。
7044	0x00001B84	ERROR_CTX_SHADOW_DENIED	別のセッションをリモートで制御するリクエストは拒否されました。
7045	0x00001B85	ERROR_CTX_WINSTATION_ACCESS_DENIED	要求されたセッションアクセスが拒否されました。
7049	0x00001B89	ERROR_CTX_INVALID_WD	指定されたターミナル接続ドライバが無効です。
7050	0x00001B8A	ERROR_CTX_SHADOW_INVALID	要求されたセッションはリモートで制御できません。これは、セッションが切断されたか、または現在ユーザがログオンしていないことが原因である場合があります。
7051	0x00001B8B	ERROR_CTX_SHADOW_DISABLED	要求されたセッションは、リモート制御を許可するように設定されていません。
7052	0x00001B8C	ERROR_CTX_CLIENT_LICENSE_IN_USE	このターミナルサーバに接続するリクエストは拒否されました。ターミナルサーバのクライアントライセンス番号は、現在、別のユーザによって使用されています。固有のライセンス番号を取得するようにシステム管理者に依頼してください。
7053	0x00001B8D	ERROR_CTX_CLIENT_LICENSE_NOT_SET	このターミナルサーバに接続するリクエストは拒否されました。ターミナルサーバのクライアントライセンス番号が、ターミナルサーバクライアントのこのコピーに入力されていません。システム管理者にお問い合わせください。
7054	0x00001B8E	ERROR_CTX_LICENSE_NOT_AVAILABLE	システムはライセンスされているログオン制限に達しました。後にもう一度お試しください。
7055	0x00001B8F	ERROR_CTX_LICENSE_CLIENT_INVALID	使用中のクライアントには、このシステムを使用するライセンスがありません。ログオンのリクエストは拒否されました。
7056	0x00001B90	ERROR_CTX_LICENSE_EXPIRED	システムライセンスの期限が過ぎています。ログオンのリクエストは拒否されました。
7057	0x00001B91	ERROR_CTX_SHADOW_NOT_RUNNING	指定されたセッションが現在リモートで制御されていないため、リモート制御が終了できませんでした。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
8001	0x00001F41	FRS_ERR_INVALID_API_SEQUENCE	ファイル複製サービスAPIが誤って呼び出されました。
8002	0x00001F42	FRS_ERR_STARTING_SERVICE	ファイル複製サービスを開始できません。
8003	0x00001F43	FRS_ERR_STOPPING_SERVICE	ファイル複製サービスを停止できません。
8004	0x00001F44	FRS_ERR_INTERNAL_API	ファイル複製サービスAPIがリクエストを終了しました。イベントログから詳細情報が得られる場合があります。
8005	0x00001F45	FRS_ERR_INTERNAL	ファイル複製サービスがリクエストを終了しました。イベントログから詳細情報が得られる場合があります。
8006	0x00001F46	FRS_ERR_SERVICE_COMM	ファイル複製サービスに接続できません。イベントログから詳細情報が得られる場合があります。
8007	0x00001F47	FRS_ERR_INSUFFICIENT_PRIV	ユーザの権限が十分ではないため、ファイル複製サービスがリクエストに対応できません。イベントログから詳細情報が得られる場合があります。
8008	0x00001F48	FRS_ERR_AUTHENTICATION	認証されたRPCが使用できないため、ファイル複製サービスがリクエストに対応できません。イベントログから詳細情報が得られる場合があります。
8009	0x00001F49	FRS_ERR_PARENT_INSUFFICIENT_PRIV	ドメインコントローラでのユーザの権限が十分ではないため、ファイル複製サービスがリクエストに対応できません。イベントログから詳細情報が得られる場合があります。
8010	0x00001F4A	FRS_ERR_PARENT_AUTHENTICATION	ドメインコントローラで認証されたRPCが使用できないため、ファイル複製サービスがリクエストに対応できません。イベントログから詳細情報が得られる場合があります。
8011	0x00001F4B	FRS_ERR_CHILD_TO_PARENT_COMM	ファイル複製サービスがドメインコントローラ上のファイル複製サービスと通信できません。イベントログから詳細情報が得られる場合があります。
8012	0x00001F4C	FRS_ERR_PARENT_TO_CHILD_COMM	ドメインコントローラ上のファイル複製サービスがこのコンピュータ上のファイル複製サービスと通信できません。イベントログから詳細情報が得られる場合があります。
8013	0x00001F4D	FRS_ERR_SYSVOL_POPULATE	内部エラーのため、ファイル複製サービスがシステムボリュームを格納できません。イベントログから詳細情報が得られる場合があります。
8014	0x00001F4E	FRS_ERR_SYSVOL_POPULATE_TIMEOUT	内部タイムアウトのため、ファイル複製サービスがシステムボリュームを格納できません。イベントログから詳細情報が得られる場合があります。
8015	0x00001F4F	FRS_ERR_SYSVOL_IS_BUSY	ファイル複製サービスはリクエストを処理できません。システムボリュームが前のリクエストによってビジー状態です。
8016	0x00001F50	FRS_ERR_SYSVOL_DEMOTE	内部エラーのため、ファイル複製サービスがシステムボリュームの複製を停止できません。イベントログから詳細情報が得られる場合があります。
8017	0x00001F51	FRS_ERR_INVALID_SERVICE_PARAMETER	ファイル複製サービスが無効なパラメータを検出しました。
8200	0x00002008	ERROR_DS_NOT_INSTALLED	ディレクトリサービスをインストール中にエラーが発生しました。詳細情報については、イベントログを参照してください。
8201	0x00002009	ERROR_DS_MEMBERSHIP_EVALUATED_LOCALLY	ディレクトリサービスがローカルでグループメンバーシップを判別しました。
8202	0x0000200A	ERROR_DS_NO_ATTRIBUTE_OR_VALUE	指定されたディレクトリサービス属性または値は存在しません。
8203	0x0000200B	ERROR_DS_INVALID_ATTRIBUTE_SYNTAX	ディレクトリサービスに対して指定された属性構文が無効です。
8204	0x0000200C	ERROR_DS_ATTRIBUTE_TYPE_UNDEFINED	ディレクトリサービスに対して指定された属性タイプが定義されていません。
8205	0x0000200D	ERROR_DS_ATTRIBUTE_OR_VALUE_EXISTS	指定されたディレクトリサービス属性または値は既に存在します。
8206	0x0000200E	ERROR_DS_BUSY	ディレクトリサービスがビジーです。
8207	0x0000200F	ERROR_DS_UNAVAILABLE	ディレクトリサービスが使用できません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
8208	0x00002010	ERROR_DS_NO_RIDS_ALLOCATED	ディレクトリサービスは相対IDを割り当てること ができませんでした。
8209	0x00002011	ERROR_DS_NO_MORE_RIDS	ディレクトリサービスが相対IDのプールを使い果 たしています。
8210	0x00002012	ERROR_DS_INCORRECT_ROLE_OWNER	ディレクトリサービスがこのタイプの操作のマ スタではないため、要求されたオペレーションが 実行できませんでした。
8211	0x00002013	ERROR_DS_RIDMGR_INIT_ERROR	ディレクトリサービスが相対IDを割り当てるサブ システムを初期化できませんでした。
8212	0x00002014	ERROR_DS_OBJ_CLASS_VIOLATION	要求された操作が、オブジェクトのクラスに関連 付けられた1つ以上の制約条件を満たすことが できませんでした。
8213	0x00002015	ERROR_DS_CANT_ON_NON_LEAF	ディレクトリサービスは、リーフオブジェクトで のみ要求された操作を実行できます。
8214	0x00002016	ERROR_DS_CANT_ON_RDN	ディレクトリサービスがオブジェクトのRDN属性 に関する要求された操作を実行できません。
8215	0x00002017	ERROR_DS_CANT_MOD_OBJ_CLASS	ディレクトリサービスがオブジェクトのオブジェ クトクラスを変更しようとした。
8216	0x00002018	ERROR_DS_CROSS_DOM_MOVE_ERROR	要求されたクロスドメイン移動操作が実行でき ませんでした。
8217	0x00002019	ERROR_DS_GC_NOT_AVAILABLE	グローバルカタログサーバに接続できません。
8218	0x0000201A	ERROR_SHARED_POLICY	ポリシーオブジェクトが共有されており、ルート でのみ変更できます。
8219	0x0000201B	ERROR_POLICY_OBJECT_NOT_FOUND	ポリシーオブジェクトが存在しません。
8220	0x0000201C	ERROR_POLICY_ONLY_IN_DS	要求されたポリシー情報がディレクトリサービス のみにあります。
8221	0x0000201D	ERROR_PROMOTION_ACTIVE	ドメインコントローラの昇格が現在アクティブ です。
8222	0x0000201E	ERROR_NO_PROMOTION_ACTIVE	ドメインコントローラの昇格が現在アクティブ ではありません。
8224	0x00002020	ERROR_DS_OPERATIONS_ERROR	操作エラーが発生しました。
8225	0x00002021	ERROR_DS_PROTOCOL_ERROR	プロトコルエラーが発生しました。
8226	0x00002022	ERROR_DS_TIMELIMIT_EXCEEDED	このリクエストに対する時間制限を超えました。
8227	0x00002023	ERROR_DS_SIZELIMIT_EXCEEDED	このリクエストに対するサイズ制限を超えまし た。
8228	0x00002024	ERROR_DS_ADMIN_LIMIT_EXCEEDED	このリクエストに対する管理制限を超えました。
8229	0x00002025	ERROR_DS_COMPARE_FALSE	この比較応答はfalse(偽)です。
8230	0x00002026	ERROR_DS_COMPARE_TRUE	この比較応答はtrue(真)です。
8231	0x00002027	ERROR_DS_AUTH_METHOD_NOT_SUPPORTED	要求された認証方法が、サーバではサポートさ れていません。
8232	0x00002028	ERROR_DS_STRONG_AUTH_REQUIRED	このサーバにはこれよりセキュアな認証方法が必 要です。
8233	0x00002029	ERROR_DS_INAPPROPRIATE_AUTH	不適切な認証。
8234	0x0000202A	ERROR_DS_AUTH_UNKNOWN	認証メカニズムが不明です。
8235	0x0000202B	ERROR_DS_REFERRAL	照会がサーバから返されました。
8236	0x0000202C	ERROR_DS_UNAVAILABLE_CRIT_EXTENSION	サーバは要求されたクリティカル拡張をサポート していません。
8237	0x0000202D	ERROR_DS_CONFIDENTIALITY_REQUIRED	このリクエストにはセキュアな接続が必要です。
8238	0x0000202E	ERROR_DS_INAPPROPRIATE_MATCHING	不適切な一致。
8239	0x0000202F	ERROR_DS_CONSTRAINT_VIOLATION	制約条件の違反が発生しました。
8240	0x00002030	ERROR_DS_NO_SUCH_OBJECT	そのようなオブジェクトはサーバ上にありませ ん。
8241	0x00002031	ERROR_DS_ALIAS_PROBLEM	エイリアスに問題があります。
8242	0x00002032	ERROR_DS_INVALID_DN_SYNTAX	無効なdn構文が指定されています。
8243	0x00002033	ERROR_DS_IS_LEAF	このオブジェクトはリーフオブジェクトです。
8244	0x00002034	ERROR_DS_ALIAS_DEREF_PROBLEM	エイリアスの逆参照に問題があります。
8245	0x00002035	ERROR_DS_UNWILLING_TO_PERFORM	サーバがリクエストを処理しようとしません。
8246	0x00002036	ERROR_DS_LOOP_DETECT	ループが検出されました。
8247	0x00002037	ERROR_DS_NAMING_VIOLATION	命名規則の違反があります。
8248	0x00002038	ERROR_DS_OBJECT_RESULTS_TOO_LARGE	結果セットが大きすぎます。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
8249	0x00002039	ERROR_DS_AFFECTS_MULTIPLE_DSAS	操作が複数のDSAに影響しています
8250	0x0000203A	ERROR_DS_SERVER_DOWN	サーバが作動していません。
8251	0x0000203B	ERROR_DS_LOCAL_ERROR	ローカルエラーが発生しました。
8252	0x0000203C	ERROR_DS_ENCODING_ERROR	エンコードエラーが発生しました。
8253	0x0000203D	ERROR_DS_DECODING_ERROR	デコードエラーが発生しました。
8254	0x0000203E	ERROR_DS_FILTER_UNKNOWN	検索フィルタが認識できません。
8255	0x0000203F	ERROR_DS_PARAM_ERROR	1つ以上のパラメータが無効です。
8256	0x00002040	ERROR_DS_NOT_SUPPORTED	指定された方法がサポートされていません。
8257	0x00002041	ERROR_DS_NO_RESULTS_RETURNED	結果が返されませんでした。
8258	0x00002042	ERROR_DS_CONTROL_NOT_FOUND	指定された制御が、サーバではサポートされていません。
8259	0x00002043	ERROR_DS_CLIENT_LOOP	照会ループがクライアントによって検出されました。
8260	0x00002044	ERROR_DS_REFERRAL_LIMIT_EXCEEDED	事前設定された照会制限を超えました。
8261	0x00002045	ERROR_DS_SORT_CONTROL_MISSING	検索にはSORT制御が必要です。
8262	0x00002046	ERROR_DS_OFFSET_RANGE_ERROR	検索結果が指定されたオフセット範囲を超えています。
8301	0x0000206D	ERROR_DS_ROOT_MUST_BE_NC	ルートオブジェクトは、名前付けコンテキストのヘッドに配置する必要があります。ルートオブジェクトはインスタンス化された親を持つことはできません。
8302	0x0000206E	ERROR_DS_ADD_REPLICA_INHIBITED	複製追加操作は実行できません。名前付けコンテキストは、複製を作成するために書き込み可能である必要があります。
8303	0x0000206F	ERROR_DS_ATT_NOT_DEF_IN_SCHEMA	スキーマに定義されていない属性への参照が発生しました。
8304	0x00002070	ERROR_DS_MAX_OBJ_SIZE_EXCEEDED	オブジェクトの最大サイズを超えました。
8305	0x00002071	ERROR_DS_OBJ_STRING_NAME_EXISTS	既に使用されている名前でオブジェクトをディレクトリに追加しようとした。
8306	0x00002072	ERROR_DS_NO_RDN_DEFINED_IN_SCHEMA	スキーマに定義されたRDNを持っていないクラスのオブジェクトを追加しようとした。
8307	0x00002073	ERROR_DS_RDN_DOESNT_MATCH_SCHEMA	スキーマに定義されたRDNではないRDNを使用してオブジェクトを追加しようとした。
8308	0x00002074	ERROR_DS_NO_REQUESTED_ATTRS_FOUND	要求された属性がオブジェクトに何も見つかりませんでした。
8309	0x00002075	ERROR_DS_USER_BUFFER_TO_SMALL	ユーザバッファが小さすぎます。
8310	0x00002076	ERROR_DS_ATT_IS_NOT_ON_OBJ	操作で指定された属性がオブジェクトに存在しません。
8311	0x00002077	ERROR_DS_ILLEGAL_MOD_OPERATION	この変更操作は無効です。一部の変更は許可されていません。
8312	0x00002078	ERROR_DS_OBJ_TOO_LARGE	指定されたオブジェクトが大きすぎます。
8313	0x00002079	ERROR_DS_BAD_INSTANCE_TYPE	指定されたインスタンスタイプが有効ではありません。
8314	0x0000207A	ERROR_DS_MASTERDSA_REQUIRED	この操作はマスタDSAで実行する必要があります。
8315	0x0000207B	ERROR_DS_OBJECT_CLASS_REQUIRED	オブジェクトのクラス属性を指定する必要があります。
8316	0x0000207C	ERROR_DS_MISSING_REQUIRED_ATT	必要な属性が見つかりません。
8317	0x0000207D	ERROR_DS_ATT_NOT_DEF_FOR_CLASS	オブジェクトを変更してそのクラスに許可されていない属性を含めようとした。
8318	0x0000207E	ERROR_DS_ATT_ALREADY_EXISTS	指定された属性は既にオブジェクトに存在しています。
8320	0x00002080	ERROR_DS_CANT_ADD_ATT_VALUES	指定された属性が存在しないか、または値がありません。
8321	0x00002081	ERROR_DS_SINGLE_VALUE_CONSTRAINT	1つの値のみを持つことができる属性に複数の値が指定されています。
8322	0x00002082	ERROR_DS_RANGE_CONSTRAINT	属性の値が値の許容範囲を超えています。
8323	0x00002083	ERROR_DS_ATT_VAL_ALREADY_EXISTS	指定された値は既に存在しています。
8324	0x00002084	ERROR_DS_CANT_REM_MISSING_ATT	その属性がオブジェクトに存在しないため、属性を削除できません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
8325	0x00002085	ERROR_DS_CANT_REM_MISSING_ATT_VAL	その属性値がオブジェクトに存在しないため、属性値を削除できません。
8326	0x00002086	ERROR_DS_ROOT_CANT_BE_SUBREF	指定されたルートオブジェクトはsubrefになることができません。
8327	0x00002087	ERROR_DS_NO_CHAINING	連鎖は許可されていません。
8328	0x00002088	ERROR_DS_NO_CHAINED_EVAL	連鎖した評価は許可されていません。
8329	0x00002089	ERROR_DS_NO_PARENT_OBJECT	オブジェクトの親がインスタンス化されていない、または削除されているため、操作が実行できませんでした。
8330	0x0000208A	ERROR_DS_PARENT_IS_AN_ALIAS	エイリアスである親を持つことは許可されていません。エイリアスはリーフオブジェクトです。
8331	0x0000208B	ERROR_DS_CANT_MIX_MASTER_AND_REPS	オブジェクトと親は同じタイプである必要があり、両方がマスタまたは両方が複製である必要があります。
8332	0x0000208C	ERROR_DS_CHILDREN_EXIST	子オブジェクトが存在するため、操作が実行できません。この操作は、リーフオブジェクトでのみ実行できます。
8333	0x0000208D	ERROR_DS_OBJ_NOT_FOUND	ディレクトリオブジェクトが見つかりません。
8334	0x0000208E	ERROR_DS_ALIASED_OBJ_MISSING	エイリアスを持つオブジェクトが見つかりません。
8335	0x0000208F	ERROR_DS_BAD_NAME_SYNTAX	オブジェクト名の構文が間違っています。
8336	0x00002090	ERROR_DS_ALIAS_POINTS_TO_ALIAS	エイリアスが他のエイリアスを参照することは許可されていません。
8337	0x00002091	ERROR_DS_CANT_DEREF_ALIAS	エイリアスは逆参照できません。
8338	0x00002092	ERROR_DS_OUT_OF_SCOPE	操作がスコープを外れています。
8339	0x00002093	ERROR_DS_OBJECT_BEING_REMOVED	オブジェクトが削除中のため、操作を継続できません。
8340	0x00002094	ERROR_DS_CANT_DELETE_DSA_OBJ	DSAオブジェクトは削除できません。
8341	0x00002095	ERROR_DS_GENERIC_ERROR	ディレクトリサービスエラーが発生しました。
8342	0x00002096	ERROR_DS_DSA_MUST_BE_INT_MASTER	この操作は、内部マスタDSAオブジェクトでのみ実行できます。
8343	0x00002097	ERROR_DS_CLASS_NOT_DSA	このオブジェクトはクラスDSAである必要があります。
8344	0x00002098	ERROR_DS_INSUFF_ACCESS_RIGHTS	操作を実行するにはアクセス権が不足しています。
8345	0x00002099	ERROR_DS_ILLEGAL_SUPERIOR	親が可能な上位リストに含まれていないため、オブジェクトが追加できません。
8346	0x0000209A	ERROR_DS_ATTRIBUTE_OWNED_BY_SAM	この属性はSecurity Accounts Manager (SAM) によって所有されているため、属性へのアクセスが許可されていません。
8347	0x0000209B	ERROR_DS_NAME_TOO_MANY_PARTS	名前の部分が多すぎます。
8348	0x0000209C	ERROR_DS_NAME_TOO_LONG	名前が長すぎます。
8349	0x0000209D	ERROR_DS_NAME_VALUE_TOO_LONG	名前の値が長すぎます。
8350	0x0000209E	ERROR_DS_NAME_UNPARSEABLE	名前の解析時にディレクトリサービスにエラーが発生しました。
8351	0x0000209F	ERROR_DS_NAME_TYPE_UNKNOWN	ディレクトリサービスが名前の属性タイプを取得できません。
8352	0x000020A0	ERROR_DS_NOT_AN_OBJECT	この名前はオブジェクトを識別しません。(the name identifies a phantom.)
8353	0x000020A1	ERROR_DS_SEC_DESC_TOO_SHORT	セキュリティ記述子が短すぎます。
8354	0x000020A2	ERROR_DS_SEC_DESC_INVALID	セキュリティ記述子が無効です。
8355	0x000020A3	ERROR_DS_NO_DELETED_NAME	削除したオブジェクトの名前の作成に失敗しました。
8356	0x000020A4	ERROR_DS_SUBREF_MUST_HAVE_PARENT	新しいsubrefの親が存在する必要があります。
8357	0x000020A5	ERROR_DS_NCNAME_MUST_BE_NC	このオブジェクトは名前付けコンテキストである必要があります。
8358	0x000020A6	ERROR_DS_CANT_ADD_SYSTEM_ONLY	システムによって所有されている属性を追加することは許可されていません。
8359	0x000020A7	ERROR_DS_CLASS_MUST_BE_CONCRETE	オブジェクトのクラスは構造的である必要があります。抽象的なクラスをインスタンス化することはできません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
8360	0x000020A8	ERROR_DS_INVALID_DMD	スキーマオブジェクトが見つかりませんでした。
8361	0x000020A9	ERROR_DS_OBJ_GUID_EXISTS	このGUID (deadまたはalive)を持つローカルオブジェクトは既に存在しています。
8362	0x000020AA	ERROR_DS_NOT_ON_BACKLINK	この操作はバックリンクでは実行できません。
8363	0x000020AB	ERROR_DS_NO_CROSSREF_FOR_NC	指定された名前付けコンテキストに対するクロス参照が見つかりませんでした。
8364	0x000020AC	ERROR_DS_SHUTTING_DOWN	ディレクトリサービスがシャットダウン中であるため、操作が実行できませんでした。
8365	0x000020AD	ERROR_DS_UNKNOWN_OPERATION	ディレクトリサービスリクエストが無効です。
8366	0x000020AE	ERROR_DS_INVALID_ROLE_OWNER	役割所有者の属性を読み出すことができませんでした。
8367	0x000020AF	ERROR_DS_COULDNT_CONTACT_FSMO	要求されたFSMO操作に失敗しました。現在のFSMOホルダに到達できませんでした。
8368	0x000020B0	ERROR_DS_CROSS_NC_DN_RENAME	名前付けコンテキストでのDNの変更は許可されていません。
8369	0x000020B1	ERROR_DS_CANT_MOD_SYSTEM_ONLY	この属性はシステムによって所有されているため変更できません。
8370	0x000020B2	ERROR_DS_REPLICATOR_ONLY	レプリケータのみがこの機能を実行できます。
8371	0x000020B3	ERROR_DS_OBJ_CLASS_NOT_DEFINED	指定されたクラスは定義されていません。
8372	0x000020B4	ERROR_DS_OBJ_CLASS_NOT_SUBCLASS	指定されたクラスはサブクラスではありません。
8373	0x000020B5	ERROR_DS_NAME_REFERENCE_INVALID	名前の参照が無効です。
8374	0x000020B6	ERROR_DS_CROSS_REF_EXISTS	クロス参照は既に存在しています。
8375	0x000020B7	ERROR_DS_CANT_DEL_MASTER_CROSSREF	マスタのクロス参照を削除することは許可されていません。
8376	0x000020B8	ERROR_DS_SUBTREE_NOTIFY_NOT_NC_HEAD	サブツリー通知は、NCヘッドでのみサポートされています。
8377	0x000020B9	ERROR_DS_NOTIFY_FILTER_TOO_COMPLEX	通知フィルタが複雑すぎます。
8378	0x000020BA	ERROR_DS_DUP_RDN	スキーマ更新の失敗: RDNの重複。
8379	0x000020BB	ERROR_DS_DUP_OID	スキーマ更新の失敗: OIDの重複。
8380	0x000020BC	ERROR_DS_DUP_MAPI_ID	スキーマ更新の失敗: MAPI IDの重複。
8381	0x000020BD	ERROR_DS_DUP_SCHEMA_ID_GUID	スキーマ更新の失敗: スキーマID GUIDの重複。
8382	0x000020BE	ERROR_DS_DUP_LDAP_DISPLAY_NAME	スキーマ更新の失敗: LDAP表示名の重複。
8383	0x000020BF	ERROR_DS_SEMANTIC_ATT_TEST	スキーマ更新の失敗: 範囲の下限値を上限値より小さくする
8384	0x000020C0	ERROR_DS_SYNTAX_MISMATCH	スキーマ更新の失敗: 構文の不一致
8385	0x000020C1	ERROR_DS_EXISTS_IN_MUST_HAVE	スキーマ削除の失敗: 属性がmust-containで使用されている
8386	0x000020C2	ERROR_DS_EXISTS_IN_MAY_HAVE	スキーマ削除の失敗: 属性がmay-containで使用されている
8387	0x000020C3	ERROR_DS_NONEXISTENT_MAY_HAVE	スキーマ更新の失敗: may-containに属性が存在しない
8388	0x000020C4	ERROR_DS_NONEXISTENT_MUST_HAVE	スキーマ更新の失敗: must-containに属性が存在しない
8389	0x000020C5	ERROR_DS_AUX_CLS_TEST_FAIL	スキーマ更新の失敗: aux-classリストのクラスが存在しない、または補助クラスではない
8390	0x000020C6	ERROR_DS_NONEXISTENT_POSS_SUP	スキーマ更新の失敗: poss-superiorsにクラスが存在しない
8391	0x000020C7	ERROR_DS_SUB_CLS_TEST_FAIL	スキーマ更新の失敗: subclassofリストのクラスが存在しない、または階層規則に従っていない
8392	0x000020C8	ERROR_DS_BAD_RDN_ATT_ID_SYNTAX	スキーマ更新の失敗: Rdn-Att-Idの構文が間違っている
8393	0x000020C9	ERROR_DS_EXISTS_IN_AUX_CLS	スキーマ削除の失敗: クラスがauxiliary classとして使用されている
8394	0x000020CA	ERROR_DS_EXISTS_IN_SUB_CLS	スキーマ削除の失敗: クラスがsub classとして使用されている
8395	0x000020CB	ERROR_DS_EXISTS_IN_POSS_SUP	スキーマ削除の失敗: クラスがposs superiorとして使用されている
8396	0x000020CC	ERROR_DS_RECALCSHEMA_FAILED	検証キャッシュの再計算でスキーマ更新に失敗しました。
8397	0x000020CD	ERROR_DS_TREE_DELETE_NOT_FINISHED	ツリー削除が終了していません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
8398	0x000020CE	ERROR_DS_CANT_DELETE	要求された削除操作を実行できませんでした。
8399	0x000020CF	ERROR_DS_ATT_SCHEMA_REQ_ID	スキーマレコードのgovernsクラスIDを読み出すことができません。
8400	0x000020D0	ERROR_DS_BAD_ATT_SCHEMA_SYNTAX	属性スキーマの構文が間違っています。
8401	0x000020D1	ERROR_DS_CANT_CACHE_ATT	属性をキャッシュできませんでした。
8402	0x000020D2	ERROR_DS_CANT_CACHE_CLASS	クラスをキャッシュできませんでした。
8403	0x000020D3	ERROR_DS_CANT_REMOVE_ATT_CACHE	属性をキャッシュから削除できませんでした。
8404	0x000020D4	ERROR_DS_CANT_REMOVE_CLASS_CACHE	クラスをキャッシュから削除できませんでした。
8405	0x000020D5	ERROR_DS_CANT_RETRIEVE_DN	識別された名前属性を読み出すことができませんでした。
8406	0x000020D6	ERROR_DS_MISSING_SUPREF	必要なsubrefが見つかりません。
8407	0x000020D7	ERROR_DS_CANT_RETRIEVE_INSTANCE	インスタンスタイプの属性を読み出すことができませんでした。
8408	0x000020D8	ERROR_DS_CODE_INCONSISTENCY	内部エラーが発生しました。
8409	0x000020D9	ERROR_DS_DATABASE_ERROR	データベースエラーが発生しました。
8410	0x000020DA	ERROR_DS_GOVERNSID_MISSING	属性GOVERNSIDが見つかりません。
8411	0x000020DB	ERROR_DS_MISSING_EXPECTED_ATT	所期の属性が見つかりません。
8412	0x000020DC	ERROR_DS_NCNAME_MISSING_CR_REF	指定された名前付けコンテキストにクロス参照が見つかりません。
8413	0x000020DD	ERROR_DS_SECURITY_CHECKING_ERROR	セキュリティチェックエラーが発生しました。
8414	0x000020DE	ERROR_DS_SCHEMA_NOT_LOADED	スキーマがロードされていません。
8415	0x000020DF	ERROR_DS_SCHEMA_ALLOC_FAILED	スキーマ割り当てに失敗しました。マシンのメモリが不足していないかチェックしてください。
8416	0x000020E0	ERROR_DS_ATT_SCHEMA_REQ_SYNTAX	属性スキーマに必要な構文の取得に失敗しました。
8417	0x000020E1	ERROR_DS_GCVERIFY_ERROR	グローバルカタログの検証に失敗しました。グローバルカタログが使用できないか、またはこの操作をサポートしていません。ディレクトリの一部が現在使用できません。
8418	0x000020E2	ERROR_DS_DRA_SCHEMA_MISMATCH	関連するサーバ間のスキーマ不一致のため、複製操作が失敗しました。
8419	0x000020E3	ERROR_DS_CANT_FIND_DSA_OBJ	DSAオブジェクトが見つかりませんでした。
8420	0x000020E4	ERROR_DS_CANT_FIND_EXPECTED_NC	名前付けコンテキストが見つかりませんでした。
8421	0x000020E5	ERROR_DS_CANT_FIND_NC_IN_CACHE	名前付けコンテキストがキャッシュ内に見つかりませんでした。
8422	0x000020E6	ERROR_DS_CANT_RETRIEVE_CHILD	子オブジェクトが見つかりませんでした。
8423	0x000020E7	ERROR_DS_SECURITY_ILLEGAL_MODIFY	セキュリティ上の理由からこの変更は許可されていません。
8424	0x000020E8	ERROR_DS_CANT_REPLACE_HIDDEN_REC	この操作は非表示のレコードを置き換えることができません。
8425	0x000020E9	ERROR_DS_BAD_HIERARCHY_FILE	階層ファイルが無効です。
8426	0x000020EA	ERROR_DS_BUILD_HIERARCHY_TABLE_FAILED	階層テーブルの構築に失敗しました。
8427	0x000020EB	ERROR_DS_CONFIG_PARAM_MISSING	ディレクトリ設定パラメータがレジストリに見つかりません。
8428	0x000020EC	ERROR_DS_COUNTING_AB_INDICES_FAILED	アドレス帳のインデックスのカウントに失敗しました。
8429	0x000020ED	ERROR_DS_HIERARCHY_TABLE_MALLOC_FAILED	階層テーブルの割り当てに失敗しました。
8430	0x000020EE	ERROR_DS_INTERNAL_FAILURE	ディレクトリサービスに内部エラーが発生しました。
8431	0x000020EF	ERROR_DS_UNKNOWN_ERROR	ディレクトリサービスに不明なエラーが発生しました。
8432	0x000020F0	ERROR_DS_ROOT_REQUIRES_CLASS_TOP	ルートオブジェクトには「最上位」のクラスが必要です。
8433	0x000020F1	ERROR_DS_REFUSING_FSMO_ROLES	このディレクトリサーバがシャットダウン中で、新しい浮動小数点数シングルマスタ操作役割の所有権を取得できません。
8434	0x000020F2	ERROR_DS_MISSING_FSMO_SETTINGS	ディレクトリサービスに必須の構成情報を見つからず、浮動小数点数シングルマスタ操作役割の所有権を決定できません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
8435	0x000020F3	ERROR_DS_UNABLE_TO_SURRENDER_ROLES	ディレクトリサービスは、1つ以上の浮動小数点数シングルマスタ操作役割の所有権を他のサーバに転送できませんでした。
8436	0x000020F4	ERROR_DS_DRA_GENERIC	複製操作に失敗しました。
8437	0x000020F5	ERROR_DS_DRA_INVALID_PARAMETER	無効なパラメータがこの複製操作に指定されています。
8438	0x000020F6	ERROR_DS_DRA_BUSY	ディレクトリサービスがビジーすぎるため、この時点で複製操作を完了できません。
8439	0x000020F7	ERROR_DS_DRA_BAD_DN	この複製操作に指定された識別名が無効です。
8440	0x000020F8	ERROR_DS_DRA_BAD_NC	この複製操作に関する名前付けコンテキストが無効です。
8441	0x000020F9	ERROR_DS_DRA_DN_EXISTS	この複製操作に指定された識別名は既に存在しています。
8442	0x000020FA	ERROR_DS_DRA_INTERNAL_ERROR	複製システムで内部エラーが発生しました。
8443	0x000020FB	ERROR_DS_DRA_INCONSISTENT_DIT	複製操作でデータベースの不整合が発生しました。
8444	0x000020FC	ERROR_DS_DRA_CONNECTION_FAILED	この複製操作に指定されたサーバに接続できませんでした。
8445	0x000020FD	ERROR_DS_DRA_BAD_INSTANCE_TYPE	複製操作で無効なインスタンスタイプのオブジェクトが見つかりました。
8446	0x000020FE	ERROR_DS_DRA_OUT_OF_MEM	複製操作がメモリの割り当てに失敗しました。
8447	0x000020FF	ERROR_DS_DRA_MAIL_PROBLEM	複製操作でメールシステムにエラーが発生しました。
8448	0x00002100	ERROR_DS_DRA_REF_ALREADY_EXISTS	ターゲットサーバに関する複製参照情報は既に存在しています。
8449	0x00002101	ERROR_DS_DRA_REF_NOT_FOUND	ターゲットサーバに関する複製参照情報が存在しません。
8450	0x00002102	ERROR_DS_DRA_OBJ_IS_REP_SOURCE	別のサーバに複製されているため、名前付けコンテキストが削除できません。
8451	0x00002103	ERROR_DS_DRA_DB_ERROR	複製操作でデータベースエラーが発生しました。
8452	0x00002104	ERROR_DS_DRA_NO_REPLICA	名前付けコンテキストが削除中であるか、または指定されたサーバから複製されていません。
8453	0x00002105	ERROR_DS_DRA_ACCESS_DENIED	複製アクセスが拒否されました。
8454	0x00002106	ERROR_DS_DRA_NOT_SUPPORTED	要求された操作が、このバージョンのディレクトリサービスではサポートされていません。
8455	0x00002107	ERROR_DS_DRA_RPC_CANCELLED	複製リモートプロシージャ呼び出しがキャンセルされました。
8456	0x00002108	ERROR_DS_DRA_SOURCE_DISABLED	ソースサーバが現在、複製リクエストを拒否しています。
8457	0x00002109	ERROR_DS_DRA_SINK_DISABLED	デスティネーションサーバが現在、複製リクエストを拒否しています。
8458	0x0000210A	ERROR_DS_DRA_NAME_COLLISION	オブジェクト名の競合のため、複製操作に失敗しました。
8459	0x0000210B	ERROR_DS_DRA_SOURCE_REINSTALLED	複製ソースが再インストールされました。
8460	0x0000210C	ERROR_DS_DRA_MISSING_PARENT	必要な親オブジェクトが見つからないため、複製操作が失敗しました。
8461	0x0000210D	ERROR_DS_DRA_PREEMPTED	複製操作が他のプロセスによって中断されました。
8462	0x0000210E	ERROR_DS_DRA_ABANDON_SYNC	アップデートの欠如のため、複製同期の試行が破棄されました。
8463	0x0000210F	ERROR_DS_DRA_SHUTDOWN	システムがシャットダウン中のため、複製操作が終了しました。
8464	0x00002110	ERROR_DS_DRA_INCOMPATIBLE_PARTIAL_SET	デスティネーションの部分属性セットがソースの部分属性セットのサブセットではないため、複製同期に失敗しました。
8465	0x00002111	ERROR_DS_DRA_SOURCE_IS_PARTIAL_REPLICA	マスタ複製が部分複製から同期しようとしたため、複製同期に失敗しました。
8466	0x00002112	ERROR_DS_DRA_EXTN_CONNECTION_FAILED	この複製操作に指定されたサーバには接続しましたが、このサーバが操作を完了するために必要な別のサーバに接続できませんでした。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
8467	0x00002113	ERROR_DS_INSTALL_SCHEMA_MISMATCH	ソースフォレストのアクティブディレクトリスキーマのバージョンが、このコンピュータアクティブディレクトリのバージョンと互換性がありません。このコンピュータをドメインコントローラとしてソースフォレストに追加する前に、ソースフォレストでドメインコントローラのOSをアップグレードする必要があります。
8468	0x00002114	ERROR_DS_DUP_LINK_ID	スキーマ更新の失敗: 同じリンクIDを持つ属性は既に存在しています。
8469	0x00002115	ERROR_DS_NAME_ERROR_RESOLVING	名前変換: 一般的な処理エラー。
8470	0x00002116	ERROR_DS_NAME_ERROR_NOT_FOUND	名前変換: 名前が見つからない、または名前を確認するための権限が不足しています。
8471	0x00002117	ERROR_DS_NAME_ERROR_NOT_UNIQUE	名前変換: 入力名が複数の出力名にマッピングされています。
8472	0x00002118	ERROR_DS_NAME_ERROR_NO_MAPPING	名前変換: 入力名は見つかりましたが、関連する出力形式が見つかりませんでした。
8473	0x00002119	ERROR_DS_NAME_ERROR_DOMAIN_ONLY	名前変換: 完全に解決することができず、ドメインのみが見つかりました。
8474	0x0000211A	ERROR_DS_NAME_ERROR_NO_SYNTACTICAL_MAPPING	名前変換: 通信を行わずに、純粋に構文的なマッピングをクライアントで実行できません。
8475	0x0000211B	ERROR_DS_CONSTRUCTED_ATT_MOD	構築されたattの変更は許可されていません。
8476	0x0000211C	ERROR_DS_WRONG_OM_OBJ_CLASS	指定された構文を持つ属性に対して、指定されたOMオブジェクトクラスが正しくありません。
8477	0x0000211D	ERROR_DS_DRA_REPL_PENDING	複製リクエストがPOST送信され、応答を待っています。
8478	0x0000211E	ERROR_DS_DS_REQUIRED	要求された操作にはディレクトリサービスが必要ですが、利用できませんでした。
8479	0x0000211F	ERROR_DS_INVALID_LDAP_DISPLAY_NAME	クラスまたは属性のLDAP表示名に非ASCII文字が含まれています。
8480	0x00002120	ERROR_DS_NON_BASE_SEARCH	要求された検索操作では基本検索機能のみがサポートされています。
8481	0x00002121	ERROR_DS_CANT_RETRIEVE_ATTS	検索がデータベースからの属性の読み出しに失敗しました。
8482	0x00002122	ERROR_DS_BACKLINK_WITHOUT_LINK	スキーマ更新操作が、対応するフォワードリンクがないバックワードリンク属性を追加しようとしました。
8483	0x00002123	ERROR_DS_EPOCH_MISMATCH	クロスドメイン移動のソースとデスティネーションの間でオブジェクトのエPOCH番号が一致していません。ソースまたはデスティネーションのいずれかが、オブジェクトの最新バージョンを持っていません。
8484	0x00002124	ERROR_DS_SRC_NAME_MISMATCH	クロスドメイン移動のソースとデスティネーションの間でオブジェクトの現在の名前が一致していません。ソースまたはデスティネーションのいずれかが、オブジェクトの最新バージョンを持っていません。
8485	0x00002125	ERROR_DS_SRC_AND_DST_NC_IDENTICAL	クロスドメイン移動操作のソースとデスティネーションが同一です。呼び出し側は、クロスドメイン移動操作ではなく、ローカル移動操作を使用する必要があります。
8486	0x00002126	ERROR_DS_DST_NC_MISMATCH	クロスドメイン移動のソースとデスティネーションは、フォレストの名前付けコンテキストが一致していません。ソースまたはデスティネーションのいずれかが、Partitionsコンテナの最新バージョンを持っていません。
8487	0x00002127	ERROR_DS_NOT_AUTHORITIVE_FOR_DST_NC	クロスドメイン移動のデスティネーションは、デスティネーションの名前付けコンテキストに関するコンテンツ情報を持っていません。
8488	0x00002128	ERROR_DS_SRC_GUID_MISMATCH	クロスドメイン移動のソースとデスティネーションの間でソースオブジェクトのIDが一致していません。ソースまたはデスティネーションのいずれかが、ソースオブジェクトの最新バージョンを持っていません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
8489	0x00002129	ERROR_DS_CANT_MOVE_DELETED_OBJECT	ドメイン間を移動するオブジェクトは、デスティネーションサーバによって削除されることが既に知られています。ソースサーバが、ソースオブジェクトの最新バージョンを持っていません。
8490	0x0000212A	ERROR_DS_PDC_OPERATION_IN_PROGRESS	PDC PSMOへの排他的アクセスが必要な他の操作が既に進行中です。
8491	0x0000212B	ERROR_DS_CROSS_DOMAIN_CLEANUP_REQD	クロスドメイン移動操作が失敗し、ソースドメインとデスティネーションドメインにそれぞれ1つずつ、移動したオブジェクトの2つのバージョンが存在しています。デスティネーションオブジェクトを削除し、一貫性のある状態にシステムを復元する必要があります。
8492	0x0000212C	ERROR_DS_ILLEGAL_XDOM_MOVE_OPERATION	このクラスのクロスドメイン移動が許可されていないか、またはオブジェクトに特殊文字が含まれているため、このオブジェクトはドメインの境界を越えて移動できません(例えば、トラストアカウントや制限付きのRIDによって移動ができません)。
8493	0x0000212D	ERROR_DS_CANT_WITH_ACCT_GROUP_MEMBERSHPS	メンバーシップがドメイン境界を越えるオブジェクトは移動できません。移動すれば、アカウントグループのメンバーシップ条件の違反になります。アカウントグループのメンバーシップからオブジェクトを削除し、再試行してください。
8494	0x0000212E	ERROR_DS_NC_MUST_HAVE_NC_PARENT	名前付けコンテキストのヘッドは、内部ノードではなく、別の名前付けコンテキストのヘッドの直接の子である必要があります。
8495	0x0000212F	ERROR_DS_CR_IMPOSSIBLE_TO_VALIDATE	ディレクトリが提示された名前付けコンテキストの上に名前付けコンテキストの複製を保持していないため、提示された名前付けコンテキストを検証できません。ドメインの名前付けマスタの役割が、後ローバルカタログサーバとして構成されたサーバによって保持されていること、およびこのサーバがその複製パートナーに対して最新の状態であることを確認してください。(Windows 2000のドメイン名前付けマスタにのみ適用されます)
8496	0x00002130	ERROR_DS_DST_DOMAIN_NOT_NATIVE	デスティネーションドメインはネイティブモードである必要があります。
8497	0x00002131	ERROR_DS_MISSING_INFRASTRUCTURE_CONTAINER	サーバが関連するドメインのインフラストラクチャコンテナを持っていないため、操作を実行できません。
8498	0x00002132	ERROR_DS_CANT_MOVE_ACCOUNT_GROUP	空でないアカウントグループのクロスドメイン移動は許可されていません。
8499	0x00002133	ERROR_DS_CANT_MOVE_RESOURCE_GROUP	空でないリソースグループのクロスドメイン移動は許可されていません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
8500	0x00002134	ERROR_DS_INVALID_SEARCH_FLAG	この属性の検索フラグは無効です。ANRビットは、UnicodeまたはTeletex文字列の属性についてのみ有効です。
8501	0x00002135	ERROR_DS_NO_TREE_DELETE_ABOVE_NC	NCヘッドを子孫として持つオブジェクトからツリー削除を開始することは許可されていません。
8502	0x00002136	ERROR_DS_COULDNT_LOCK_TREE_FOR_DELETE	ツリーが使用中であるため、ディレクトリサービスがツリーの削除を準備するためにツリーをロックすることができませんでした。
8503	0x00002137	ERROR_DS_COULDNT_IDENTIFY_OBJECTS_FOR_TREE_DELETE	ディレクトリサービスがツリーを削除しようとするときに、オブジェクトのリストを識別することができませんでした。
8504	0x00002138	ERROR_DS_SAM_INIT_FAILURE	以下のエラーのために、Security Accounts Managerの初期化に失敗しました: %1. エラーステータス: 0x%2。OKをクリックしてシステムをシャットダウンし、Directory Services Restoreモードで再起動してください。詳細情報をイベントログでチェックしてください。
8505	0x00002139	ERROR_DS_SENSITIVE_GROUP_VIOLATION	管理者のみが管理者グループのメンバーシップリストを変更できます。
8506	0x0000213A	ERROR_DS_CANT_MOD_PRIMARYGROUPID	ドメインコントローラアカウントのプライマリグループIDを変更できません。
8507	0x0000213B	ERROR_DS_ILLEGAL_BASE_SCHEMA_MOD	ベーススキーマを変更しようとした。
8508	0x0000213C	ERROR_DS_NONSAFE_SCHEMA_CHANGE	新しいメンバーシップ属性を既存のクラスに追加すること、既存のクラスから必須属性を削除すること、またはオプション属性を(直接または継承を通じて、例えば、補助クラスを追加または削除することによって)バックリンク属性を持っていない特殊クラスTopに追加することは許可されていません。
8509	0x0000213D	ERROR_DS_SCHEMA_UPDATE_DISALLOWED	このDCはスキーマFSMO Role Ownerではないため、スキーマの更新はこのDCでは許可されていません。
8510	0x0000213E	ERROR_DS_CANT_CREATE_UNDER_SCHEMA	このクラスのオブジェクトは、スキーマコンテナの下で作成できません。スキーマコンテナの下では属性スキーマおよびクラススキーマオブジェクトのみを作成できます。
8511	0x0000213F	ERROR_DS_INSTALL_NO_SRC_SCH_VERSION	複製/子のインストールが、ソースDCのスキーマコンテナのobjectVersion属性の取得に失敗しました。スキーマコンテナにこの属性が見つからないか、または提供された資格情報がこの属性を読み出すための権限を持っていないかのいずれかです。
8512	0x00002140	ERROR_DS_INSTALL_NO_SCH_VERSION_IN_INIFILE	複製/子のインストールが、system32ディレクトリのschema.iniファイルのSCHEMAセクションでobjectVersion属性の読み出しに失敗しました。
8513	0x00002141	ERROR_DS_INVALID_GROUP_TYPE	指定されたグループタイプが無効です。
8514	0x00002142	ERROR_DS_NO_NEST_GLOBALGROUP_IN_MIXEDDOMAIN	グループのセキュリティが有効になっている場合、混合ドメインでグローバルグループをネストできません。
8515	0x00002143	ERROR_DS_NO_NEST_LOCALGROUP_IN_MIXEDDOMAIN	グループのセキュリティが有効になっている場合、混合ドメインでローカルグループをネストできません。
8516	0x00002144	ERROR_DS_GLOBAL_CANT_HAVE_LOCAL_MEMBER	グローバルグループは、ローカルグループをメンバにすることはできません。
8517	0x00002145	ERROR_DS_GLOBAL_CANT_HAVE_UNIVERSAL_MEMBER	グローバルグループは、ユニバーサルグループをメンバにすることはできません。
8518	0x00002146	ERROR_DS_UNIVERSAL_CANT_HAVE_LOCAL_MEMBER	ユニバーサルグループは、ローカルグループをメンバにすることはできません。
8519	0x00002147	ERROR_DS_GLOBAL_CANT_HAVE_CROSSDOMAIN_MEMBER	グローバルグループは、クロスドメインメンバをメンバにすることはできません。
8520	0x00002148	ERROR_DS_LOCAL_CANT_HAVE_CROSSDOMAIN_LOCAL_MEMBER	ローカルグループは、別のクロスドメインのローカルグループをメンバにすることはできません。
8521	0x00002149	ERROR_DS_HAVE_PRIMARY_MEMBERS	プライメンバを持つグループは、セキュリティが無効になったグループに変更できません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
8522	0x0000214A	ERROR_DS_STRING_SD_CONVERSION_FAILED	スキーマキャッシュロードが、クロススキーマオブジェクトで文字列デフォルトSDを変換できませんでした。
8523	0x0000214B	ERROR_DS_NAMING_MASTER_GC	Global Catalogサーバとして構成されたDSAのみが、Domain Naming Master FSMOの役割を許可されます。(Windows 2000サーバにのみ適用されます)
8524	0x0000214C	ERROR_DS_LOOKUP_FAILURE	DNSルックアップエラーのため、DSA操作を開始できませんでした。
8525	0x0000214D	ERROR_DS_COULDNT_UPDATE_SPNS	オブジェクトのDNS Host Nameの変更を処理する時に、Service Principal Nameの値が同期を継続することができませんでした。
8526	0x0000214E	ERROR_DS_CANT_RETRIEVE_SD	Security Descriptor属性を読み出すことができませんでした。
8527	0x0000214F	ERROR_DS_KEY_NOT_UNIQUE.	要求されたオブジェクトは見つかりませんでしたが、このキーを持つオブジェクトは見つかりました。
8528	0x00002150	ERROR_DS_WRONG_LINKED_ATT_SYNTAX	追加されるリンクされた属性の構文が間違っています。フォワードリンクは構文2.5.5.1、2.5.5.7、および2.5.5.14のみを持つことができ、バックリンクは構文2.5.5.1のみを持つことができます。
8529	0x00002151	ERROR_DS_SAM_NEED_BOOTKEY_PASSWORD	Security Account Managerがブートパスワードを取得する必要があります。
8530	0x00002152	ERROR_DS_SAM_NEED_BOOTKEY_FLOPPY	Security Account Managerがフロッピーディスクからブートキーを取得する必要があります。
8531	0x00002153	ERROR_DS_CANT_START	ディレクトリサービスを開始できません。
8532	0x00002154	ERROR_DS_INIT_FAILURE	ディレクトリサービスを開始できませんでした。
8533	0x00002155	ERROR_DS_NO_PKT_PRIVACY_ON_CONNECTION	クライアントとサーバ間の接続にはパケットプライバシー以上が必要です。
8534	0x00002156	ERROR_DS_SOURCE_DOMAIN_IN_FOREST	ソースドメインがデスティネーションと同じフォレスト内にない可能性があります。
8535	0x00002157	ERROR_DS_DESTINATION_DOMAIN_NOT_IN_FOREST	デスティネーションドメインはフォレスト内に必要があります。
8536	0x00002158	ERROR_DS_DESTINATION_AUDITING_NOT_ENABLED	この操作にはデスティネーションドメインの監査機能が有効になっている必要があります。
8537	0x00002159	ERROR_DS_CANT_FIND_DC_FOR_SRC_DOMAIN	操作がソースドメインのDCを特定できませんでした。
8538	0x0000215A	ERROR_DS_SRC_OBJ_NOT_GROUP_OR_USER	ソースオブジェクトはグループまたはユーザである必要があります。
8539	0x0000215B	ERROR_DS_SRC_SID_EXISTS_IN_FOREST	ソースオブジェクトのSIDは既にデスティネーションフォレストに存在します。
8540	0x0000215C	ERROR_DS_SRC_AND_DST_OBJECT_CLASS_MISMATCH	ソースおよびデスティネーションオブジェクトは同じタイプである必要があります。
8541	0x0000215D	ERROR_SAM_INIT_FAILURE	以下のエラーのために、Security Accounts Managerの初期化に失敗しました: %1. エラーステータス: 0x%2. OKをクリックしてシステムをシャットダウンし、Safeモードで再起動してください。詳細情報をイベントログでチェックしてください。
8542	0x0000215E	ERROR_DS_DRA_SCHEMA_INFO_SHIP	スキーマ情報を複製リクエストに含めることができませんでした。
8543	0x0000215F	ERROR_DS_DRA_SCHEMA_CONFLICT	スキーマに互換性がないため、複製操作を完了できませんでした。
8544	0x00002160	ERROR_DS_DRA_EARLIER_SCHEMA_CONFLICT	以前のスキーマに互換性がないため、複製操作を完了できませんでした。
8545	0x00002161	ERROR_DS_DRA_OBJ_NC_MISMATCH	ソースまたはデスティネーションが最新のクロスドメイン移動操作に関する情報をまだ受信していないため、複製の更新が適用できませんでした。
8546	0x00002162	ERROR_DS_NC_STILL_HAS_DSAS	このドメインのホストを続けているドメインコントローラが存在するため、要求されたドメインが削除できませんでした。
8547	0x00002163	ERROR_DS_GC_REQUIRED	要求された操作は、グローバルカタログサーバでのみ実行できます。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
8548	0x00002164	ERROR_DS_LOCAL_MEMBER_OF_LOCAL_ONLY	ローカルグループは、同じドメインの他のローカルグループのメンバにのみなることができます。
8549	0x00002165	ERROR_DS_NO_FPO_IN_UNIVERSAL_GROUPS	その他のグループのセキュリティプリンシパルは、ユニバーサルグループのメンバになることができません。
8550	0x00002166	ERROR_DS_CANT_ADD_TO_GC	セキュリティ上の理由から、この属性はGCに複製を作成することは許可されていません。
8551	0x00002167	ERROR_DS_NO_CHECKPOINT_WITH_PDC	現在処理中に変更が多すぎるため、PDCを持つチェックポイントを取得することができませんでした。
8552	0x00002168	ERROR_DS_SOURCE_AUDITING_NOT_ENABLED	この操作にはソースドメインの監査機能が有効になっている必要があります。
8553	0x00002169	ERROR_DS_CANT_CREATE_IN_NONDOMAIN_NC	セキュリティプリンシパルオブジェクトドメインの名前付けコンテキスト内でのみ作成することができます。
8554	0x0000216A	ERROR_DS_INVALID_NAME_FOR_SPN	提供されたホスト名が必要な形式でないため、Service Principal Name (SPN) を構築できませんでした。
8555	0x0000216B	ERROR_DS_FILTER_USES_CONSTRUCTED_ATTRS	構築された属性を使用するフィルタが渡されました。
8556	0x0000216C	ERROR_DS_UNICODEPWD_NOT_IN_QUOTES	unicodePwd属性値は、二重引用符で囲む必要があります。
8557	0x0000216D	ERROR_DS_MACHINE_ACCOUNT_QUOTA_EXCEEDED	コンピュータがドメインに結合できませんでした。このドメインで作成できるコンピュータアカウントの最大数を超過しています。システム管理者に問い合わせ、この制限をリセットまたは最大値を大きくしてもらってください。
8558	0x0000216E	ERROR_DS_MUST_BE_RUN_ON_DST_DC	セキュリティ上の理由から、この操作はデスティネーションDC上で実行する必要があります。
8559	0x0000216F	ERROR_DS_SRC_DC_MUST_BE_SP4_OR_GREATER	セキュリティ上の理由から、ソースDCはNT4SP4以上である必要があります。
8560	0x00002170	ERROR_DS_CANT_TREE_DELETE_CRITICAL_OBJ	Critical Directory Service Systemオブジェクトは、ツリー削除操作中に削除できません。ツリー削除が部分的に実行される場合があります。
8561	0x00002171	ERROR_DS_INIT_FAILURE_CONSOLE	以下のエラーのために、ディレクトリサービスを開始できませんでした: %1. エラーステータス: 0x%2。OKをクリックしてシステムをシャットダウンしてください。さらにシステムの診断を続けるには、復元コンソールを使用できます。
8562	0x00002172	ERROR_DS_SAM_INIT_FAILURE_CONSOLE	以下のエラーのために、Security Accounts Managerの初期化に失敗しました: %1. エラーステータス: 0x%2。OKをクリックしてシステムをシャットダウンしてください。さらにシステムの診断を続けるには、復元コンソールを使用できます。
8563	0x00002173	ERROR_DS_FOREST_VERSION_TOO_HIGH	このWindowsバージョンは古すぎて、最新のディレクトリフォレストの動作をサポートしていません。このサーバをフォレストのドメインコントローラにする前に、このサーバのOSをアップグレードする必要があります。
8564	0x00002174	ERROR_DS_DOMAIN_VERSION_TOO_HIGH	このWindowsバージョンは古すぎて、最新のドメインの動作をサポートしていません。このサーバをドメインのドメインコントローラにする前に、このサーバのOSをアップグレードする必要があります。
8565	0x00002175	ERROR_DS_FOREST_VERSION_TOO_LOW	このWindowsバージョンは、このディレクトリフォレストで使用される動作バージョンをサポートしていません。このサーバをフォレストのドメインコントローラにする前に、フォレスト動作バージョンをアップグレードする必要があります。
8566	0x00002176	ERROR_DS_DOMAIN_VERSION_TOO_LOW	このWindowsバージョンは、このドメインで使用される動作バージョンをサポートしていません。このサーバをドメインのドメインコントローラにする前に、フォレスト動作バージョンをアップグレードする必要があります。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
8567	0x00002177	ERROR_DS_INCOMPATIBLE_VERSION	Windowsのバージョンに、ドメインまたはフォレストの動作バージョンとの互換性がありません。
8568	0x00002178	ERROR_DS_LOW_DSA_VERSION	要求された値より低いバージョンのドメインコントローラが依然として存在するため、この動作バージョンをアップグレードすることができません。
8569	0x00002179	ERROR_DS_NO_BEHAVIOR_VERSION_IN_MIXEDDOMAIN	ドメインが混合ドメインモードのままでは、動作バージョンの値を大きくすることはできません。動作バージョンを大きくする前に、最初にドメインをネイティブモードに変更する必要があります。
8570	0x0000217A	ERROR_DS_NOT_SUPPORTED_SORT_ORDER	要求されたソート順がサポートされていません。
8571	0x0000217B	ERROR_DS_NAME_NOT_UNIQUE	重複する名前を持つオブジェクトが見つかりました。
8572	0x0000217C	ERROR_DS_MACHINE_ACCOUNT_CREATED_PRENT4	マシンアカウントが、NT4以前に作成されています。アカウントを再作成する必要があります。
8573	0x0000217D	ERROR_DS_OUT_OF_VERSION_STORE	データベースのバージョンがサポートされていません。
8574	0x0000217E	ERROR_DS_INCOMPATIBLE_CONTROLS_USED	複数の競合する制御が使用されているため継続できません。
8575	0x0000217F	ERROR_DS_NO_REF_DOMAIN	このパーティションの有効なセキュリティ記述子参照ドメインを見つけることができません。
8576	0x00002180	ERROR_DS_RESERVED_LINK_ID	スキーマ更新の失敗: リンクIDが予約済みです。
8577	0x00002181	ERROR_DS_LINK_ID_NOT_AVAILABLE	スキーマ更新の失敗: 使用できるリンクIDがありません。
8578	0x00002182	ERROR_DS_AG_CANT_HAVE_UNIVERSAL_MEMBER	アカウントグループは、ユニバーサルグループをメンバにすることはできません。
8579	0x00002183	ERROR_DS_MODIFYDN_DISALLOWED_BY_INSTANCE_TYPE	名前付けコンテキストヘッドまたは読み取り専用オブジェクトでの名前の変更または移動操作は、許可されていません。
8580	0x00002184	ERROR_DS_NO_OBJECT_MOVE_IN_SCHEMA_NC	スキーマ名前付けコンテキストでのオブジェクトの移動操作は、許可されていません。
8581	0x00002185	ERROR_DS_MODIFYDN_DISALLOWED_BY_FLAG	システムフラグがオブジェクトに設定されているため、オブジェクトを移動または名前変更することができません。
8582	0x00002186	ERROR_DS_MODIFYDN_WRONG_GRANDPARENT	このオブジェクトは、祖父母関係のコンテナを変更することは許可されていません。このオブジェクトの移動は禁止されていませんが、兄弟関係のコンテナへの移動に制限されています。
8583	0x00002187	ERROR_DS_NAME_ERROR_TRUST_REFERRAL	他のフォレストへの照会が生成され、完全に解決することができません。
8584	0x00002188	ERROR_NOT_SUPPORTED_ON_STANDARD_SERVER	要求されたアクションは、標準サーバではサポートされていません。
8585	0x00002189	ERROR_DS_CANT_ACCESS_REMOTE_PART_OF_AD	リモートサーバに配置されたアクティブディレクトリのパーティションにアクセスできませんでした。少なくとも1つのサーバが該当するパーティションで動作していることを確認してください。
8586	0x0000218A	ERROR_DS_CR_IMPOSSIBLE_TO_VALIDATE_V2	ディレクトリが提示された名前付けコンテキストの上に名前付けコンテキストの複製を保持していないため、または提示された名前付けコンテキストの上に名前付けコンテキストの複製に接続できないため、提示された名前付けコンテキスト(またはパーティション)を検証できません。親の名前付けコンテキストがDNSに適切に登録されていることを確認し、この名前付けコンテキストの少なくとも1つの複製がDomain Namingマスタによって到達可能であることを確認してください。
8587	0x0000218B	ERROR_DS_THREAD_LIMIT_EXCEEDED	このリクエストに対するスレッドの制限を超えました。
8588	0x0000218C	ERROR_DS_NOT_CLOSEST	グローバルカタログサーバが最も近い場所がありません。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
9001	0x00002329	DNS_ERROR_RCODE_FORMAT_ERROR	DNSサーバがフォーマットを解釈できません。
9002	0x0000232A	DNS_ERROR_RCODE_SERVER_FAILURE	DNSサーバの障害。
9003	0x0000232B	DNS_ERROR_RCODE_NAME_ERROR	DNS名が存在しません。
9004	0x0000232C	DNS_ERROR_RCODE_NOT_IMPLEMENTED	DNSリクエストが、ネームサーバではサポートされていません。
9005	0x0000232D	DNS_ERROR_RCODE_REFUSED	DNS操作が拒否されました。
9006	0x0000232E	DNS_ERROR_RCODE_YXDOMAIN	存在するはずのないDNS名が存在します。
9007	0x0000232F	DNS_ERROR_RCODE_YXRRSET	存在するはずのないDNS RRセットが存在します。
9008	0x00002330	DNS_ERROR_RCODE_NXRRSET	存在するはずのDNS RRセットが存在しません。
9009	0x00002331	DNS_ERROR_RCODE_NOTAUTH	DNSサーバがゾーンのコンテンツ情報を持っていません。
9010	0x00002332	DNS_ERROR_RCODE_NOTZONE	更新または必要条件のDNS名がゾーンにありません。
9016	0x00002338	DNS_ERROR_RCODE_BADSIG	DNSシグネチャが検証に失敗しました。
9017	0x00002339	DNS_ERROR_RCODE_BADKEY	DNSキーが正しくありません。
9018	0x0000233A	DNS_ERROR_RCODE_BADTIME	DNSシグネチャの有効期限が過ぎました。
9501	0x0000251D	DNS_INFO_NO_RECORDS	受け取ったDNSクエリーに対するレコードが見つかりませんでした。
9502	0x0000251E	DNS_ERROR_BAD_PACKET	DNSパケットが正しくありません。
9503	0x0000251F	DNS_ERROR_NO_PACKET	DNSパケットがありません。
9504	0x00002520	DNS_ERROR_RCODE	DNSエラー、rcodeをチェックしてください。
9505	0x00002521	DNS_ERROR_UNSECURE_PACKET	非セキュアなDNSパケット。
9551	0x0000254F	DNS_ERROR_INVALID_TYPE	無効なDNSタイプ。
9552	0x00002550	DNS_ERROR_INVALID_IP_ADDRESS	無効なIPアドレス
9553	0x00002551	DNS_ERROR_INVALID_PROPERTY	無効なプロパティ
9554	0x00002552	DNS_ERROR_TRY_AGAIN_LATER	後でもう一度、DNS操作を試みてください。
9555	0x00002553	DNS_ERROR_NOT_UNIQUE	受け取った名前とタイプのレコードが一意ではありません。
9556	0x00002554	DNS_ERROR_NON_RFC_NAME	DNS名がRFC仕様に準拠していません。
9557	0x00002555	DNS_STATUS_FQDN	DNS名は完全に仕様に準拠しています。
9558	0x00002556	DNS_STATUS_DOTTED_NAME	DNS名にピリオドが含まれています(マルチラベル)。
9559	0x00002557	DNS_STATUS_SINGLE_PART_NAME	DNS名がシングルパート名です。
9560	0x00002558	DNS_ERROR_INVALID_NAME_CHAR	DSN名に無効な文字が含まれています。
9561	0x00002559	DNS_ERROR_NUMERIC_NAME	DNS名に数字だけが使用されています。
9601	0x00002581	DNS_ERROR_ZONE_DOES_NOT_EXIST	DNSゾーンが存在しません。
9602	0x00002582	DNS_ERROR_NO_ZONE_INFO	DNSゾーン情報が使用できません。
9603	0x00002583	DNS_ERROR_INVALID_ZONE_OPERATION	DNSゾーンに対する無効な操作。
9604	0x00002584	DNS_ERROR_ZONE_CONFIGURATION_ERROR	無効なDNSゾーン設定。
9605	0x00002585	DNS_ERROR_ZONE_HAS_NO_SOA_RECORD	DNSゾーンにStart Of Authority (SOA) レコードがありません。
9606	0x00002586	DNS_ERROR_ZONE_HAS_NO_NS_RECORDS	DNSゾーンにネームサーバ(NS)レコードがありません。
9607	0x00002587	DNS_ERROR_ZONE_LOCKED	DNSゾーンがロックされています。
9608	0x00002588	DNS_ERROR_ZONE_CREATION_FAILED	DNSゾーン作成に失敗しました。
9609	0x00002589	DNS_ERROR_ZONE_ALREADY_EXISTS	DNSゾーンは既に存在しています。
9610	0x0000258A	DNS_ERROR_AUTOZONE_ALREADY_EXISTS	DNS自動ゾーンは既に存在しています。
9611	0x0000258B	DNS_ERROR_INVALID_ZONE_TYPE	無効なDNSゾーンタイプ。
9612	0x0000258C	DNS_ERROR_SECONDARY_REQUIRES_MASTER_IP	セカンダリDNSゾーンにはマスタIPアドレスが必要です。
9613	0x0000258D	DNS_ERROR_ZONE_NOT_SECONDARY	DNSゾーンがセカンダリではありません。
9614	0x0000258E	DNS_ERROR_NEED_SECONDARY_ADDRESSES	セカンダリIPアドレスが必要です。
9615	0x0000258F	DNS_ERROR_WINS_INIT_FAILED	WINSの初期化に失敗しました。
9616	0x00002590	DNS_ERROR_NEED_WINS_SERVERS	WINSサーバが必要です。
9617	0x00002591	DNS_ERROR_NBSTAT_INIT_FAILED	NBSTAT初期化呼び出しに失敗しました。
9618	0x00002592	DNS_ERROR_SOA_DELETE_INVALID	Start Of Authority (SOA)の無効な削除

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
9619	0x00002593	DNS_ERROR_FORWARDER_ALREADY_EXISTS	条件付きフォワードゾーンはその名前で既に存在しています。
9651	0x000025B3	DNS_ERROR_PRIMARY_REQUIRES_DATAFILE	プライマリDNSゾーンにはデータファイルが必要です。
9652	0x000025B4	DNS_ERROR_INVALID_DATAFILE_NAME	DNSゾーンに対する無効なデータファイル名。
9653	0x000025B5	DNS_ERROR_DATAFILE_OPEN_FAILURE	DNSゾーンのデータファイルを開くことができませんでした。
9654	0x000025B6	DNS_ERROR_FILE_WRITEBACK_FAILED	DNSゾーンのデータファイルを書き込むことができませんでした。
9655	0x000025B7	DNS_ERROR_DATAFILE_PARSING	DNSゾーンのデータファイルの読み出し中の障害。
9701	0x000025E5	DNS_ERROR_RECORD_DOES_NOT_EXIST	DNSレコードが存在しません。
9702	0x000025E6	DNS_ERROR_RECORD_FORMAT	DNSレコードのフォーマットエラー。
9703	0x000025E7	DNS_ERROR_NODE_CREATION_FAILED	DNSでのノード作成に失敗。
9704	0x000025E8	DNS_ERROR_UNKNOWN_RECORD_TYPE	不明なDNSレコードタイプ。
9705	0x000025E9	DNS_ERROR_RECORD_TIMED_OUT	DNSレコードがタイムアウトしました。
9706	0x000025EA	DNS_ERROR_NAME_NOT_IN_ZONE	DNSゾーンに名前がありません。
9707	0x000025EB	DNS_ERROR_CNAME_LOOP	CNAMEループが検出されました。
9708	0x000025EC	DNS_ERROR_NODE_IS_CNAME	ノードはCNAME DNSレコードです。
9709	0x000025ED	DNS_ERROR_CNAME_COLLISION	CNAMEレコードは所定の名前で既に存在しています。
9710	0x000025EE	DNS_ERROR_RECORD_ONLY_AT_ZONE_ROOT	レコードがDNSゾーンのルートのみにあります。
9711	0x000025EF	DNS_ERROR_RECORD_ALREADY_EXISTS	DNSレコードは既に存在しています。
9712	0x000025F0	DNS_ERROR_SECONDARY_DATA	セカンダリDNSゾーンデータのエラー。
9713	0x000025F1	DNS_ERROR_NO_CREATE_CACHE_DATA	DNSキャッシュデータを作成できませんでした。
9714	0x000025F2	DNS_ERROR_NAME_DOES_NOT_EXIST	DNS名が存在しません。
9715	0x000025F3	DNS_WARNING_PTR_CREATE_FAILED	ポインタ(PTR)レコードを作成できません。
9716	0x000025F4	DNS_WARNING_DOMAIN_UNDELETED	DNSドメインの削除が取り消されました。
9717	0x000025F5	DNS_ERROR_DS_UNAVAILABLE	ディレクトリサービスが使用できません。
9718	0x000025F6	DNS_ERROR_DS_ZONE_ALREADY_EXISTS	DNSゾーンがディレクトリサービスに既に存在しています。
9719	0x000025F7	DNS_ERROR_NO_BOOTFILE_IF_DS_ZONE	ディレクトリサービスのブートファイルの作成または読み取りをしないDNSサーバが、DNSゾーンを統合しました。
9751	0x00002617	DNS_INFO_AXFR_COMPLETE	DNS AXFR (ゾーン転送)が完了しました。
9752	0x00002618	DNS_ERROR_AXFR	DNSゾーン転送に失敗しました。
9753	0x00002619	DNS_INFO_ADDED_LOCAL_WINS	追加されたローカルWINSサーバ。
9801	0x00002649	DNS_STATUS_CONTINUE_NEEDED	セキュアな更新呼び出しが、更新リクエストを継続する必要があります。
9851	0x0000267B	DNS_ERROR_NO_TCPIP	TCP/IPネットワークプロトコルがインストールされていません。
9852	0x0000267C	DNS_ERROR_NO_DNS_SERVERS	DNSサーバがローカルシステムに設定されていません。
9901	0x000026AD	DNS_ERROR_DP_DOES_NOT_EXIST	指定されたディレクトリパーティションは存在しません。
9902	0x000026AE	DNS_ERROR_DP_ALREADY_EXISTS	指定されたディレクトリパーティションは既に存在しています。
9903	0x000026AF	DNS_ERROR_DP_NOT_ENLISTED	DSは指定されたディレクトリパーティションに組み込まれていません。
9904	0x000026B0	DNS_ERROR_DP_ALREADY_ENLISTED	DSは既に指定されたディレクトリパーティションに組み込まれています。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
10004	0x00002714	WSAEINTR	ブロック操作がWSACancelBlockingCallの呼び出しによって中断されました。
10009	0x00002719	WSAEBADF	渡されたファイルハンドルが有効ではありません。
10013	0x0000271D	WSAEACCES	アクセス権限によって禁止されている方法でソケットにアクセスしようとしました。
10014	0x0000271E	WSAEFAULT	呼び出しのポインタ引数を使用しようとして、システムが無効なポインタアドレスを検出しました。
10022	0x00002726	WSAEINVAL	無効な引数が渡されました。
10024	0x00002728	WSAEMFILE	開いているソケットが多すぎます。
10035	0x00002733	WSAEWOULDBLOCK	ノンブロッキングソケット操作が直ちに完了できませんでした。
10036	0x00002734	WSAEINPROGRESS	ブロック操作が現在実行中です。
10037	0x00002735	WSAEALREADY	既に操作が進行中のノンブロッキングソケットで操作を行おうとしました。
10038	0x00002736	WSAENOTSOCK	ソケット以外のものでも操作を行おうとしました。
10039	0x00002737	WSAEDESTADDRREQ	ソケットの操作から必要なアドレスが省略されています。
10040	0x00002738	WSAEMSGSIZE	データグラムソケットに送信されたメッセージが内部メッセージバッファまたはその他のネットワーク制限より大きい、またはデータグラムの受信に使用されたバッファがデータグラム自体より小さい。
10041	0x00002739	WSAEPROTOTYPE	ソケット関数呼び出しで、要求されたソケットタイプのセマンティクスをサポートしていないプロトコルが指定されました。
10042	0x0000273A	WSAENOPROTOOPT	不明な、無効な、またはサポートされていないオプションまたはレベルが、getsockopt または setsockopt の呼び出しで指定されました。
10043	0x0000273B	WSAEPROTONOSUPPORT	要求されたプロトコルがシステムに設定されていないか、またはそのための実装が存在しません。
10044	0x0000273C	WSAESOCKTNOSUPPORT	指定されたソケットタイプのサポートが、このアドレスファミリに存在しません。
10045	0x0000273D	WSAEOPNOTSUPP	この操作は、参照されたオブジェクトのタイプではサポートされていません。
10046	0x0000273E	WSAEPFNOSUPPORT	プロトコルファミリがシステムに設定されていないか、またはそのための実装が存在しません。
10047	0x0000273F	WSAEAFNOSUPPORT	要求されたプロトコルと互換性がないアドレスが使用されました。
10048	0x00002740	WSAEADDRINUSE	各ソケットアドレス(プロトコル/ネットワークアドレス/ポート)は、通常、1回のみ使用が許可されています。
10049	0x00002741	WSAEADDRNOTAVAIL	要求されたアドレスは、このコンテキストでは有効ではありません。
10050	0x00002742	WSAENETDOWN	ソケット操作でデッドネットワーク(ネットワーク接続の喪失)が発生しました。
10051	0x00002743	WSAENETUNREACH	到達できないネットワークに対してソケット操作を行おうとしました。
10052	0x00002744	WSAENETRESET	操作が進行中にエラーを検出するkeep-alive動作のために、接続が切断しました。
10053	0x00002745	WSAECONNABORTED	確立した接続がホストマシンのソフトウェアによって中止されました。
10054	0x00002746	WSAECONNRESET	既存の接続がリモートホストによって強制的に終了しました。
10055	0x00002747	WSAENOBUFS	システムに十分なバッファスペースがないため、またはキューの空き領域がないため、ソケットでの操作が実行できませんでした。
10056	0x00002748	WSAEISCONN	既に接続されているソケットに対して接続リクエストが発行されました。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
10057	0x00002749	WSAENOTCONN	ソケットが接続されておらず、(sendto呼び出しを使用してデータグラムソケットで送信時に)アドレスが提供されなかったため、データを送受信するリクエストは許可されませんでした。
10058	0x0000274A	WSAESHUTDOWN	ソケットが前のシャットダウン呼び出しに従って既にシャットダウンされたため、データを送受信するリクエストは許可されませんでした。
10059	0x0000274B	WSAETOOMANYREFS	カーネルオブジェクトへの参照が多すぎます。
10060	0x0000274C	WSAETIMEDOUT	接続された側が一定の時間後に適切に応答しなかったために接続に失敗したか、または接続されたホストが応答に失敗したために確立された接続でエラーになりました。
10061	0x0000274D	WSAECONNREFUSED	ターゲットマシンが明確に拒否しているため、接続できませんでした。
10062	0x0000274E	WSAELOOP	名前を変換できません。
10063	0x0000274F	WSAENAMETOOLONG	名前の構成要素または名前が長すぎます。
10064	0x00002750	WSAEHOSTDOWN	デスティネーションホストが停止したため、ソケット操作に失敗しました。
10065	0x00002751	WSAEHOSTUNREACH	到達できないホストに対してソケット操作を行おうとしました。
10066	0x00002752	WSAENOTEMPTY	空でないディレクトリは削除することができません。
10067	0x00002753	WSAEPROCLIM	Windows Socketsの実装には、同時にこれを使用するアプリケーションの数に制限がある場合があります。
10068	0x00002754	WSAEUSERS	割り当てが不足しています。
10069	0x00002755	WSAEDQUOT	ディスク割り当てが不足しています。
10070	0x00002756	WSAESTALE	ファイルハンドル参照は使用できなくなりました。
10071	0x00002757	WSAEREMOTE	アイテムがローカルで使用できません。
10091	0x0000276B	WSASYSNOTREADY	ネットワークサービスを提供するためにこの機能を使用する基本システムが現在使用できないため、WSAStartupは現在使用できません。
10092	0x0000276C	WSAVERNOTSUPPORTED	要求されたWindows Socketsのバージョンがサポートされていません。
10093	0x0000276D	WSANOTINITIALISED	アプリケーションがWSAStartupを呼び出さなかったか、またはWSAStartupが失敗したかのいずれかです。
10101	0x00002775	WSAEDISCON	リモート側がグレースフル (Graceful) シャットダウンシーケンスを開始したことを示すために、WSARecv または WSARecvFrom によって返されました。
10102	0x00002776	WSAENOMORE	WSALookupServiceNextによって返される結果はこれ以上ありません。
10103	0x00002777	WSAECANCELLED	この呼び出しの処理中に、WSALookupServiceEndの呼び出しが行われました。呼び出しはキャンセルされました。
10104	0x00002778	WSAEINVALIDPROCTABLE	プロシージャ呼び出しテーブルが無効です。
10105	0x00002779	WSAEINVALIDPROVIDER	要求されたサービスプロバイダが無効です。
10106	0x0000277A	WSAEPROVIDERFAILEDINIT	要求されたサービスプロバイダがロードまたは初期化できませんでした。
10107	0x0000277B	WSASYSSCALLFAILURE	失敗してはならないシステム呼び出しが失敗しました。
10108	0x0000277C	WSASERVICE_NOT_FOUND	そのようなサービスは不明です。指定された名前空間でこのサービスを見つけることはできません。
10109	0x0000277D	WSATYPE_NOT_FOUND	指定されたクラスが見つかりませんでした。
10110	0x0000277E	WSA_E_NO_MORE	WSALookupServiceNextによって返される結果はこれ以上ありません。
10111	0x0000277F	WSA_E_CANCELLED	この呼び出しの処理中に、WSALookupServiceEndの呼び出しが行われました。呼び出しはキャンセルされました。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
10112	0x00002780	WSAEREFUSED	データベースのクエリーは、明確に拒否されたため失敗しました。
11001	0x00002AF9	WSAHOST_NOT_FOUND	そのようなホストは不明です。
11002	0x00002AFA	WSATRY_AGAIN	これは通常、ホスト名解決中の一時的なエラーで、ローカルサーバが権威サーバから応答を受信しなかったことを意味します。
11003	0x00002AFB	WSANO_RECOVERY	データベースルックアップ中に回復不能なエラーが発生しました。
11004	0x00002AFC	WSANO_DATA	要求された名前は有効でありデータベース内に見つかりましたが、解決を行うための正しく関連付けられたデータがありません。
11005	0x00002AFD	WSA_QOS_RECEIVERS	少なくとも1つの予備が到着しました。
11006	0x00002AFE	WSA_QOS_SENDERS	少なくとも1つのパスが到着しました。
11007	0x00002AFF	WSA_QOS_NO_SENDERS	セNDERはありません。
11008	0x00002B00	WSA_QOS_NO_RECEIVERS	レシーバはありません。
11009	0x00002B01	WSA_QOS_REQUEST_CONFIRMED	予備が確認されました。
11010	0x00002B02	WSA_QOS_ADMISSION_FAILURE	リソース不足によるエラー。
11011	0x00002B03	WSA_QOS_POLICY_FAILURE	管理上の理由から拒否されました - 資格情報が無効です。
11012	0x00002B04	WSA_QOS_BAD_STYLE	不明または競合するスタイル。
11013	0x00002B05	WSA_QOS_BAD_OBJECT	一般的に、filterspec または providerspecific バッファの一部で問題が発生しています。
11014	0x00002B06	WSA_QOS_TRAFFIC_CTRL_ERROR	flowspecの一部で問題が発生しています。
11015	0x00002B07	WSA_QOS_GENERIC_ERROR	一般的なQOSエラー。
11016	0x00002B08	WSA_QOS_ESERVICETYPE	無効または認識されないサービスタイプがflowspecに見つかりました。
11017	0x00002B09	WSA_QOS_EFLOWSPEC	無効または整合性のないflowspecが、QOS構造体に見つかりました。
11018	0x00002B0A	WSA_QOS_EPROVSPECBUF	無効なQOSプロバイダ固有のバッファ。
11019	0x00002B0B	WSA_QOS_EFILTERSTYLE	無効なQOSフィルタスタイルが使用されました。
11020	0x00002B0C	WSA_QOS_EFILTERTYPE	無効なQOSフィルタタイプが使用されました。
11021	0x00002B0D	WSA_QOS_EFILTERCOUNT	FLOWDESCRIPTORに指定されたQOS FILTERSPECの数が正しくありません。
11022	0x00002B0E	WSA_QOS_EOBJLENGTH	無効なObjectLengthフィールドを持つオブジェクトが、QOSプロバイダ固有のバッファに指定されました。
11023	0x00002B0F	WSA_QOS_EFLOWCOUNT	QOS構造体に指定されたフロー記述子の数が正しくありません。
11024	0x00002B10	WSA_QOS_EUNKNOWNPSOBJ	認識されないオブジェクトが、QOSプロバイダ固有のバッファで見つかりました。
11025	0x00002B11	WSA_QOS_EPOLICYOBJ	無効なポリシーオブジェクトが、QOSプロバイダ固有のバッファで見つかりました。
11026	0x00002B12	WSA_QOS_EFLOWDESC	無効なQOSフロー記述子が、フロー記述子リストで見つかりました。
11027	0x00002B13	WSA_QOS_EPSFLOWSPEC	無効または整合性のないflowspecが、QOSプロバイダ固有のバッファで見つかりました。
11028	0x00002B14	WSA_QOS_EPSFILTERSPEC	無効なFILTERSPECが、QOSプロバイダ固有のバッファで見つかりました。
11029	0x00002B15	WSA_QOS_ESDMODEOBJ	無効な形状破棄モードオブジェクトが、QOSプロバイダ固有のバッファで見つかりました。
11030	0x00002B16	WSA_QOS_ESHAPERATEOBJ	無効なシェイピングレートオブジェクトが、QOSプロバイダ固有のバッファで見つかりました。
11031	0x00002B17	WSA_QOS_RESERVED_PETYPE	予約されたポリシーエレメントが、QOSプロバイダ固有のバッファで見つかりました。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
12000	0x00002EE0	ERROR_SXS_SECTION_NOT_FOUND	要求されたセクションは、アクティベーションコンテキストには存在しませんでした。
12001	0x00002EE1	ERROR_SXS_CANT_GEN_ACTCTX	このアプリケーションは、アプリケーションの設定が正しくないため、開始できませんでした。アプリケーションを再インストールすることで問題が解決することもあります。
12002	0x00002EE2	ERROR_SXS_INVALID_ACTCTXDATA_FORMAT	アプリケーションのバインディングデータ形式が無効です。
12003	0x00002EE3	ERROR_SXS_ASSEMBLY_NOT_FOUND	参照されたアセンブリはシステムにインストールされていません。
12004	0x00002EE4	ERROR_SXS_MANIFEST_FORMAT_ERROR	マニフェストファイルは、必要なタグおよびフォーマット情報から開始していません。
12005	0x00002EE5	ERROR_SXS_MANIFEST_PARSE_ERROR	マニフェストファイルに1つ以上の構文エラーが含まれています。
12006	0x00002EE6	ERROR_SXS_ACTIVATION_CONTEXT_DISABLED	アプリケーションが、無効になったアクティベーションコンテキストをアクティベートしようとしてしました。
12007	0x00002EE7	ERROR_SXS_KEY_NOT_FOUND	要求されたルックアップキーは、有効なアクティベーションコンテキストで見つかりませんでした。
12008	0x00002EE8	ERROR_SXS_VERSION_CONFLICT	アプリケーションによって要求されるコンポーネントバージョンが、既にアクティブな別のコンポーネントのバージョンと競合しています。
12009	0x00002EE9	ERROR_SXS_WRONG_SECTION_TYPE	要求されたアクティベーションコンテキストセクションのタイプが、使用されているクエリ-APIと一致しません。
12010	0x00002EEA	ERROR_SXS_THREAD_QUERIES_DISABLED	システムリソースが不足しているため、現在の実行スレッドで分離アクティベーションを無効にする必要があります。
12011	0x00002EEB	ERROR_SXS_PROCESS_DEFAULT_ALREADY_SET	プロセスのデフォルトアクティベーションコンテキストが既に設定されているため、プロセスのデフォルトアクティベーションコンテキストを設定しようとして失敗しました。
12012	0x00002EEC	ERROR_SXS_UNKNOWN_ENCODING_GROUP	指定されたエンコーディンググループIDが認識されません。
12013	0x00002EED	ERROR_SXS_UNKNOWN_ENCODING	要求されたエンコーディングが認識されません。
12014	0x00002EEE	ERROR_SXS_INVALID_XML_NAMESPACE_URI	マニフェストに無効なURIへの参照が含まれています。
12015	0x00002EEF	ERROR_SXS_ROOT_MANIFEST_DEPENDENCY_NOT_INSTALLED	アプリケーションマニフェストに、インストールされていない依存アセンブリへの参照が含まれています。
12016	0x00002EF0	ERROR_SXS_LEAF_MANIFEST_DEPENDENCY_NOT_INSTALLED	アプリケーションによって使用されるアセンブリのマニフェストに、インストールされていない依存アセンブリへの参照が含まれています。
12017	0x00002EF1	ERROR_SXS_INVALID_ASSEMBLY_IDENTITY_ATTRIBUTE	マニフェストに有効でないアセンブリIDの属性が含まれています。
12018	0x00002EF2	ERROR_SXS_MANIFEST_MISSING_REQUIRED_DEFAULT_NAMESPACE	マニフェストに、アセンブリエレメントに関する必要なデフォルト名前空間仕様が見つかりません。
12019	0x00002EF3	ERROR_SXS_MANIFEST_INVALID_REQUIRED_DEFAULT_NAMESPACE	マニフェストにはアセンブリエレメントに指定されたデフォルト名前空間が含まれていますが、その値が「urn:schemas-microsoft-com:asm.v1」ではありません。
12020	0x00002EF4	ERROR_SXS_PRIVATE_MANIFEST_CROSS_PATH_WITH_REPARSE_POINT	プライベートマニフェストプローブが、リパースポイント関連のパスを通過しました。
12021	0x00002EF5	ERROR_SXS_DUPLICATE_DLL_NAME	アプリケーションマニフェストによって直接または間接的に参照される2つ以上のコンポーネントが、同じ名前のファイルを持っています。
12022	0x00002EF6	ERROR_SXS_DUPLICATE_WINDOWCLASS_NAME	アプリケーションマニフェストによって直接または間接的に参照される2つ以上のコンポーネントが、同じ名前のウィンドウクラスを持っています。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
12023	0x00002EF7	ERROR_SXS_DUPLICATE_CLSID	アプリケーションマニフェストによって直接または間接的に参照される2つ以上のコンポーネントが、同じ名前のCOMサーバのCLSIDを持っています。
12024	0x00002EF8	ERROR_SXS_DUPLICATE_IID	アプリケーションマニフェストによって直接または間接的に参照される2つ以上のコンポーネントが、同じCOMインターフェイスIIDのプロキシを持っています。
12025	0x00002EF9	ERROR_SXS_DUPLICATE_TLBID	アプリケーションマニフェストによって直接または間接的に参照される2つ以上のコンポーネントが、同じCOMタイプライブラリのTLBIDを持っています。
12026	0x00002EFA	ERROR_SXS_DUPLICATE_PROGID	アプリケーションマニフェストによって直接または間接的に参照される2つ以上のコンポーネントが、同じCOM ProgIDを持っています。
12027	0x00002EFB	ERROR_SXS_DUPLICATE_ASSEMBLY_NAME	アプリケーションマニフェストによって直接または間接的に参照される2つ以上のコンポーネントが、同じコンポーネントの異なるバージョンです(これは許可されていません)。
12028	0x00002EFC	ERROR_SXS_FILE_HASH_MISMATCH	コンポーネントのファイルが、コンポーネントマニフェストに存在する検証情報と一致しません。
12029	0x00002EFD	ERROR_SXS_POLICY_PARSE_ERROR	ポリシーマニフェストに1つ以上の構文エラーが含まれています。
12030	0x00002EFE	ERROR_SXS_XML_E_MISSINGQUOTE	マニフェストパースエラー: 文字列リテラルが必要でしたが、開始の引用符文字が見つかりませんでした。
12031	0x00002EFF	ERROR_SXS_XML_E_COMMENTSYNTAX	マニフェストパースエラー: コメントで使用された構文が正しくありません。
12032	0x00002F00	ERROR_SXS_XML_E_BADSTARTNAMECHAR	マニフェストパースエラー: 名前が無効な文字で開始されました。
12033	0x00002F01	ERROR_SXS_XML_E_BADNAMECHAR	マニフェストパースエラー: 名前に無効な文字が含まれています。
12034	0x00002F02	ERROR_SXS_XML_E_BADCHARINSTRING	マニフェストパースエラー: 文字列リテラルに無効な文字が含まれています。
12035	0x00002F03	ERROR_SXS_XML_E_XMLDECLSYNTAX	マニフェストパースエラー: XML宣言の無効な構文。
12036	0x00002F04	ERROR_SXS_XML_E_BADCHARDATA	マニフェストパースエラー: 無効な文字がテキストコンテキストに見つかりました。
12037	0x00002F05	ERROR_SXS_XML_E_MISSINGWHITESPACE	マニフェストパースエラー: 必要な空白がありません。
12038	0x00002F06	ERROR_SXS_XML_E_EXPECTINGTAGEND	マニフェストパースエラー: 文字 '>' が必要です。
12039	0x00002F07	ERROR_SXS_XML_E_MISSINGSEMICOLON	マニフェストパースエラー: セミコロンが必要です。
12040	0x00002F08	ERROR_SXS_XML_E_UNBALANCEDPAREN	マニフェストパースエラー: 括弧が釣り合っていない。
12041	0x00002F09	ERROR_SXS_XML_E_INTERNALERROR	マニフェストパースエラー: 内部エラー。
12042	0x00002F0A	ERROR_SXS_XML_E_UNEXPECTED_WHITESPACE	マニフェストパースエラー: この位置には空白を入れてはいけません。
12043	0x00002F0B	ERROR_SXS_XML_E_INCOMPLETE_ENCODING	マニフェストパースエラー: 現在のエンコーディングでは無効な状態でファイル末尾に達しました。
12044	0x00002F0C	ERROR_SXS_XML_E_MISSING_PAREN	マニフェストパースエラー: 括弧がありません。
12045	0x00002F0D	ERROR_SXS_XML_E_EXPECTINGCLOSEQUOTE	マニフェストパースエラー: 一重または二重の閉じ引用符文字(' or ")がありません。
12046	0x00002F0E	ERROR_SXS_XML_E_MULTIPLE_COLONS	マニフェストパースエラー: 名前には複数のコロンは使用できません。
12047	0x00002F0F	ERROR_SXS_XML_E_INVALID_DECIMAL	マニフェストパースエラー: 10進数で無効な文字。
12048	0x00002F10	ERROR_SXS_XML_E_INVALID_HEXIDECIMAL	マニフェストパースエラー: 16進数で無効な文字。
12049	0x00002F11	ERROR_SXS_XML_E_INVALID_UNICODE	マニフェストパースエラー: このプラットフォームで無効なUnicode文字値。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
12050	0x00002F12	ERROR_SXS_XML_E_WHITESPACEORQUESTIONMARK	マニフェストパースエラー: 空白または '?' が必要です。
12051	0x00002F13	ERROR_SXS_XML_E_UNEXPECTEDENDTAG	マニフェストパースエラー: この位置に終了タグは必要ありません。
12052	0x00002F14	ERROR_SXS_XML_E_UNCLOSEDTAG	マニフェストパースエラー: 以下のタグが閉じられていません: %1
12053	0x00002F15	ERROR_SXS_XML_E_DUPLICATEATTRIBUTE	マニフェストパースエラー: 重複属性。
12054	0x00002F16	ERROR_SXS_XML_E_MULTIPLEROOTS	マニフェストパースエラー: XMLドキュメントではトップレベルエレメントは1つしか許可されていません。
12055	0x00002F17	ERROR_SXS_XML_E_INVALIDATROOTLEVEL	マニフェストパースエラー: ドキュメントのトップレベルが無効です。
12056	0x00002F18	ERROR_SXS_XML_E_BADXMLDECL	マニフェストパースエラー: 無効なXML宣言。
12057	0x00002F19	ERROR_SXS_XML_E_MISSINGROOT	マニフェストパースエラー: XMLドキュメントにはトップレベルエレメントが必要です。
12058	0x00002F1A	ERROR_SXS_XML_E_UNEXPECTEDEOF	マニフェストパースエラー: 予期しないファイル末尾。
12059	0x00002F1B	ERROR_SXS_XML_E_BADPEREFINSUBSET	マニフェストパースエラー: パラメータエンティティは、内部サブセットのマークアップ宣言内では使用できません。
12060	0x00002F1C	ERROR_SXS_XML_E_UNCLOSEDSTARTTAG	マニフェストパースエラー: エレメントが閉じられていません。
12061	0x00002F1D	ERROR_SXS_XML_E_UNCLOSEDENDTAG	マニフェストパースエラー: 終了エレメントに文字 '>' がありません。
12062	0x00002F1E	ERROR_SXS_XML_E_UNCLOSEDSTRING	マニフェストパースエラー: 文字列リテラルが閉じられていません。
12063	0x00002F1F	ERROR_SXS_XML_E_UNCLOSEDCOMMENT	マニフェストパースエラー: コメントが閉じられていません。
12064	0x00002F20	ERROR_SXS_XML_E_UNCLOSEDDECL	マニフェストパースエラー: 宣言が閉じられていません。
12065	0x00002F21	ERROR_SXS_XML_E_UNCLOSEDCDATA	マニフェストパースエラー: CDATAセクションが閉じられていません。
12066	0x00002F22	ERROR_SXS_XML_E_RESERVEDNAMESPACE	マニフェストパースエラー: 名前空間プレフィックスは、予約済み文字列「xml」で開始してはなりません。
12067	0x00002F23	ERROR_SXS_XML_E_INVALIDENCODING	マニフェストパースエラー: システムは指定されたエンコーディングをサポートしていません。
12068	0x00002F24	ERROR_SXS_XML_E_INVALIDSWITCH	マニフェストパースエラー: 現在のエンコーディングから指定されたエンコーディングへの切り替えはサポートされていません。
12069	0x00002F25	ERROR_SXS_XML_E_BADXMLCASE	マニフェストパースエラー: 名前 'xml' は予約されており、小文字を使用する必要があります。
12070	0x00002F26	ERROR_SXS_XML_E_INVALID_STANDALONE	マニフェストパースエラー: スタンドアロン属性は値 'yes' または 'no' を持つ必要があります。
12071	0x00002F27	ERROR_SXS_XML_E_UNEXPECTED_STANDALONE	マニフェストパースエラー: スタンドアロン属性は外部エンティティでは使用できません。
12072	0x00002F28	ERROR_SXS_XML_E_INVALID_VERSION	マニフェストパースエラー: 無効なバージョン番号。
12073	0x00002F29	ERROR_SXS_XML_E_MISSINGEQUALS	マニフェストパースエラー: 属性と属性値の間に等号がありません。
13000	0x000032C8	ERROR_IPSEC_QM_POLICY_EXISTS	指定されたクイックモードポリシーは既に存在しています。
13001	0x000032C9	ERROR_IPSEC_QM_POLICY_NOT_FOUND	指定されたクイックモードポリシーが見つかりませんでした。
13002	0x000032CA	ERROR_IPSEC_QM_POLICY_IN_USE	指定されたクイックモードポリシーは使用中です。
13003	0x000032CB	ERROR_IPSEC_MM_POLICY_EXISTS	指定されたメインモードポリシーは既に存在しています。
13004	0x000032CC	ERROR_IPSEC_MM_POLICY_NOT_FOUND	指定されたメインモードポリシーが見つかりませんでした。
13005	0x000032CD	ERROR_IPSEC_MM_POLICY_IN_USE	指定されたメインモードポリシーは使用中です。
13006	0x000032CE	ERROR_IPSEC_MM_FILTER_EXISTS	指定されたメインモードフィルタは既に存在しています。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
13007	0x000032CF	ERROR_IPSEC_MM_FILTER_NOT_FOUND	指定されたメインモードフィルタが見つかりませんでした。
13008	0x000032D0	ERROR_IPSEC_TRANSPORT_FILTER_EXISTS	指定された転送モードフィルタは既に存在しています。
13009	0x000032D1	ERROR_IPSEC_TRANSPORT_FILTER_NOT_FOUND	指定された転送モードフィルタは存在しません。
13010	0x000032D2	ERROR_IPSEC_MM_AUTH_EXISTS	指定されたメインモード認証リストは存在しています。
13011	0x000032D3	ERROR_IPSEC_MM_AUTH_NOT_FOUND	指定されたメインモード認証リストが見つかりませんでした。
13012	0x000032D4	ERROR_IPSEC_MM_AUTH_IN_USE	指定されたクイックモードポリシーは使用中です。
13013	0x000032D5	ERROR_IPSEC_DEFAULT_MM_POLICY_NOT_FOUND	指定されたメインモードポリシーが見つかりませんでした。
13014	0x000032D6	ERROR_IPSEC_DEFAULT_MM_AUTH_NOT_FOUND	指定されたクイックモードポリシーが見つかりませんでした。
13015	0x000032D7	ERROR_IPSEC_DEFAULT_QM_POLICY_NOT_FOUND	マニフェストファイルに1つ以上の構文エラーが含まれています。
13016	0x000032D8	ERROR_IPSEC_TUNNEL_FILTER_EXISTS	アプリケーションが、無効になったアクティベーションコンテキストをアクティベートしようとしてしました。
13017	0x000032D9	ERROR_IPSEC_TUNNEL_FILTER_NOT_FOUND	要求されたルックアップキーは、有効なアクティベーションコンテキストで見つかりませんでした。
13018	0x000032DA	ERROR_IPSEC_MM_FILTER_PENDING_DELETION	メインモードフィルタは削除待ちです。
13019	0x000032DB	ERROR_IPSEC_TRANSPORT_FILTER_PENDING_DELETION	転送フィルタは削除待ちです。
13020	0x000032DC	ERROR_IPSEC_TUNNEL_FILTER_PENDING_DELETION	トンネルフィルタは削除待ちです。
13021	0x000032DD	ERROR_IPSEC_MM_POLICY_PENDING_DELETION	メインモードポリシーは削除待ちです。
13022	0x000032DE	ERROR_IPSEC_MM_AUTH_PENDING_DELETION	メインモード認証バンドルは削除待ちです。
13023	0x000032DF	ERROR_IPSEC_QM_POLICY_PENDING_DELETION	クイックモードポリシーは削除待ちです。
13801	0x000035E9	ERROR_IPSEC_IKE_AUTH_FAIL	IKE認証資格情報が許可できません。
13802	0x000035EA	ERROR_IPSEC_IKE_ATTRIB_FAIL	IKEセキュリティ属性が許可できません。
13803	0x000035EB	ERROR_IPSEC_IKE_NEGOTIATION_PENDING	IKEネゴシエーションが進行中です。
13804	0x000035EC	ERROR_IPSEC_IKE_GENERAL_PROCESSING_ERROR	一般的な処理エラー。
13805	0x000035ED	ERROR_IPSEC_IKE_TIMED_OUT	ネゴシエーションがタイムアウトしました。
13806	0x000035EE	ERROR_IPSEC_IKE_NO_CERT	IKEが有効なマシン証明書を見つけることができませんでした。
13807	0x000035EF	ERROR_IPSEC_IKE_SA_DELETED	接続が確立する前にピアによってIKE SAが削除されました。
13808	0x000035F0	ERROR_IPSEC_IKE_SA_REAPED	接続が確立する前にIKE SAが削除されました。
13809	0x000035F1	ERROR_IPSEC_IKE_MM_ACQUIRE_DROP	ネゴシエーションリクエストがキューに待機する時間が長すぎます。
13810	0x000035F2	ERROR_IPSEC_IKE_QM_ACQUIRE_DROP	ネゴシエーションリクエストがキューに待機する時間が長すぎます。
13811	0x000035F3	ERROR_IPSEC_IKE_QUEUE_DROP_MM	ネゴシエーションリクエストがキューに待機する時間が長すぎます。
13812	0x000035F4	ERROR_IPSEC_IKE_QUEUE_DROP_NO_MM	ネゴシエーションリクエストがキューに待機する時間が長すぎます。
13813	0x000035F5	ERROR_IPSEC_IKE_DROP_NO_RESPONSE	ピアからの応答がありません。
13814	0x000035F6	ERROR_IPSEC_IKE_MM_DELAY_DROP	ネゴシエーションに長くかかり過ぎました。
13815	0x000035F7	ERROR_IPSEC_IKE_QM_DELAY_DROP	ネゴシエーションに長くかかり過ぎました。
13816	0x000035F8	ERROR_IPSEC_IKE_ERROR	不明なエラーが発生しました。
13817	0x000035F9	ERROR_IPSEC_IKE_CRL_FAILED	証明書の認定取り消しチェックに失敗しました。
13818	0x000035FA	ERROR_IPSEC_IKE_INVALID_KEY_USAGE	無効な証明書キーの使用。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
13819	0x000035FB	ERROR_IPSEC_IKE_INVALID_CERT_TYPE	無効な証明書タイプ。
13820	0x000035FC	ERROR_IPSEC_IKE_NO_PRIVATE_KEY	マシン証明書に関連付けられた秘密鍵がありません。
13822	0x000035FE	ERROR_IPSEC_IKE_DH_FAIL	Diffie-Helman計算の失敗。
13824	0x00003600	ERROR_IPSEC_IKE_INVALID_HEADER	無効なヘッダ
13825	0x00003601	ERROR_IPSEC_IKE_NO_POLICY	ポリシーは設定されていません。
13826	0x00003602	ERROR_IPSEC_IKE_INVALID_SIGNATURE	シグネチャの検証に失敗しました。
13827	0x00003603	ERROR_IPSEC_IKE_KERBEROS_ERROR	Kerberosを使用する認証に失敗しました。
13828	0x00003604	ERROR_IPSEC_IKE_NO_PUBLIC_KEY	ピアの証明書には公開鍵がありませんでした。
13829	0x00003605	ERROR_IPSEC_IKE_PROCESS_ERR	エラー処理errorペイロード。
13830	0x00003606	ERROR_IPSEC_IKE_PROCESS_ERR_SA	エラー処理SAペイロード。
13831	0x00003607	ERROR_IPSEC_IKE_PROCESS_ERR_PROP	エラー処理Proposalペイロード。
13832	0x00003608	ERROR_IPSEC_IKE_PROCESS_ERR_TRANS	エラー処理Transformペイロード。
13833	0x00003609	ERROR_IPSEC_IKE_PROCESS_ERR_KEY	エラー処理KEペイロード。
13834	0x0000360A	ERROR_IPSEC_IKE_PROCESS_ERR_ID	エラー処理IDペイロード。
13835	0x0000360B	ERROR_IPSEC_IKE_PROCESS_ERR_CERT	エラー処理Certペイロード。
13836	0x0000360C	ERROR_IPSEC_IKE_PROCESS_ERR_CERT_REQ	エラー処理Certificate Requestペイロード。
13837	0x0000360D	ERROR_IPSEC_IKE_PROCESS_ERR_HASH	エラー処理Hashペイロード。
13838	0x0000360E	ERROR_IPSEC_IKE_PROCESS_ERR_SIG	エラー処理Signatureペイロード。
13839	0x0000360F	ERROR_IPSEC_IKE_PROCESS_ERR_NONCE	エラー処理Nonceペイロード。
13840	0x00003610	ERROR_IPSEC_IKE_PROCESS_ERR_NOTIFY	エラー処理Notifyペイロード。
13841	0x00003611	ERROR_IPSEC_IKE_PROCESS_ERR_DELETE	エラー処理Deleteペイロード。
13842	0x00003612	ERROR_IPSEC_IKE_PROCESS_ERR_VENDOR	エラー処理VendorIdペイロード。
13843	0x00003613	ERROR_IPSEC_IKE_INVALID_PAYLOAD	無効なペイロードを受信しました。
13844	0x00003614	ERROR_IPSEC_IKE_LOAD_SOFT_SA	ソフトSAがロードされました。
13845	0x00003615	ERROR_IPSEC_IKE_SOFT_SA_TORN_DOWN	ソフトSAが破壊されました。
13846	0x00003616	ERROR_IPSEC_IKE_INVALID_COOKIE	無効なクッキーを受信しました。
13847	0x00003617	ERROR_IPSEC_IKE_NO_PEER_CERT	ピアが有効なマシン証明書の送信に失敗しました。
13848	0x00003618	ERROR_IPSEC_IKE_PEER_CRL_FAILED	ピアの証明書の認定取り消しチェックに失敗しました。
13849	0x00003619	ERROR_IPSEC_IKE_POLICY_CHANGE	新しいポリシーが古いポリシーで構成されたSAを無効にしました。
13850	0x0000361A	ERROR_IPSEC_IKE_NO_MM_POLICY	使用可能なメインモードIKEポリシーがありません。
13851	0x0000361B	ERROR_IPSEC_IKE_NOTCBPRIV	TCB権限の有効化に失敗しました。
13852	0x0000361C	ERROR_IPSEC_IKE_SECLoadFAIL	SECURITY.DLLのロードに失敗しました。
13853	0x0000361D	ERROR_IPSEC_IKE_FAILSSPINIT	SSPIからのセキュリティ機能テーブル送出アドレスの取得に失敗しました。
13854	0x0000361E	ERROR_IPSEC_IKE_FAILQUERYSSP	最大トークンサイズを取得するKerberosパッケージの問合せに失敗しました。
13855	0x0000361F	ERROR_IPSEC_IKE_SRVACQFAIL	ISAKMP/ERROR_IPSEC_IKEサービスのためのKerberosサーバ資格情報の取得に失敗しました。Kerberos認証は機能しません。最も考えられるその理由は、ドメインのメンバーシップの欠如です。コンピュータがワークグループのメンバーである場合、これは正常です。
13856	0x00003620	ERROR_IPSEC_IKE_SRVQUERYCRED	ISAKMP/ERROR_IPSEC_IKEサービス(QueryCredentialsAttributes)のためのSSPIプリンシパル名が決定できませんでした。
13857	0x00003621	ERROR_IPSEC_IKE_GETSPIFAIL	Ipssecドライバから着信SA用の新しいSPIドライバの取得に失敗しました。最も一般的なこの理由は、ドライバに正しいフィルタが設定されていないことです。ポリシーをチェックしてフィルタを確認してください。
13858	0x00003622	ERROR_IPSEC_IKE_INVALID_FILTER	受け取ったフィルタが無効です。
13859	0x00003623	ERROR_IPSEC_IKE_OUT_OF_MEMORY	メモリ割り当てに失敗しました。

エラー			説明
10進数	16進数	名前	
13860	0x00003624	ERROR_IPSEC_IKE_ADD_UPDATE_KEY_FAIL	セキュリティアソシエーションをIPSecドライバに追加できませんでした。最も一般的なこの理由は、IKEネゴシエーションの完了に時間が長くなりすぎることです。問題が解決しない場合は、障害が発生するマシンの負荷を減らしてください。
13861	0x00003625	ERROR_IPSEC_IKE_INVALID_POLICY	無効なポリシー
13862	0x00003626	ERROR_IPSEC_IKE_UNKNOWN_DOI	無効なDOI
13863	0x00003627	ERROR_IPSEC_IKE_INVALID_SITUATION	無効なシチュエーション
13864	0x00003628	ERROR_IPSEC_IKE_DH_FAILURE	Diffie-Hellman障害
13865	0x00003629	ERROR_IPSEC_IKE_INVALID_GROUP	無効なDiffie-Hellmanグループ。
13866	0x0000362A	ERROR_IPSEC_IKE_ENCRYPT	ペイロードの暗号化エラー。
13867	0x0000362B	ERROR_IPSEC_IKE_DECRYPT	ペイロードの復号エラー。
13868	0x0000362C	ERROR_IPSEC_IKE_POLICY_MATCH	ポリシーの一致エラー。
13869	0x0000362D	ERROR_IPSEC_IKE_UNSUPPORTED_ID	サポートされていないID。
13870	0x0000362E	ERROR_IPSEC_IKE_INVALID_HASH	ハッシュ検証に失敗しました。
13871	0x0000362F	ERROR_IPSEC_IKE_INVALID_HASH_ALG	無効なハッシュアルゴリズム。
13872	0x00003630	ERROR_IPSEC_IKE_INVALID_HASH_SIZE	無効なハッシュサイズ
13873	0x00003631	ERROR_IPSEC_IKE_INVALID_ENCRYPT_ALG	無効な暗号化アルゴリズム
13874	0x00003632	ERROR_IPSEC_IKE_INVALID_AUTH_ALG	無効な認証アルゴリズム
13875	0x00003633	ERROR_IPSEC_IKE_INVALID_SIG	無効な証明書のシグネチャ。
13876	0x00003634	ERROR_IPSEC_IKE_LOAD_FAILED	ロードに失敗しました。
13877	0x00003635	ERROR_IPSEC_IKE_RPC_DELETE	RPC呼び出しによって削除されました。
13878	0x00003636	ERROR_IPSEC_IKE_BENIGN_REINIT	再初期化を実行するために一時的な状態が作成されました。これは本当の障害ではありません。
13879	0x00003637	ERROR_IPSEC_IKE_INVALID_RESPONDER_LIFETIME_NOTIFY	Responder Lifetime Notifyで受信したライフタイム値が、Windows 2000で設定されている最小値を下回っています。ピアマシン上のポリシーを修正してください。
13880	0x00003638	ERROR_IPSEC_IKE_INVALID_MAJOR_VERSION	受信者はヘッダーで指定されているIKEのバージョンに対応できません。
13881	0x00003639	ERROR_IPSEC_IKE_INVALID_CERT_KEYLEN	設定されたセキュリティ要件に対して証明書のキーの長さが短すぎます。
13882	0x0000363A	ERROR_IPSEC_IKE_MM_LIMIT	MM SAからピアへの最大接続数を超えました。
13883	0x0000363B	ERROR_IPSEC_IKE_NEGOTIATION_DISABLED	IKEがネゴシエーションを無効にするポリシーを受信しました。
13884	0x0000363C	ERROR_IPSEC_IKE_QM_LIMIT	メインモードのクイックモード上限値に達しました。新しいメインモードが開始されます。

8.6 FreeBSD エラーコード

次の表は、FreeBSDのエラーコード一覧です。

10進数	16進数	名前	説明
1	0x00000001	EPERM	操作は許可されていません。
2	0x00000002		そのようなファイルまたはディレクトリはありません。
3	0x00000003	ESRCH	そのようなプロセスはありません。
4	0x00000004	EINTR	システム呼び出しが中断されました。
5	0x00000005	EIO	入力/出力エラーです。
6	0x00000006	ENXIO	デバイスが設定されていません。
7	0x00000007	E2BIG	引数リストが長すぎます。
8	0x00000008	ENOEXEC	実行形式のエラーです。
9	0x00000009	EBADF	不正なファイル記述子です。
10	0x0000000A	ECHILD	子プロセスがありません。
11	0x0000000B	EDEADLK	リソースのデッドロックが回避されました。
12	0x0000000C	ENOMEM	メモリを割り当てできません。
13	0x0000000D	EACCES	拒否されました。
14	0x0000000E	EFAULT	不正なアドレスです。
15	0x0000000F	ENOTBLK	ブロックデバイスが必要です。
16	0x00000010	EBUSY	デバイスがビジー状態です。
17	0x00000011	EEXIST	ファイルが存在します。
18	0x00000012	EXDEV	クロスデバイスリンクです。
19	0x00000013	ENODEV	デバイスがサポートしていない操作です。
20	0x00000014	ENOTDIR	ディレクトリではありません。
21	0x00000015	EISDIR	ディレクトリです。
22	0x00000016	EINVAL	無効な引数です。
23	0x00000017	ENFILE	システムで開いているファイルが多すぎます。
24	0x00000018	EMFILE	開いているファイルが多すぎます。
25	0x00000019	ENOTTY	デバイスに不適切なioctlです。
26	0x0000001A	ETXTBSY	テキストファイルがビジー状態です。
27	0x0000001B	EFBIG	ファイルが大きすぎます。
28	0x0000001C	ENOSPC	デバイスに空き容量がありません。
29	0x0000001D	ESPIPE	不正な要求です。
30	0x0000001E	EROFS	読み取り専用のファイルシステムです。
31	0x0000001F	EMLINK	リンクが多すぎます。
32	0x00000020	EPIPE	パイプが破損しています。
33	0x00000021	EDOM	ドメイン外の引数です。
34	0x00000022	ERANGE	結果が大きすぎます。
35	0x00000023	EAGAIN	リソースが一時的に利用できません。
36	0x00000024	EINPROGRESS	操作が現在進行中です。
37	0x00000025	EALREADY	操作が既に進行中です。
38	0x00000026	ENOTSOCK	ソケット以外でソケット操作されています。
39	0x00000027	EDESTADDRREQ	宛先アドレスが必要です。
40	0x00000028	EMSGSIZE	メッセージが長すぎます。

10進数	16進数	名前	説明
41	0x00000029	EPROTOTYPE	プロトコルのタイプがソケットに対して間違っています。
42	0x0000002A	ENOPROTOOPT	プロトコルが利用できません。
43	0x0000002B	サポート	プロトコルがサポートされていません。
44	0x0000002C	ESOCKTNOSUPPORT	ソケットのタイプがサポートされていません。
45	0x0000002D	EOPNOTSUPP	操作がサポートされていません。
46	0x0000002E	EPFNOSUPPORT	プロトコルファミリーがサポートされていません。
47	0x0000002F	EAFNOSUPPORT	プロトコルファミリーがサポートしていないアドレスファミリーです。
48	0x00000030	EADDRINUSE	すでに使用されているアドレスです。
49	0x00000031	EADDRNOTAVAIL	要求されたアドレスは割り当てできません。
50	0x00000032	ENETDOWN	ネットワークがダウンしています。
51	0x00000033	ENETUNREACH	ネットワークに到達できません。
52	0x00000034	ENETRESET	リセット時にネットワークが切断されました。
53	0x00000035	ECONNABORTED	ソフトウェアによって接続が中断されました。
54	0x00000036	ECONNRESET	ピアによって接続がリセットされました。
55	0x00000037	ENOBUFS	使用可能なバッファスペースがありません。
56	0x00000038	EISCONN	ソケットはすでに接続されています。
57	0x00000039	ENOTCONN	ソケットが接続されていません。
58	0x0000003A	ESHUTDOWN	ソケットのシャットダウン後は送信できません。
60	0x0000003C	ETIMEDOUT	操作がタイムアウトになりました。
61	0x0000003D	ECONNREFUSED	接続が拒否されました。
62	0x0000003E	ELOOP	シンボリックリンクのレベルが多すぎます。
63	0x0000003F	ENAMETOOLONG	ファイル名が長すぎます。
64	0x00000040	EHOSTDOWN	ホストがダウンしています。
65	0x00000041	EHOSTUNREACH	ホストへのルートがありません。
66	0x00000042	ENOTEMPTY	ディレクトリが空ではありません。
67	0x00000043	EPROCLIM	プロセスが多すぎます。
68	0x00000044	EUSERS	ユーザが多すぎます。
69	0x00000045	EDQUOT	ディスククォータを超過しています。
70	0x00000046	ESTALE	古いNFSファイルハンドルです。
72	0x00000048	EBADRPC	RPCの構造が不正です。
73	0x00000049	ERPCMISMATCH	RPCバージョンが間違っています。
74	0x0000004A	EPROGUNAVAIL	RPCプログラムが利用できません。
75	0x0000004B	EPROGMISMATCH	プログラムのバージョンが間違っています。
76	0x0000004C	EPROCUNAVAIL	プログラムの手順が不正です。

10進数	16進数	名前	説明
77	0x0000004D	ENOLCK	ロックが利用できません。
78	0x0000004E	ENOSYS	機能が実装されていません。
79	0x0000004F	EFTYPE	ファイルタイプまたはフォーマットが不適切です。
80	0x00000050	EAUTH	認証エラーです。
81	0x00000051	ENEEDAUTH	認証が必要です。
82	0x00000052	EIDRM	識別子が削除されました。
83	0x00000053	ENOMSG	所望するタイプのメッセージがありません。
84	0x00000054	EOVERFLOW	値が大きすぎてデータ型に格納できません。
85	0x00000055	ECANCELED	操作がキャンセルされました。
86	0x00000056	EILSEQ	不正なバイトシーケンスです。
87	0x00000057	ENOATTR	属性が見つかりません。
88	0x00000058	EDOOFUS	プログラミングエラーです。
89	0x00000059	EBADMSG	不正なメッセージです。
90	0x0000005A	EMULTIHOP	マルチホップが試行されました。
91	0x0000005B	ENOLINK	接続は切断されました。
92	0x0000005C	EPROTO	プロトコルエラーです。
93	0x0000005D	ENOTCAPABLE	機能が不足しています。
94	0x0000005E	ECAPMODE	Capability Mode（機能モード）では許可されていません。
95	0x0000005F	ENOTRECOVERABLE	状態は回復できません。
96	0x00000060	EOWNERDEAD	前のオーナーが死亡しました。
97	0x00000061	EINTEGRITY	完全性チェックに失敗しました。

8.7 FreeRTOSのエラーコード

次の表は、FreeRTOSのエラーコード一覧です。

10進数	16進数	定数	説明
0	0x00000000	pdFREERTOS_ERRNO_NONE	そのようなファイルまたはディレクトリはありません。
2	0x00000002	pdFREERTOS_ERRNO_ENOENT	そのようなファイルまたはディレクトリはありません。
5	0x00000005	pdFREERTOS_ERRNO_EIO	I/Oエラーです。
6	0x00000006	pdFREERTOS_ERRNO_ENXIO	そのようなデバイスまたはアドレスはありません。
9	0x00000009	pdFREERTOS_ERRNO_EBADF	不正なファイル番号です。
10	0x0000000A	pdFREERTOS_ERRNO_EAGAIN	これ以上のプロセスは不可です。
11	0x0000000B	pdFREERTOS_ERRNO_EWOULDBLOCK	操作はブロックされます。
12	0x0000000C	pdFREERTOS_ERRNO_ENOMEM	コアが足りません。
13	0x0000000D	pdFREERTOS_ERRNO_EACCES	拒否されました。
14	0x0000000E	pdFREERTOS_ERRNO_EFAULT	不正なアドレスです。
16	0x00000010	pdFREERTOS_ERRNO_EBUSY	マウントデバイスがビジー状態です。
17	0x00000011	pdFREERTOS_ERRNO_EEXIST	ファイルが存在します。
18	0x00000012	pdFREERTOS_ERRNO_EXDEV	クロスデバイスリンクです。
19	0x00000013	pdFREERTOS_ERRNO_ENODEV	そのようなデバイスはありません。
20	0x00000014	pdFREERTOS_ERRNO_ENOTDIR	ディレクトリではありません。
21	0x00000015	pdFREERTOS_ERRNO_EISDIR	ディレクトリです。
22	0x00000016	pdFREERTOS_ERRNO_EINVAL	無効な引数です。
28	0x0000001C	pdFREERTOS_ERRNO_ENOSPC	デバイスに空き容量がありません。
29	0x0000001D	pdFREERTOS_ERRNO_ESPIPE	不正な要求です。
30	0x0000001E	pdFREERTOS_ERRNO_EROFS	読み取り専用のファイルシステムです。
42	0x0000002A	pdFREERTOS_ERRNO_EUNATCH	プロトコルドライバが接続されていません。
50	0x00000032	pdFREERTOS_ERRNO_EBADE	無効な交換です。
79	0x0000004F	pdFREERTOS_ERRNO_EFTYPE	ファイルタイプまたはフォーマットが不適切です。
89	0x00000059	pdFREERTOS_ERRNO_ENMFILE	これ以上ファイルがありません。
90	0x0000005A	pdFREERTOS_ERRNO_ENOTEMPTY	ディレクトリが空ではありません。
91	0x0000005B	pdFREERTOS_ERRNO_ENAMETOOLONG	ファイル名またはパス名が長すぎます。
95	0x0000005F	pdFREERTOS_ERRNO_EOPNOTSUPP	トランスポートエンドポイントでサポートされていない操作です。
105	0x00000069	pdFREERTOS_ERRNO_ENOBUFS	使用可能なバッファスペースがありません。
109	0x0000006D	pdFREERTOS_ERRNO_ENOPROTOPT	プロトコルが利用できません。
112	0x00000070	pdFREERTOS_ERRNO_EADDRINUSE	すでに使用されているアドレスです。
116	0x00000074	pdFREERTOS_ERRNO_ETIMEDOUT	接続タイムアウトです。
119	0x00000077	pdFREERTOS_ERRNO_EINPROGRESS	接続が既に進行中です。

10進数	16進数	定数	説明
120	0x00000078	pdFREERTOS_ERRNO_EALREADY	ソケットは既に接続済みです。
125	0x0000007D	pdFREERTOS_ERRNO_EADDRNOTAVAIL	アドレスが使用できません。
127	0x0000007F	pdFREERTOS_ERRNO_EISCONN	ソケットはすでに接続されています。
128	0x00000080	pdFREERTOS_ERRNO_ENOTCONN	ソケットが接続されていません。
135	0x00000087	pdFREERTOS_ERRNO_ENOMEDIUM	メディアが挿入されていません。
138	0x0000008A	pdFREERTOS_ERRNO_EILSEQ	無効なUTF-16シーケンスが発生しました。
140	0x0000008C	pdFREERTOS_ERRNO_ECANCELED	操作がキャンセルされました。

8.8 サポートとサービス

世界中のベッコフ支社と代理店は、包括的なサポートとサービスを提供し、ベッコフ製品とシステムソリューションに関するあらゆる質問に対して迅速かつ的確なサポートを提供しています。

ダウンロード検索

ダウンロード検索 から当社が提供する各種ファイルをダウンロードいただけます。アプリケーションレポート、技術マニュアル、図面、Configurationファイルなど、必要なファイルを検索してダウンロードできます。

様々なファイル形式でダウンロードできます。

ベッコフの支社と代理店

ベッコフ製品に関するローカルサポートおよびサービスについては、最寄りのベッコフ支社または代理店にお問い合わせください。

各国のベッコフ支社および代理店の所在はベッコフWebサイト(<http://www.beckhoff.com/ja-jp>)よりご確認ください。

また、Webサイトではベッコフ製品マニュアルも公開されています。

ベッコフのサポート

ベッコフのサポート部門はベッコフ製品に関するお問い合わせの他、各種の技術サポートを提供しています。

- サポート
- 複雑な自動化システムの設計、プログラミングおよびコミッショニング
- およびベッコフのシステムコンポーネントに関する広範なトレーニングプログラム

ホットライン: +49 5246 963-157

Eメール: support@beckhoff.co.jp

ベッコフのサービス

ベッコフのサービスセンターは、各種のアフターサービスを提供することでお客様をサポートします。

- オンサイトサービス
- 修理サービス
- 部品交換サービス
- 緊急サービス

ホットライン: +49 5246 963-460
Eメール: service@beckhoff.co.jp

ベックhoff本社

Beckhoff Automation GmbH & Co. KG

Huelshorstweg 20
33415 Verl
Germany

電話: +49 5246 963-0
Eメール: info@beckhoff.com
Webサイト: www.beckhoff.com

Trademark statements

Beckhoff®, TwinCAT®, TwinCAT/BSD®, TC/BSD®, EtherCAT®, EtherCAT G®, EtherCAT G10®, EtherCAT P®, Safety over EtherCAT®, TwinSAFE®, XFC®, XTS® and XPlanar® are registered trademarks of and licensed by Beckhoff Automation GmbH.

Third-party trademark statements

Chrome, Chromium and Google are trademarks of Google LLC.

FreeBSD is a registered trademark of The FreeBSD Foundation and is used by Beckhoff with the permission of The FreeBSD Foundation.

Intel, the Intel logo, Intel Core, Xeon, Intel Atom, Celeron and Pentium are trademarks of Intel Corporation or its subsidiaries.

Microsoft, Microsoft Azure, Microsoft Edge, PowerShell, Visual Studio, Windows and Xbox are trademarks of the Microsoft group of companies.

Mozilla and Firefox are trademarks of the Mozilla Foundation in the U.S. and other countries.

Beckhoff Automation GmbH & Co. KG
Hülshorstweg 20
33415 Verl
Germany
+49 5246 9630
info@beckhoff.com
www.beckhoff.com